Taycan

WKD Y1A 00 70 21

PORSCHE

# Taycan

## Good to know - 取扱説明書

Porsche、Porsche crest、Taycan、PASM、PCM、PSM、Tequipment および他のマークは Dr. Ing. h. c. F. Porsche AG の登録商標です。
Printed in Germany.
本書の一部または全部の複製は、Dr. Ing. h. c. F. Porsche AG からの文書による許可がない限り禁止いたします。
© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG
Porscheplatz 1
70435 Stuttgart
Germany

## 車載マニュアル

車載マニュアルは常に車両に保管し、車両を売却する場合は新しいオーナーにお渡しください。
車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。
お問い合わせ先：

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG
Vertrieb Customer Relations
Porscheplatz 1
70435 Stuttgart
Germany

## 装備品

ポルシェでは絶えず車両やアプリケーションの開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。 装備品は、標準の同梱部品または国別の車両装備に必ずしも対応していません。追加装備品の詳細については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。この取扱説明書に記載されていない装備品が Porsche に装備されている場合、Porsche 正規販売店がその装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

## 警告およびシンボル マーク

この説明書には様々な警告およびシンボル マークが使用されています。

**⚠ 危険** 重傷または死亡に至る危険

「危険」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る危険があります。

**⚠ 警告** 重傷または死亡に至る可能性

「警告」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る可能性があります。

**⚠ 注意** 中程度のケガまたは軽傷を負う可能性

「注意」欄の警告を守らないと、中程度のケガまたは軽傷を負う可能性があります。

**知識** 車両が損傷する可能性

「知識」欄の警告を守らないと、車両が損傷する可能性があります。

## インフォメーション

追加情報は「インフォメーション」という語を用いて記載されます。

✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件。
▸ お守りいただく必要のある指示。
1. 指示が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。

▸ 従う必要のある指示がセントラル ディスプレイに表示されます。

▹ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている参照先を示します。

## エアバッグ警告ラベル

**⚠ 危険** 助手席のチャイルド シート

チャイルド シートが助手席に取り付けられている場合、エアバッグが作動した際に重傷または致命傷を負う危険があります。

▸ お子様に**ケガや死亡の危険**があるため、**フロント エアバッグが有効になっている状態で**、後ろ向きチャイルド シートを助手席で**絶対に使用しない**でください。

▹ 「チャイルド シート」の章（ 165ページ）を参照してください。

# マニュアルのレイアウト

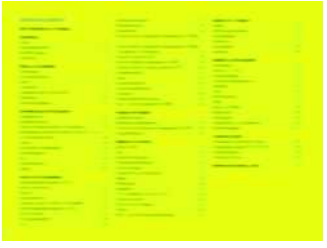
**取扱説明書 – デジタル**

**図 1 : デジタル PCM マニュアル - ミニ**

取扱説明書は、車内の車載デジタル形式が入手可能です。

▹ 3ページ

**目次**



概要を把握し、確認したいトピックを探すことができます。

**安全性とドライビング プレジャー**

ドライビング プレジャーを安全に楽しむ方法をご覧ください。

▹ 5ページ以降

**概要**

部品やコントロールについて十分に理解してください。

▹ 20ページ以降

**初走行**

車両について知り、初走行に役立つ主要な機能についてご確認ください。

▹ 25ページ以降

**50 音順トピック**

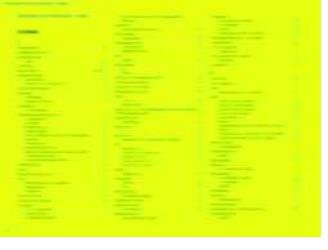
部品やコントロールの仕組み、およびそれらを操作する方法をご覧ください。

**テクニカル データ**

特定の図を検索してください。

▹ 306ページ以降

**索引**



確認したい情報をすぐに見つけることができます。

# 取扱説明書 - デジタル

お客様の車両に関する詳しい情報は**車載**の取扱説明書をご覧ください：
詳細機能、ビデオ説明、インタラクティブ グラフィックス、キーワード検索機能 (索引検索)。

**車載**

取扱説明書はポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の下記で確認できます：

▸ ▸ **取扱説明書**

## Apple 免責事項

Apple, the Apple logo, Apple CarPlay, iPhone, iPod, iOS, Siri and other designations of Apple are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
App Store is a service mark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

# 目次


**安全性とドライビング・プレジャー** ..... 5

**外観図**
センサーおよびカメラ ..... 20
オーバーヘッド コンソール ..... 23
給油口 ..... 24
運転席 ..... 21
センサーおよびカメラ ..... 20

**初めてのトリップ** ..... 25

**開閉操作とロック**
ウィンドウ ..... 57
キー ..... 77
セントラルロッキング ..... 120
ボンネット ..... 233
リヤ リッド ..... 255
警報システム ..... 94

**エアコンおよび人間工学**
インテリア ライト ..... 55
エアコン システム Advanced Climate Control (2-/4-ゾーン エアコン) ..... 60
エアバッグ システム ..... 71
サンバイザー ..... 97
シート ..... 98
シート ベルト ..... 103
ステアリング ホイール ..... 107
チャイルド シート ..... 165
パーソナル設定 ..... 196
ミラー ..... 236

**運転およびドライバー アシスタントシステム**
HOLD 機能 ..... 278
アクティブ パーキング サポート ..... 31
アクティブ レーン ガイダンス ..... 35
アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) ..... 39
クルーズ コントロール (CC) ..... 80
スピード リミッター (LIM) ..... 109
スポイラー ..... 112
ナイト ビュー アシスト ..... 181
パークアシスト ..... 192
フロント ウィンドウ ワイパー ..... 208
ブレーキ ..... 205
ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) ..... 217
ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) ..... 231
ライト ..... 244
リヤ クロス トラフィック アラート ..... 254
レーン キープ アシスト ..... 263
レーン チェンジ アシスト (LCA) ..... 266
交差点アシスト ..... 95
警告およびブレーキ アシスト ..... 91
走行モード ..... 281
車両の始動、運転、停止 ..... 134
降車警告 ..... 280

**表示および入力**
インストルメント クラスター ..... 45
センター コンソール コントロール パネル ..... 117
ヘッドアップ ディスプレイ ..... 211
ボイス コントロール ..... 212
ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) ..... 223

**操作および取扱い**
Apple CarPlay ..... 276
オンライン ソフトウェア アップデート ..... 73
スポーツ クロノ ストップウォッチ ..... 113
スマート サービス ..... 115
デバイス マネージャー ..... 174
ナビゲーション ..... 183
ファンクション オンデマンド (FoD) ..... 203
ホーム画面およびマイ スクリーン ..... 216
ポルシェ コネクト ..... 220
メッセージ ..... 240
メディア ..... 241
警告およびインフォメーション メッセージ ..... 84
車両設定 ..... 138
通知 ..... 283
電話 ..... 176

**ラゲッジおよびトランスポート**
カップホルダー ..... 75
スモーカーパッケージ ..... 116
ソケット ..... 127
ラゲッジ コンパートメント ..... 250
ルーフ トランスポート システム ..... 258
収納スペース ..... 146

**モビリティおよび故障修理**
12 V バッテリー ..... 271
けん引 ..... 82
ウィンドウ ウォッシャー液 ..... 59
クーラント (冷却水) ..... 79
ジャッキおよびリフティング プラットフォーム ..... 106
タイヤおよびホイール ..... 156
パンク ..... 189
ヒューズ ..... 198
ブレーキ フルード ..... 207
充電 ..... 147
緊急電話システム ..... 279
車両のお手入れ ..... 128

**テクニカル データ**
ソフトウェア ライセンス ..... 285
テクニカル データ ..... 306
無線装置 (EU の地域外) ..... 300

**索引** ..... 315

# ドライビング プレジャーはそのままに、安全性を向上

お客様の車両：最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性能。 魅力的な体験を満喫できることは間違いありません。 しかし、それはどんな状況でもお客様がリラックスできる場合に限られます。 これは、ポルシェが安全性も最高水準の質と同じくらい重要な問題であると考えているからです。

ポルシェ車の運転中に安全を確保する上で、お客様にどのような役割を果たしていただけるかをこちらで説明します。

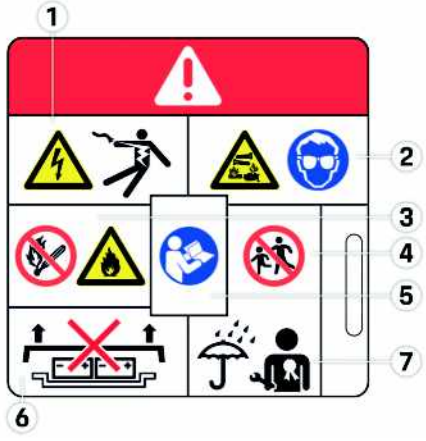
## 完璧なテクノロジー：安全性の前提条件

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができるでしょう。 ポテンシャルを最大限に発揮するには、車両の点検およびお手入れが必要です。 それによって、危険な状況においてもポルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

### 電気自動車の特徴について

高電圧車両エレクトリカル システムの電圧および高電圧バッテリーは非常に危険です。 破損した高電圧構成部品 (高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリー、パワー エレクトロニクス、またはエアコン コンプレッサーなど) に触れると致命的な感電を引き起こすことがあります。

高電圧ケーブルは**オレンジ色**です。 エレクトリカル システムのすべての構成部品は、**警告ステッカー**でマーキングされています。




1 高電圧によって重傷または死亡に至る可能性があります。 指、工具、装飾品やその他の金属製の物体でバッテリー端子に触れないでください。

2 高電圧バッテリーには危険な液体および固体が含まれています。 ガスが放出された場合、重度の火傷および失明を招く可能性があります。 高電圧バッテリーの作業時は、バッテリー液が皮膚や目に触れないように、必ず適切な保護メガネと保護服を着用してください。 バッテリー液が皮膚と目に付着した場合、該当箇所をきれいな流水で 15 分以上洗浄し、直ちに医師の診察を受けてください。

3 高電圧バッテリーは燃焼します。 高電圧バッテリーを火気、スパーク、裸火にさらさないでください。 損傷やフルード漏れを防ぐため、高電圧バッテリーは必ず慎重に取り扱ってください。
4 お子様を高電圧バッテリーに近づけないでください。
5 詳細については、取扱説明書およびワークショップの資料を参照してください。
6 高電圧バッテリーの不正な取り扱いによって、重傷または死亡に至る可能性があります。 高電圧バッテリーのカバーを取り外したり、高電圧バッテリーを取り外したりしないでください。
7 高電圧バッテリーの不正な取り扱いによって、重傷または死亡に至る可能性があります。 高電圧バッテリーのメンテナンスは、適切な資格を持ちトレーニングを受けた専門のスタッフのみが行ってください。 高電圧バッテリーを改造しないでください。 開いている高電圧バッテリーが水や他の液体に決して触れないようにしてください。 液体によって、短絡、感電、火傷を招く恐れがあります。

- 高電圧車両エレクトリカル システム、オレンジ色の高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリー、パワー エレクトロニクス、エアコン コンプレッサー、またはエレクトリカル システムのその他の部品の作業は実施しないでください。
- オレンジ色の高電圧ケーブルを、損傷したり、高電圧車両エレクトリカル システムから取り外したり、切り離したりしないでください。
- 事故の後などに、損傷したエレクトリカル システムの部品に触れないでください。
- 高電圧バッテリーを取り外さないでください。
- 警告ラベルまたは警告標識を除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。
- 警告ステッカーが貼り付けられている高電圧システム構成部品のカバーを取り外さないでください。

## 駆動力

通常、バッテリー式電気自動車で利用できる駆動力は、電力要件の持続時間、バッテリー電圧、温度のようなさまざまな要素によって異なります。 標準のローンチ コントロールを使用する場合、規定出力は 10 秒以上利用可能で、規定オーバーブースト出力は 2.5 秒以上利用できます。 特に、スポーティな走行またはクイック充電スタンドでの充電によって、バッテリー温度が上昇し、駆動力が一時的に低下する可能性があります。 物理的状況が原因で、規定加速値に達するために必要な最大出力を数回呼び出すことができますが、任意に連続で呼び出すことはできません。

## 認知されにくい状況

電気自動車は、内燃エンジン搭載車と比べて、運転および走行時の騒音が大幅に低減されています。 交通静音化対策地域、後退または駐車時など特定の状況下では、他の通行者に車両の音が聞こえないことがあります。

- 十分注意して運転してください。

## 電磁互換性

物理法則では、電磁場がすべての電気機器の周辺で生成されると明記されています。 これは、車両の電装品にも当てはまります。 ポルシェは、製品の開発初期段階でさえ、製品が乗員や通行人の健康に影響を決して与えないようにすることを重視してきました。 ポルシェは、国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) の時変電界、磁界、電磁場の暴露限度のガイドラインを厳守し、従っています。 ICNIRP は、国際連合世界保健機関 (WHO) などの国内および国際健康機関と緊密に連携する非営利科学機関であり、どの業界からも独立しています。 上記の基準に従って、隣接するデバイスとインプラントの機能はポルシェ社の製品の影響を受けていません。 しかし、市場にはさまざまなインプラントが多数あるため、個別のケースごとに特定の説明をすることはできません。 医療に関する質問がさらにある場合は、医師に相談することをお勧めします。

## 車両の損傷および正常な動作の点検

技術的な不具合が生じている車両は、不良な作動挙動などにより事故を招く恐れがあります。

- 車両は定期的に (少なくとも月に 1 度の頻度で、また長時間走行の前に) 点検し、良好な状態であることを確認してください。 特に、以下の点に注意してください。
  - タイヤに損傷がなく、空気圧が適正で、トレッドの深さも十分ある
  - ヘッドライト、ブレーキ ライト、および方向指示灯がすべて作動する
  - エアロ パーツに損傷がない
  - ワイパー ブレードに損傷がない
  - ガラスのひび割れまたは損傷がなく、フロント ウィンドウ / ウィンドウが妨げられていない
  - ドア ミラーおよびルーム ミラーに損傷がなく、正しい位置になっている
  - センサーおよびカメラにひび割れまたは損傷がない
  - クーリング エア ダクト、センサー、およびカメラの動きを妨げるものがない (フィルムまたはストーン ガード、ナンバー プレート ホルダーなど)
- 電話や無線装置は、外部アンテナに接続して車内でのみ使用し、車内の電磁波レベルが限界値を超えないようにしてください。

### タイヤの損傷点検

損傷したタイヤは走行中にバースト (破裂) する恐れがあります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 走行頻度や状態に応じて、少なくとも月に 1 度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがないかを確認してください。 タイヤの側面も必ず点検してください。
- 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。
- 損傷したタイヤを装着したままで運転を**続けない**でください。 損傷したタイヤは、ポルシェ正規販売店で直ちに交換してください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### タイヤ空気圧の調整

極端に低いまたは高いタイヤ空気圧は、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。 タイヤの空気圧が低すぎると、消費電力が著しく増加し、可走距離が減少する可能性があります。

- タイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
  - ▹ 「タイヤおよびホイール」の章（ 156ページ）を参照してください。
  - ▹ 「テクニカル データ」の章（ 306ページ）を参照してください。
- マルチファンクション ディスプレイのタイヤ空気圧モニタリング メニューにある設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載荷重と一致していることを確認してください。
  - ▹ 「セントラル ディスプレイでのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定」の章（ 157ページ）を参照してください。
- 赤色のタイヤ空気圧警告がインストルメント パネルに表示される場合：直ちに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。 損傷したタイヤを装着したままで運転を**続けない**でください。 必要に応じてタイヤ シーラントで応急処置を行ってください。
  - ▹ 「パンク」の章（ 189ページ）を参照してください。

### ライトの点検

ライトが故障すると、車両前方が照射されず、視界不良時に前方が見づらくなります。 他のドライバーがあなたの車両に気づくのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。 以下のライト類を点検してください。

- パーキング ライト、ロー ビーム、ドライビング ライト、ハイ ビーム
- 方向指示灯、ブレーキ ライト、リバース ライト
- フォグ ライト

- すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。

### エアロ パーツの点検

エアロ パーツ (スポイラーまたはアンダーボディ パネル) が損傷または紛失しているとハンドル操作が正常に行えなくなります。

- 車両に損傷の兆候がないか点検します。
- 損傷または紛失した部品は速やかに交換してください。

### ウィンドウおよびワイパー ブレードの清掃およびメンテナンス

フロント ウィンドウやウィンドウが汚れていたり、ワイパー ブレードが故障していたりすると、視界が悪くなって事故の危険が著しく増大します。

- 車両およびフロント ウィンドウ / ウィンドウは清潔な状態を保ってください。
- 凍結したワイパー ブレードは溶かし、フロント ウィンドウから動くようにします。
- ワイパー ブレードは定期的に、または少なくともフロントガラスに筋が残るようなら交換します。
  - ▷ 「フロント ウィンドウ ワイパー」の章（208 ページ）を参照してください。

### 点検および仕様変更は、必ずポルシェ正規販売店で行ってください。

車両の仕様を変更すると、悪影響が及んだり安全機能を無効にしたりする恐れがあります。 認可されていない作業の実施は、保証期間内であっても請求が無効になることがあります。

- 車両のすべての点検および仕様変更は必ずポルシェ正規販売店で行ってください。 正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### 故障診断用ソケット

故障診断用ソケットは、ポルシェ正規販売店で故障診断機器を接続するために使用されます。

外部装置 (ナビゲーション ユニット、ヘッドアップ ディスプレイなど) を故障診断用ソケットに接続すると、車両システムの機能に支障をきたしたり、車両が OFF のときにバッテリーが消耗または損傷 (完全放電) したりする恐れがあります。 外部装置やケーブルはペダル周辺で邪魔になったり、ブレーキを踏んだ時や方向転換をした時にペダルに引っ掛かったりする恐れがあります。

- いかなる装置も故障診断用ソケットに接続しないでください。
- いかなる装置やケーブルも運転席フットウェルに置かないでください。

### ポルシェのスペア パーツ

- お客様の車両専用のポルシェ純正スペア パーツ、またはポルシェの仕様や製造要件に従って製造された同等品質のスペア パーツのみをご使用ください。 正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。 これらの部品はポルシェ正規販売店から入手できます。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ポルシェ テクイップメント シリーズのアクセサリー、またはポルシェが検査および認定したアクセサリーのみをご使用ください。 ポルシェ テクイップメントについての情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

**インフォメーション**

他社製のスペア パーツまたはアクセサリーを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ポルシェ社はいかなる責任も負いかねます。 スペア パーツやアクセサリーを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。
ポルシェ社の承認していないスペア パーツまたはアクセサリーを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

## 荷物、安全装備、車両に子供を乗せるとき：ポルシェ ドライバーへの注意事項

ポルシェ車は 100 km/h (62 mph) を超えるまでわずか数秒という加速タイムを誇ります。 これほどのパワーを思いのままに操るには、走行前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。
それで、ドライブの準備をする時と同じ思いで、この車の使用についての資料をお読みください。

### したがって、シート ベルトの正しい使用が命を救います。

シート ベルトは、正しく使用し完全に機能している場合にのみ、乗員を怪我から守ります。

**インフォメーション**

シート ベルトを着用しない場合、30 km/h という低速でも重症を負う場合があります。 安全装備は、組み合わさって機能する場合にのみ、乗員を保護します。 例えば、エアバッグはシート ベルトも正しく着用している場合にのみ保護機能が正常に働きます。

- 短い距離の運転であっても、必ずシートベルトをしっかりと着用してください。
- 1 つのシート ベルトが固定するのは、乗員 1 人だけです。
- だぶついた衣服、厚手の衣服 (例 : 冬物コート) は脱ぐようにしてください。
- 硬い物または壊れやすい物の上からシートベルトを締めないでください (例 : メガネやボールペン)。
- シート ベルトがねじれないようにしてください。
- 使用していないシート ベルトは、必ず完全に格納するようにしてください。
- 妊娠中の運転者または乗員は、腰ベルトが腹部のかなり下に位置するようにし、肩ベルトを胸部に緩みなく装着する必要があります。
- 摩耗または損傷している場合は、ベルト、ベルト バックルまたは取り付け部を交換してください。
  - 「シート ベルト」の章（ 103ページ）を参照してください。

### エアバッグ

エアバッグは、乗員全員がシート ベルトを着用し正しく着席している場合にのみ、保護機能を発揮します。
荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

- 乗員とエアバッグが展開する間のエリアに、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- エアバッグから一定の距離を保ってください。例えば、ドアの内側にもたれかからないでください。 走行中、足は常にフットウェルに置いてください。 ダッシュボードやシート クッションの上に足を乗せてはなりません。

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。作動しなかったり、予期せぬタイミングで作動したりする恐れがあります。 予期せぬタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- シート カバーを装着しないでください。
- ステアリング ホイールまたはエアバッグ付近にアクセサリーを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- エアバッグの配線の近くには、アクセサリー類の配線を取り付けないでください。
- エアバッグの部品を取り外さないでください (例 : ステアリング ホイール、フロント シート、天井の内張り)。
- エアバッグの配線や部品を改造しないでください。
  - 「エアバッグ システム」の章（ 71ページ）を参照してください。

### 車内の荷物をすべて固定する

車内の荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せたりすると、ブレーキやステアリングを操作したとき、加速時、または事故の際に、滑って動き回る可能性があります。 これは乗員を危険にさらし、怪我につながる恐れがあります。

**インフォメーション**

例えば、50 km/h (30 mph) で衝突した場合、固定していない荷物はその重量の最大 50 倍の力で前方に投げ出される可能性があります。 例えば、1.5 L のペットボトルの水が室内を飛んだ場合、最大 75 kg の力がかかります。

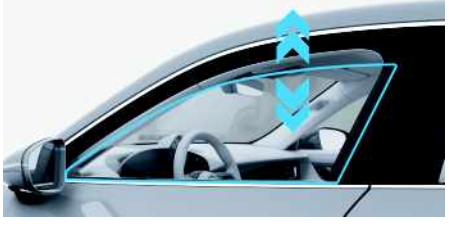
- 荷物を運ぶ場合には必ず固定してください。
- 可能な場合は、必ず荷物をロック可能な小物入れに入れて運んでください。
- 例えばラゲッジ コンパートメント内で、荷物は必ず固定して積載してください。
- 小さな物は小物入れに収納し、ロック可能な小物入れをすべて閉じてください。 小物入れから荷物が決してはみ出ないようにしてください。
- ダッシュボードの上には絶対に物を置かないでください。
- タイ ダウン ベルトで荷物を固定してください (引き裂き強度は最低 700 kg)。
- 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- また、乗員に安全対策についての情報を提供してください。

正しくポルシェに荷物を積載し、収納するために：

▹ 「収納スペース」の章（ 146ページ）を参照してください。

▹ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（ 250ページ）を参照してください。

### 挟み込み防止



以下の車両部品の可動範囲に人や動物がいると、巻き込まれたり挟まれたりする可能性があります。 特に次の部品が含まれます：

– 調整式フロント シート
– ドア
– ウィンドウ
– フラップおよびリッド
– 小物入れのリッド

- これらの車両部品を動かすときには可動範囲に人や動物がいないことを確認してください。

### 子供の行動を監視する

子供は危険を正しく判断できないことが多く、危険な状況で不適切に行動する場合があります。
子供は誤って自動設定 (座席調整など) を作動させて怪我する可能性があります。 お子さまは緊急時 (車内の過熱状態など) に車両から降りることができません。
これは、特に小さな子供にとって命に関わります。

- お子さまを高温部品や作動中の部品に近づけないでください。
- タイヤ シーラントなどの有毒物質は、お子さまの手の届かない場所に保管してください。
- お子様だけを車内に残さないでください。

### チャイルド シート システムを安全に使用

チャイルド シート システムは、正しく装備された場合にのみ動作します。

- ポルシェによって承認されているチャイルド シート システム**のみ**を使用してください。
- チャイルド シート システムを使用する前に：本マニュアルに加え、チャイルド シート システムのメーカーの取扱説明書を読み、従ってください。
  ▷ 「チャイルド シート」の章（ 165ページ）を参照してください。

## 安全で優れたドライビング：いつでも適切な判断力を発揮

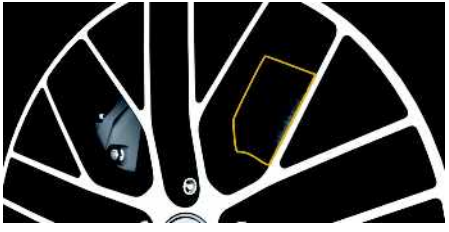
ポルシェはオールラウンダーな車です。ローンチ コントロール機能から緊急ブレーキ機能まで、この車で走り出せば、すべてが可能になります。とはいえ、1日の終わりに車両を正常な状態に保っておくことは、ユーザーの責任です。

### 注意力の低下を防ぐ

走行中に PCM やその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

- 運転中にミラーやシート、ステアリング ホイールの調整は行わないでください。シートやステアリング ホイールが思った以上に動く場合があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。運転前にミラー、シート、ステアリング ホイールの位置調整を行ってください。
- マルチファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの運転中の使用は、交通状況が許す場合のみにしてください。不確かな場合は、安全に操作できるよう停車してください。
- 運転中は携帯電話やその他の携帯機器を使用しないでください。
- 必ずハンズフリー機器を使用してください。
- 運転中にステアリングのスポークの間からボタンを押さないでください。これらを遵守しない場合、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。

### 雨天や降雪時のブレーキの挙動についての把握



大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキ内に水が浸入する可能性があり、ブレーキの反応が遅れたり、ブレーキ ペダルを踏み込む時に普通以上に力が必要になったりすることがあります。さらに、冬季の路面を長距離にわたって走行すると、ブレーキ ディスクやパッドに被膜ができて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。

- 特に停車前には、ブレーキが乾いた状態になるようブレーキをかけてください。このようにすると腐食を防ぐことができます。
- ブレーキが腐食すると激しい振動が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキ システムの点検を受けてください。

### 適切なタイヤと適切な運転スタイル

▷ 「タイヤおよびホイール」の章（ 156ページ）を参照してください。

#### 走行中にハンドルをとられたり、振動が発生したりした場合の適切な反応

タイヤや車両に損傷があると、走行中にハンドルをとられたり振動が発生したりすることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- 停車してタイヤを点検してください。不具合原因がわからないときは、慎重に運転し不具合の修理を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

#### タイヤの安全な状態を維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

#### 新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- 新品のタイヤを装着してから最初の 200 km は、抑制した速度で慣らし運転を行ってください。

**ウィンター タイヤでの走行**

ウィンター タイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト (破裂) する恐れがあります。

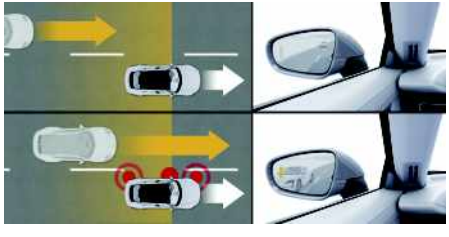
- 装着しているタイヤの最高許容速度を超えて走行しないでください。
- 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。各国の法律を遵守してください。

**サマー タイヤでの走行**

外気温度が 15 °C 未満のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- 外気温度が 7 °C を下回る場合、ウィンター タイヤに交換してください。

## アシスタント システムおよびその制限



車両には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンス システムが装備されています。

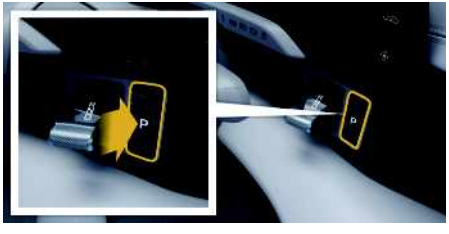
ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アシスタンス システムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。
- アシスタンス システムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- 使用する前に、アシスタンス システムについて十分に理解してください。

**アシスタンス システムについては次をご覧ください：**


| | |
|---|---|
| アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) | ▷ p. 39 |
| アクティブ レーン ガイダンス | ▷ p. 35 |
| アンチロック ブレーキ システム (ABS) | ▷ p. 231 |
| スピード リミッター | ▷ p. 109 |
| HOLD 機能 | ▷ p. 278 |
| 交差点アシスト | ▷ p. 95 |
| オートマチック ヘッドライト、PDLS Plus、ダイナミック ハイビーム | ▷ p. 244 |
| ナイト ビュー アシスト | ▷ p. 181 |
| パークアシスト、リバース カメラ、サラウンド ビュー | ▷ p. 192 |
| アクティブ パーキング サポート、操作アシスト | ▷ p. 31 |
| リヤ クロス トラフィック アラート | ▷ p. 254 |
| 降車警告 | ▷ p. 280 |
| ポルシェ アクティブ セーフ (PAS)、警告とブレーキアシスト | ▷ p. 91 |
| ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) | ▷ p. 217 |
| ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) | ▷ p. 231 |
| タイヤ空気圧モニタリング (TPM) | ▷ p. 156 |
| レーン キープ アシスト | ▷ p. 264 |
| レーン チェンジ アシスト | ▷ p. 266 |
| クルーズ コントロール | ▷ p. 80 |


## 緊急ブレーキ機能



通常のフットブレーキが故障している場合などは、電動パーキング ブレーキを使用してフル ブレーキをかけることができます。

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。そのために後続の車両が危険にさらされる可能性があります。

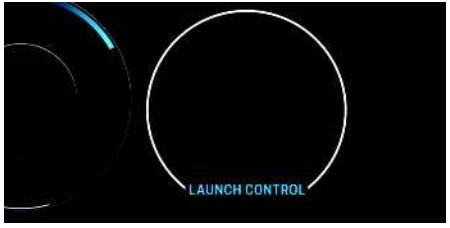
- 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用し、通常走行時の使用は避けてください。
- 緊急ブレーキ機能を作動させるには、Ⓟ ボタンを押し続けてください。ブレーキを解除するには、スイッチを放してください。
  - ▹ 「ブレーキ」の章（205ページ）を参照してください。

### 荷物積載時の運転

車両の操縦性は積載量によって変化します。ルーフ トランスポート システムを使用しているときは、空気抵抗も大きくなります。

- ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ルーフ トランスポート システムを装着して荷物を積載しているときは、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- 装着したルーフ トランスポート システムに荷物を載せていないときは、180 km/h を超える速度で走行しないでください。
- 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

### ローンチ コントロールを使用した発進




発進時にローンチ コントロール機能が作動していると、車両は急加速します。特定の状況では (路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)、車両の制御が失われたり、他の道路利用者に危険がおよんだりする恐れがあります。

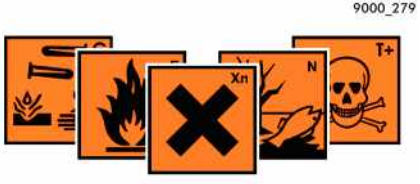
- 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチ コントロールを使用してください。
- ローンチ コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険が及ばないようにしてください。
  - ▹ 「車両の始動、運転、停止」の章（134ページ）を参照してください。

### 警告音への適切な反応

システムが故障または不良部品を検知すると、インストルメント クラスターまたは PCM に警告灯またはメッセージが表示され、ドライバーに警告が行われます。車両の警告信号を無視すると、事故、ケガおよび車両の損傷の恐れが高まります。

- 警告に適切に対応できるよう、運転の開始前に警告灯およびメッセージの意味を十分に理解してください。必要な場合は運転を停止してください。
  - ▹ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（84ページ）を参照してください。
  - ▹ 「インストルメント クラスター」の章（45ページ）を参照してください。

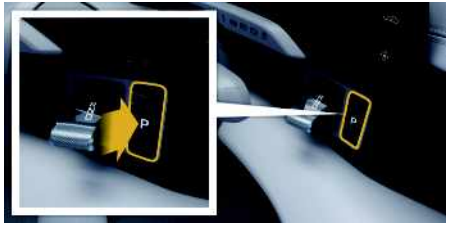
### 有害なフルード




トランスミッション オイルだけでなく、バッテリー液、クーラント、およびブレーキ フルードも人体に有害です。

- 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。
- フルードのコンテナーには必ず適切なラベルを貼付し、子どもの手の届かないところに保管してください。
- フルードの残留物の廃棄は、規制に従い環境に影響が少ない方法で行ってください。

### 安全に駐車



車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える恐れがあります。

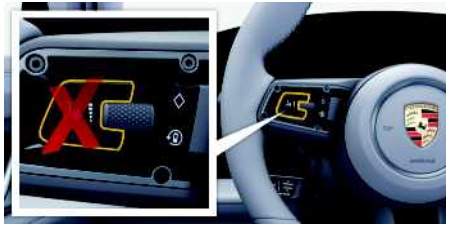
車両から離れる前に、以下の点に注意してください：

- セレクター レバーの **P** ボタンを押して、パーキング ロックと電動パーキングブレーキを作動させてください。インストルメント クラスターでシフト ポジション **P** が点滅している場合、パーキング ロックが正しく作動していません。セレクター レバーの **P** ボタンをもう一度押してください。

## 万が一の場合に備えて：故障および緊急時の安全確保

故障時には、安全のため以下の情報に注意してください。

### 緊急時はボイス コントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイス コントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- 緊急時はボイス コントロールを使用**しない**でください。

### 加熱した車両部品

走行中はシャーシ部分の車両部品および隣接する構成部品が非常に高温になります。

ファンはいつでも自動で作動する可能性があります。

- 可能であれば、車両を駐車して冷却してください。
- 身体の一部、衣服、長い髪、装飾品などは、ファンなどのすべての可動部品から遠ざけてください。
- 高温部品から守るため保護手袋を着用してください。

車両で特定の作業を行う際は、保護装備 (切り傷防止用の手袋など) を着用する必要があります。

- 車両の作業は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

高電圧バッテリーまたはエアコン システムがあらかじめ正常に調整されている場合、湿度の高い環境では右フロント ホイール アーチに蒸気が発生する可能性があります (雨の中での走行後、または洗車後など)。

- 車両の使用は制限なく続けることができます。

### けん引

けん引または押しがけによる始動が原因で、車両に重大な損傷を与える危険があります。

- けん引または押しがけによる始動は**行わない**でください。
- 車両をけん引するまたは車両がけん引される前に：
  - 「けん引」の章（82ページ）を参照してください。

### パンクしたとき

損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

- 決してパンクしたタイヤで走行**しない**でください。
- 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。

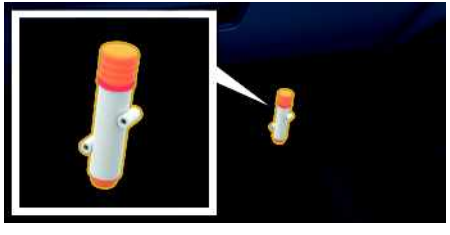
▷ 「パンク」の章（189ページ）を参照してください。

### 衝突後

衝突後は、安全装備 (例：シート ベルト プリテンショナーおよびエアバッグ) が作動しない場合があります。これにより、安全装置によって保護することができなくなります。

- 安全装置が作動していなくても、点検を受けてください。
- 作動した安全装置は必ず取り替えてください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### 発炎筒



発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、 周囲に危険を知らせるために使用します。 発炎筒は、助手席足元前部のドア側に固定して あります。

**⚠ 警告** 火傷や火災につながる恐れがあります。

- 燃料などの可燃物の近くでは使用しないで ください。引火する恐れがあります。
- 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向け たり、近づけないでください。火傷をする 恐れがあります。
- お子様がさわらないように注意してくださ い。誤って使用すると火傷をしたり、車を 損傷する恐れがあります。

**⚠ 注意** トンネルの中などで使用すると、事故につなが る恐れがあります。

- トンネルの中など換気が悪い場所で使用す ると、発炎筒の煙で視界が遮られて事故に つながる恐れがあります。必要に応じてハ ザード ランプを使用してください。

### 発炎筒の使い方

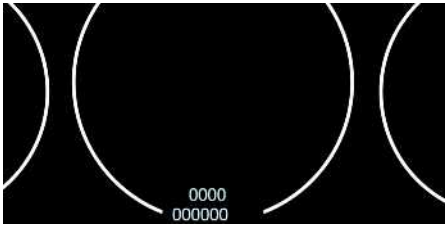
1. キャップを外します。本体をひねりながら、 ケースから取り出します。
2. 本体を逆に向けて、ケースに差し込みます。
3. 本体の点火部を、キャップの擦り薬でこす ると着火します。

**知識**

- 発炎筒の燃焼時間は約5 分間です。
- 発炎筒には有効期限があります。表示して ある有効期限が切れる前に、新しい発炎筒 に交換してください。ポルシェ正規販売店 にお問い合わせください。

## お出かけの前に：お客様のポルシェに関する重要な情報

### 車両の慣らし

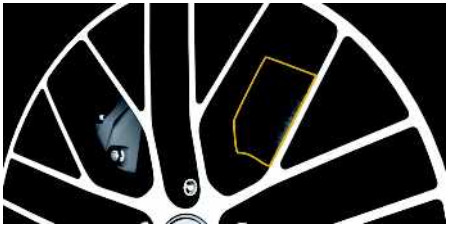



新車時には、可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。 新車の場合、走行距離が 3,000 km に達するまで慣らし運転が必要となります。 この慣らし期間中には、オイルや燃料の消費量が既定量よりも若干多くなります。

慣らし運転期間中は以下の点に注意して走行してください。

- なるべく長距離走行をする。
- モーター レース イベント、スポーツ ドライビング スクール、またはこれに類似したものに参加しない。

### 新しいブレーキ パッドの慣らし



車両を数百マイル走行させると、新しいブレーキ パッドおよびブレーキ ディスクの「慣らし」が終わり、最適な摩擦力に達します。
ブレーキ性能が若干減少している場合、ブレーキ ペダルを踏むときに普段より大きな力が必要になります。ブレーキ パッドまたはブレーキ ディスクを交換した場合もこれと同じ状況になります。

### 地上高に注意する

この車両は地上高が低いため、路面に接触しやすくなります。

- 急な傾斜路での走行は避けてください。
- 以下の状況では注意して走行してください。
  - 立体駐車場など、急勾配の上り坂や下り坂を走行する場合
  - 充電スタンドなど、縁石やスピード バンプ付近を走行する場合
  - 凹凸のある路面を走行するとき
  - リフティング プラットフォーム
- 車両の下部に破損がある場合には、車両を安全に駐車し、ポルシェ正規販売店にご連絡ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### サーキット走行

公道走行時に比べて、サーキット走行には過度に高い車両負荷が伴います。レース専用車両は、点検および構成部品の整備間隔が短いため、その負荷に耐えることができます。 この点検および整備には、各サーキットでの走行後に点検を実施し、必要に応じて個別に構成部品を交換し、規定された期間後には部品全体をオーバーホールすることが含まれます。

- サーキットで走行する前に最新の規約について必ず確認してください。ポルシェ正規販売店にお尋ねください。

サーキットの走行後は「クーリング ラップ」走行を実施し、特に高い熱負荷にさらされる車両部品の温度を、温度上昇を抑制できる方法で下げる必要があります。 車両をすぐに停車すると、蓄積している熱によって構成部品の温度をさらに上昇させる結果につながります。 この温度上昇は、個々の部品に修復不能な損傷を与える恐れがあります。

### ブレーキ システム

ブレーキ フルードは時間とともに空気から湿気を吸収します。 この水分吸収が沸点を下げ、高温でのブレーキ効率を大幅に低下させる可能性があります。
サーキット走行時、ブレーキ パッドおよびブレーキ ディスクには非常に高い負荷がかかります。

- ブレーキ フルードが 12 か月以上経過している場合、サーキット走行前にブレーキ フルードを交換してください。
- サーキット走行の前後に、ブレーキ パッドおよびブレーキ ディスクの摩耗点検を行ってください。

### タイヤ

サーキット走行時、タイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- サーキット走行の前後に、タイヤの摩耗点検を行ってください。
- レース用タイヤを装着しないでください。 ポルシェはレース用タイヤを承認していません。

### 海外での走行の前に

ポルシェのすべてのモデルがすべての国で販売されているわけではありません。 そのため、スペア パーツが利用できないかもしれず、ポルシェ正規販売店がすべての修理作業を実施できないかもしれません。
海外で走行する前に、次の情報をご確認ください。

- 車両故障時に修理を受けることができますか?
- 車両は技術的調整を必要としていますか?

– 左側 / 右側通行の違いに合わせてヘッドライトを切り替える必要がありますか?

▹ 「車両設定」の章（ 138ページ）を参照してください。

## 車両のデータ処理

車両には電子コントロール ユニットが取り付けられています。 車両の安全上必要なものもあれば、走行時にアシストするもの (ドライバー アシスタンス システム) もあります。 さらに、車両には電子コントロール ユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテイメント機能が装備されています。

各車両には固有のシャーシ番号があります。 この車両識別番号 (VIN) は、欧州連合内の地方自治体を通じて、車両の現在の所有者と以前の所有者までさかのぼることができます。 車両登録番号の使用など、車両から収集されたデータをオーナーまたはドライバーまでさかのぼって追跡する他の方法もあります。

### 車両のテクニカル データの保存

電子コントロール ユニットには、車両ステータス、構成部品の負荷、サービス要件、イベントまたは故障に関する技術的な情報を一時的または恒久的に保存できるデータ メモリーがあります。 一般的に、この技術な情報には、次に挙げる構成部品、モジュール、システムまたは環境のステータスが記録されています。

– システム構成部品の操作モード (例 : 給油レベル)
– 車両および個々の構成部品 (例 : ホイール回転数、速度、減速、横加速度) に関するステータス メッセージ
– 重要なシステム構成部品の作動不良や故障 (例 : ライト、ブレーキ)
– 車両を損傷する可能性のあるイベントに関する情報
– 特別な走行状況での車両のレスポンス (例 : エアバッグの展開、スタビリティ コントロール システムの作動)
– 環境要因 (例 : 温度)

このデータは、車両が実際に機能するために使用され、さらに故障の検出や修理、メーカーによる車両の機能の最適化にも使用されます。 このデータの大半は蓄積されることなく、車両内でのみ処理されます。 データのわずかな一部分のみがイベント メモリーまたは故障メモリーに保存されます。 さらに、車両には電子コントロール ユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテイメント機能が装備されています。

### テクニカル データの読み出し

必要に応じて、有償でワークショップなどの技術専門家の助けを借りて、車両にのみローカルで保存されたデータを読み出すことができます。 このために法定規定が存在する個々のケースでは、州当局からの要求に応じてメーカーが保存したデータを必要な範囲で開示することが、メーカーとしてのポルシェに義務付けられます (例 : 犯罪行為の場合の事実認定のため)。

車両の整備時、サービス ネットワーク作業者 (例 : ワークショップ、ロード サービス、メーカー) は、車両からこの技術な情報を読み出すことになります。 サービスには修理サービス、サービス プロセス、保証請求および品質保証基準が含まれます。 データは、車両の OBD (オンボード診断) への、法的に規定された接続を使用して読み出されます。 データは、該当するサービス ネットワークのスタッフにより収集され、処理され、使用されます。また、製品監視義務に準拠し、あるいは品質向上などのためポルシェに送信される場合があります。 車両の故障メモリーおよびイベント メモリーは、修理またはサービス実施と共に修理ワークショップでリセットされる可能性があります。

### 車両の機能の利用

選択された装備オプションの範囲内で、マルチメディアおよび住所録データなどの情報、またはナビゲーション目的地およびその他の設定を車両のコンフォート機能およびインフォテインメント機能に入力できます。 このデータは車両にローカル保存されるか、車両に接続しているデバイス (例 : 携帯電話、USB スティック、MP3 プレイヤー) に保存されます。 車両にこのデータが保存された場合、いつでも削除できます。 このデータは特にオンライン サービス使用中、ユーザーが選択した設定にのみ基づいて、ユーザーが要求した場合に限り第三者に送信されます。

車両に必要な装備がある場合は、接続した携帯電話または他の携帯機器を車両に内蔵された制御装置を使用して制御することができます。 携帯電話からの画像およびサウンドは、マルチメディア システムを介して出力できます。 特定の情報はユーザーの携帯電話に転送することもできます。 これは装備品のタイプにより異なりますが、一般的な車両情報または位置データなどを含みます。 これにより、ナビゲーション システムの使用やミュージック再生など、選択した携帯電話アプリを最適な方法で使用できます。 携帯電話による車両データへの能動的なアクセスは行われません。 携帯電話が受信したデータを処理する方法は、使用している該当アプリのプロバイダーが定めます。 携帯電話のアプリやオペレーティング システムによって、設定を構成できるかどうか、構成できるのであればどの設定を構成できるかが異なります。

### オンライン サービスの使用

車両にワイヤレス ネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステムとの間でデータ交換が可能です。 車両の送受信ユニットまたは接続した携帯機器 (携帯電話など) により、ワイヤレス ネットワークに接続可能です。 このワイヤレス ネットワーク接続により、オンライン機能を使用できます。

これにはポルシェまたは他のプロバイダーによる、利用可能なオンライン サービスおよびアプリケーション / アプリが含まれます。
ポルシェ オンライン サービスでは、様々な機能が適切な場所 (例 : ポルシェ コネクト ウェブサイト) にまとめられており、関連するデータ保護規定情報が提供されます。 オンライン サービスの提供のため個人データが使用されることがあります。 必要なデータ交換は保護された接続を経由して行われます。この目的でポルシェ IT システムなどが構築されています。 サービス提供に必要なものを超えた個人データの収集、処理、使用は、法的な認可または承諾に基づいてのみ行われます。
通常、サービス (有料の場合が多い) や機能を、場合によっては車両のデータ接続全体を、有効または無効にできます。 法律により定められた特定の機能およびサービスは除外されます。
他のプロバイダーのオンライン サービスを使用するためにオプションが存在する場合、それらは該当するプロバイダーの責任であり、そのプロバイダーのデータ保護ポリシーおよび使用規約の対象です。 この場合、ポルシェはデータ交換に何の干渉もしません。 そのため、第三者サービスにおけるそうしたデータ収集や個人データの使用の種類、範囲および目的に関する情報は、該当するサービス プロバイダーから入手してください。

## イベント データ レコーダー (EDR) へのデータの保存

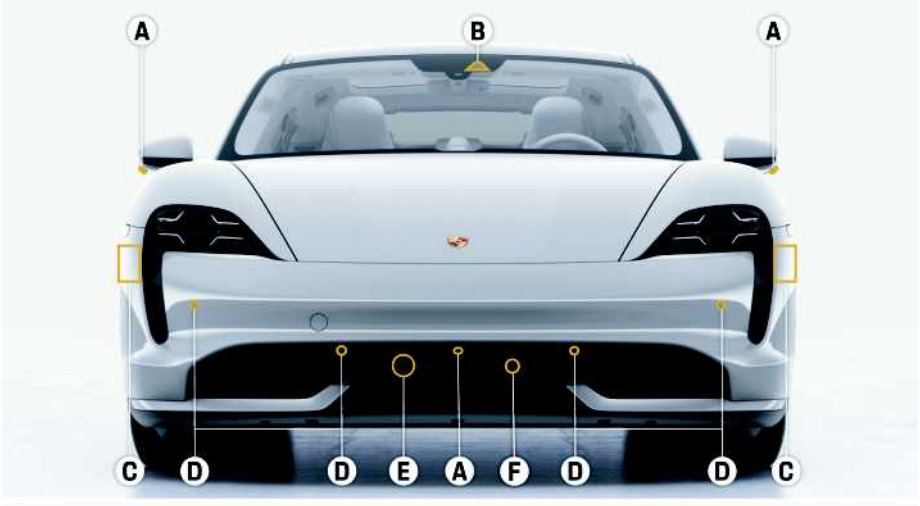
車両にはイベント データ レコーダー (EDR) が装備されています (国および装備に応じて利用可能)。 EDR は、特に事故などの重大なイベントが発生した場合に車両ステータス データを記録するデータ ストレージ デバイスです。 EDR は、そのようなイベントの状況を判断するため、特に車両システムの動作を決定するために使用されます。
特に、イベントの種類、アクセル / ブレーキ ペダルの踏み込み位置、ステアリング ホイールの角度、速度、シート ベルト着用の数 / 位置、車両の横加速度、走行距離、故障メモリーの内容、タイム スタンプ、および車両識別番号 (VIN) などの、関連する可能性のあるステータス データがこの目的のために記録されます。 このデータは定期更新メモリーに継続的に保存され、5 秒間隔で繰り返し上書きされます。 EDR は、オーディオ、画像とビデオの両方またはいずれか一方の記録、または位置データを保存することはしません。
重大なイベントのインジケーターが登録される場合、EDR の現在のメモリー状態 (例 : トリガリング イベントの 5 秒前とその後 300 ミリ秒) がログ ファイルに保存されます。 このようにしてデータを永久保存した後、EDR は別のトリガリング イベントによってさらにデータの永久保存がトリガーされるまで、定期更新ストレージ モードに戻ります。 イベント メモリーには、最大 6 個のログ ファイルを永久保存できます。 これらのログ ファイルは、その後必要に応じて新しいログ ファイルで上書きされます。 ただし、エアバッグ / シート ベルト プリテンショナーの動作の結果として保存されたログ ファイルは、事故などの特に重大なイベントを示しているため、上書き保護されます。 このような上書き保護されたログ ファイルがイベント メモリーに 4 つ保存されると、直ちにこの影響に関するメッセージが車両のインストルメント クラスターに表示されます。
EDR に永久保存されているログ ファイルを読み出すには、通信するためのデバイスと車両の診断インターフェースが必要です。

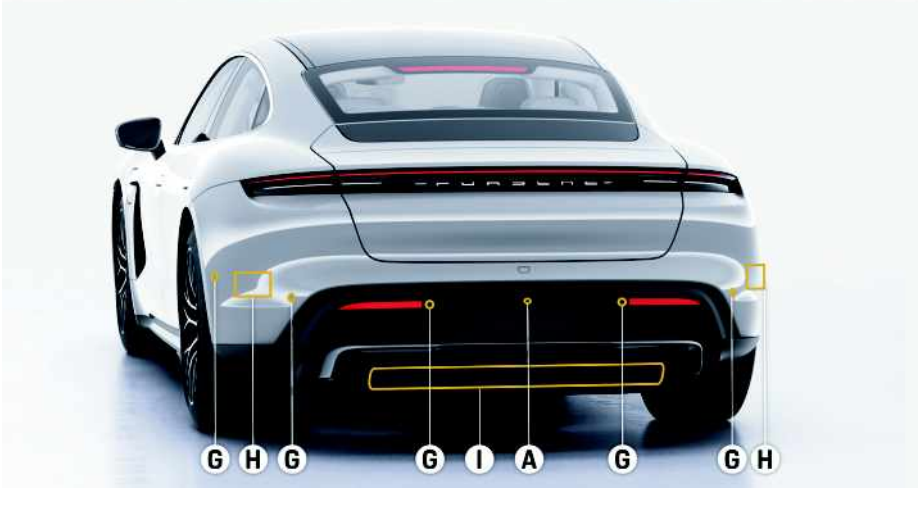
## アシスタンス システム モニター (ASM)

車両にはアシスタンス システム モニター (ASM) が装備されています (国および装備に応じて利用可能)。 これは、イベント データ レコーダー (EDR) の拡張機能です。 データ メモリーのおかげで、事故などの重大なイベントの後に ASM を使用して、そのようなイベントの状況とドライバー アシスタンス システムの動作を明確にすることができます。
ASM によって記録されるデータは装備によって異なり、以下の情報を含むことができます。アシスタンス システムのステータス情報 (アシスタンス システム ON/OFF、システム イベントなど)、コントロール介入 (PSM など)、アシスタンス システムの設定 (速度設定など)。
このデータは定期更新メモリーに継続的に保存され、10 秒間隔で繰り返し上書きされます。 ステータス データは、新しい値が判定された場合にのみ上書きされます。 重大なイベントのインジケーターが登録される場合、ASM の現在のストレージ ステータスがログ ファイルに記録されます。 永久保存のトリガーとなるのは、エアバッグの作動またはターゲット ブレーキの自動始動などの重大なイベントです。 このようにしてデータを永久保存した後、ASM は別のトリガリング イベントによってさらにデータの永久保存がトリガーされるまで、定期更新ストレージ モードに戻ります。
ASM に永久保存されているログ ファイルを読み取るには、通信するためのデバイスと車両の診断インターフェースが必要です。

## 概観図

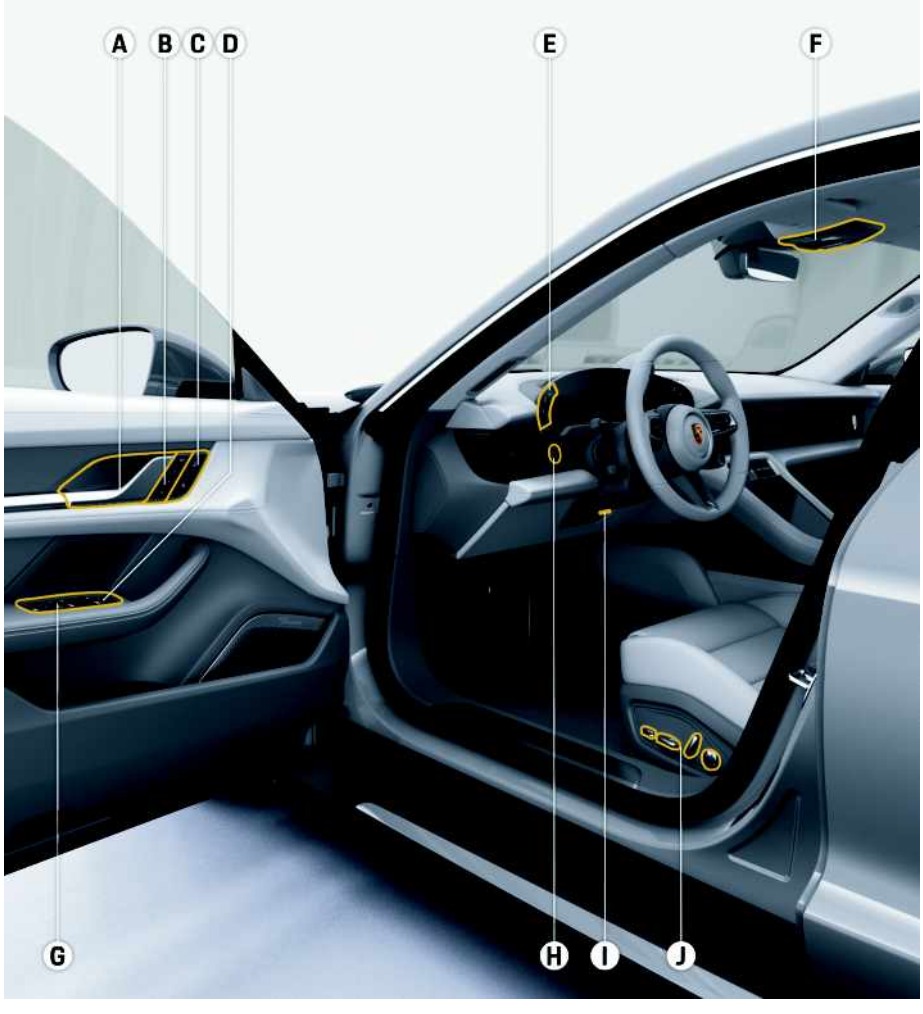
以下のページでは、車両のすべての部位の外観図が、簡単な説明文とともに表示されます。詳細な情報は関連ページでご確認いただけます。




## センサーおよびカメラ

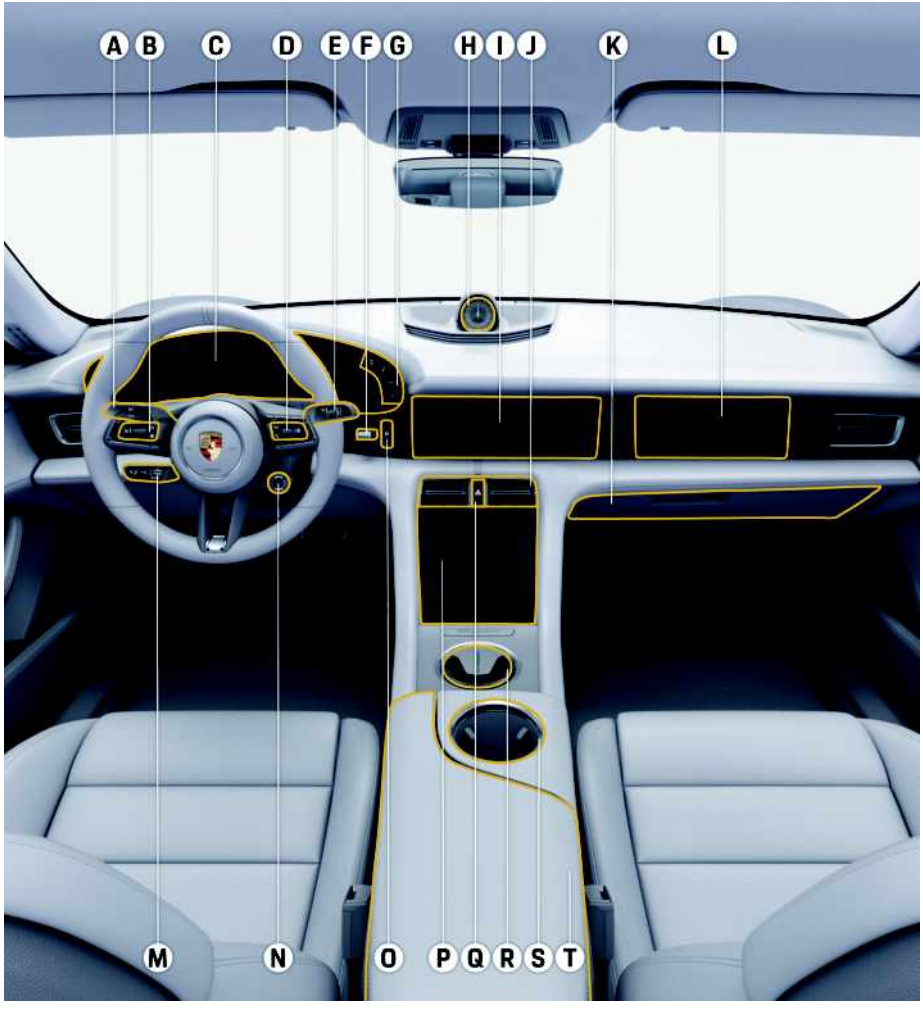

| | | | |
|---|---|---|---|
| **A** | サラウンド ビュー (RTV) | ▷ | p. 192 |
| **B** | アクティブ レーン キープ | ▷ | p. 35 |
| | レーン キープ アシスト | ▷ | p. 264 |
| | 交差点アシスト | ▷ | p. 95 |
| | ダイナミック ハイ ビーム | ▷ | p. 244 |
| | 警告とブレーキ アシスト (WBA) | ▷ | p. 91 |
| **C** | アクティブ レーン キープ | ▷ | p. 35 |
| | 交差点アシスト | ▷ | p. 95 |
| | 警告とブレーキ アシスト (WBA) | ▷ | p. 91 |
| **D** | パークアシスト | ▷ | p. 192 |
| **E** | アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) | ▷ | p. 39 |
| | アクティブ レーン キープ | ▷ | p. 35 |
| | 警告とブレーキ アシスト (WBA) | ▷ | p. 91 |
| **F** | ナイト ビュー アシスト | ▷ | p. 181 |
| **G** | パークアシスト | ▷ | p. 192 |
| **H** | アクティブ レーン キープ | ▷ | p. 35 |
| | レーン チェンジ アシスト | ▷ | p. 266 |
| | 交差点アシスト | ▷ | p. 95 |
| **I** | 足動作でリヤ リッドを開く | ▷ | p. 255 |




## 運転席

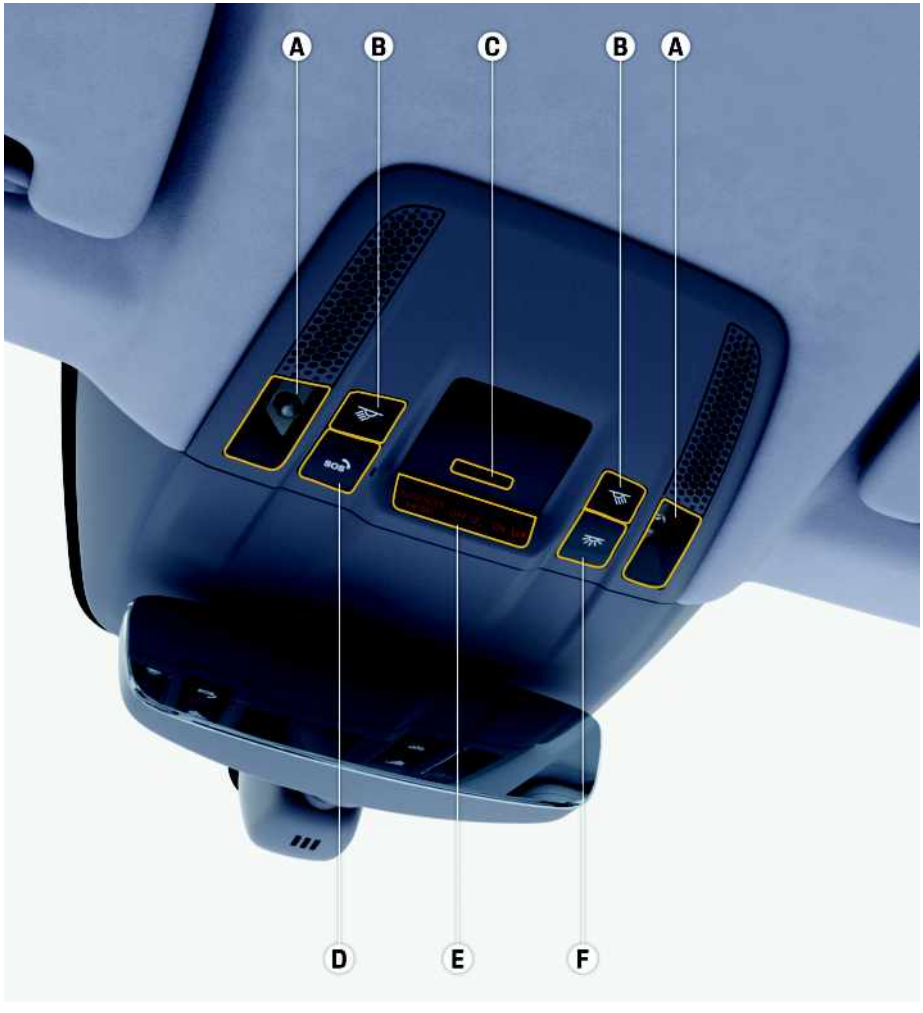
| | | |
|---|---|---|
| **A** | ドア オープナー | ▷ p. 120 |
| **B** | メモリー ボタン<br>パーソナル設定 | ▷ p. 196 |
| **C** | セントラル ロッキング ボタン | ▷ p. 120 |
| **D** | パワー ウィンドウ | ▷ p. 57 |
| **E** | ライト ボタン | ▷ p. 244 |
| **F** | オーバーヘッド コンソール | ▷ p. 23 |
| **G** | ドア ミラーの調整 | ▷ p. 236 |
| **H** | 電源ボタン | ▷ p. 134 |
| **I** | ステアリング ホイール調節 | ▷ p. 107 |
| **J** | シート調節 | ▷ p. 98 |

# 運転席



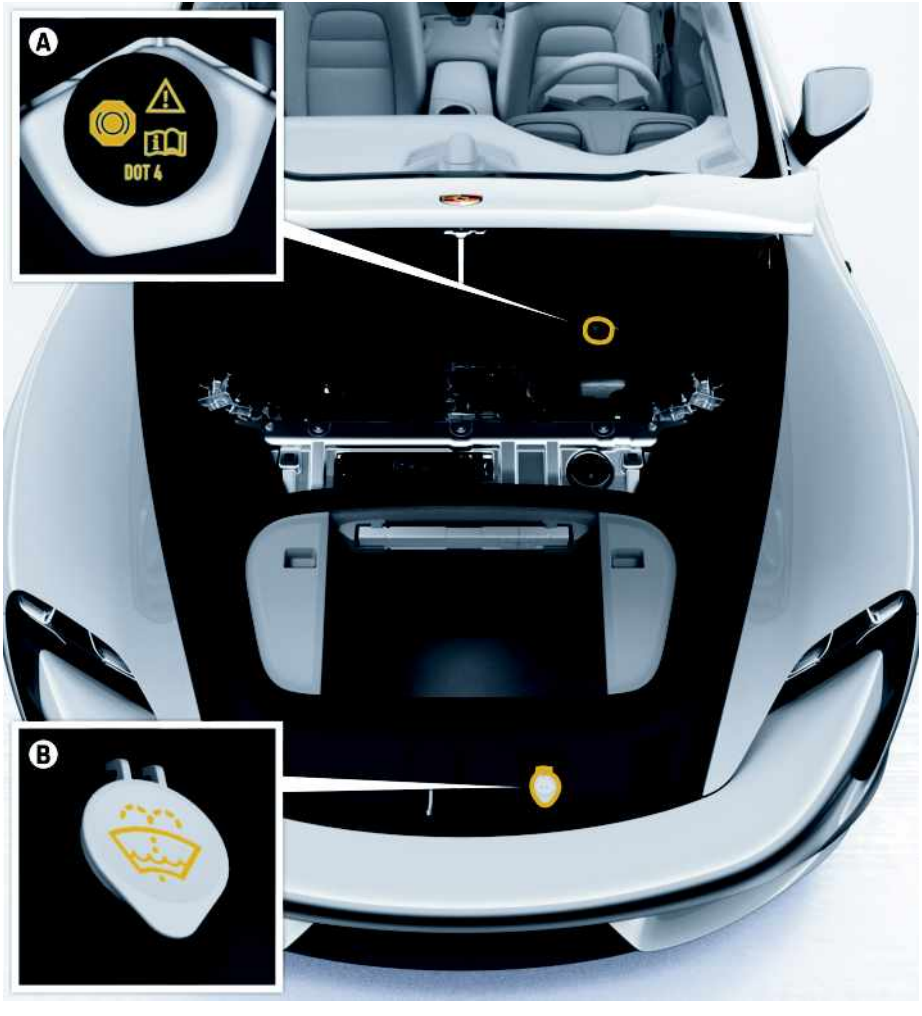

## 運転席


**A** 方向指示灯およびハイ ビーム ヘッドライト ▷ p. 244
**B** ボイス コントロール、インフォテインメント、回生レベル ▷ p. 45
**C** インストルメント クラスター ▷ p. 45
**D** 電話コントロール、インフォテインメント、インストルメント クラスター ▷ p. 45
**E** フロントウィンドウ ワイパー ▷ p. 208
**F** セレクター レバー ▷ p. 134
**G** シャーシおよびアシスタンス設定
**H** スポーツ クロノ ストップウォッチ ▷ p. 113
**I** ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) ▷ p. 223
**J** 自動エア ベント ▷ p. 60
**K** グローブ ボックス ロック ▷ p. 146
グローブ ボックスのエアバッグの作動停止 ▷ p. 71
**L** フロント助手席ディスプレイ ▷ p. 229
**M** クルーズ コントロール ▷ p. 80
アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) ▷ p. 39
レーン キープ アシスト ▷ p. 264
**N** モード スイッチ ▷ p. 281
**O** エレクトリック パーキング ブレーキおよびパーキング ロック ▷ p. 134
**P** センター コンソールのコントロール パネル ▷ p. 117
**Q** ハザード ライト スイッチ ▷ p. 244
**R** 灰皿、カップホルダー ▷ p. 116
**S** カップホルダー ▷ p. 75
**T** アームレスト、小物入れ ▷ p. 146




## オーバーヘッド コンソール

**A** 読書灯 ▷ p. 55
**B** インテリア ライト / 読書灯用ボタン ▷ p. 55
**C** インテリア ライト (コントロール パネルのライト) ▷ p. 55
**D** SOS ボタン ▷ p. 279
**E** 助手席エアバッグ OFF/ON 警告灯 ▷ p. 71
**F** インテリア ライト用ボタン ▷ p. 55




# 給油口

**A** ブレーキ フルード ▷ p. 207
**B** ウォッシャー液 ▷ p. 59

# 初走行

**⚠ 危険** 高電圧システムの不正な取り扱い

高電圧車両エレクトリカル システムの電圧および高電圧バッテリーは非常に危険です。 損傷した高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリー、パワー エレクトロニクスまたはエアコン コンプレッサーに触れると致命的な感電を引き起こすことがあります。

エレクトリカル システムのすべての構成部品は、警告ステッカーでマーキングされています。 高電圧ケーブルはオレンジ色です。

- 高電圧車両エレクトリカル システム、オレンジ色の高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリー、パワー エレクトロニクスまたはエアコン コンプレッサーの作業は実施しないでください。
- オレンジ色の高電圧ケーブルを、損傷したり、高電圧車両エレクトリカル システムから取り外したり、切り離したりしないでください。
- 事故の後など、損傷したエレクトリカル システムの部品に触れないでください。
- 高電圧バッテリーを取り外さないでください。

電気自動車に関する安全性関連の問題の詳細：

▷ 「ドライビング プレジャーはそのままに、安全性を向上」の章（5ページ）を参照してください。

## 電気自動車の運転

**⚠ 警告** 人と物に対するリスク

車両を適切に駐車しなかった場合、車両が不意に動き出して人や物に危害を与える恐れがあります。

- 車両を離れる前に電動パーキング ブレーキ (P) を作動させ、シフト ポジションを P に入れます。

電気自動車は、内燃エンジン搭載車と同様に運転できます。

2 つの駆動タイプの主な違いは以下のとおりです。

- 電気自動車は電動モーターの駆動によって走行します。
- 回生ブレーキはエネルギー回収 (回生) 用に設計されており、車両の走行可能距離を伸ばします。
- 適切な充電器を使用して高電圧バッテリーを充電する必要があります。

▷ 「充電」の章（147ページ）を参照してください。

## 車両のロック解除

車両装備によっては、キーを使用して、またはキーではなくコンフォート アクセスを使用してロック解除できます。

車両がロック解除されると、車両は走行準備が整った状態になります。

**インフォメーション**

- キーを使用するのは、車両が視界に入っている時だけにしてください。

車両のドアは、キーの 🔓 ボタンを押すことでロック解除できます。

コンフォート アクセスでは、キーが車両に接近するとすぐに車両がロック解除されます (国と装備によって異なります)。

**図 2：コンフォート アクセスによるドアのロック解除**

詳細情報： 120ページの 「セントラルロッキング」の章を参照してください。

## シフト ポジション

シフト ポジションを変更するときは、ブレーキ ペダルを踏みながら行う必要があります。

電気自動車の走行準備が整うと、シフト ポジションと締結ギヤが表示されます。

▷ 「シフト ポジション」の章（134ページ）を参照してください。

以下のシフト ポジションが選択できます。

**図 3 : パーキング ロックに入れる**

– 前進するには、シフト ポジション D を選択します。
– 車両のドライブトレインへの動力供給を中断するには、シフト ポジション N を選択します。
– 後退するには、シフト ポジション R を選択します。
– 車両を駐車した後は、シフト ポジション P を選択します。

### 電気自動車の E-Sound

✓ 車両が 20 km/h 未満の速度で走行している。

**⚠ 警告** 電気自動車の低減された運転音

法規に従って E-Sound を ON にした場合でも、電気自動車は運転音をほとんど発生させないため、他の道路利用者にはそれが聞こえない可能性もあります。 そのため、特に交通量が少ない地域では、クリーピング時や駐車時に事故の危険性があります。

▸ 運転中は特に注意してください。

電気自動車には E-Sound システムが搭載されています。合成された E-Sound は法律等の基準によって定められ、車両の存在を歩行者に警告するために耳に届く音として設計されています。E-Sound システムは法律で義務付けられているため、OFF にすることはできません。

### 電気自動車の移動挙動

クリープ機能により、シフト ポジション D または R が選択されているときにブレーキ ペダルを放すと、車両は自動的に停止状態から移動を開始します。

**インフォメーション**

走行ポジションに入れると車両は移動 (クリープ) します。意図しないクリープを防止するため、ブレーキを離すのは移動するときだけにしてください。

### 高電圧バッテリーの充電

**⚠ 危険** 不適切な充電

間違った充電プロセス、一般的に適用可能な安全上の注意事項の非遵守、高電圧バッテリーの不適切な取り扱いは、感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因となります。

▸ 車両を始動する前に、車両充電ケーブルを外し、カバーおよび充電ポート リッドを閉じ、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。
▸ 高電圧バッテリーの充電時は、必ず規定の順序を遵守してください。充電プロセス中は、電気ソケットから車両充電ケーブルを外さないでください。充電が終了した後に電気ソケットから車両充電ケーブルを切り離してください。
▸ ポルシェ充電装置の取扱説明書の安全に関する指示を参照してください。
▸ 充電プロセス中は車内または車両の作業を実施しないでください。
▸ 両方の充電ポートで同時に車両を充電しないでください。

**⚠ 危険** 不適合または損傷した電気ソケットおよび車両充電ケーブル

不適合または損傷した電気ソケットと車両充電ケーブルの使用、および高電圧バッテリーの不適切な取り扱いは、感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因とな

ります。

- 電気自動車の高電圧バッテリーの充電には、メーカーにより点検および承認された車両充電ケーブルのみを使用してください。
- 走行する国で適切な充電装置を設置してください。
- 車両充電ケーブルを接続する電気ソケットの取り付けは、必ず専門家が行ってください。
- 損傷した、または汚れた電気ソケットに、車両充電ケーブルを接続しないでください。
- 損傷した車両充電ケーブルを使用しないでください。
- 延長ケーブル、ケーブル リール、電源タップ、またはトラベル アダプターを使用しないでください。
- すべての電子部品に対し、改造や修理を行わないでください。
- 電気ソケットおよびプラグ接続は、水、湿気およびその他のフルードや液体を避けてください。
- 充電ソケットの汚れや氷、雪を、鋭いものまたは先が尖ったもので取り除かないでください。
- 充電ソケットが汚れている場合は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- 車両の充電ポートに異物を挿入しないでください。

**⚠ 警告** 固定されていない車両充電ケーブル

固定されていない、または固定方法や固定位置が正しくない車両充電ケーブルは、ブレーキ時や方向転換時、または事故発生時に飛び出して乗員を危険にさらす可能性があります。

- 車両充電ケーブルを車室内 (シートの上や前など) に置いたり、固定しない状態で輸送したりしないでください。
- 車両充電ケーブルは、必ずラゲッジ コンパートメントの充電バッグまたはラゲッジ コンパートメントの専用の小物入れに保管してください。

**知識**

電源の過電圧により、充電装置および車両が損傷する恐れがあります。

- 雷雨のときは、車両充電ポートを使用して高電圧バッテリーを充電しないでください。
- 雷雨発生時には、可能なら充電装置を主電源装置から切り離します。

充電にはポルシェより提供および承認された充電機器の使用をお勧めします。高電圧バッテリーは、ポルシェ充電ドックまたは基本的なウォール マウントを使用して充電できます。

高電圧バッテリーは、交流 (AC) または直流 (DC) で充電できます。

– 高電圧バッテリーの充電には、家庭用および工業用電気ソケットまたは公共の充電ステーションにおける交流 (AC) が使用できます。
– 公共の充電ステーションでは、直流 (DC) での急速充電が可能です。 これにより、充電時間が大幅に短縮されます。

充電ポート リッドは、車両の装備に応じて手動または電動で作動します。

▷ 「充電」の章 (147ページ) を参照してください。

一部の国では、ポルシェ充電サービスをポルシェ コネクト アプリ経由で使用できます。

▷ 「ポルシェ コネクト」の章 (220ページ) を参照してください。

## 走行可能距離と充電スケジュール

**図 4 : 走行可能距離表示**

電気自動車の走行可能距離は、以下のディスプレイに表示されます。

– インストルメント クラスター。
– セントラル ディスプレイ。

**インフォメーション**

ルート案内作動中は、ナビゲーション システムがルートに関する情報をルート モニターに表示します (交通渋滞や充電ステーションなど)。

以下の要因が電気自動車の走行可能距離に影響を与える可能性があります。

– 高電圧バッテリーの現在の充電レベル。
– 現在の走行スタイル。
– 高電圧バッテリーの現在温度。たとえば、温度が低いと走行可能距離が短くなる場合があります。
– 坂道や速度制限などを含む、ルート特性。
– 現在 ON になっている車両機能による電力消費。

▷ 「エアコン システム Advanced Climate Control (2-/4- ゾーン エアコン)」の章（ 60ページ）を参照してください。

### 電気自動車の走行可能距離を向上させる

走行可能距離を向上させるためには、以下の点に注意してください。

– 予測運転と回生ブレーキにより、エネルギー回収の効果を高めることができます。
– 不要な荷物を車内に携行しないようにしてください。車両の重量が増えすぎると、電力の節約効果が低減します。
– ウィンドウを閉じて走行することにより、車両の抵抗が減少します。
– タイヤ空気圧が正常であることを確認してください。適切なタイヤ空気圧により、車両の転がり抵抗が減少します。
– 車両機能の使用を限定することにより、電力を節約効果が増大します。

▷ 「タイヤおよびホイール」の章（ 156ページ）を参照してください。
▷ 「エアコン システム Advanced Climate Control (2-/4- ゾーン エアコン)」の章（ 60ページ）を参照してください。

### 電気自動車の回生

**⚠ 警告** 回生の不適切な使用

回生は、エネルギー回生のみに使用されるシステムです。 ドライバー アシスタンス システムとともに回生レベルを使用する場合、ドライバー アシスタンス システムの制御動作が常に優先されます (表示に関係なく)。 これはドライバー アシスタンス システムではないため、ドライバー アシスタンス システムのタスクを引き継ぐことはできません。

▶ 回生の減速効果を距離制御システムとして使用しないでください。
▶ いつでもブレーキをかけることができるように準備し、前走車と安全な車間距離を保ってください。
▶ より大きな制動力を得る、または車両が停止するように制動するには、必要に応じてブレーキ ペダルを踏みます。

**⚠ 警告** 自動オーバーラン回生が制限されているか利用できない

最大オーバーラン回生は制限されています。

センサーの検出能力は、汚れ、悪天候 (雨、雪、氷、霧、水煙) および好ましくない道路状況 (緩い砂利、反射物) にある場合、損なわれる可能性があります。 前方の車両が適切に検出されないか、まったく検出されない場合があります。

自動オーバーラン回復 (**自動**設定) が使用できない場合 (たとえば、センサーが汚れている場合)、この影響に関するメッセージがインストルメント クラスターに表示されます。

▶ 視界が悪い場合や路面状態が悪い場合には、自動オーバーラン回生を使用しないでください。

回生モードは車両のインストルメント クラスターを使用して設定できます。

▷ 「インストルメント クラスター」の章（ 45ページ）を参照してください。

– 走行中にアクセル ペダルを放すと回生が発生します。
– 回生モードによっては、アクセル ペダルを放すと電動モーターが車両に制動をかけます。電力を高電圧バッテリーにフィードバック (回生) することにより、車両の走行可能距離が向上します。
– 回生電力量は、ブレーキ ペダルを踏んだときに最大まで増加します。車両のホイール ブレーキを使用すると、制動時の応答性が向上します。
– 特定の状況では、回生電力の最大量が一時的に減少する場合があります。たとえば、高電圧バッテリーが完全に充電されている場合や、外気温が非常に高いまたは低い状況で車両が走行する場合です。
– 回生ブレーキ性能が低下すると、この影響に関するメッセージがセントラル ディスプレイに表示されます。

アクセル ペダルを放したときに発生する回生ブレーキの標準制動力は、低から高までのいずれかに設定できます。

▷ 「エネルギー回生 (回復)」の章（ 135ページ）を参照してください。

インストルメント クラスターのチューブ 2 の電力メーターには、現在の回生電力量が表示されます。

▷ 「インストルメント クラスター」の章（ 45ページ）を参照してください。

現在のトリップの合計回生電力量と、これまでの走行またはトリップの回生電力量を、セントラル ディスプレイに表示することができます。

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（ 223ページ）を参照してください。

### 高度なオート エアコン (2 ゾーン / 4 ゾーン オート エアコン コントロール) の設定

**知識** エア ベントを損傷する恐れがあります

- エア ベントに物 (携帯電話クレードルや差し込み式のエア フレッシュナーなど) を挟まないでください。
- 電動エア ベントは、タッチ ディスプレイでのみ調整できます。
- エア ベントの電動調整を妨害しないでください (スラットの動きを妨げるなど)。

ダッシュボードのフロント エア ベントは、セントラル ディスプレイで設定します。 センター コンソールのリヤ エア ベントは、後部のタッチ ディスプレイで設定します。

**図 5 : エアコン コントロール パネル**

▷ 「エアコン システム Advanced Climate Control (2-/4- ゾーン エアコン)」の章（ 60ページ）を参照してください。

### 車両を離れる際のロック

車両装備によっては、キーを使用して、またはキーではなくコンフォート アクセスを使用してロック解除できます。

詳細情報： 120ページの 「セントラルロッキング」の章を参照してください。

# トピック

以下のページでは各トピックが 50 音順で表示されています。

# アクティブ パーキング サポート

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。 ドライバーは常に適切な注意を払う責任があります。 このシステムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

- 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- 必要に応じて、ご自分で車両を制御してください。
- 安全に関する指示を遵守し、アシスタンス システム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

アシスタンス システムに関する情報 :

▷ 「パークアシスト」の章（ 192ページ）を参照してください。

**⚠ 警告** センサーの検出範囲の制限

センサーは周辺状況を完全には監視できません。 このエリア内では、人、動物、障害物は検出されないか、限られた範囲でしか検出されない場合があります。 怪我や損傷の危険があります。

- 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

**⚠ 注意** 不利な環境条件

不利な環境条件の場合、システムは制限されるか、利用できません。そのため、けがや損傷の危険があります。

- 適切な環境条件でのみシステムを使用してください。
- 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビング スタイルで運転してください。

**知識**

このシステムでは、縁石を越えて車両を誘導することがあるため、 車両のタイヤとリムが損傷する恐れがあります。

- 必要に応じて、車両をご自身でコントロールするか、駐車操作を中止してください。

**インフォメーション**

駐車アシスタンス システムの使用に関する国固有の法律を遵守してください。

## システム制限

**下記の場合、システムは使用できません。**

- バイク ラックが後部に取り付けられている場合。
- 車両が「リフト」レベルの場合。
- 上り勾配が 10% 超の場合。
- 急カーブの場合。

**下記の限られた範囲で、システムを使用できます。**

- 悪天候の場合 (雨、雪または氷)
- オフロード、舗装されていない道路、緩い砂利、傾斜した路面、またはわだちなどの通常と異なる路面の場合。

**システムは下記を検出できません。**

- 低い物体、細い物体、および突き出ている物体 (トレーラー ヒッチ、駐車しているトレーラーのドローバー、チェーン バリア、ポール、フェンスなど)。
- 検出領域より上にある物体 (駐車車両のバンパー、半開きのガレージ ドア、地面に接していない物体など)。
- 音波を吸収する、または音波を反射する表面や構造を備えた物体 (布、好ましくない状況における立体駐車場のポールや支柱など)。
- 検出領域にすばやく移動してくる物体 (他の通行者など)。
- 駐車場の盛り上がったスピード リミッター (スピード バンプなど) が障害物として認識される場合があります。
- 崖および堤防。

## 機能

システムは、適切な駐車スペースの検索を支援します。 システムは、駐車および発進の場合に必要なステアリングの動き、加速、およびブレーキの制御を想定しています。 システムは、センサーを使用して車両の周囲を監視します。 障害物またはルートを横切る通行者が検出された場合、システムがブレーキ介入を実行します。

**駐車スペース検索**

駐車スペース検索は以下の場合に機能します。

- 前進している場合。
- 駐車している車両までの距離が最大約 1.5 m の場合。
- 速度が 40 km/h 以下の道路に並行する駐車スペースの場合。
- 道路に直角な駐車スペースで、速度が最大 20 km/h の場合。
- 駐車している 2 台の車両の間の駐車スペース。

**駐車場**

駐車機能の作動条件 :

- 駐車スペースに道路に並行して後退駐車する場合。
- 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに後退駐車する場合。

– 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに前進駐車する場合。 車両の前部が既に駐車スペースにある場合でも、駐車操作を開始できます。

**発進**

発進機能は、車両よりも約 1 m 以上長い、道路に並行する駐車スペースから車両が前進する場合に機能します。

## 駐車スペース検索

### 駐車スペース検索の開始

**図 6 : アクティブ パーキング サポート**

A 駐車または発進を選択
B 駐車方向を選択

要件が満たされるとすぐに、駐車スペースの検索がバックグラウンドで開始されます。駐車スペースを通り過ぎてからディスプレイを作動した場合でも、駐車スペースを選択できます。

1. センター コンソール コントロール パネルの をタップします。
   **– または –**
   セントラル ディスプレイの ▸ **アシスト** ▸ **パークアシスト** ▸
   駐車スペース検索が表示されます。
2. 駐車している車両をゆっくり通過します。
3. セントラル ディスプレイの情報を確認します。
4. 駐車スペース検索は、最初は助手席側で作動します。

駐車する側を変更するには、対応する方向指示器 (左 / 右) を作動させます。
**– または –**
セントラル ディスプレイの該当するシンボル **A** をタップします。

5. 目的の駐車スペースを確認したら、車両を停止します。
   駐車スペースが見つかると、セントラル ディスプレイに青色のエリアで表示されます。 駐車する方向が複数ある場合、これらも表示されます。
6. ディスプレイの車両の前に矢印が表示されたら、車両をさらに前進させます。
   目的の駐車スペースに青色の車両が表示された場合にのみ、駐車操作を開始できます。
7. 駐車スペースを選択するには、セントラル ディスプレイに表示される目的の駐車方向での駐車スペースのシンボル **B** をタップします。

がセンター コンソール コントロール パネルで青色に点滅します。

### 駐車スペース検索の中止

▸ セントラル ディスプレイで をタップします。

検索は次の場合に自動的に中止されます。
– 車速が 45 km/h を超える場合。
– トランスミッション レンジ **R** が選択された場合。

## 駐車操作

### 駐車手順の開始

✓ 車両は停止している。
✓ ブレーキ ペダルが踏み込まれている。
✓ 駐車スペースがセントラル ディスプレイで選択されている。

1. ステアリング ホイールから手を放し、ブレーキ ペダルを踏み続けます。
2. センター コンソール コントロール パネルの をタップします。
   シンボルの色が青色に変わります。
3. ブレーキ ペダルから足をゆるめます。
   駐車手順が開始されます。
4. セントラル ディスプレイの情報を確認します。
   駐車操作を中止するには :
   ▹ 「駐車手順のキャンセル」の章 ( 33ページ) を参照してください。
   車両が目標位置に達すると、メッセージが表示されます。
   トランスミッション レンジ **P** を選択し、パーキング ブレーキをかけます。
5. 車両のコントロールを行ってください。
   ドライバーが車両のコントロールを行わない場合、メッセージが表示され、作動待機が OFF になります。

### 発進手順の開始

✓ 作動準備が整っている。
✓ 車両がまだ動いていない。
✓ ブレーキ ペダルが踏み込まれている。
✓ トランスミッション レンジ **D** が選択されている。

1. ステアリング ホイールから手を放し、ブレーキ ペダルを踏み続けます。
2. センター コンソール コントロール パネルの をタップします。
   **– または –**
   セントラル ディスプレイの ▸ **アシスト** ▸ **パークアシスト** ▸
3. 発進する方向を変更するには、対応する方向指示器 (左 / 右) を作動させます。
   **– または –**
   セントラル ディスプレイの該当するシンボルをタップします。

がセンター コンソール コントロール パネルで青色に点滅します。

4. センター コンソール コントロール パネルの をタップします。
5. ブレーキ ペダルから足をゆるめます。
   発進手順が開始します。
6. セントラル ディスプレイの情報を確認します。
   駐車操作を中止するには：
   ▷ 「駐車手順のキャンセル」の章（33ページ）を参照してください。
   車両が目標位置に達すると、メッセージが表示されます。
   衝突の恐れのない発進ができるよう、車両は駐車スペースから十分離れた場所まで走行します。
7. ご自分で車両の制御を行ってください。

### 駐車手順のキャンセル

**一時的に駐車を中止する場合：**

▸ センター コンソール コントロール パネルの をタップします。

**- または -**

▸ ブレーキ ペダルを踏み、車両を停止させます。

その後、駐車操作を続行できます。

✓ ブレーキ ペダルを踏んでいない。

1. 再びブレーキ ペダルを踏み続けてください。
2. センター コンソール コントロール パネルの をタップします。
3. ブレーキ ペダルから足をゆるめます。
   駐車操作が再開されます。

**以下の操作を行うと駐車操作は終了します。**

▸ ステアリングを操作する。
**– または –**
▸ トランスミッション レンジを変更する。
**– または –**
▸ パーキング ブレーキをかける。
**– または –**
▸ ドアを開ける。
**– または –**
▸ アクセル ペダルを踏み込んでください。

駐車操作を再度開始する必要があります。 この場合、発進中に作動待機を OFF にしてから再び ON にします。

## 操作アシスト

### 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。 ドライバーは常に適切な注意を払う責任があります。 このシステムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

▸ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
▸ 必要に応じて、車両をご自分で制御してブレーキをかけてください。
▸ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンス システム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

その他のアシスタンス システムに関する情報：
▷ 「アクティブ パーキング サポート」の章（31ページ）を参照してください。
▷ 「パークアシスト」の章（192ページ）を参照してください。

### システム制限

– バイク ラックが後部に取り付けられている場合、システムは使用できません。
– システムが走行経路内の障害物を検出するためには、障害物は高さが約 10 cm 以上で、静止している必要があります。
– アクティブ パーキング サポートを使用している間、システムは利用できません。

### 機能

操作アシストは、センサーを使用して車両の後方および側面のエリアを監視します。 静止している障害物が検出された場合、システムはブレーキをかけて車両を停止させます。

このシステムは以下の条件で利用できます。

– トランスミッション レンジ R が選択されている。
– 画面の シンボルが作動している。
– 車両速度が最大 10 km/h である。

### 操作アシストによる自動ブレーキ操作後：

▸ ブレーキ ペダルまたはアクセル ペダルを踏んで、車両のコントロールを行います。
操作アシストは一時的に無効になりますが、ON の状態が保持されます。

### 操作アシストの ON/OFF の切り替え

▸ ▸ アシスト ▸

操作アシストが ON または OFF になります。

### 操作アシストを一時的に OFF にする

▸ リバース カメラのタッチ ディスプレイにある ボタンをタップします。

リバース カメラ タッチ ディスプレイの ボタンが青色に点灯します。 操作アシストは、現在の操作状況に対して OFF になります。

走行速度が 10 km/h を超える場合、操作アシストは自動的に再び ON になります。

# アクティブ レーン ガイダンス[1]

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 集中力の低下

アクティブ レーン キープは、高速道路やよく整備された郊外道路でのみ使用することを想定して設計されています。 アクティブ レーン キープを使うとより快適に運転できますが、無謀な運転は避けてください。 車線を守ることおよび交通状況を常に正しく判断することは、ドライバー本人の責任です。 次の状況が発生する可能性があります。

- 急ブレーキ時には、ステアリング介入による補正が行われない場合があります。
- ドライバーの積極的なハンドル操作中には、ステアリング介入による補助が制限されたり、まったく作動しなかったりする場合があります。
- システムは周辺状況を完全には検出できません。この場合、ステアリング介入が作動しないことがあります。
- システムは周辺状況を誤って解釈することがあります。この場合、不必要なステアリング介入が生じる可能性があります。
- わだち、カーブの多い道、坂道または横風などがあると、ステアリング介入だけでは、車両を走行車線に保つには不十分な場合があります。 このような状況では、ドライバーが積極的にステアリングを行わなければなりません。
- 車線の分岐点、高速道路の出口、建設現場または市街地といった不確実な道路状況においては、システムが想定通りに作動しない可能性があります。 ステアリング介入が行われなかったり、意味をなさなかったりすることがあります。
- システムは、不必要なまたは予期せぬ状況で作動したままとなったり、突然停止モードに切り替わったりする可能性があります。

- 常にステアリング ホイールを保持し、いつでもハンドルを切れる状態でいてください。
- 常にドライバー本人が運転操作 (ステアリング操作、加速または減速) を引き継げる状態でいてください。 インストルメント クラスターに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。
- 十分注意して運転してください。
- 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- 道路状況と天候に応じて適したスピードで運転してください。

**⚠ 警告** 車両周辺の検出の制限

センサー (カメラ、レーダーなど) が検出できるエリアは、影響を及ぼすさまざまな要素 (降雨、降雪、凍結、激しい水しぶき、対向車両のヘッドライト、汚れ、損傷など) により制限される場合があります。 この場合、ステアリング介入が作動しなくなったり、予期しないステアリング介入が行われたりすることがあります。

- 十分注意して運転してください。
- 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- フロント カメラ レンズおよびフロント レーダーは定期的に洗浄し、付着した雪や氷は除去してください。
- センサーを覆わないでください。
- カメラ レンズ前面のフロント ウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

**⚠ 警告** 予期しないシステムの挙動

ある状況では、ステアリング介入機能による補正では車線を守るのに十分ではありません。さらに、機能は、いつでも作動中から停止中に切り替わることがあります。

- 十分注意して運転してください。
- ステアリング ホイールは必ず両手で握ってください。

**⚠ 警告** 警告メッセージを伴うシステムの誤作動

システム エラーが発生した場合、アクティブ レーン キープは自動的に OFF になることがあります。 ステータス表示が消えて、インストルメント クラスターに警告メッセージが表示されます。

- 十分注意して運転してください。
- ステアリング ホイールは必ず両手で握ってください。
- 常にドライバー本人が運転操作 (ステアリング操作、加速または減速) を引き継げる状態でいてください。
- インストルメント クラスターに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。

## システム制限

**⚠ 警告** 事故につながる危険がある運転状況

システムがアクティブ レーン ガイダンスを保証できない運転状況がいくつかあります。従って、システムを

1. 利用可否は国によって異なります

使用する際に事故が起きる危険があります！

これらには、以下の運転状況が含まれます。

- 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合
- スポーツ走行中
- 悪天候 (霧、雪、または豪雨など)
- (車線表示が消えているか不明瞭な道路を含む) 路面状態が悪い場合
- 道路工事区間
- 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合
- 市街地での走行
- カーブの多い道および細い郊外の道での走行
- 分岐点や料金所などの不安定な交通状況
- オフロード走行中や未舗装または滑りやすい道路を走行中の場合

システムは、常に、車両を車線の中央部分または車列最後尾の中央位置に保持できるわけではありません。

アクティブ レーン ガイダンスは、人や動物、車線を横切る車、または同じ車線の対向車には反応しません。センサーはこれらを障害物として検知しません。

- 特定の状況では、 **絶対に**アクティブ レーン ガイダンスを使用しないでください。
- アクティブ レーン ガイダンスは、路上にある障害物を回避するよう車両を誘導する目的で使用しないでください。

### インフォメーション

システムに不具合がある場合、またはレーン キープ ON がこの章に記載のとおりに作動しない場合には、アシスト機能を使用しないでください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

## 作動原理

レーン キープ ON は、フロント カメラならびにフロントおよびリヤ レーダーを使用して車両の周囲を連続的に監視し、車両が選択した車線に留まるようドライバーを支援します。

- システムが有効の場合、運転手は車線内での希望する位置を設定できます。 ドライバーが車両を希望する位置に数秒間保持すると、システムは車線中央維持機能を終了し、選択したオフセット位置での走行を開始します。 システムが停止するか OFF にされると (例：方向指示器を作動、車線変更、ブレーキ作動)、位置の変更は再度リセットされます。
- システムは、(車両など) 他の物体よりも車線区分線を常に優先します。 このため状況によっては、システムを作動させるのに、ドライバーが車両を車線の中央の位置にしなければならない場合があります。 ドライバーが、システム作動直後にステアリング ホイールの強い動きを感じることのないよう、車線中央以外の場所ではシステムが作動しないようになっています。
- ドライバーには、路肩に移動して緊急車両のために車線を空ける責任があります。 このような状況では、ドライバーは、システムを OFF にするか、ステアリング ホイールを使って無効にすることができます。

### 方向指示器が作動したときの挙動

方向指示器を作動させると、ドライバーが車線変更しようとしていることをシステムに警告します。 したがって、この場合、レーン キープ ON はステアリングに介入しません。

一方で、レーン チェンジ アシストは、車線変更する際に方向指示器も作動させてドライバーを支援します。

▷ 「レーン チェンジ アシスト (LCA)」の章（266ページ）を参照してください。

### ステアリングが操作されない場合の挙動

ドライバーのステアリング操作は、レーン キープ ON が作動中の場合に監視されます。 ステアリングが操作されない場合 (ステアリング ホイールを握っていない、または軽く手を置いているなど)、インストルメント クラスターに警告メッセージが表示されます。 システムは、ステアリング操作を行うようドライバーに促します。 ドライバーがメッセージに応じて操作しない場合、システムは停止モードに切り替わります。 緊急停止機能が作動中の車両の場合：[1] 車両は停車するまで減速できます。

1. 一部の国で利用可能です。

## ディスプレイの要素

**図 7 : アクティブ レーン キープ ディスプレイ**

A　車線区分線の表示
B　アクティブ レーン キープ ステータス ディスプレイ

### ステータス表示シンボル

| シンボル | 意味 |
|---|---|
| 表示なし | アクティブ レーン キープが OFF になっています。 |
| | アクティブ レーン キープは ON になっていますが、停止しています。 |
| | アクティブ レーン キープは ON になっており、作動しています。 |
| | アクティブ レーン キープおよびレーン キープ アシストは ON になっていますが、両方とも停止しています。 |
| | アクティブ レーン キープおよびレーン キープ アシストは ON になっており、両方とも作動しています。 |
| | アクティブ レーン キープは作動しており、レーン キープ アシストは停止しています。 |
| | アクティブ レーン キープは停止しており、レーン キープ アシストは作動しています (例 : ACC ステータスが「走行可能」の場合)。 |

## アクティブ レーン キープの ON/OFF を切り替える

アクティブ レーン キープは、アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) または Porsche InnoDrive (PID) が有効化されている場合にのみ作動させることができます。 アクティブ レーン キープは、ACC または PID が有効化されているときに ON/OFF を切り替えることができます。 インストルメント クラスターおよびセントラル ディスプレイのコントロール レバーを使用して ON/OFF を切り替えることができます。

**図 8 : ドライバー アシスタンス システムのレバー**

**アクティブ レーン キープの ON/OFF を切り替える**

1. コントロール レバーのボタン **S** を押してください。
   ドライバー アシスト システムのオプション メニューがインストルメント クラスターに表示されます。
2. ステアリング ホイールのロータリー ノブを使用して**レーン キープ ON** を選択し、ノブを押して確定します。

**- または -**

▸ ▸ **アシスト** ▸ **アクティブレーンキープ**

**インフォメーション**

ブレーキを踏むかステアリングを操作して無効にすることで、いつでもレーン キープ ON の作動を停止できます。

## 追加情報

### レーン キープ アシストとレーン キープ ON の比較

| ポジション | レーン キープ アシスト | アクティブ レーン ガイダンス | レーン キープ アシスト + レーン キープ ON |
|---|---|---|---|
| ステータスをアイコン表示 | | | |
| 車線中央に誘導 | 無 | 可 | 可 |
| 車線逸脱警告 | 可 | 無 | 可 |
| ステアリング介入により車線逸脱を防止 (車道外側線ガイダンス) | 可 | 無 | 無 |
| 速度範囲 | 約 65~250 km/h (40~156 mph) | 約 0~210 km/h (0~130 mph) | 詳しくは各機能の説明を参照 |
| ACC が作動していることが必要か | 無 | 作動中の ACC と連動する形でのみ作動 | 詳しくは各機能の説明を参照 |

# アダプティブ クルーズ コントロール (ACC)[1]

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。 ドライバーは、システムが作動している場合でも安全な車間距離を保ち、適切な速度で走行するなどして安全運転に努めてください。 このシステムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

- 十分注意して運転してください。
- システムによる減速が不十分な場合には、フットブレーキを使用して直ちに車両を減速させます。
- 常に車両を自分でコントロールできるようにしてください。

**⚠ 警告** 危険な交通状況や路面状態が悪い状況

現在の交通状況では前走車との安全な距離を保って走行できない場合や一定の車速で走行できない場合、このシステムを使用すると事故を起こす危険があります。

車線の分岐点、高速道路の出口、または道路工事中のエリアを走行する場合、車両は設定速度まで加速できます。

- 道路工事が行われている交通量の多い場所、市街地、私道または野道、あるいは交通静音化対策地域では、システムを使用しないでください。
- 車線の分岐点、高速道路の出口、または道路工事が行われている地域では、システムを一時的に OFF にしてください。

**⚠ 警告** 覆われたレーダー センサー

レーダー センサーが覆われると、システムの機能に悪影響が及んだり、無効になったりする可能性があります。

- レーダー センサーは常に汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。

**図 9 : レーダー センサーの取り付け位置**

**⚠ 警告** レーダー センサーに対する損傷

駐車時の衝突など、バンパー、ホイール ハウジング、アンダーボディへの衝撃や損傷により、センサーが作動することがあります。これは、アダプティブ クルーズ コントロールの性能を損なう可能性があります。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**⚠ 警告** アクセル ペダルに足が置かれている

アクセル ペダルに足が置かれている場合、システムが自動的にブレーキをかけることはありません。 足をアクセル ペダルに置くと、クルーズ コントロールおよび車間距離制御が無効になることがあります。

- システムが作動している場合は、アクセル ペダルから足を離してください。

**⚠ 警告** システムによる自動ブレーキ中の制動力不足

システムが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合は警告音が鳴り、インストルメント クラスターに警告シンボルが表示されます。この場合、システムのブレーキ制動力では衝突を回避するのに十分ではありません。

- こうした場合はすぐにブレーキをかける必要があります。

1. 利用可否は国によって異なります

## システム制限

**⚠ 警告** 路面状態や天候が悪い状況

雨、雪、氷、霧、緩い砂利、水しぶきなどでレーダー センサーの視界が妨げられる場合があります。前走車を正しく検出できないことや、全く検出できなくなることがあります。

氷、豪雨、ガードレール、トンネルの入り口などの反射物は、レーダー センサーの機能に悪影響を及ぼす可能性があります。インストルメント クラスターに、システムが使用できないことを示すメッセージが表示されます。

- ▸ このような状況ではシステムを使用しないでください。

**⚠ 警告** 検出されない車両または物体

レーダー センサーは、車両の前方の狭い円錐形の領域を検出します。 その結果、以下の状況では、車両または物体が時間内に検出されないか、検出できない場合があります。

- – 車線変更、または割り込みをする車両の場合
- – 投影面積が小さな車両、または幅の狭い車両の場合
- – コーナーへの進入および脱出時
- – 停車中の車両の場合
- – オーバーハングの長い車両の場合
- – 歩行者、自転車、動物の場合
- – 道路上に障害物がある場合
- – 対向車および交差車両の場合
- ▸ 必要に応じて適切な運転をし、ブレーキをかけてください。
- ▸ 細心の注意を払って運転し、交通状況と車両の周囲に常に注意を払ってください。

### 車線変更または割り込みをする車両、および幅の狭い車両

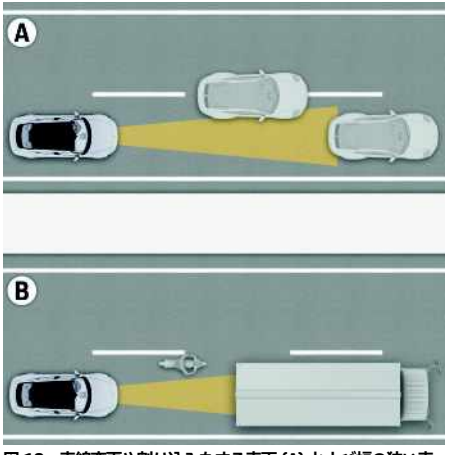



**図 10 : 車線変更や割り込みをする車両 (A) および幅の狭い車両 (B)**

車線変更や割り込みをする車両は、完全に同一走行車線に入るまで検出されません。
幅の狭い車両は検出できないか、または検出のタイミングが遅れます。

### コーナリングおよび停止中の車両

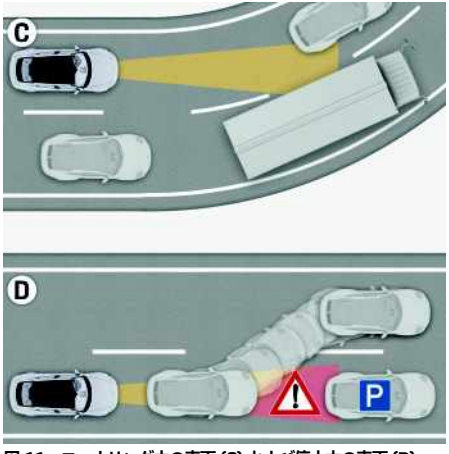



**図 11 : コーナリング中の車両 (C) および停止中の車両 (D)**

コーナーにさしかかったときやコーナーから出るときは、前走車を検出できなかったり、検出するタイミングがかなり遅くなったりする場合があります。また、システムが隣の車線を走行する車両に反応する場合もあります。
前走車が車線変更した後や渋滞の終わりなど、レーダー センサーの監視エリアに突然現れる停止中の車両や障害物を、アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) は限定的にしか検出できません。

### オーバーハングの長い車両

**図 12 : オーバーハングの長い車両**

木材運搬トラックなどのオーバーハングの長い前走車の場合、レーダー センサーは車両の後部を検出することができなかったり、間違って検出することがあります。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▹ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

## 作動原理

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) を使用すると、前走車のいない道路を走行する場合に、アクセル ペダルを踏まなくても、
約 30 ～ 210 km/h (20 ～ 130 mph) の範囲で希望する速度と距離を維持したまま走行できます。
設定した速度よりも遅い車両を同一車線上に検出すると、ACC は既定の車間距離を自動的に維持します。 アダプティブ クルーズ コントロールは、前走車との車間距離が短くなるとブレーキをかけ、車間距離が長くなると加速します。
また ACC は、前の車両が停止すると自車両を減速して停止させ、前の車両が 15 秒以内に再び動き始めると自動的に運転を再開します。 それ以外の場合は、ドライバーが自動速度制御と車間距離制御を再開できます。

アクセル ペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。 保存した希望の速度と車間距離が保持され、アクセル ペダルを離すと復元されます。 車両の速度はブレーキをかけることでいつでも減速できます。 これにより、システムは停止状態に切り替わります。

## 各操作部

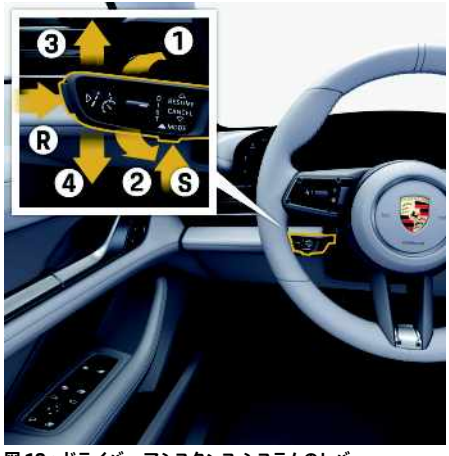



**図 13 : ドライバー アシスタンス システムのレバー**

**R** システムの ON/OFF を切り替え、オプション メニューを開く
**S** オプション メニューを開く (システムが ON の場合)
**1** 速度の設定 / 加速
**2** 設定速度を下げる
**3** 再開 : 制御を再開し、速度を設定する
**4** キャンセル : 制御を中断する

## ディスプレイの要素

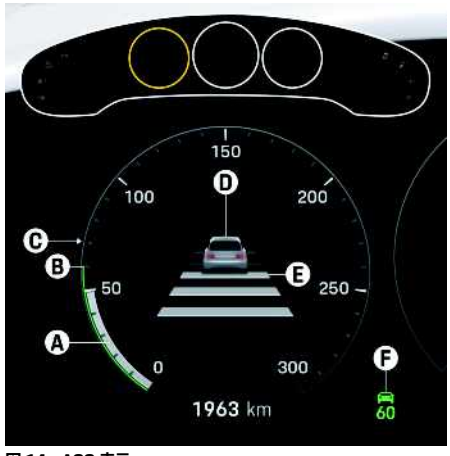



**図 14 : ACC 表示**

**A** 自車の速度
**B** 目標速度の設定
**C** 前走車の速度
**D** 検出された前走車
**E** 前走車との設定車間距離
**F** ステータス表示と目標速度

### ステータス表示シンボル

| シンボル | 意味 |
|---|---|
| | ACCは停止中です。 |
| | ACC は設定目標速度で停止中です。 |

| シンボル | 意味 |
|---|---|
| | ACC は設定目標速度で作動中です。 |
| | 目標速度が設定されている間に前方に車両が検出されました。クルーズ コントロール シンボルの代わりに車両シンボルが表示されます。 |

## 作動モード

### 停止状態

このモードは、スイッチを ON にした後や、ブレーキ ペダルを踏むかコントロール レバー (**キャンセル**) を押し下げて ACC を作動させると設定されます。

– ステータス ディスプレイ **F** はグレーです。
– 制御されていません。
– 設定されている目標速度および目標車間距離は保持されます。

### 作動

このモードは、速度を設定した後や制御を再開した後 (**再開**)、およびアクセル ペダルを踏んで一時的に制御を無効にした後に設定されます。

– ステータス ディスプレイ **F** は緑色です。
– 速度および前走車との車間距離が制御されます。

### 一時停止状態

このモードは、ACC が作動しているときにアクセル ペダルを踏むと設定されます。

– インストルメント クラスターに ACC の作動が停止していることを示すメッセージが表示されます。
– ステータス ディスプレイ **F** はグレーです。
– 制御されていません。
– 設定されている目標速度および目標車間距離は保持されます。
– アクセル ペダルを離すと、制御が再び作動します。

## ACC の ON/OFF の切り替え

常に、前回選択したシステムが ON になります。 ON になった時点では、システムは停止中になっています。 コントロール機能を作動させるには、最初にシステムを起動する必要があります。

**ACC を ON にする**

✓ ドライバー アシスタンス システムがまだ ON になっていません。

1. コントロール レバーの **R** ボタンを押します。
   ドライバー アシスト システムのオプション メニューがインストルメント クラスターに表示されます。
2. ACC をまだ選択していない場合は、ステアリング ホイールのロータリー ノブを使用して **ACC** を選択し、ノブを押して確定します。

ACC が ON になっていて、なおかつ**停止中**です。

**すでに作動中のドライバー アシスタンス システムから ACC への切り替え**

1. コントロール レバーの **S** ボタンを押します。
   ドライバー アシスト システムのオプション メニューがインストルメント クラスターに表示されます。
2. ステアリング ホイールのロータリー ノブを使用して **ACC** を選択し、ノブを押して確定します。

ACC が ON になっていて、なおかつ**停止中**です。

**インフォメーション**

作動したドライバー アシスタンス システムは、OFF にして作動待機が復元された後でも、再び作動します。

**ACC を OFF にする**

▸ コントロール レバーの **R** ボタンを押します。
設定速度目標が削除されます。
目標車間距離が保存されています。

## ACC の起動

✓ ACC が ON になっています。

1. アクセル ペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
2. コントロール レバーを上に短く押し (位置 **1**)、アクセル ペダルから足を離します。
   ACC が**作動しています**。

現在の走行速度が目標速度として設定されます。
現在の目標速度はステータス ディスプレイに緑色で表示され、より低速の車両が前方で検出されない限り自動的に維持されます。

## 目標速度の変更

設定目標速度は、コントロール レバーを押して変更できます。

✓ ACC が作動しています。

**速度を上げる**

▸ コントロール レバーを、次のように前方 (位置 **1**) に押します 。
– 短く押す = 1 km/h (1 mph) ずつ速くなります
– 押し続ける = 10 km/h (6 mph) ずつ速くなります

**速度を下げる**

▸ コントロール レバーを、次のように (位置 **2**) に引きます。
– 短く引く = 1 km/h (1 mph) ずつ遅くなります
– 引き続ける = 10 km/h (6 mph) ずつ遅くなります

設定目標速度は、スピードメーターの縁の外側の線で示され、ステータス ディスプレイ **F** に青色で表示されます。 設定目標速度に達すると、直ちにディスプレイが緑色に変わります。

## 設定車間距離の変更

前走車との車間距離は 5 段階に設定できます。 段階 3 をお勧めします。 車間距離は走行速度によって変わります。 車両が減速すると車間距離は短くなり、加速すると長くなります。

**図 15 : 目標車間距離の設定**

### 目標車間距離を長くする

- ロッカー スイッチ Z を上方向に短く押します。
  設定車間距離表示 E に別のセグメントが表示されます。

### 目標車間距離を短くする

- ロッカー スイッチ Z を下方向に短く押します。
  設定車間距離表示 E からセグメントが消えます。

**インフォメーション**

システム ディスプレイが作動していない場合、初めてロッカー スイッチ Z を押すと、目標距離が変更されず、ドライバー アシスタンス システムのメイン メニューが表示されます。

### 前走車との車間距離を表示する

| シンボル | 適した走行 | 120 km/h での距離 |
|---|---|---|
| | 流れに乗った高速走行 | 約 33 m (≙ 1 秒) |
| | 少し進んでは止まる交通状況での運転 | 約 47 m (≙ 約 1.4 秒) |
| | 「前走車との車間距離が 2 秒」相当 | 約 60 m (≙ 約 1.8 秒) |
| | 郊外道路での走行 | 約 73 m (≙ 約 2.2 秒) |
| | 交通量が少ない道路での走行 | 約 87 m (≙ 約 2.6 秒) |

## 速度および車間距離制御を一時的に無効にする

速度および車間距離制御は、アクセル ペダルを踏むと一時的に無効にできます。 これは、たとえば追い越し中に役に立ちます。

✓ ACC が作動しています。

1. アクセル ペダルを踏み込んでください。
   アクセル ペダルが踏まれている間、システムは**停止状態**になります。
2. アクセル ペダルから足を離してください。
   システムは**作動しています**。

## 速度および車間距離制御の中断と再開

この中断が原因で、システムは停止状態のスタンバイ モードに切り替わるので、手動で再び作動させる必要があります。

**制御を中断する**

- ブレーキ ペダルを踏んでください。
  – または –
- コントロール レバーを下に押します (キャンセル)。
  システムは停止状態です。 目標速度および目標車間距離の設定は保存され続けます。
  ステータス ディスプレイが緑色からグレーに変わります。

**インフォメーション**

停車時は、速度および車間距離制御はコントロール レバーを使用してのみキャンセルできます。

**制御の再開**

- コントロール レバーを上方向に短く押します (**再開**)。
  システムは**作動しています**。 目標速度および目標車間距離の設定が再度適用されます。

ステータス ディスプレイがグレーから緑色に変わります。

**インフォメーション**

コントロール レバーを短く押すことにより、車両が停止中でも ACC を作動させることができます。

## ブレーキによる車両停止と再発進

車間距離制御が作動している場合、前走車が停止すると、車両はシステムの制限内でブレーキをかけて停止します。

**インフォメーション**

車間距離制御の作動中、または車両が停止状態に維持されているとき、ブレーキ ペダルの感触が変化したり、油圧作動音が聞こえたりすることがあります。これはシステムの正常な作動です。故障ではありません。

### 自動再発進

**⚠ 警告** 障害物がある場合の発進

少し進んでは止まる交通状況下では、自車と前走車との間に障害物がある場合でも、車両は再発進する可能性があります。その結果、衝突するおそれがあります。

- この場合はすぐにブレーキをかけてください。

自動的にブレーキがかかり車両が停止した後、システムは 15 秒以内に自動的に再発進してドライバーを支援します。
インストルメント クラスターのメッセージは、車両の走行準備が完了していることを知らせてくれます。

### 手動発進

✓ 前方に検出された障害物なし。

- コントロール レバーを上方向に押します (**RESUME**)。
  – **または** –

自動的にブレーキがかかって車両が停止した後に、走行準備が完了していることを示すメッセージが消える場合、アクセルを踏むことよって再発進することができます。

- アクセルを短く踏んでください。

# インストルメント クラスター

## インストルメント クラスターの概要

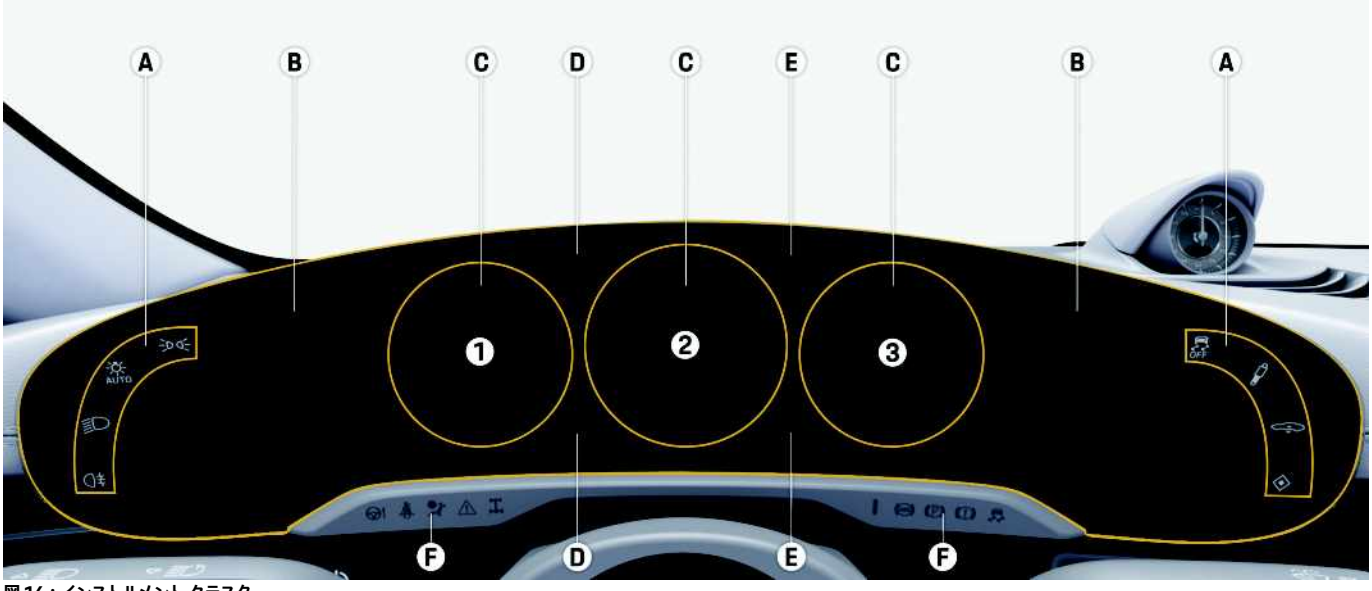



**図 16 : インストルメント クラスター**

完全にデジタル化されているインストルメント クラスターは 3 つのチューブ (C) に分かれており、外端部に静電容量式タッチ ボタン (A) (ライト ボタン、車両設定ボタンおよび ◊ ボタン) を備えています。温度、時刻および日付は、外側のチューブと静電容量式タッチ ボタン (B) の間に表示できます。インストルメント クラスターの下端部にはさまざまな警告灯およびインジケーター ライト (F) があります。追加の警告灯およびインジケーター ライトは、エリア D (アシストおよびシステム) ならびにエリア E (運転およびエンタメ) にあります。

### チューブ メニューの使用

マルチファンクション ステアリング ホイールを使用し、チューブを切り替えてメニュー オプションを選択することができます。

▹ 「インストルメント クラスターの操作」の章 (50ページ) を参照してください。

リスト項目は以下の色で表示されます。

- 白色 : 選択できるリスト項目
- 青色 : 選択済みのリスト項目
- 灰色 : 選択できないリスト項目

### チューブ 1 - 速度&アシスト機能表示

左側のチューブ 1 には、アシスタンス システムおよび車両に関する情報が表示されます。

### チューブ 2 - パワー メーター

中央のチューブ 2 には、駆動力、速度、バッテリー充電レベル、およびナビゲーションに関する情報が表示されます。下記に関する情報が表示される場合、このチューブの表示は変更され、チューブ 1 および 3 まで拡大されることがあります。

- パワー メーター (カスタマイズおよびコンフィギュレーション可能)
- ナイト ビュー アシスト
- 地図
- 拡大マップ (3 チューブの全域に表示されるフル HD マップ)
- 縮小表示

現在の走行用電力 (「12 時」から「6 時」の位置) および現在の回生容量 (「12 時」から「9 時」の位置まで反時計回り) がパワー メーター内に表示されます。この表示は有効化および無効化できます。

▷ 「インストルメント クラスターの表示項目」の章 (52ページ) を参照してください。

### チューブ 3 - 車両&情報表示

右側のチューブ 3 には、ナビゲーション、走行プログラム、およびメディアに関する情報やメッセージが表示されます。着信もこのチューブに表示できます。

**情報エリアのコンフィギュレーション**

チューブ 3 に表示できる多くの車両情報の中から 4 つを選択できます。

**セントラル ディスプレイ**

▸ ▸ **設定** ▸ **表示** ▸ **インストルメント クラスター** ▸ **カスタマイズ表示**の順にタッチします。

- **現在の充電量高電圧**
- **バッテリー温度高電圧**
- **システム電圧 12 V**
- **GPS高度**
- **コンパス**
- **横加速度**
- **縦加速度**
- **減速**
- **日付**
- **電話**
- **放送局/トラック**
- **到着時刻**
- **走行時間と走行距離**

### 残可走距離

案内中のルート案内なしでの残りの距離の表示

案内中のルート案内での残りの距離の表示

## 警告灯およびインジケーター ライト

**知識**

不具合は警告灯によって表示されます。 不具合の原因が解消した場合に限り、該当する警告灯が消灯します。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

- 車両の電源を ON にしたとき、または走行中に、警告灯が点灯または点滅した場合。

▸ ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告灯が表示されると、警告音も鳴ります。

特定のイベントが発生したとき、ドライバーにとって優先度が高いメッセージや、情報提供を目的としたメッセージがインストルメント クラスターに表示されます。 このメッセージに了解すると、チューブ メニューを開けるようになります。

▷ 「インストルメント クラスターの操作」の章 (50ページ) を参照してください。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章 (84ページ) を参照してください。

車両の装備に応じて、次の警告灯とインジケーター ライトが表示されます。

**ステアリングが操作されていない場合に表示される警告灯**

▸ ドライバー自身が運転操作を行ってください。

▷ 35ページの 「一般的な安全に関する指示」の章を参照してください。

▷ 264ページの 「作動原理」の章を参照してください。

**クーラント温度の警告灯**

クーラント温度が高過ぎます。

▸ 運転を続けないでください。 適切な場所で安全に停車してください。

▸ 電源を OFF にして、車両を冷却してください。

▸ ラジエーターおよび車両周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。 クーラント レベルを点検してください。

ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1]

▷ 79ページの 「クーラント (冷却水)」の章を参照してください。

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) 警告灯**
ポルシェ アクティブ サスペンション マネジメント (PASM) 機能が故障している可能性があります。
道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。
▶ 道路状況に合わせた運転を心がけてください。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1]
▷ 217ページの「ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)」の章を参照してください。

**エアバッグ警告灯**
エアバッグ システムが故障している可能性があります。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1]
▷ 71ページの「エアバッグ システム」の章を参照してください。

**シートベルト警告灯**
シートベルトが着用されていないか、正しく着用されていません。
▶ シートベルトを正しく着用してください。
▷ 103ページの「シート ベルト」の章を参照してください。

**ブレーキ システム警告灯**
警告灯が常時**点灯**している：パーキング ブレーキがかかっているか、ブレーキ システムが故障しています。 ブレーキ フルード レベルが低すぎる可能性があります。
警告灯が**点滅**する：パーキング ブレーキが故障しています。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1]
▷ 205ページの「ブレーキ」の章を参照してください。
▷ 207ページの「ブレーキ フルード」の章を参照してください。

**充電レベル異常低下の警告灯**
高電圧バッテリーがほぼ完全に上がっています。
慎重に走行してください。
▶ 適切な場所で安全に停車し、車両を OFF にしてください。
▶ 直ちに高電圧バッテリーを充電するか、故障サービスに連絡して必要であればけん引してください。
▷ 147ページの「充電」の章を参照してください。

**充電レベル低下の警告灯**
高電圧バッテリーの充電レベルが 15 % 未満になっています。
▶ 高電圧バッテリーの充電範囲と充電計画を確認してください。
▷ 147ページの「充電」の章を参照してください。

**高電圧バッテリーの重大な不具合を示す警告灯**
高電圧バッテリーで重大な不具合が検出されました。
▶ 直ちに適切な場所で停車してください。
▶ 運転を続けないでください。 適切な場所で安全に停車し、車両の電源を OFF にしてください。
▶ ロードサイド アシスタンス サービスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1]

**高電圧バッテリーの不具合を示す警告灯**
高電圧バッテリーで不具合が検出されました。
道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。
▶ 道路状況に合わせた運転を心がけてください。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1]

**高電圧エレクトリカル システム警告灯**
高電圧エレクトリカル システムに不具合が生じている可能性があります。
▶ 直ちに適切な場所で停車してください。
▶ 運転を続けないでください。 適切な場所で安全に停車し、車両を OFF にしてください。
▶ 故障サービスに連絡し、必要であれば車両をけん引してください。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1]

**走行システムまたは充電システムの重大な不具合を示す警告灯**
車両の走行システムまたは充電システムに重大な不具合が検出されました。
▶ 直ちに適切な場所で停車してください。
▶ 運転を続けないでください。 適切な場所

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

で安全に停車し、車両の電源を OFF にしてください。
▶ ロードサイド アシスタンス サービスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1]

**走行システムまたは充電システムの不具合を示す警告灯**
車両の走行システムまたは充電システムに不具合が検出されました。
道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。
▶ 道路状況に合わせた運転を心がけてください。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1]

**中央の警報灯**
少なくとも 1 つの警告メッセージが表示または保存されています。
▷ 84ページの 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章を参照してください。

**ブレーキ パッドの摩耗を示す警告灯**
ブレーキ パッドが摩耗しています。
道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。
▶ できるだけ早く、ポルシェ正規販売店でブレーキ パッドを交換してください。[1]
▷ 205ページの 「ブレーキ」の章を参照してください。

**エレクトリック パーキング ブレーキ警告灯**
警告灯が常時**点灯**している : パーキング ブレーキが故障しています。
警告灯が**点滅している**: ブレーキ システムが故障しています。
▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ポルシェ正規販売店で修理してください。[1]
▷ 231ページの 「ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。
▷ 205ページの 「ブレーキ」の章を参照してください。

**アンチロック ブレーキ システム警告灯**
アンチロック ブレーキ システム (ABS) またはポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。 ブレーキ ブースターに不具合がある可能性があります。
道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。
▶ 可能な限り急ブレーキを避けてください。 制動距離が長くなることを考慮してください。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1]
▷ 231ページの 「ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。

**ポルシェ スタビリティ マネージメント 警告灯**
警告灯が**点滅している**: ポルシェ スタビリティ マネジメント (PSM) ブレーキ プロセスが制御されています。 231ページの 「ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。
警告灯が**点滅を続けている**: ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。
道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。
▶ 過酷な走行条件下では急加速、急ブレーキ、急ハンドルを避けてください。
▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ポルシェ正規販売店で修理してください。[1]
▷ 231ページの 「ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。

**PSM OFF 警告灯**
ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が無効になっています。
道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。
▶ 道路状況に合わせた運転を心がけてください。
▷ 231ページの 「ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。

**ステアリング システム警告灯**
ステアリング システムが故障している可能性があります。
道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。
▶ 道路状況に合わせた運転を心がけてください。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1]

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**AWD システム警告灯**
車両の AWD システムで不具合が検出されました。
道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。
▶ 道路状況に合わせた運転を心がけてください。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1]

**駆動力低下の警告灯**
駆動力が低下しています。 高電圧バッテリーが十分に充電されていないか、屋外の気温が極端に低いなど作動温度の限界に達しています。

**タイヤ空気圧警告灯**
ホイールまたはタイヤや新しく取り付けた空気圧センサーの登録プロセス中に、1つまたは複数のタイヤの圧力が低下した場合、またはタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障や一時的な不具合が生じた場合、警告灯が点滅または点灯することがあります。
▶ 道路状況に合わせた速度と運転を心がけてください。 急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
▶ 適切な場所で安全に停車し、車両の電源を OFF にします。該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 必要に応じてシーラントを追加してください。 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。
▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、直ちにポルシェ正規販売店で修理してください。[1]

**E-Sound 警告灯**
E-Sound が OFF になっています。
▶ 電動モーターでの走行中、他の道路利用者があなたの車両の音に気付かない可能性があるため、細心の注意を払って走行してください。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1]
▷ 138ページの 「車両設定」の章を参照してください。

**距離警告灯**
前方の車両に接近しすぎているという危険を知らせます。
▷ 91ページの 「作動原理」の章を参照してください。

**警告およびブレーキアシスト警告灯**
警告とブレーキ アシストの動作が制限されています。
道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。
▶ 道路状況に合わせた運転を心がけてください。
▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ポルシェ正規販売店で修理してください。[1]
▷ 91ページの 「作動原理」の章を参照してください。

**ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) 警告灯**
ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) が故障しています。
道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。
▶ 道路状況に合わせた運転を心がけてください。
▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ポルシェ正規販売店で修理してください。[1]

**ライト警告灯**
車両のライトが故障している可能性があります。
道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。
▶ 道路状況に合わせた運転を心がけてください。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1]

**レーン チェンジ アシストのインジケーター ライト**
レーン チェンジ アシスト が作動しています。
▷ 266ページの 「レーン チェンジ アシスト (LCA)」の章を参照してください。

**ナイト ビュー アシストのインジケーター ライト**
ナイト ビュー アシストが作動しています。
▷ 181ページの 「一般的な安全に関する指示」の章を参照してください。

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**インジケーター ライトのプレコンディショニング**
プレコンディショニングが作動しています。
▷ 147ページの 「充電」の章を参照してください。

**電動充電ポート リッド インジケーター ライトの故障**
電動充電ポート リッドが故障しています。
▷ 147ページの 「充電」の章を参照してください。
▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。[1]

**機械式充電ポート リッド インジケーター ライトの故障**
機械式充電ポート リッドが故障しています。
▷ 147ページの 「充電」の章を参照してください。
▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。[1]

**HOLD 機能のインジケーター ライト**
HOLD 機能が作動しています。 車両は、自動的に停止状態を保ちます。
▷ 278ページの 「HOLD 機能」の章を参照してください。

**作動待機のインジケーター ライト**
車両の走行準備が整っています。
▷ 134ページの 「車両の始動、運転、停止」の章を参照してください。

**パーキング ライト インジケーター ライト**
パーキング ライト (装備によっては、サイド マーカー ライト、パーキング ライトなど) が ON になっています。

**ロー ビーム インジケーター ライト**
ロー ビーム ヘッドライトが ON になっています。

**ダイナミック ハイ ビーム アシストのインジケーター ライト**
ダイナミック ハイ ビーム アシストが ON になっています。
交通状況に応じて自動的にハイ ビーム ヘッドライトの ON と OFF が切り替わります。
▷ 244ページの 「ライト」の章を参照してください。

**ハイ ビームのインジケーター ライト**
ハイ ビームが ON になっています。
▷ 244ページの 「ライト」の章を参照してください。

**リヤ フォグ ライトのインジケーター ライト**
リヤ フォグ ライトが ON になっています。
▷ 244ページの 「ライト」の章を参照してください。

**方向指示灯、左**

**方向指示灯、右**

## 警告およびインフォメーション メッセージ

特定のイベントが発生したとき、ドライバーにとって優先度が高いメッセージや、情報提供を目的としたメッセージがインストルメント クラスターに表示されます。 このメッセージに了解すると、チューブ メニューを開けるようになります。
▷ 「インストルメント クラスターの操作」の章 (50ページ) を参照してください。
▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章 (84ページ) を参照してください。

## インストルメント クラスターの操作

**⚠ 警告** 運転中のアプリの設定変更および操作

マルチファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの設定と操作は、交通状況に対する注意が逸らされる危険があります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。
- 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合にのみコンポーネントを操作してください。
- 安全を確保できない場合は、車列を離れ車両を停車してから詳細な操作や設定を行ってください。

インストルメント クラスターは、イグニッションが ON のときのみ有効です。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

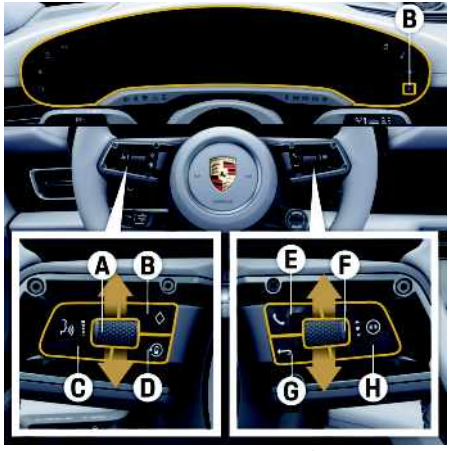



**図 17 : マルチファンクション ステアリング ホイールによるインストルメント クラスターの操作**

### A - 音量の調節およびオーディオ ソースのミュート

- 音量調節 : ロータリー ノブ **A** を上方向または下方向に回します。
- ミュート : ロータリー ノブ **A** を押します。

### B – 保存した機能の呼び出し

### ショートカット ボタンの割り当て

ステアリング ホイールおよびインストルメント クラスターのボタンは個別に割り当てることができます。

- **B** ボタン [◊ ボタン] を長押しして、セントラル ディスプレイの設定を調整します。
  - ▷ 「車両設定」の章（138ページ）を参照してください。

### C – ボイス コントロールの呼び出し

- ボタン **C** を押してください。
  - ▷ 「ボイス コントロール」の章（212ページ）を参照してください。

### D – 回生ボタン

- **D** ボタンを押して、回生モードを徐々に調整します。
  **– または –**
  **D** ボタンを長押しして、自動回生を ON にします。
  - ▷ 「エネルギー回生 [回復]」の章（135ページ）を参照してください。
- ▷ 「エネルギー回生 [回復]」の章（135ページ）を参照してください。

### E - 着信への応答および通話の終了

- ボタン **E** を押してください。 終了するには、**E** ボタンを長押しします。
  - ▷ 「電話」の章（176ページ）を参照してください。

### F – チューブのメニューおよび機能をスクロールし、選択します

- スクロールするには : ロータリー ノブ **F** を上下に回し、それぞれのチューブのメニューをスクロールします。
- 選択 / 入力 : ロータリー ノブ **F** を押します。

### G - メニュー選択で 1 つ以上前の選択レベルに戻り、通知を確認する

- [戻る] ボタン **G** を押してください。
- ▷ 「通知」の章（283ページ）を参照してください。

### H – チューブを切り替える

- ボタン **H** を押してください。

## オプションの選択および機能の有効化

手前のシンボル マークは、オプションが選択されているかどうか、または機能が有効な状態であるかどうかを示します。

### 複数のオプションから 1 つを選択

- オプションは選択されています。
- オプションは選択されていません。

### 機能の有効化および無効化

- 機能が作動している
- 機能が無効になっている

### インストルメント クラスターでの調整ビュー

表示されるコンテンツは次のように設定できます。

- ▸ **設定** ▸ **表示** ▸ **インストルメント クラスター**

# インストルメント クラスターの表示項目

一部のディスプレイ表示は停車中のみ利用できます。

すべての機能に関する詳細がこの取扱説明書で説明されているわけではありません。 例は作動原理を分かりやすく説明し、メニュー構成を明確にするために記載されています。 最初のレベルでは、ロータリー プッシュ ボタンを上下に回すとメニューが表示されます。 2 番目のレベルでは、最初にロータリー プッシュ ボタンを押す必要があります。 その後、メニューをスクロールできます。 バック ボタンを使用して、2 番目のレベルを終了し、表示内容を表示します。

**図 18 : インストルメント クラスターの表示項目**

| チューブ | 表示 | 行える操作 / 表示される内容 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| 1 | ▸ **アシスタンス システム** | レーン キープ アシスト (アクティブ レーン ガイダンス) を有効にして表示します。 | ▹ p. 264<br>▹ p. 35 |
| | | アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) またはスピード リミッター (LIM) を選択して表示します。 | ▹ p. 39<br>▹ p. 109 |
| 1 | ▸ **G-Force** | 現在の最大縦加速度および最大横加速度を円グラフで表示し、それらをリセットします。 | – |
| 1 | ▸ **駆動配分** | フロント アクスルとリヤ アクスルの間の現在のトルク配分を棒グラフ形式で表示します。 | – |
| 1 | ▸ **タイヤ情報** | 現在のタイヤ空気圧および圧力差を表示します。 | ▹ p. 156 |
| 1 | ▸ **PDCC** | ロール抑制のステータスを表示します。 | – |
| 1 | ▸ **走行距離** | オドメーターを表示します。 | – |

| チューブ | 表示 | 行える操作 / 表示される内容 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| 2 | ▸ **走行可能距離表示** | 残りの走行可能距離を表示します。<br>高電圧バッテリーのバッテリー充電状態もシンボルで表示されます。 意味 :<br>– 白色のシンボル : 充電レベルが 15% 以上<br>– 黄色のシンボル : 充電レベルが 15% 未満<br>– 赤色のシンボル : バッテリーがほぼ完全に上がっている | ▹ p. 186 |
| 2 | ▸ **スピードメーター** | スピードメーターを表示します。 | – |
| 2 | ▸ **パワー メーター / 地図画面 / ナイト ビュー アシスト** | インストルメント クラスターの表示ビューは変更でき、チューブを追加できます :<br>– パワー メーターの表示 (標準ビュー)<br>– 熱画像検出機能付きのナイト ビュー アシストの表示<br>– 地図画面を表示および調整する<br>– 拡張マップ (フル HD マップ) の表示と適応<br>– 縮小表示にする | ▹ p. 46 |
| 3 | ▸ **ナビゲーション** | ナビゲーション情報を表示し、選択します (メッセージ OFF など)。 | ▹ p. 183 |
| 3 | ▸ **トリップ** | 走行データ (平均燃費、走行可能距離、走行時間など) を表示およびリセットします。 | – |
| 3 | ▸ **メディア** | 現在のメディア (ラジオなど) を表示します。 | ▹ p. 241 |
| 3 | ▸ **情報** | | ▹ p. 113 |
| 3 | ▸ **Sport Chrono** | ストップウォッチで時間を計測します。 | ▹ p. 113 |

| チューブ | 表示 | 行える操作 / 表示される内容 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| 3 | ▸ **走行モード** | 選択した走行プログラムを表示します。 | ▷ p. 281 |
| 3 | ▸ **電話** | 電話が接続されると、着信などが表示されます。 | ▷ p. 176 |

# インテリア ライト

## 明るさの調節

### セントラル ディスプレイ

▸ ▸ **設定** ▸ **車両** ▸ **ライトと視界** ▸ **インテリア ライト** ▸ **明るさ** インテリア ライトの明るさを調節します。

## インテリア ライトの ON/OFF の切り替え

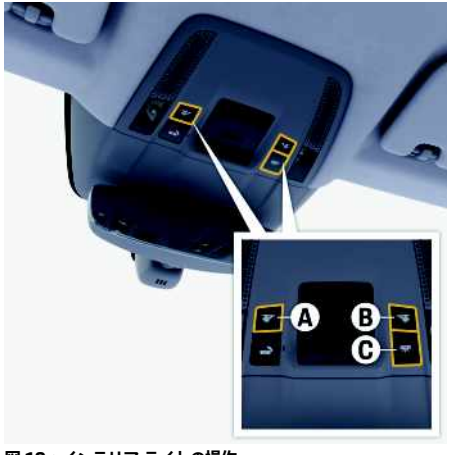



**図 19 : インテリア ライトの操作**

A 左フロントの読書灯用ボタン
B 右フロントの読書灯用ボタン
C フロントおよびリヤのインテリア ライト用ボタン

**図 20 : 読書灯の操作**

### フロントおよびリヤのインテリア ライトの ON / OFF の切り替え

▸ **C** ボタンを押します。

### 読書灯の ON/OFF の切り替え

#### フロント読書灯

▸ **A** または **B** ボタンを押します。

#### リヤ読書灯

▸ 該当するドアの上にある **D** ボタンを押します。

### 明るさの調節

▸ 該当するライトのボタンを希望の明るさになるまで少なくとも 1 秒間押し続けてください。

### インテリア ライトの ON / OFF の自動切り替え

▸ ▸ **設定** ▸ **車両** ▸ **ライトと視界** ▸ **インテリア ライト** ▸ **ロックまたはロック解除中のインテリア ライトを有効にします。**

暗い場合、インテリア ライトは以下の状況で ON になります。
– 車両のロックが解除されている場合、またはドアが開いている場合
– 車両を OFF にした後

以下の状況では、インテリア ライトが再び減光され、OFF になります。
– 作動準備が整った後
– 車両ロック後

以下の状況では、選択したライト遅延時間に応じてインテリア ライトが再び OFF になります。
– すべてのドアが閉まった後
– インテリア ライトを ON にしてから約 10 分後、自動的に OFF

### インテリア ライトのライト遅延時間設定

▸ ▸ **設定** ▸ **車両** ▸ **ライトと視界** ▸ **インテリア ライト** ▸ **ライト遅延時間を設定します。**

## アンビエント ライトの ON/OFF の切り替え

### アンビエント ライトの ON/OFF の切り替え

1. ▸ **コンフォート** ▸ **アンビエントライト.**
2. **ライトの ON の切り替え**を有効にします。

### アンビエント ライトの色の設定

1. ▸ **コンフォート** ▸ **アンビエントライト.**
2. **カラー**を選択します。
3. 希望のライトの色を設定してください。

### アンビエント ライトの明るさ調節

#### 車内全体の明るさの設定

1. ▸ **コンフォート** ▸ **アンビエントライト.**
2. **全体の明るさ**をタッチします。
3. 明るさを希望の値に設定してください。

**車内の各エリアの明るさの設定**

1. ▸ **コンフォート** ▸ **アンビエントライト**.
2. **カップホルダー**、**ドア**、**センターコンソール**または**フットウェル**をタッチします。
3. 明るさを希望の値に設定してください。

# ウィンドウ

## サイド ウィンドウの開閉

**⚠ 警告** サイド ウィンドウの開閉

サイド ウィンドウを開閉するときは、作動中のサイド ウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。特にワンタッチ作動で閉じるときは十分に注意してください。

- サイド ウィンドウを開閉するときは、作動中のサイド ウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。
- 車両を離れるときは、電源ボタンを押して車両の電源を OFF にしてください。乗員がパワー ウィンドウを誤って操作し、怪我をする恐れがあります。
- コンフォート アクセス装備車の場合、危険な時は、直ちにドア ハンドルの近接センサーまたはキーのボタンを放してください。
- お子様だけを車内に残さないでください。

**⚠ 警告** サイド ウィンドウを手動で閉じる

サイド ウィンドウの動きが妨げられてワンタッチ作動が無効になっている場合、サイド ウィンドウを手動で閉じるとこのウィンドウは最大の力で閉じられます。そのため、動くサイド ウィンドウと車両の固定部品の間に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- サイド ウィンドウを閉じる際には、人が挟まれたり、押しつぶされたりしないよう注意してください。

**インフォメーション**

サイド ウィンドウが閉じるときに障害物に妨げられると、サイド ウィンドウは停止した後、再び数センチ開きます。
サイド ウィンドウの動作が約 10 秒以内にもう一度妨げられると、そのウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。サイド ウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、サイド ウィンドウを手動閉操作で一度完全に閉じてください。

### サイド ウィンドウの開閉

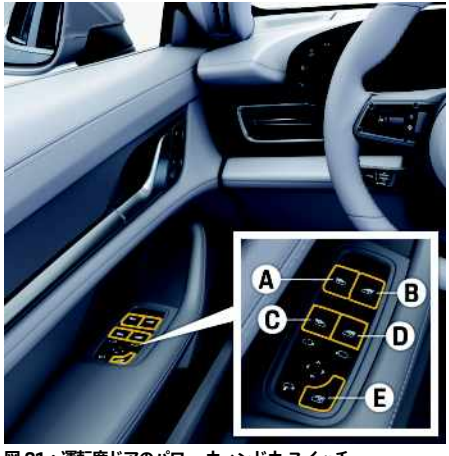



**図 21：運転席ドアのパワー ウィンドウ スイッチ**

**A** パワー ウィンドウ、フロント、運転席側
**B** パワー ウィンドウ、フロント、助手席側
**C** パワー ウィンドウ、リヤ、運転席側
**D** パワー ウィンドウ、リヤ、助手席側
**E** チャイルド プロテクション セーフティー ボタン

✓ 作動待機が確立されました。
– または –
✓ 車両の電源が OFF になりますが、その期間は 10 分以内です。
✓ 運転席 / 助手席ドアをまだ開いていない。

ロッカー スイッチには **2 段階の作動位置**があります。この 2 段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

**1 段目 - 手動操作**

- 希望の位置に達するまで、ロッカー スイッチを 1 段階目の位置まで押すか、引いてください。
  スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

**2 段目 – ワンタッチ操作**

- ロッカー スイッチを 2 段目まで押すか、引いてください。
  サイド ウィンドウは自動的にいっぱいまで開閉します。
- サイド ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう一度スイッチを操作してください。

ウィンドウは、手動操作中よりもワンタッチ操作中の方が速く閉じます。

### キーによるサイド ウィンドウの開閉

**図 22 : キーによるサイド ウィンドウの開閉**

✓ 機能が作動しています。

▸ サイド ウィンドウが希望の位置になるまで、キーの または を押し続けてください。
すべてのサイド ウィンドウとルーフ システムが閉じると、ハザード ライトが 2 回点滅します。

セントラル ディスプレイでこの機能の有効 / 無効を切り替えることができます。

▸ ▸ **設定** ▸ **車両** ▸ **車両ロックシステム** ▸ **イージーエントリー**

### ドア ハンドルの近接センサーでサイド ウィンドウを閉じる

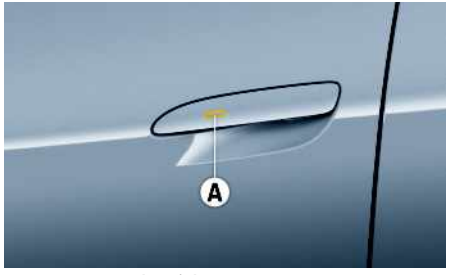



**図 23 : コンフォート アクセス**

✓ コンフォート アクセス装備車。

✓ キーをズボンのポケットに入れるなどして携行してください。

▸ 車両をロックするときにウィンドウが希望の位置になるまで、ドア ハンドルの近接センサー **A** に触れ続けてください。
すべてのサイド ウィンドウとルーフ システムが閉じると、ハザード ライトが 2 回点滅します。

### サイド ウィンドウの停止位置の保存

12 V 電源に障害が発生すると、サイド ウィンドウの停止位置が失われます。サイド ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

**すべてのサイド ウィンドウに対して以下の作業を行ってください。**

1. ロッカー スイッチを 2 段目まで引いて、サイド ウィンドウを 1 回完全に閉じてください。
2. サイド ウィンドウが完全に閉じたら、ロッカー スイッチを再度短く 2 段目まで引いてください。
3. ロッカー スイッチを押して、サイド ウィンドウを 1 回完全に開いてください。

## リヤでの操作を無効にする – チャイルド プロテクション

運転席ドアのコントロール パネルのセーフティー ボタン **E** を押すと、リヤ ドアのパワー ウィンドウ スイッチとリヤ助手席タッチ スクリーンの機能が無効になります。

**チャイルド プロテクションの ON/OFF の切り替え**

▸ セーフティー ボタン **E** を押してください。
ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
リヤ ドアのリヤ パワー ウィンドウ スイッチとリヤ ディスプレイが無効になります。

# ウィンドウ ウォッシャー液

## ウォッシャー液の選択

**図 24 : ウォッシャー液タンク**

以下の点に留意してください。

- 季節に応じて、水と適切な添加物 (ウィンドウ クリーナー濃縮液、不凍液) を混合します。 常に適切な割合で混合し、使用する添加物の容器に記載されたすべての指示を読んでください。
  - **夏** : 水とウィンドウ クリーナー濃縮液を充填する
  - **冬** : 水、不凍液、ウィンドウ クリーナー濃縮液を充填する

次の要件を満たしたウィンドウ クリーナー濃縮液のみを使用します :

- 希釈 1:100
- リン酸塩不使用
- プラスチック製ヘッドライト レンズ適合品

ポルシェ社が承認したウォッシャー濃縮液についての情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ウォッシャー液レベルが低くなりすぎると、インストルメント クラスターに警告メッセージが表示されます。

## ウォッシャー液の追加

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開けます。
2. ウォッシャー液を追加します。
   ▷ 「充填容量」の章（307ページ）を参照してください。
3. キャップを慎重に閉めます。

# エアコン システム Advanced Climate Control (2-/4- ゾーン エアコン)

## 概要 - エアコン システム

### セントラル ディスプレイ

エアコン システムは装備に応じて、セントラル ディスプレイ、センター コンソール コントロール パネル、およびリヤ ディスプレイから操作できます。

事前設定されたオート モード [**拡散済み**] および [**集中的**] により、全自動のエアコン コントロールが実現します。

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。 操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（223ページ）を参照してください。

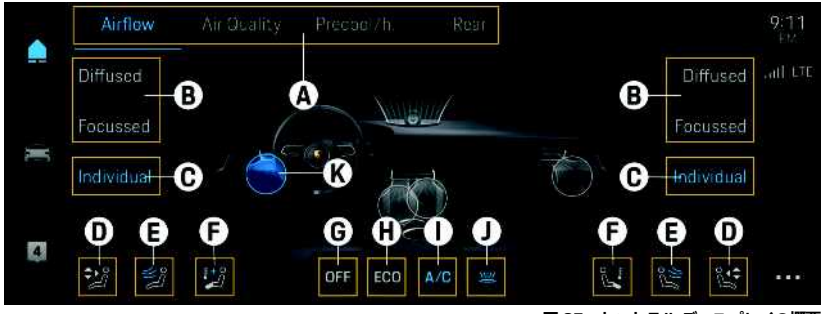



**図 25 : セントラル ディスプレイの概要**

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| **セントラル ディスプレイでエアコン メニューを呼び出します** | – **セントラル ディスプレイ** : ▸ A/C をタップします。<br>– **または** –<br>– **センター コンソール コントロール パネル** : **エアコン** ソフトキーをタッチします。 | – |
| **エアコン メニューを切り替える** | メニュー エリア **A** を使用します。 | – |
| **事前設定されたオート モード** | オート モード (B) を選択します。<br>– **拡散済み**<br>– **集中的** | ▷ p. 64 |
| **パーソナル オート モードを設定する** | ✓ **C** が選択されています。<br>– 送風口の調節 (D) をタッチします。 | ▷ p. 64 |

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| | – 必要なエアコンの種類をタッチします (風量調節、E を参照)。<br>– フットウェルの温度調節 (F) をタッチします。 | |
| **車両全体のエアコンの ON/OFF の切り替え** | G をタッチします。 | ▷ p. 64 |
| **Eco モードの ON/OFF の切り替え** | H をタッチします。 | ▷ p. 67 |
| **冷房機能の ON/OFF を切り替える** | I をタッチします。 | ▷ p. 65 |
| **アッパー ベンチレーション パネルの ON/OFF の切り替え** | ✓ C が選択されています。<br>J をタッチします。 | ▷ p. 65 |
| **風向の変更** | ✓ C が選択されています。<br>K をタッチして、選択したエア ベントを動かします。 | ▷ p. 64 |

## センター コンソール コントロール パネル

▷ 「センター コンソール コントロール パネル」の章（117ページ）を参照してください。

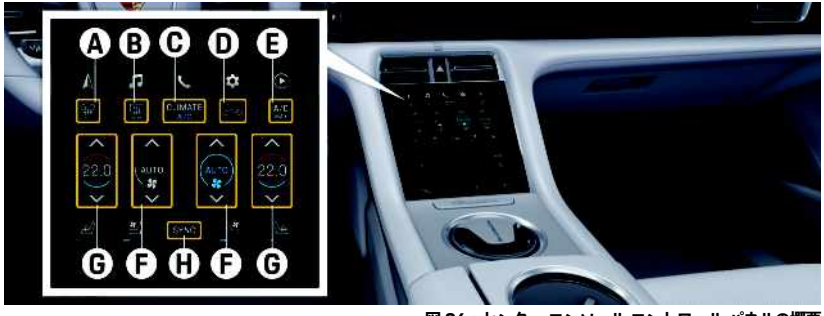



**図 26 : センター コンソール コントロール パネルの概要**

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| **フロント ウィンドウ デフロスター** | ソフトキー **A** をタッチします。 | ▷ p. 68 |
| **リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターを ON にする** | ソフトキー **B** をタッチします。 | ▷ p. 69 |
| **セントラル ディスプレイのエアコン メニューの表示/非表示を切り替えます** | ソフトキー **C** をタッチします。 | – |
| **内気循環モードの ON/OFF を手動で切り替える** | ソフトキー **D** をタッチします。 | ▷ p. 68 |
| **A/C MAX モード (最大冷房出力) の ON/OFF の切り替え** | ソフトキー **E** をタッチします。 | ▷ p. 65 |
| **オート モードを ON にする** | 中央のソフトキー **F** をタップします。 | ▷ p. 64 |
| **温度の設定** | ソフトキー **G** をタップするか、または上 ^ (温) または下 v (冷) にスワイプします。 | ▷ p. 66 |
| **送風量を手動で設定する** | ソフトキー **F** をタップするか、または上 ^ (大) または下 v (小) にスワイプします。 | ▷ p. 66 |
| **車両全体のエアコン設定の使用 – SYNC モード** | ソフトキー **H** をタッチします。 | ▷ p. 68 |

### リヤ助手席タッチ スクリーン (装備により異なる)

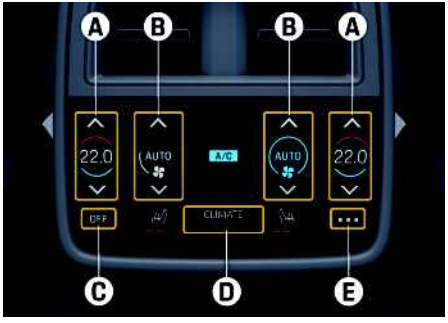



図 27 : リヤ助手席タッチ スクリーンの概要

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| 温度の設定 | A の上 (温) または下 (冷) をタップします。 | ▷ p. 66 |
| 送風量を手動で設定する | B の上 (大) または下 (小) をタップします。 | ▷ p. 66 |
| リヤ エアコン システムの ON/OFF の切り替え | C をタッチします。 | – |
| 送風口を調節する | D をタッチします。 | ▷ p. 67 |
| 設定を呼び出す | E をタッチします。 | – |

## エアコン システム Advanced Climate Control (2/4- ゾーン エアコン)

オート モードでは、さまざまな環境条件 (車室内の温度、日射量、空気の状態など) に応じて、エアコン システムが温度、送風口、送風量を全自動で調節します。

エアコン システムの設定を手動で調整すると、オート モードが直ちに解除されます。ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。

エアコン システムは機器に応じて、セントラル ディスプレイ、センター コンソール コントロール パネルおよびリヤ ディスプレイから操作できます。

エアコン システムは、ウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。

車内に熱がこもっている場合 :

▶ ウィンドウを開けて車内を短時間換気します。

外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これはシステムにより異なり、故障ではありません。

高電圧バッテリーのバッテリー充電が 10% 未満の場合、エアコン機能が最初制限され、その後 OFF になります。

温度が約 2 °C を下回ると冷却機能が自動的に OFF になり、手動でも ON にできなくなります。
温度を一時的に低くまたは高く設定しても、車内が設定温度まで下がる、または上がる時間が短くなるわけではありません。

### 外気の取り入れを可能にする

- フロント ウィンドウとボンネットの間の外気導入口を雪、氷、木の葉などが塞がないようにしてください。

### 2 ゾーン エアコン

オート エアコンの温度、風速、送風口、およびタイプは、**左**および**右**の空調エリアに対して個別に設定できます。リヤのエア ベントは**手動で**開閉できます。送風方向も調節可能です。

### 4 ゾーン エアコン

オート エアコンの温度、風速、送風口、およびタイプは**左前**、**右前**、**左後**、および**右後**の空調エリアに対して個別に設定できます。フットウエル温度は、フロント エリアで個別に調節することもできます。

## エアコンの ON/OFF の切り替え

### 車内全体のエアコンの ON/OFF の切り替え

**セントラル ディスプレイ**

- ▸ A/C ▸ **送風** ▸ OFF
  センター コンソール コントロール パネルおよびリヤのタッチ ディスプレイに **OFF** という通知が表示された場合、外気導入が中断され、エアコン システムが OFF になります。

リヤ ゾーンへの風量を少なくしたり、リヤ エアコン システムを OFF にしたりしても、フロント ゾーンの快適性は向上しません。

## オート モードを ON にする

### 事前設定されたオート モードを選択する

事前設定されたオート モードが 2 つあります。

- **拡散済み**：風を感じにくい低風速の設定
- **集中的**：車室内に強い風を送ります。風量をはっきりと感じられるようになります。

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ A/C ▸ **送風**
2. 該当する空調エリアでの希望するオート モードを選択します。

### オート モードの設定 Individual

- **Individual**：温度、送風量、および送風口を個別に調節できます。

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ A/C ▸ **送風** ▸ Individual
2. 希望する設定を選択してください。

フロントおよびリヤの空調エリアは、個別にオート モードに切り替えることができます。

**センター コンソール コントロール パネル**

- センター コンソール コントロール パネルまたはリヤ助手席タッチ スクリーン上の必要な空調エリアのソフトキー をタッチします。
  オート モードが作動中の場合、ソフトキーが青色に点灯します。風速および送風口が自動的に制御されます。

必要であれば、自動システムを手動で制御できます。手動設定は、該当するソフトキーを再度タップするまで、または ソフトキーをタップするまで保持されます。

## フロント エア ベントの調整

エア ベントは、ダッシュボードおよびフロントとリヤのセンター コンソールにあります。事前設定されたオート モード [**拡散済み**] および [**集中的**] では、エア ベントの開口部や風向が自動的に制御されます。オート モード [**Individual**] では、必要に応じて各空調エリアの自動制御をセントラル ディスプレイで手動で調節できます。

**知識** エア ベントを損傷する恐れがあります

- エア ベントに物 (携帯電話クレードルや差し込み式のエア フレッシュナーなど) を挟まないでください。
- 電動エア ベントは、タッチ ディスプレイでのみ調整できます。
- エア ベントの電動調整を妨害しないでください (スラットの動きを妨げるなど)。

### フロント エア ベントの開閉

**図 28 : フロント エア ベントの開閉**

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ A/C ▸ **送風** ▸ Individual
   調整可能なエア ベントは、セントラル ディスプレイに白い〇印で示されています。
2. 目的のエア ベントを選択します。
   エア ベントを調整するためのスライダーが表示されます。

選択したエア ベントが青色に変わります。

3. スライダーを使用して、エア ベントの開き具合を調整します。

### フロントの風向の変更

**図 29 : フロントの風向の変更**

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ A/C ▸ 送風 ▸ Individual
   調整可能なエア ベントは、セントラル ディスプレイに白い〇印で示されています。
2. 目的のエア ベントを選択します。
   選択したエア ベントが青色に変わります。
3. エア ベントを希望する方向に調整します。

車内の表示の任意の場所をタッチすると、エア ベントが選択した位置に自動的に調整されます。

## 送風口の調節

### フロントの送風口の調節

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ A/C ▸ 送風 ▸ Individual ▸
2. 該当する空調エリアの送風口を選択します :

フロント ウィンドウおよびサイド ウィンドウへの送風を開始します。

センター エア ベントおよびサイド ベントからの送風を開始します。

フットウェルへの送風を開始します。

### アッパー ベンチレーション パネルを ON/OFF にする

**図 30 : アッパー換気パネル**

ダッシュボード上にある換気パネルでも車内へ換気ができます。各ベンチレーション パネルは、オート モード (**Individual**) で個別に ON/OFF を切り替えることができます。エアコン システムは送風量を自動的に調整します。

**セントラル ディスプレイ**

- ▸ A/C ▸ 送風 ▸ Individual ▸
  機能が ON になると、アイコンが青色に変わります。

上部ベンチレーション パネルは、事前設定されたオート モード (**拡散済み**および**集中的**) により個別に動作します。

## フロント オート エアコンの種類の設定

フロントの空調エリアは、全体の室内温度とは別に、風量を個別に設定できます。

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ A/C ▸ 送風 ▸ Individual ▸
2. 希望する空調エリアのオート エアコンの種類を選択します。

## フットウェル温度の設定 (車両の装備により異なります)

フロントの空調エリアは、全体の室内温度とは別に、フットウェル温度を個別に設定できます。

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ A/C ▸ 送風 ▸ Individual ▸
2. 該当する空調エリアでの希望するフットウェル温度を選択してください。

## 冷房機能を ON/OFF にする

冷房機能は空気を冷却し、乾燥させます。
オート モードでは、冷房機能は常に作動しています。冷房の出力は自動制御されます。

**セントラル ディスプレイ**

- ▸ A/C ▸ 送風 ▸ A/C
  機能が ON になると、アイコンが青色に変わります。

## 最大冷房出力を ON/OFF にする、A/C MAX モード

A/C MAX モードでは、最大出力で車内が冷却されます。

**センター コンソール コントロール パネル**

- **A/C MAX** ソフトキーをタッチします。
  A/C MAX モードが作動中の場合、ソフトキーが青色に点灯します。 エアコン システムは最大冷房出力で作動します。

## 温度の設定

温度は 16 °C~29.5 °C の範囲に設定できます。推奨 : 22 °C。
温度を一時的に低くまたは高く設定しても、車内が設定温度まで下がる、または上がる時間が短くなるわけではありません。

**図 31 : フロントの温度の設定**

**図 32 : リヤの温度の設定**

**温度を上げる、下げる**

**センター コンソール コントロール パネルまたはリヤのタッチ ディスプレイ**

- それぞれの空調エリアのソフトキー を上方向 (温度を上げる) または下方向 (温度を下げる) にタップまたはスワイプします。
  選択した温度が、それぞれの空調エリアのディスプレイに表示されます。

ディスプレイに **LO** または **HI** が表示される場合は、エアコンの作動は最大の冷房 (LO) または暖房 (HI) になっています。このときオート モードは OFF になります。

## 風量を設定する

**図 33 : フロントの風速の設定**

**図 34 : リヤの風速の設定**

**風速を上げる、下げる**

**センター コンソール コントロール パネルまたはリヤのタッチ ディスプレイ**

- それぞれの空調エリアのソフトキーを上方向 (強) または下方向 (弱) にタップまたはスワイプします。
  選択された風速が、ディスプレイに白色のアーチで表示されます。アーチが長いほど、車室内の風速は強くなります。

ソフトキー をタップすると、オート モードに切り替わります。
エアコン ディスプレイに **OFF** が表示されるまで、すべての空調エリアの風速を弱くした場合、外気導入による送風が中断し、エアコン システムが OFF になります。

**リヤでの OFF モードをフロントから無効にする**

4 ゾーン エアコンの場合、**OFF** モードは、セントラル ディスプレイで解除することができます。

▷ 「リヤの空調エリアをフロントから設定する」の章 (68ページ) を参照してください。

**SYNC** 機能ではリヤの **OFF** モードを解除できません。

**⚠ 警告** 送風設定 OFF による視界の低下

風量を **OFF** にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

- 風量を再び強くしたい場合、 ソフトキーを上方向にタップするか、オート モードを再度 ON にします。

## リヤにエア ベントを設定する (装備により異なる)

**知識** エア ベントを損傷する恐れがあります

- エア ベントに物 (携帯電話クレードルや差し込み式のエア フレッシュナーなど) を挟まないでください。
- 電動エア ベントは、タッチ ディスプレイでのみ調整できます。
- エア ベントの電動調整を妨害しないでください (スラットの動きを妨げるなど)。

### リヤ エア ベントの開閉

**リヤのタッチ ディスプレイ**

1. A/C
   調整可能なエア ベントは、リヤ助手席タッチ スクリーンに白い○印で示されています。
2. 目的のエア ベントを選択します。
   エア ベントを調整するためのスライダーが表示されます。
   選択したエア ベントが青色に変わります。
3. スライダーを使用して、エア ベントの開き具合を調整します。

### リヤの風向の変更

**リヤのタッチ ディスプレイ**

1. A/C
   調整可能なエア ベントは、リヤ助手席タッチ スクリーンに白い○印で示されています。
2. 目的のエア ベントを選択します。
   選択したエア ベントが青色に変わります。
3. エア ベントを希望の方向に調整します。

## リヤの送風口の設定 (装備により異なります)

**リヤのタッチ ディスプレイ**

1. A/C ▸
2. 該当する空調エリアの送風口を選択してください。

中央のベントからの送風を開始します。

フットウェルへの送風を開始します。

## リヤのオート エアコンを設定する (装備により異なる)

リヤの空調エリアは、全体の室内温度とは別に、風量を個別に設定できます。

**リヤのタッチ ディスプレイ**

1. A/C ▸
2. 希望する空調エリアのオート エアコンの種類を選択します。

## Eco モードの ON/OFF の切り替え

Eco モードが ON の場合、エアコン システムは特に優れたエネルギー効率で作動します。 リヤ シートに人がいない場合、リヤのエアコンが OFF になります。 残可走距離を伸ばすために、車両の快適性を低下させる場合があります (たとえば、車室内が暖まるまで、または冷えるまで時間がかかるなど)。
RANGE 走行プログラムが選択されている場合、**ECO PLUS** モードを ON にできます。 **ECO PLUS** モードの制限範囲内で、車室内の送風が作動します。 電力消費を最適化するために、他のすべてのエアコン機能は大幅に低下するか OFF になり、選択することはできません。 別の機能を選択すると**ECO PLUS** モードが終了し、**ECO** モードに切り替わります。 構成された設定は保持されます。 これによる RANGE 走行プログラムへの影響はありません。

▹ 「走行モード」の章 (281ページ) を参照してください。
▹ 「Charging Planner (一部の国で利用可能)」の章 (186ページ) を参照してください。

**セントラル ディスプレイ**

▸ ▸ A/C ▸ **送風** ▸ ECO

## イオナイザーの ON / OFF の切り替え

✓ イオナイザー装備車。
イオン発生機は、大都市など空気の質が悪い地域において、車室内の空気の質を向上させることができます。
イオン発生機は無臭です。

**セントラル ディスプレイ**

▸  ▸ A/C  ▸ **空気質** ▸ 
機能が ON になると、アイコンが青色に変わります。

## 自動内気循環を ON/OFF にする

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて外気導入が自動的に制御されます。外気温度が約 5 °C を下回ると、ウィンドウの曇りを防止するため、内気循環モードが自動的に停止します。

**セントラル ディスプレイ**

▸  ▸ A/C  ▸ **空気質** ▸ 
機能が ON になると、アイコンが青色に変わります。

## 内気循環モードの ON/OFF を手動で操作する

**⚠ 警告** 手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを長時間 ON にすると、ウィンドウが曇る恐れがあります。 新鮮な空気が供給されないため、ドライバーが疲労を感じて注意力が低下する可能性があります。

- 手動内気循環モードは長時間 ON にしないでください。

### 手動で内気循環モードを ON にする

**センター コンソール コントロール パネル**

- ソフトキーをタッチします。
  機能を ON にすると、ソフトキーが青色に点灯します。

### 手動で内気循環モードを OFF にする

**センター コンソール コントロール パネル**

- ソフトキーをタッチします。
  **– または –**
  ソフトキーをタッチします。
  機能を OFF にすると、ソフトキーが白く点灯します。

## 車内全体のエアコン設定の使用 – SYNC モード

### センター コンソール コントロール パネルでの SYNC モードの ON/OFF の切り替え

- **SYNC** ソフトキーをタッチします。
  SYNC モードがアクティブな場合、**SYNC** ソフトキーが青く点灯します。 **ドライバー ディスプレイ** のみ表示され続けます。 残りの空調エリアは **ドライバーの設定**に変更されます。
  もう一度 **SYNC** ソフトキーをタッチすると、SYNC モードが無効になります。

### ドライバーが一人で乗車する場合の推奨エアコン設定

- 車室内の快適性を最大限に高めるには、SYNC モードをセンター コンソール コントロール パネルで有効にすることをお勧めいたします。
  **SYNC** が青に点灯します。

## エアコン設定の保存

選択したエアコン設定は、キーにアクティブに保存できます。

▷ 「パーソナル設定」の章（196ページ）を参照してください。

## リヤの空調エリアをフロントから設定する

4 ゾーン オート エアコンでは、セントラル ディスプレイを使用してリヤの空調エリアを調整できます。

1. ▸ A/C ▸ リア
2. 必要に応じて設定を調整します。

## フロント ウィンドウ デフロスター

**図 35 : フロント ウィンドウ デフロスター**

### デフロスト モードを ON にする

- ソフトキーをタッチします。
  ソフトキーがオレンジ色に点灯します。
  フロント ウィンドウおよびフロント サイド ウィンドウへの送風を開始します。
  なるべく早くフロント ウィンドウの曇りまたは霜を取ります。

曇りを取り除く効果を最大に発揮するため、エアがフロント ウィンドウに直接送られます。

**4 ゾーン エアコン :** エアコン用リヤ コントロール パネルが無効になります。

### デフロスト モードを OFF にする

- ソフトキーをタッチします。
  **– または –**
  ソフトキーをタッチします。
  機能を OFF にすると、ソフトキーが白く点灯します。

# リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターの ON/OFF を切り替える

**図 36 : リヤ ウィンドウ ヒーター / ドア ミラー ヒーターのソフトキー**

## リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターを ON にする

▸ ソフトキーをタッチします。
ソフトキーがオレンジ色に点灯します。

外気温度によって、約 5~20 分後にリヤ ウィンドウ ヒーター / ドア ミラー ヒーターのスイッチが自動的に OFF になります。

## リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターを OFF にする

▸ ソフトキーをタッチします。
ソフトキーが白く点灯します。

# リモートエアコンのタイマーおよびプレクーリング/ヒーティングの使用

✓ 高電圧バッテリーが十分に充電されている (25% 以上)。
✓ 車両が OFF になっています。

プレクール / ヒート機能により、風量と送風口が自動的に制御されます。 温度は個別に調節できます。 外気温に応じてプレクーリング / ヒーティングを高度に制御することで、最大限に快適な車内環境を実現します。 プレクール / ヒート機能を**タイマー**、キー、ポルシェ コネクト アプリによって作動した場合も、セントラル ディスプレイで **エアコン**機能を選択して作動した場合も、同じ機能を利用できます。 プレクール / ヒートは最大 60 分間機能します。 プレクール / ヒートは、**タイマー**によって有効になると、早い場合は出発時間の 50 分前から開始され、出発時間の 10 分後までに終了します。

リモートエアコン機能では、以下の装備に対する冷却/加熱が可能です (車両の装備により異なります)。

- 車内
- ドア ミラー
- リヤ ウィンドウ
- シート
- ステアリング ホイール。

また、この制御は充電プラグが接続されているかどうかに関わりなく行われます。

リモートエアコンを ON にすると、走行可能距離が低下します。

▹ 「充電」の章（ 147ページ）を参照してください。

### インフォメーション

タイマーを使用してプレクール / ヒートのスイッチを ON にした場合、気温が低下するとドア ミラーとリヤ ウィンドウのヒーターが自動的に ON になり、ウィンドウとミラー ガラスを解氷します。

リモートエアコンは、ポルシェ コネクト アプリを使用してプログラミングしたり、ON にしたりすることもできます。

▹ 「ポルシェ コネクト」の章（ 220ページ）を参照してください。

## プレクーリング / ヒーティングを ON にする

### セントラル ディスプレイ

1. ▸ A/C ▸ リモート エアコン
2. **エアコン**をタップします。

車両の走行準備が整っているか、停車している場合、60 分後にプレクーリング/ヒーティングが自動的に OFF になります。

### センター コンソール コントロール パネル

**図 37 : プレクーリング/ヒーティングの作動**

1. ソフトキーをタッチします。
2. A ソフトキーをタッチします。

プレコンディショニングには、最新のプレクール / ヒート設定が使用されます。

### インフォメーション

充電中にプレクール / ヒートのスイッチが ON になっているか、プレコンディショニングが開始されると、充電電力に関係なく、最大出力でプレクーリング / ヒーティングが作動する場合があります。
充電電力が非常に低い状態で充電しているときには、プレクール / ヒートによって高電圧バッテリーが放電する恐れがあります。

### プレクーリング / ヒーティングを OFF にする

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ A/C ▸ リモート エアコン
2. **エアコン**をタップします。

リモートエアコン タイマーによって開始されたプレクーリング/ヒーティングも停止されます。

### リモートエアコン タイマーによるプレクーリング/ヒーティング機能のプログラミングおよび作動

プレクール / ヒート タイマーを使用して、プレクール / ヒートで車内を出発時刻までに適切な温度に調節しておくことができます。
タイマーは 1 回 (シングル タイマー) または定期的 (反復タイマー) のいずれかに設定可能です。

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ A/C ▸ リモート エアコン
2. エアコンの範囲、温度、シート ヒーターの設定を個別に設定します。
   設定された内容は、すべてのタイマーに適用されます。
3. [**タイマーを管理**] をタッチします。
4. **タイマー設定**で をタップし、**エアコン**を有効にします。
5. **日付 / 出発時間**をタップし、希望する出発時間の曜日あるいは日付と時刻を設定します。
6. **日付 / 出発時間**をタップし、次に**タイマー設定**をタップして閉じます。
7. **タイマー**で希望するタイマー入力を有効にします。

設定したエアコン作動時間が終了した後も、選択されたリモートエアコン機能が最大 10 分間維持されます。オート モードは、作動待機が確立されると調整できます。

▹ 「エアコン システム Advanced Climate Control (2-/4- ゾーン エアコン)」の章（ 60ページ）を参照してください。

### プレクール / ヒート タイマーの停止

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ A/C ▸ リモート エアコン
2. [**タイマーを管理**] をタッチします。
3. 希望のタイマーを無効にします。
   – **または** –
   をタップし、**エアコン** オプションを無効にします。

この操作を行っても、すでに開始されているプレクーリング/ヒーティングが停止されることはありません。

### プレクーリング/ヒーティングを個別に設定する

**セントラル ディスプレイでエアコンの範囲を設定する**

1. ▸ A/C ▸ リモート エアコン
2. **エアコンの範囲**
3. 希望のエアコン設定を有効にします。

車両のシートは温められるか、換気されます (装備により異なる)。車両のシート設定は、外気温度により車両が自動的に制御します。運転席のシート ヒーターが作動すると、ステアリング ホイールのヒーターも作動します (車両の装備により異なります)。

**セントラル ディスプレイでの温度設定**

1. ▸ A/C ▸ リモート エアコン
2. [**温度**] をタッチします。
3. スライダーを使用して、希望する温度を設定します。

プレクーリング/ヒーティングの際には、設定温度になるように室内温度が制御されます。

**セントラル ディスプレイでリモートドア解除時のリモートエアコンを設定する**

1. ▸ A/C ▸ リモート エアコン
2. [**リモートドア解除時のリモートエアコン**] を有効にします。
   車両をリモートドア解除すると、5 分間のプレクーリング/ヒーティングが開始されます。

車両をリモートドア解除するたびにこの機能が誤作動することを防ぐために、この機能が作動する回数は停車するごとに 2 回までとなっています。

# エアバッグ システム

**⚠ 危険** 正しくないシート位置または正しく収納されていない荷物

エアバッグは、乗員全員がシート ベルトを着用し正しく着席している場合にのみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

- **シート ベルトを必ず着用します。**
- ドライバーや乗員とエアバッグが展開するエリアとの間に、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- ステアリング ホイールは必ずステアリング ホイール リムを握るようにしてください。
- 効果的に保護できるようにするには、ドライバーや乗員からエアバッグまで一定の距離が必要です。 エアバッグに必要以上に近づきすぎないようにシート位置を選択します。
- ドアの内側 (エアバッグが膨らむエリア) にもたれかからないでください。
- ドアの小物入れから荷物が決してはみ出ないようにしてください。
- シート上またはシートの前に重い荷物を載せて走行しないでください。
- ダッシュボードの上には物を置かないでください。
- 走行中はグローブ ボックスを収納しておいてください。
- 走行中、足は常にフットウェルに置いてください。 ダッシュボードやシート クッションの上に足を乗せないでください。
- ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

## エアバッグ システムの機能

エアバッグは、シート ベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、ドライバーや乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を保護します。

**フロント エアバッグ**は、運転席側のステアリング ホイール中央のパッド内、および助手席側のダッシュボード内に取り付けられています。

フロント シートの**サイド エアバッグ**はバックレストの側面に取り付けられています。リヤ シートのサイド エアバッグ (装備により異なる) はサイド ボルスター内にあります。

**ヘッド エアバッグ**はサイド ルーフ フレームに取り付けられています。

運転席および助手席用の**ニー エアバッグ**はダッシュボードの下にあります。

それぞれのエアバッグは、衝突の角度や力に応じて作動します。

**⚠ 危険** 作動済みのエアバッグを作動させることはできません。

エアバッグは 1 回しか作動できません。

- 作動済みのエアバッグは直ちに取り替える必要があります。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**⚠ 危険** エアバッグの改造による不具合

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。作動しなかったり、予期しないタイミングで作動したりする恐れがあります。 予期しないタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- エアバッグの配線や部品を改造しないでください。
- エアバッグの配線の近くには、アクセサリー類の配線を取り付けないでください。
- エアバッグ付近にアクセサリーを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- シートに保護カバーを装着しないでください。
- エアバッグの部品を取り外さないでください。

## 故障の認識

エアバッグ システムが故障した場合、インストルメント クラスターの赤いエアバッグ警告灯 によって表示されます。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

– 車両を ON にしたときに警告灯が点灯しない

**または**

– 作動準備が整っても、警告灯が消えない

**または**

– 走行中に警告灯が点灯する

ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

# 助手席エアバッグを OFF にする

図 38 : PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケーター

**⚠ 危険** 助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- チャイルド シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- チャイルド シートを取り外した後は、助手席エアバッグを ON に戻してください。

**⚠ 危険** 助手席エアバッグの故障または作動不良

作動待機が確立されていて助手席エアバッグが OFF のときに **PASSENGER AIR BAG OFF** ライトが点灯しない場合、システム故障の恐れがあります。

- 助手席にチャイルド シートを取り付けないでください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

図 39 : 助手席エアバッグを OFF にする

助手席エアバッグは、グローブ ボックス内のキー スイッチで OFF にできます。キー スイッチはエマージェンシー キーで操作できます。

- チャイルド シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。

▷ 「チャイルド シート」の章（ 165ページ）を参照してください。

# オンライン ソフトウェア アップデート

## オンライン ソフトウェア アップデートのダウンロード

一部の国で利用可能なオンライン ソフトウェア アップデート機能により、PCM および車両をアップデートできます。

オンライン ソフトウェア アップデートはバックグラウンドで自動的にダウンロードされます。 すべての PCM 機能および車両機能は、ダウンロード中も完全に使用可能です。 ダウンロードは、車両を OFF にすると一時停止し、ON にすると自動的に再開されます。 ダウンロード時間は接続品質によって異なります。 ダウンロードの完了後、インストールを開始できます。

### インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細 (ヘルプ ビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、 www.porsche.com/connectをご覧ください。

✓ ポルシェ コネクト サービスおよび個々のサービスが、My Porsche で有効になっている。
✓ オンライン ソフトウェア アップデートが My Porsche で有効化された
✓ データ接続が正常に確立されている。
✓ プライベート モードが無効になっている。
  ▷ 「プライベート モードの有効化 (一部の国で利用可能)」の章（221ページ）を参照してください。

## オンライン ソフトウェア アップデートのインストール

インストールの準備ができると、PCM が再起動するたびに、利用可能なオンライン ソフトウェア アップデートに関するメッセージが 1 回表示されます。 メッセージは通知でいつでも表示でき、インストールを開始できます。 オンライン ソフトウェア アップデートを実行する前に、故障診断用ソケットに外部機器が接続されていないことを確認してください。

▶ オンライン ソフトウェア アップデートの詳細については、ホーム画面で **アップデート**を選択してください。

### 知識

オンライン ソフトウェア アップデート中の使用制限。

作動準備がブロックされています。 ディスプレイおよび車両機能 (コンフォート機能や盗難防止機能など) が一時的に無効になる場合があります。

▶ 車両を安全に駐車します。
▶ すべての乗員が降車するなど、セントラル ディスプレイの要求に従ってください。
▶ オンライン ソフトウェア アップデート中は、車両を使用**しない**でください。
▶ 車両はインストール後にのみ使用してください。

1 つのインストール プロセスのみ開始できます。 このインストール プロセスは中断**できません**。 インストール時間は、オンライン ソフトウェア アップデートの内容によって異なります。 インストールすると、オンライン ソフトウェア アップデートを元に戻すことは**できません**。

✓ オンライン ソフトウェア アップデートが正常にダウンロードされた。
✓ 車両が OFF になっている。
✓ パーキング ロックとパーキング ブレーキが作動している。
✓ バッテリーが十分に充電されている。
✓ 追加の前提条件を満たさなければならない場合があります (ドアを閉める、車両をロックする)。 これらの前提条件はセントラル ディスプレイに表示されます。

### インフォメーション

インストールが確認されていない場合、または**後でインストール**する場合、インストール時間は自動的に延期されます。

▶ **はい** で確定して、オンライン ソフトウェア アップデートをインストールします。
  インストールの進行状況はセントラル ディスプレイに表示されます。
  走行準備に戻すと、セントラル ディスプレイに通知が 1 度表示されます。 車両は再び完全に使用できます。

## オンライン ソフトウェア アップデートの失敗

オンライン ソフトウェア アップデートの実行中に故障が発生する場合があります。 故障が発生した場合は、以下の手順を実施してください。

1. 車両を OFF にしてロックします。
   10 分間待ちます。
2. 車両の電源を ON にします。
3. オンライン ソフトウェア アップデートを再開します。
   すべての条件を満たす必要があります。

それでも故障が発生する場合、または更新が開始されない場合： 取扱説明書 (別冊) の「警告および情報メッセージ」の章をご覧ください.

発生した故障の重大度とその結果は、セントラル ディスプレイに表示されます。

### 知識

オンライン ソフトウェア アップデートの失敗による損傷と使用制限。

発生した故障の重大度によっては、車両の作動準備がブロックされる場合があります。 表示および車両機能

が正常に動作しません。

- 車両の作動準備が整っている場合：道路状況に合わせた運転を心がけてください。
- 車両の運転準備が整っていない場合：ロードサイド アシスタンス サービスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。
- ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

# カップホルダー

## カップホルダーの使用

**⚠ 注意** 熱い飲み物がこぼれた場合

熱い飲み物がこぼれた場合、乗員がやけどを負う恐れがあります。

- カップホルダーに合う、蓋がされた容器のみをご使用ください。
- 容器に飲物や液体がいっぱいに入っている状態ではカップホルダーを使用しないでください。
- 熱い飲み物を置かないでください。
- カップホルダーは、その用途の通り、飲み物を収納するためにのみ使用してください。

**知識**

飲み物がこぼれて損傷する恐れがあります。

- カップホルダーに合う、蓋がされた容器のみをご使用ください。
- 容器に飲物や液体がいっぱいに入っている状態ではカップホルダーを使用しないでください。

### フロント カップホルダーの使用

**図 40 : フロント カップホルダー**

フロント センター コンソールにはカップホルダーがあり、フロント アームレストには別のカップホルダーがあります。

### リヤ カップホルダーの使用

リヤ アームレストにはさらに 2 つのカップホルダーがあります。

**図 41 : リヤ アームレストのカップホルダー**

✓ リヤ シート 3 席装備車。

- アームレストのロック解除および開操作。

**図 42 : リヤ アームレストのカップホルダー**

✓ リヤ シート 2 席装備車。
▸ アームレストを開きます。

**ボトルの収納**

▸ ボトルはドアの小物入れに収納してください。

# キー

## キーの使用

### インフォメーション

- キーを使用するのは、車両が視界に入っている時だけにしてください。

キーが作動すると、キーのポルシェ クレストが点灯します。また走行中には、キーが作動していなくてもキーのクレストが点灯する場合があります。
走行中に、サービスおよびメンテナンスに関連するデータがキーに保存されます。このため走行中には、キーが作動していなくてもキーのポルシェ クレストが点灯する場合があります。キーへのデータ保存やキーからのデータ読み取りに関する詳細情報については、

- ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

以下の理由でリモート コントロールが機能しない場合があります。

– データ伝送中 (コンフォート アクセス装備車両の場合、キーと車両間の無線通信中) に電磁波が干渉している場合。
– 故障のためにリモート コントロールに不具合が発生している場合。
– キーのバッテリーが消耗している場合。

- キーが、作動中の電子機器 (携帯電話、ノート パソコン、充電ケーブルなど) と一緒に保管されている場合。必要に応じて、キーを別の場所に保管してください。

**図 43 : キー**

**A** 車両のロック解除
**B** 車両をロック
**C** ボンネットおよび車両のロック解除
**D** リヤ リッドの開操作および車両のロック解除

すべてのキーにエマージェンシー キーが内蔵されています。キーは、車両のすべてのロックを操作するのに使用できます。

- キーの取り扱いに注意し、特別の場合を除いて、キーを放置しないでください。
- キーを車内に残さないでください。

## エマージェンシー キーの使用

### エマージェンシー キーの取り外し

**図 44 : エマージェンシー キーの取り外し**

- エマージェンシー キーを押し上げ、ドライバーのキーから取り出してください。

### エマージェンシー キーを挿入します

- しっかりとはまるまで、エマージェンシー キーをキーに挿入します。

## キーの電池交換

**⚠ 警告** リチウム ボタン セルを飲み込むことによる体内での化学火傷または死亡

キーにはリチウム ボタン セル (電池) が含まれています。

電池を飲み込むと、2 時間以内に体内で科学火傷を起こし、死亡する可能性があります。

- 取り外した電池や新しい電池に子供を近づけないでください。
- キーに子供を近づけないでください。子供がキーを開いて電池を取り外す場合があります。
- 電池を飲み込んだり、身体の開口部に入れたりした場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

**インフォメーション**

- バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。

キーのバッテリーを交換する必要があるときに、メッセージがインストルメント クラスターに表示されます。キーを使用したときに、キーのポルシェ クレストが点灯しなくなります。

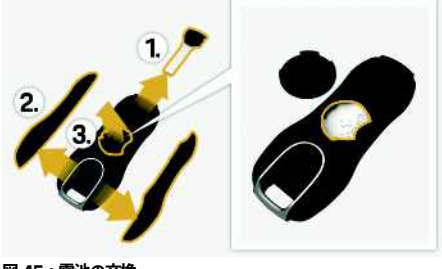



**図 45 : 電池の交換**

**バッテリー (CR 2032、3 V) を交換する**

1. エマージェンシー キーを取り出してください。
2. キー ハウジングの 2 箇所のクリップを左右に外します。
3. バッテリー カバーを反時計回りに回して開き、取り外します。
4. バッテリーを交換します (電極の向きに注意してください)。
5. バッテリー カバーを元に戻して、時計回りに回して閉じます。
   エマージェンシー キーを元の位置まで押し込めることを確認してください。
6. キー ハウジングを下から押し上げて、所定の位置にはめ込みます。
7. エマージェンシー キーを挿入します。

## キーの電池が切れた状態または電波干渉がある状態での車両の始動

車両とキーの間の無線通信に不具合があったり、キーの電池が切れたりすると、キーが検出できなくなる恐れがあります。

この場合に車両の電源を入れるには、次の手順に従ってください。

1. キーをセンター コンソールのリヤ ドリンク ホルダーに置きます。 キーをドリンク ホルダーのフロント ウォールに対して直立させて保持します。
2. 電源ボタンを押して、車両の電源を ON にします。

## スペア キーの注文と登録

キーの注文は、ポルシェ正規販売店からのみ行えます。 長期間かかることがあります。

- スペア キーを常に利用できるようにしてください。
- スペア キーを安全な場所に保管し、いかなる場合も車内または車両上に保管しないでください。

車両用の新しいキーを登録するには:

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- その車両に使用するすべてのキーを再登録します。

**インフォメーション**

合計 8 個のドライバー キーについて学ぶことができます。

**インフォメーション**

- ドライバー キーが紛失したり盗まれたりした場合は、ポルシェのパートナーに依頼し、車両のドライバのキーを無効にし、必要に応じて機械的なロックを変更してください。
- ドライバー キーの紛失や盗難保険会社に通知し、追加やスペア キーの製作を依頼してください。

# クーラント (冷却水)

**⚠ 警告** クーラント タンク

クーラント タンクは加圧されており、高温のクーラントが入っています。クーラント タンクを開けると、クーラントが突然噴き出すことがあります。

- クーラント タンクのキャップは**決して**開けないでください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- 加熱した車両部品の近くでは、十分注意して作業を行ってください。

**知識**

警告灯の表示後も車両を動かし続けると、損傷する恐れがあります。

- 車両を駐車して冷却してください。
- 早急に故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご連絡ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**知識**

クーラント レベルの低下は、クーラント システムからの漏れといった車両の欠陥を示しています。

- クーラントをご自身で補給することは**決してしない**でください。
- 早急に原因を解消してください。ポルシェ正規販売店にご連絡ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン クーラントには、年間を通じた腐食防止と、- 37 °C までの凍結防止の働きがあります。クーラント レベルの定期的な点検はメンテナンスの一部です。

- ポルシェでは、Glysantin® G40® (または G12+ +/VW TL 774 G に準拠した不凍液) の使用を推奨しています。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

# クルーズ コントロール (CC)

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

現在の交通状況で前走車との安全な距離を保って走行できない場合、または一定の車速で走行できない場合は、クルーズ コントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- 激しい渋滞、カーブの多い道、悪い路面状態 (冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など) ではクルーズ コントロールを使用しないでください。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

## 作動原理

クルーズ コントロール (CC) を使用すると、約 30 km/h～240 km/h の範囲でアクセル ペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

## 各操作部

**図 46 : ドライバー アシスタンス システムのレバー**

R システムの ON/OFF を切り替え、オプション メニューを開く
S オプション メニューを開く (システムが ON の場合)
1 速度を設定する / 上げる
2 減速する
3 再開 : 制御を再開する
4 キャンセル : 制御を中断する

## ディスプレイの要素

### ステータス表示シンボル

| シンボル | 意味 |
|---|---|
| | クルーズ コントロールが停止中です。 |
| | クルーズ コントロールが停止中です。制御が中断され、目標速度が表示されたままになります。 |
| | クルーズ コントロールは、設定目標速度で有効になります。 |

## クルーズ コントロールの ON/OFF の切り替え

常に、前回選択したシステムが ON になります。 ON になった時点では、システムは停止中になっています。 コントロール機能を作動させるには、最初にシステムを起動する必要があります。

**クルーズ コントロールを ON にする**

✓ ドライバー アシスタンス システムがまだ ON になっていません。

1. コントロール レバーの **R** ボタンを押します。 ドライバー アシスト システムのオプション メニューがインストルメント クラスターに表示されます。
2. クルーズ コントロールがまだ選択されていない場合は、ステアリング ホイールのロータリー ノブを使用して **クルーズ コントロール** を選択し、ノブを押して確定します。

アダプティブ クルーズ コントロールが ON で、なおかつ**停止中**になります。

**すでに有効化されたドライバー アシスタンス システムから ACC への切り替え**

1. コントロール レバーの S ボタンを押します。
   ドライバー アシスト システムのオプション メニューがインストルメント クラスターに表示されます。
2. ステアリング ホイールのロータリー ノブを使用して **クルーズ コントロール** を選択し、ノブを押して確定します。

アダプティブ クルーズ コントロールが ON で、なおかつ**停止中**になります。
ステータス ディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。 速度は保存されていません。

**インフォメーション**

OFF にした後も、前回選択したドライバー アシスタンス システムが保持され、作動待機が復元されます。

**クルーズ コントロールを OFF にする**

- コントロール レバーの R ボタンを押します。
  設定速度が消去され、シンボル マークが消灯します。

## クルーズ コントロールの作動

✓ クルーズ コントロールが ON になっています。
✓ 速度が 30 km/h を超過している
1. アクセル ペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
2. レバーを前方に軽く押します (1 の位置)。
   クルーズ コントロールが**作動しています**。

現在の走行速度はステータス ディスプレイに緑色で表示され、自動的に維持されます。

## 目標速度の変更

✓ クルーズ コントロールが作動しています。

**速度を上げる**

- コントロール レバーを、次のように前方 (位置 **1**) に押します。
  – 短く押す = 1 km/h (1 mph) ずつ速くなります
  – 押し続ける = 10 km/h (6 mph) ずつ速くなります

**減速する**

- コントロール レバーを、次のように (位置 **2**) に引きます。
  – 短く引く = 1 km/h (1 mph) ずつ遅くなります
  – 引き続ける = 10 km/h (6 mph) ずつ遅くなります

**インフォメーション**

アクセル ペダルを使用して加速することができます。これによって保存された値は変更されません。 アクセル ペダルから足を離すと、保存された値はリセットされます。

## クルーズ コントロールの中断および再開

クルーズ コントロールを中断するとスタンバイ モードに切り替わります。手動で再度作動するまで、スタンバイ状態のままになります。

**制御を中断する**

- コントロール レバーを下方向に押します (**CANCEL**)。
  – または –
- ブレーキ ペダルを踏んでください。
  – または –
- 位置 **N** を選択します。

クルーズ コントロールが停止中です。 目標速度の設定値は保存されたままです。 ステータス ディスプレイが緑色からグレーに変わります。

**次のような状況では、クルーズ コントロールは自動的に中断されます:**

– 車両が設定速度以上または未満の速度で一定時間走行している。
– ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が有効。

**制御の再開**

- コントロール レバーを上方向に押します (**RESUME**)。
  クルーズ コントロールは、設定速度になるまで加速するかブレーキをかけます。

# けん引

## 車両のけん引または押しがけによる始動

**知識**

けん引または押しがけによる始動が原因で、車両に重大な損傷を与える危険があります。

- けん引または押しがけによる始動は**行わない**でください。
- 車両をけん引しないでください。
- ロードサイド アシスタンスまたは故障復旧サービスに連絡してください。
- 復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーに前輪と後輪の両方を載せて車両を輸送してください。
- ロープ等で車両を固定するときは、ホイールのみで固定してください。 テンション ストラップをけん引フックにかけないでください。

---

高電圧バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、必ず高電圧バッテリーを再充電してから車両を始動させてください。

- ポルシェ正規販売店にご連絡ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 「12 V バッテリー」の章（271ページ）を参照してください。

## 車両のけん引

**図 47：けん引許可**

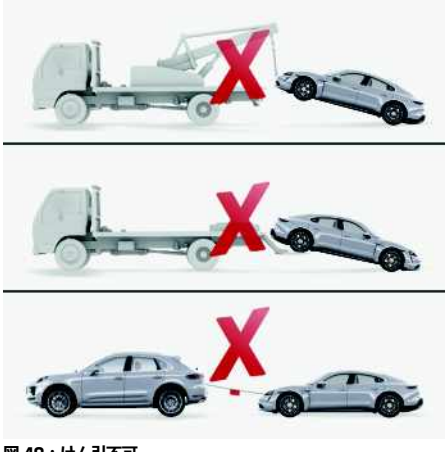


**図 48：けん引不可**

▷ 「鉄道、船舶および積載車での車両輸送」の章（83ページ）を参照してください。

## 別の車両のけん引

- 規定とマウントの指示については、製品メーカーからのマニュアルを参照してください。 メーカーの安全に関する指示と取扱説明書に従ってください。
- けん引ロープまたはけん引バーの許容けん引力を遵守してください。 けん引ロープまたはけん引バーは車両重量に適している必要があります。 メーカーの規定を絶対に超えないでください。
- けん引する車両より重い車両はけん引しないでください。
- ブレーキが故障した車両は**けん引しない**でください。
- けん引するときは、けん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープまたはけん引バーをけん引フックに取り付けてください。

  ▷ 「けん引フックの使用」の章（82ページ）を参照してください。

**けん引ロープの使用**

- けん引中はけん引ロープが絶対に緩まないように注意します。 不自然な動きや急な荷物の積載は避けてください。

**けん引バーの使用**

- けん引バーを車両間で斜めに取り付けることは**しないでください**。

## けん引フックの使用

**インフォメーション**

- 車両の輸送に関する法律を必ず遵守してください。
- 開始する前に、ドライバーは車両の輸送に適用される特別な条件をしっかりと理解しておく必要があります。

図 49 : フロントのけん引フック

## フロントのけん引フックの取り付け

けん引フックは工具セットに収納されています。

▹ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（250ページ）を参照してください。

1. プラスチック カバーの下端をバンパー内に押し込み、カバーを取り外してください。
2. プラスチック カバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フック **A** を反時計方向いっぱいにねじ込み（逆ねじ）、手で締め付けてください。

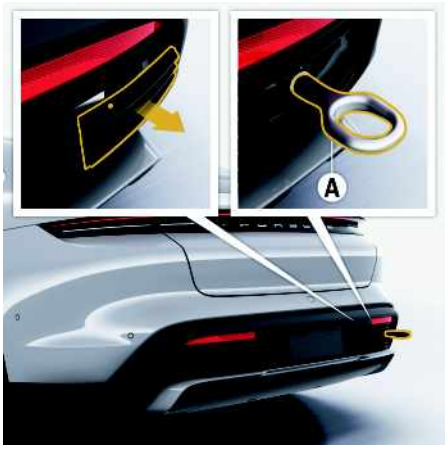



図 50 : リヤのけん引フック

## リヤのけん引フックの取り付け

けん引フックは工具セットに収納されています。

▹ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（250ページ）を参照してください。

1. プラスチック カバーの上端をマーキングの位置で押し、適切なツールを使用して慎重にプラスチック カバーを取り外してください。
2. プラスチック カバーをバンパーから引き出し、車両に安全に収納します。
3. けん引フック **A** を反時計方向いっぱいにねじ込み（逆ねじ）、手で締め付けてください。

## けん引フックの取り外し

1. けん引フック **A** を時計方向に回して外してください（逆ねじ）。
2. 開口部の下端にプラスチック カバーを差し込んでください。
3. プラスチック カバーを折り曲げ、バンパーにはまるまで上端を押してください。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

## 鉄道、船舶および積載車での車両輸送

1. ロープ等で車両を固定するときは、ホイールのみで固定してください。 テンション ストラップをけん引フックに**かけないでください**。
2. 室内モニタリング システムと傾斜センサーを解除してください。

▹ 「警報システム」の章（94ページ）を参照してください。

# 警告およびインフォメーション メッセージ

警告メッセージが表示された場合は、このマニュアルの該当する章をお読みください。すべての測定条件が揃っている場合にのみ、警告メッセージが表示されます - そのため、定期的にすべてのフルード レベルを確認してください。メッセージは、一定時間が経過するか、了解すると消えます。

警告灯が表示された場合は、このマニュアルの該当する章をお読みください。 45ページの 「インストルメント クラスター」の章を参照してください。

重要なメッセージは、メイン メニューのセントラル ディスプレイの に保存されています。メッセージによってその表示が異なり、たとえば、プロンプトを了解または確定するためのグラフィック、シンボル、またはボタンと組み合わせて使用されることがあります。一部のメッセージには、セントラル ディスプレイでの指示の表示や最寄りのポルシェ正規販売店の検索など、他の機能が含まれている場合があります。

▹ 「通知」の章（ 283ページ）を参照してください。

## 一般的なメッセージの構成

次の表に、各種メッセージとその意味を示します。

| 色 | メッセージの構成 | 例 | 緊急時 | 意味および必要な措置 |
|---|---|---|---|---|
| 赤色 | **原因**：<br>例：コンポーネントの故障/<br>コンポーネントの欠陥/<br>コンポーネントの不具合 | ドライブ システム エラー<br>電動ドライブの過熱 | 損傷の危険性が高い | **直ちに適切な場所で停車してください。**<br>▸ 運転を続けないでください。適切な場所で安全に停車し、車両を OFF にしてください。<br>▸ ロードサイド アシスタンスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。<br>▹ 「けん引」の章（ 82ページ）を参照してください。<br>▸ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1] |
| | **手順**：<br>安全に駐車する | 安全に駐車する | | |
| | 必要に応じた**さらなる手順** | 電動ドライブを冷ます | | |
| 黄色 | **原因**：<br>例：コンポーネントの故障/<br>コンポーネントの欠陥/<br>コンポーネントの不具合/<br>コンポーネントへの過負荷/<br>コンポーネントの制限/<br>コンポーネントが使用不可 | シャーシの故障 | 損傷の危険性が高い | **道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。**<br>▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。<br>▸ 負荷を軽減してください。<br>▸ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ポルシェ正規販売店で修理してください。[1] |
| | **手順**、および必要に応じた**さらなる手順**： | サービスに相談する | | |

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

| 色 | メッセージの構成 | 例 | 緊急時 | 意味および必要な措置 |
|---|---|---|---|---|
| | 例 : 要サービス/<br>サービスに相談する/<br>コンポーネントを点検する/<br>(道路状況に応じた、または限定された) 運転が可能/<br>速度を調整するか下げる/<br>負荷を軽減する | 慎重に走行する | | |
| 白色 | **原因** :<br>例 : コンポーネントの故障/<br>コンポーネントの制限/<br>コンポーネントが (これ以上) 使用不可 | カメラ システムが使用不可 | 損傷の危険性が低い | **慎重に走行してください。**<br>▶ 一時的な状態。運転中または車両の再始動後に、標準の状態に自動的に復元されます。<br>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。<br>▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ポルシェ正規販売店で修理してください。[2] |
| | **説明** :<br>例 : 一時的な状態 | 一時的な状態 | | |
| | 必要に応じた、**さらなる手順** :<br>例 : 要整備 /<br>走行可能 /<br>要負荷軽減 /<br>適切な運転を心がける | 走行可能 | | |

2. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## このマニュアルに詳細情報が記載されているメッセージ

| インストルメント クラスターまたはセントラル ディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|---|---|
| **アクティブ パーキング サポート使用可**<br>**センサー制限あり、取扱説明書を確認してください**<br>– または –<br>**アクティブパーキング サポート一部使用可能**<br>**レーザー センサー故障、取扱説明書を確認してください** | アクティブ パーキング サポートが制限されているか、故障しています。<br>**慎重に走行してください**<br>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。<br>▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。[1] |
| **ファンクション オンデマンドが作動中です。一部のディスプレイ、コントロール ユニット、安全に関わる可能性のある機能、およびドライバー アシスタンス システムが利用できない場合があります。現在、車両は始動しません。詳細情報については、取扱説明書を参照してください。**<br>– または –<br>**オンライン ソフトウェア アップデートが進行中です。一部のディスプレイ、コントロール ユニット、安全に関わる可能性のある機能、およびドライバー アシスタンス システムが利用できない場合があります。現在、車両は始動しません。詳細情報については、取扱説明書を参照してください。** | アップデートのインストール中か、ファンクション オンデマンド (FoD) が作動しています。作動準備がブロックされています。ディスプレイと車両機能 (コンフォート機能や盗難防止機能など) が一時的に無効になる場合があります。<br>▶ すべての乗員が降車するなど、セントラル ディスプレイの要求に従ってください。<br>▶ アップデートのインストール中またはファンクション オンデマンド (FoD) が作動している間は、車両を使用しないでください。<br>▷ 「オンライン ソフトウェア アップデート」の章（ 73ページ）を参照してください。 |
| **カーブ警告機能使用不可**<br>**センサー制限あり、取扱説明書を確認してください** | カーブ警告に制限があるか、故障しています。<br>**慎重に走行してください。**<br>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。<br>▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。[1] |
| **ブレーキパッド摩耗**<br>**ブレーキ パッドを交換してください、走行可** | ブレーキ パッドが摩耗しています。<br>**道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。**<br>▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店でブレーキ パッドを交換してください。[1] |
| **パワー ブレーキ故障**<br>– または –<br>**パワー ブレーキ エラー** | パワー ステアリングは故障したか不具合があります。<br>**直ちに適切な場所で停車してください。** |

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

| インストルメント クラスターまたはセントラル ディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|---|---|
| | ▶ 運転を続けないでください。適切な場所で安全に停車し、車両を OFF にしてください。<br>▶ ロードサイド アシスタンスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。<br>▷ 「けん引」の章（82ページ）を参照してください。<br>▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[2] |
| **オンラインでのソフトウェア アップデートに失敗しま した。一部の機能が正常に 作動しない可能性が あります。警告灯および インジケーターランプに 注意し、取扱説明書に 従ってください。Porsche 正規販売店にお問い 合わせいただき、アップ デートを再び実行および 完了してください。** | アップデートに失敗しました。発生した故障の重大度によっては、車両の作動準備がブロックされる場合があります。表示および車両機能が正常に動作しません。発生した故障の重大度とその結果は、セントラル ディスプレイに表示されます。<br>▶ 車両の作動準備が整ったら：道路状況に合わせた運転を心がけてください。<br>▶ 車両の運転準備が整わない場合：ロードサイド アシスタンス サービスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。<br>▷ 「けん引」の章（82ページ）を参照してください。<br>▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[2] |
| **介入がキャンセル されました** | ドライバー アシスタンス システムの介入が中断されました。<br>**道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。**<br>▶ 車両のコントロールを行ってください。<br>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。<br>▷ 「車両設定」の章（138ページ）を参照してください。 |
| **シャーシの故障**<br>**慎重に走行してください。取扱説明書をお読みください。**<br>– または –<br>**シャーシの故障**<br>**慎重に走行してください。取扱説明書をお読みください。** | シャーシが故障しているか、不具合があります。<br>**道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。**<br>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。<br>▶ 負荷を軽減してください。<br>▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。[2] |
| **左充電ポートが 損傷しています**<br>**充電ポートを確認、取扱説明書を参照してください**<br>– または –<br>**右充電ポートが 損傷しています**<br>**充電ポートを確認、取扱説明書を参照してください** | 一方または両方の充電ポート リッドの機能が制限されているか、故障しています。<br>**道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。**<br>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。<br>▶ 次の機会に充電ポート リッドを点検してください。<br>必要に応じて、充電ポート リッドの緊急解除を実施してください。 |

2. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

| インストルメント クラスターまたはセントラル ディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|---|---|
| – または –<br>**充電ポートが 損傷しています**<br>**充電ポートを確認、取扱説明書を参照してください** | ▷ 「充電ポート リッドの緊急解除の実施」の章（ 154ページ）を参照してください。<br>▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。[3] |
| **走行中はドアを開ける ことはできません**<br>**取扱説明書をお読みください** | ドアは、約 15 km/h の速度を超えると自動的にロックされ、開けることができなくなります。<br>▶ ドア ロック オプションを設定する。<br>▷ 「車両設定」の章（ 138ページ）を参照してください。 |
| **サービス モードのパーキング ブレーキ** | パーキング ブレーキがサービス モードになっています。<br>**道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。**<br>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。<br>▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。[3] |
| **レイン / ライト センサー故障**<br>**要修理** | レイン / ライト センサーが故障しています。<br>**慎重に走行してください。**<br>▶ フロント ワイパーおよびライトを手動で ON にしてください。<br>▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。[3] |
| **TPMS故障**<br>**要整備** | タイヤ空気圧モニタリングが制限されているか、故障しています。<br>**慎重に走行してください。**<br>▶ 次の機会にタイヤの空気圧を点検し、必要に応じて正しい空気圧を設定してください。<br>▷ 「タイヤおよびホイール」の章（ 156ページ）を参照してください。<br>▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。[3] |
| **タイヤ空気圧が低すぎます**<br>**減速してください** | 設定したタイヤ空気圧の最高速度を超過しています。<br>**慎重に走行してください。**<br>▶ 減速してください。<br>▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。<br>▷ 「タイヤおよびホイール」の章（ 156ページ）を参照してください。 |

3. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

| インストルメント クラスターまたはセントラル ディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|---|---|
| **タイヤ点検が必要** | 1 つまたは複数のタイヤの空気圧が著しく低下しています。<br>**車両を安全に駐車します。**<br>▶ 運転を続けないでください。適切な場所で安全に停車し、車両を OFF にしてください。<br>▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。<br>▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。<br>▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。<br>▷ 「タイヤおよびホイール」の章（156ページ）を参照してください。<br>▷ 「パンク」の章（189ページ）を参照してください。<br>▶ 必要に応じて、ロードサイド アシスタンスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。<br>▷ 「けん引」の章（82ページ）を参照してください。<br>▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[1] |
| **キーが見つかりません<br>トレイにキーを置いてください、取扱説明書を お読みください** | キーの信号に不具合があります。キーの場所が不適切か、キーの電池が切れているため、キーが検知されません。<br>▶ キーをセンター コンソールのリヤ ドリンク ホルダーに置きます。<br>▶ 電池を交換してください。<br>▶ 干渉源となっている可能性のあるもののスイッチを OFF にしてください。<br>▷ 「キー」の章（77ページ）を参照してください。 |
| **スマートリフト 故障<br>取扱説明書をお読みください** | スマート リフトに失敗しました。<br>**道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。**<br>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。<br>▶ 負荷を軽減してください。<br>▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。[1] |
| **更新失敗<br>車両機能制限あり、取扱説明書を 確認してください** | アップデートに失敗しました。 発生した故障の重大度によっては、車両の作動準備がブロックされる場合があります。 表示および車両機能が正常に動作しません。 発生した故障の重大度とその結果は、セントラル ディスプレイに表示されます。 |

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

| インストルメント クラスターまたはセントラル ディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|---|---|
| | ▶ 車両の作動準備が整っている場合：道路状況に合わせた運転を心がけてください。<br>▶ 車両の運転準備が整っていない場合：ロードサイド アシスタンス サービスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。<br>▷ 「けん引」の章（82ページ）を参照してください。<br>▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。[2] |
| **アップデートを実行中…<br>車両は準備ができていません、取扱説明書を確認してください** | アップデートをインストールしています。 作動準備がブロックされています。 ディスプレイと車両機能 (コンフォート機能や盗難防止機能など) が一時的に無効になる場合があります。<br>▶ アップデートのインストール中は車両を使用しないでください。<br>▷ 「オンライン ソフトウェア アップデート」の章（73ページ）を参照してください。 |
| **警告およびブレーキ アシスト制限あり<br>取扱説明書をお読みください** | 警告とブレーキ アシストに制限があるか、故障しています。<br>**道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。**<br>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。<br>▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。[2] |

2. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

# 警告およびブレーキ アシスト

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** システムが使用できないか、使用が制限されています

システムはその制限内でドライバーをサポートしますが、すべての状況下で事故を防ぐことはできません。

事故を回避するために適切な運転を心がけるのは、常にドライバーの責任です。

- 十分注意して運転してください。
- 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- システムが利用できない、または期待どおりに機能しない場合、ドライバーは常に車両を制御できるよう備えていなければなりません。

## システム制限

システムは、その制限内において、正面衝突しそうになると警告を発し、適切なブレーキ操作 (国別仕様による) またはステアリング アシスト (装備による) を開始します。 すべての通行人および危険な状況を正確に素早く認識できるわけではありません。

車両の横および後方は監視されていません。

複雑な走行状況では、システムが不適切な警告を発したり、不必要なブレーキをかけたりする可能性があります。

危険な状態に応じて、すべての警告とブレーキ アシストの保護措置が起動するわけではありません。

システムは歩く速度よりも早ければ利用でき、85 km/h の速度までは歩行者または自転車に反応できます。 また、速度が 250 km/h までの車両にも反応できます。

システムは、動物や交差車両のほか、バー、フェンス、列車などの障害物には反応**しません**。

ターン アシストを装備した車両のシステムは、対向車両にも反応します。

### 次の場合、機能は使用できません。

- 後退時
- ブレーキ ライトが故障している場合
- PSM が作動不良で OFF になっている場合
- エアバッグ コントロール ユニットが作動不良の場合

### 次の場合は、機能は制限されるか、使用できない可能性があります。

- 作動準備が確立してから、最大 10 秒間
- シート ベルトを着用していない場合
- 急カーブ
- ガードレールやトンネルの入り口などの反射物がある場合
- 豪雨、雪、霧、氷
- フロント ウィンドウが損傷した場合
- 駐車場の段差などでバンパーを損傷した場合
- レーダー センサーが損傷しているか、汚れている場合
- アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) が作動不良の場合

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

## 作動原理

警告とブレーキアシスト (WBA) は、特定の危険な状況で、乗員および他の通行者を保護するための措置を開始できます。

警告とブレーキアシスト (WBA) には、国に応じて次の機能が含まれます：

- 距離警告 (装備仕様により異なる)
- 衝突警告
- 緊急警告 (振動による警告)
- 自動ブレーキおよびブレーキ アシスタント
- ステアリング回避アシスト (装備による)
- ターン アシスト (装備による)
- 予防的乗員保護機能 (装備仕様により異なる)

フロント ガラスの後ろのカメラとアダプティブ クルーズ コントロール (ACC) のレーダー センサー (装備によって異なる) は、車両の前方の周囲状況を検出します。 他の道路利用者 (車両、歩行者、自転車) と正面衝突しそうな状況を検出できます。

### インフォメーション

- 特に、走行、車間距離、速度などに関して、該当する国固有の規制を遵守してください。
  ドライバーは常に、各国で適用される関連規制を遵守する責任があります。
- 警告およびブレーキ アシストを OFF にするための指示に従ってください。
- 機能の設定に関する情報に従ってください。

▷ 「警告およびブレーキ アシストの ON/OFF を切り替える」の章（93ページ）を参照してください。

▷ 「警告およびブレーキ アシスト機能の設定」の章（93ページ）を参照してください。

## 距離警告

前方車両に接近しすぎているために警告およびブレーキ アシストが危険を検知した場合、ドライバーはインストルメント クラスターの ディスプレイから警告を受けます[1]。

速度が約 65 km/h～250 km/h の場合に検知できます。

## 衝突警告[1]

**図 51 : インストルメント クラスターの衝突警告**

システムが衝突の危険を検知した場合、警告音を発し、インストルメント クラスターに警告を表示してドライバーに注意を促します。

## 緊急警告 (振動による警告)[1]

ドライバーが衝突警告に反応しない場合、警告音およびインストルメント クラスターのシンボルの表示に加えて、振動による警告を与えます。

振動による警告により、システムはドライバーの注意を喚起し、衝突の危険が高まっていることを知らせます。

この警告が出された場合、ドライバーが歩行者を避けたり急ブレーキをかけたりすることで衝突を防げる可能性があります。

## 自動ブレーキおよびブレーキ アシスト[1]

ドライバーが緊急警告に反応しない、またはブレーキを十分にかけていない場合、警告とブレーキ アシストは徐々にブレーキを強めていき、ドライバーのブレーキングをサポートしたり、車両を停止させることができます。

さらに、警告音が発せられ、インストルメント クラスターにシンボルが表示されます。

車両を減速させることにより、事故の被害を軽減することができます。

### インフォメーション

自動ブレーキ介入は以下の措置により中止できます。

- ブレーキ ペダルを踏んでください。
- アクセル ペダルをいっぱいまで踏み込みます。
- ステアリングを操作します。

### インフォメーション

車両が停止しても、それ以降、ブレーキがそのままずっとかけられるわけではありません。

- 必要であれば、ブレーキを踏み、車両のコントロールを再開してください。

## ステアリング回避アシスト

ステアリング回避アシストは、周囲に障害物がある危険な状態で車両を操縦するのに役立ちます。

システムが危険な状況を検出し、緊急警告後にドライバーが障害物を積極的に回避しようとする場合に、ステアリング回避アシストがホイールを選択して個別にブレーキをかけ、わずかにステアリングを動かしてステアリング角度を修正することでドライバーをサポートします。 ステアリング回避アシストが作動中の場合、自動ブレーキおよびブレーキ アシストは中断されます。

### システム制限

ステアリング回避アシストは速度が 50 km/h～150 km/h のときに利用可能です。

## ターン アシスト

ターン アシストは、ブレーキ介入により発進または低速走行をサポートします。それにより、車両は[2] 左折時に、対向車と衝突しません。 ブレーキ介入により、車両は走行車線に維持されます。

### システム制限

ターン アシストは、方向指示器を使用し、かつ最高速度が 10 km/h までの場合にのみ利用することができます。

1. 利用可否は国によって異なります。
2. 国別仕様による : ターン アシストは、右側通行の国では左折時のみ、左側通行の国では右折時のみ利用できます。

## 予防的乗員保護機能

### シート ベルト システム最適化

発進すると、フロント シート ベルトは徐々に締め付けられます。
走行速度が約 30 km/h (20 mph) に達したとき、またはシート ベルトを再装着したときに、この機能が作動します。

### シート ベルトおよび車内のプレコンディショニング

危険な状態になると、予防的乗員保護システムの効果を高めるために、衝突に備える保護措置が開始されます。 状況に合わせて、フロントのシート ベルトが座席側に引き込まれたり、開いていたウィンドウが閉じられたり、フロント シートのサイド ボルスターが膨張したりします (装備している場合)。
次の状況において、システムの制限内で予防的乗員保護措置を作動できます。

- ドライバーによる約 30 km/h (20 mph) の速度からの緊急停止中
- 車両による自動ブレーキ介入の作動中

衝突の危険がなくなり、運転の状況が安定すると、プレコンディショニング措置は終了し、シート ベルト張力は再び解除されます。

### システム制限

- 繰り返し作動により (安全運転トレーニングなどにおいて)、ベルト張力は徐々に強くなっていき、ベルト張力を正しく解除できなくなることがあります。 この場合、シート ベルトを外して再度着用するか、警告とブレーキアシストを無効にします。
- リバーシブル ベルト テンショナーが故障した場合、予防的乗員保護機能は限られた範囲でのみ使用可能です。
- 事故後、シート ベルト プリテンショナーは損傷している可能性があります。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- PSM の機能が制限されているか OFF になっていると、警告とブレーキアシストの予防的乗員保護機能も無効になります。

## 警告およびブレーキ アシストの ON/OFF を切り替える

**知識**

- 次の状況では、警告とブレーキアシストを OFF にしてください。
  - 公道以外を走行する場合
  - 復旧車両、車両輸送専用車、電車、船舶などでの輸送中

---

▸ ▸ **アシスト ▸ 基本アシスト ▸ 警告およびブレーキ アシスト(WBA)**

警告とブレーキアシストが制限されているか OFF になっている場合、それを示すアイコンがインストルメント クラスターに表示されます。

▹ 「インストルメント クラスター」の章（ 45ページ）を参照してください。

**インフォメーション**

この機能は、作動準備が確立されると自動的に有効になります。

---

## 警告およびブレーキ アシスト機能の設定

▸  ▸ **アシスト ▸ ベーシック アシスト ▸ 警告およびブレーキ アシスト(WBA)**

以下の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

- **距離警告**
  警告時間も設定できます。
- **衝突警告**
  警告時間も設定できます。
- **ターンアシスト**
- **車線逸脱アシスト**

# 警報システム

## 作動原理

アラーム システムは次の警報接点を監視します：

– ドア、フロント リッド、トランク リッドの警報接点
– 室内モニタリング システム：車両をロックした後の車内での動き (ウィンドウを壊して車内に侵入しようとしたときなど)
– 傾斜センサー： 車両の傾斜 (例えば車両をけん引しようとしたとき)
– 故障診断用ソケット

## 警報システムの ON/OFF を切り替える

- 車両をロックすると、約 30 秒後に警報システムが有効になります。
- 車両のロックを解除すると、警報システムは無効になります。

さらに、セントラル ディスプレイを使用して、車両をロックするときに車室内モニタリング システムと傾斜センサーを無効のままにするかどうかを指定することもできます。

- ▸ 設定 ▸ 車両 ▸ 車両ロックシステム ▸ 車内モニタリング

### インフォメーション

ドア ロックにエマージェンシー キーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するため、15 秒以内に電源ボタンを ON にしなければなりません。

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

## 作動した警報システムを OFF にする

- キーの ボタンを押してください。
  – または –
- 電源ボタンを押して、車両の電源を ON にします。

## 室内モニタリング システムおよび傾斜センサーを停止する

車内に人や動物が残る場合、室内モニタリング システムおよび傾斜センサー、また車両をロックするときは SAFELOCK も一緒に解除することができます (国によって異なります)。

▹ 「セントラルロッキング」の章（ 120ページ）を参照してください。

## アラーム システム機能表示

フロント ドアのインジケーター ライトの点滅速度によりロック状態が示されます。

### 警報システムが起動する

車両をロックしたときにインジケーター ライトは素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

### アラームシステムが起動、室内モニタリングと傾斜センサーがスイッチ OFF

車両をロックしたときに、インジケーター ライトは素早く点滅し、28 秒間消灯し、その後はノーマル モードで点滅します。

### セントラル ロッキング システムおよびアラーム システムの故障

車両をロックする時に、インジケーター ライトは素早く点滅し、28 秒間点灯し続けて、その後はノーマル モードで点滅します。

## 盗難防止機能

車両から離れる前に、必ず次のことを行ってください：

- ウィンドウを閉じてください。 これは室内モニタリング システムによる警報の誤作動を防止することにもなります。
- セレクター レバーの P ボタンを押して、パーキング ロックとパーキング ブレーキを作動させてください。
- グローブ ボックスを閉じます。
- 小物入れをすべて閉じます。
- 貴重品、車両の書類、電話、自宅のカギを車両に残さないようにします。
- ドア、ボンネット、リヤ リッドを閉じます。
- 車両をロックします。

## イモビライザー

すべてのキーにはコードが保存されたトランスポンダー (電子部品) が含まれています。

イモビライザーを無効にし、車両を走行可能な状態にするには、承認済みのキーが必要です。

# 交差点アシスト

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 車両周辺の検出の制限

センサー (カメラ、レーダーなど) が検出できるエリアは、影響を及ぼす様々な要素 (降雨、降雪、凍結、激しい水しぶき、対向車両のヘッドライト、汚れ、損傷など) により制限される場合があります。その結果、警告が発せられないことがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ フロント カメラ レンズおよびフロント レーダーは定期的に洗浄し、付着した雪や氷は除去してください。
- ▶ センサーを覆わないでください。
- ▶ カメラ レンズ前面のフロント ウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

**⚠ 警告** 振動による警告がない

PSMが OFF になっていると、衝突するおそれがある場合に先立って振動による警告が発せられることはありません。この場合、システムから表示と警告音のみにより、ドライバーに警告します。

- ▶ 道路状況に応じた適切な運転と走行スタイルを心がけてください。

## システム制限

**⚠ 警告** システムの使用には制限があります

特定の状況では、システムによるアシストは保証されません。以下のような状況が含まれます。

- – 歩行者や動物は検出されません。
- – 自転車は検出されない場合があります。
- – 高速で接近してくる車両、またはゆっくり接近してくる車両もタイミングよく検出できない場合があります。
- – 周囲の反射物 (鉄橋、鉄製の手すりなど) により、誤警告を発したり、警告が全く発信されなかったりする恐れがあります。
- – 横断する物体により加速や走行スタイルの変更 (急な方向転換など) が求められた場合には、誤った警告が発せられたり、警告が全く発せられないことがあります。
- – 脇道に入るときなど、車両が走行車線の方向を向いていない (走行車線に対して斜め、直角になっている、あるいは鋭角に上方向または下方向を向いている) 場合は、接近する車両を検出できないか、タイミングよく検出できない可能性があります。
- – 車両が停車位置から発車するときに、特定の状況下では脇道に入ろうとしていることが認識されないか、遅れて認識される場合があります。システムが直進を想定していたことにより、誤った衝突警告が発せられる可能性があります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

## 作動原理

交差点アシスト機能により、交差点や駐車場の出口で車両の前方と左右の状況を監視します。 この監視機能は、車両に組み込まれたカメラとレーダー センサーが担います。

衝突の可能性がある場合、インストルメント クラスターとセントラル ディスプレイに警告を表示し、警告音を鳴らすことでドライバーに警告します。状況によってはブレーキによる振動で警告を行います。

## エレメントを表示する

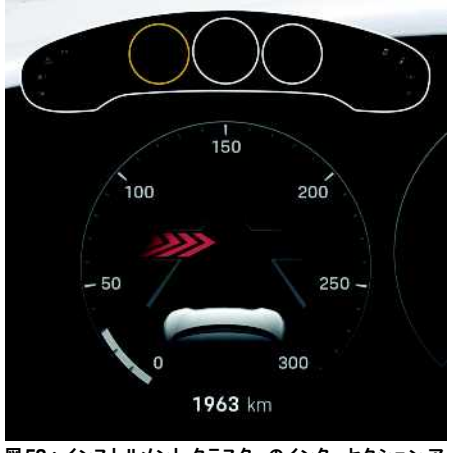



**図 52 : インストルメント クラスターのインターセクション アシスト ディスプレイ**

システムは衝突の危険を検知した場合、警告音を発し、インストルメント クラスターに警告を表示してドライバーに警告します。

衝突の危険がある場合、交差車両が接近している方向が赤い矢印で表示されます。

- – これは、パークアシストが作動している場合にのみセントラル ディスプレイに表示されます。

– **ACC** メイン メニューが起動している場合に限り、インストルメント クラスターのディスプレイに表示されます。

## 交差点アシストの ON/OFF の切り替え

交差点アシストは、セントラル ディスプレイで ON/OFF を切り替えることができます。

✓ シフト ポジション **D** が選択されました。
✓ 速度が約 30 km/h 以下。
✓ ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が ON になっている。

▸ ▸ **アシスト** ▸ **交差点アシスト**

### インフォメーション

この機能は、作動準備が確立されると自動的に有効になります。

# サンバイザー

## サンバイザーの調整

**図 53 : サンバイザーの調整**

- サンバイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。

横から眩しい光が入る場合は次のことを行ってください。

- 内側のブラケットからサンバイザーを外して回転させ、ドア ウィンドウ側にセットしてください。

## バニティー ミラーを開く

**図 54 : バニティー ミラーを開く**

- サンバイザー内側にあるバニティー ミラーのスライド カバーを開きます。
  バニティー ミラーのライトが点灯します。

**知識**

バニティー ミラーのスライド式のカバーを損傷する危険があります。

- スライド式のカバーを全開位置から無理に開かないでください。

# シート

## 正しいシート位置の選択

正しいシート位置は、安全で疲れにくい運転に重要な要素です。 ドライバーにフィットするよう運転席シート位置を調整するには、以下の手順を実施してください。

1. 頭上の空間に十分余裕があり、周囲がよく見える高さにシートの高さを調節してください。
2. ペダルをいっぱいに踏んだ時に足が伸び切らないように、かつ靴の裏がペダルの表面全体に接触するように、シートの前後位置を調節してください。
3. ステアリング ホイールの上部分を握ってください。 バックレストの角度とステアリング ホイールの位置は、肘が少し曲がる程度に調節してください。 ただし、肩はバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要であればシートの前後位置を調節します。

## シートの調節

**⚠ 警告** 走行中のシート調節

走行中にシートを調節すると、シートが予期した以上に移動する恐れがあります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▸ 走行中にはシートを調節しないでください。

**⚠ 注意** シート調節

シートの調節中に可動範囲に人や動物がいると、身体の一部が挟まる恐れがあります。

- ▸ 誰にも危険がないようにシートを調節してください。

**知識**

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ▸ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。

### 電動シートの調節

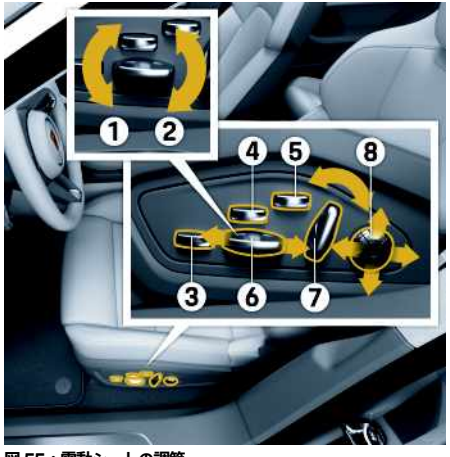



**図 55 : 電動シートの調節**

1 シートの角度調節
2 シートの高さ調節
3 サイ サポートの調節
4 シート クッション サイド ボルスターの調節 (装備により異なる)
5 シート バックレスト サイド ボルスターの調節 (装備により異なる)
6 シートの前後調節
7 バックレストの角度調節
8 ランバー サポートの調節

- ▸ 各スイッチを矢印の方向に押して、希望のシート位置、または終端位置まで調節してください。

## シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関する情報 :

▹ 「パーソナル設定」の章 ( 196ページ) を参照してください。

## イージー エントリー機能の利用

イージー エントリー機能は、車両への乗り降りを容易にするための装備です。

**⚠ 注意** 運転席シート自動調節

運転席の後ろにいる人は、運転席が後ろに向かって自動的に調整された結果、座席に挟まれる可能性があります。

- ▸ 運転席の後ろに人がいる場合は、イージー エントリー機能を OFF にしてください。

**知識**

設定が呼び出されるときにリヤ シートが折りたたまれていると、シートおよびリヤ シートが損傷する危険があります。

- ▸ リヤ シートが折りたたまれている場合は、イージー エントリー機能を OFF にしてください。

### 機能を作動させる

イージー エントリー機能は、セントラル ディスプレイで有効にできます。

- ▸ ▸ コンフォ ート ▸ イージーエントリー ☑

▹ 「車両設定」の章 ( 138ページ) を参照してください。

### 降車するとき

✓ 機能が作動しています。

▸ 電源ボタンを押して車両を OFF にし、**それから**運転席のドアを開けます。
ステアリング ホイールが上に移動します。
運転席が後ろに移動します。

### 乗車するとき

✓ 機能が作動しています。

✓ 運転席とステアリング ホイールは、イージー エントリーで設定した位置にあります。

▸ 運転席のドアを閉め、電源ボタンを押して車両を ON にします。
運転席とステアリング ホイールが格納位置に移動します。

### インフォメーション

キーを交換した場合、シートおよびステアリング ホイールはそのキーに保存された位置に移動します。

### インフォメーション

シート設定を手動で変更すると、乗車時補助機能が中断します。

▸ ドライビング ポジションを手動で調節してください。

## シート ヒーター / シート ベンチレーターを ON/OFF にする

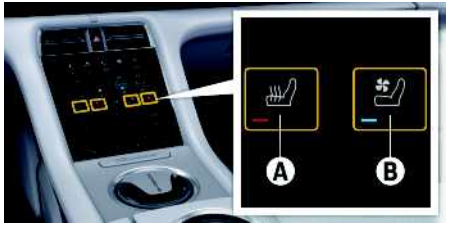



**図 56 : シート ヒーター / シート ベンチレーターを ON/OFF する**

**図 57 : リヤ シート ヒーターの ON/OFF の切り替え**

### シート ヒーター / シート ベンチレーター を ON にする

✓ 車両の作動準備が整っています

▸ 必要に応じて **A** (シート ヒーター) または **B** (シート ベンチレーター) のソフトキーを繰り返しタップします。
ヒーターまたはベンチレーターの設定に応じた数のインジケーター ライトが点灯します。

シート ヒーターは、シートとバックレストのヒーターのワイヤーを介してシートを暖めます。
シート ベンチレーターは、シートとバックレストを通して冷気を車室内に送ることにより、シートを冷却します。

### シート ヒーター / シート ベンチレーターを OFF にする

▸ インジケーター ライトがすべて消灯するまで、必要に応じて **A** (シート ヒーター) または **B** (シート ベンチレーター) のソフトキーを繰り返しタップします。

### インフォメーション

車内の温度が高いときはシート ヒーターを使用できません。
室内の温度が 15 °C より低いときは、シート ベンチレーターを使用できません。
バッテリー電圧が低すぎると、まずシート ヒーター / シート ベンチレーターの作動が制限され、その後 OFF になります。

### フロント シート ヒーター / シート ベンチレーターの設定

フロント シート ヒーターとシート ベンチレーターに対し、シートとバックレストのバランスをセントラル ディスプレイで設定できます。

1. ▸ **コンフォ ート ▸ 運転席/助手席 ▸ ヒーター バランス/送風バランス**
2. バランスを設定します。

### リヤ シート ヒーターの設定

リヤ シート ヒーターの場合、シートとバックレストのバランスをリヤ ディスプレイで設定できます。

1. ▸ **シート ヒーター バランス左 / シート ヒーター バランス右**
2. バランスを設定します。

## フロント シート マッサージ機能の使用 (装備により異なる)

### マッサージ機能の ON 切り替え

✓ 車両の作動準備が整っています

▸ 対応するシート上にある 8（図 55） ボタンを押します。
マッサージ機能が ON に切り替わります。
マッサージ プログラム選択メニューがセントラル ディスプレイに短時間表示されます。

▸ マッサージ強度を選択するには アイコンをタッチします。

▸ マッサージ機能の ON/OFF を切り替えるには アイコンをタッチします。

マッサージ機能は 10 分後に自動的に OFF になります。

### セントラル ディスプレイでのマッサージ プログラムの設定

✓ 車両の作動準備が整っています。

1. ▸ コンフォート ▸ 運転席/助手席 ▸ マッサージプログラム
2. 希望のマッサージ プログラムを選択してください。

### セントラル ディスプレイでのマッサージ強度の設定

✓ 車両の作動準備が整っています。

✓ マッサージ プログラムが選択されています。

1. ▸ コンフォート ▸ 運転席/助手席 ▸ マッサージの強さ
2. 希望のマッサージ強度を選択してください。

## 運転席からの助手席シート調整

1. ▸ コンフォ ート ▸ 助手席シートを調整
2. 運転席のコントロールを使って助手席シート位置を設定します。

**調整を終えるには :**

▸ **シート調整を完了する**を選択します。

## ヘッドレストの調節

### フロント シートのヘッドレストの調節

フロント シートのヘッドレストは、前後位置の調節が可能です。

▸ ヘッドレストがしっかり固定されていることを確認してください。

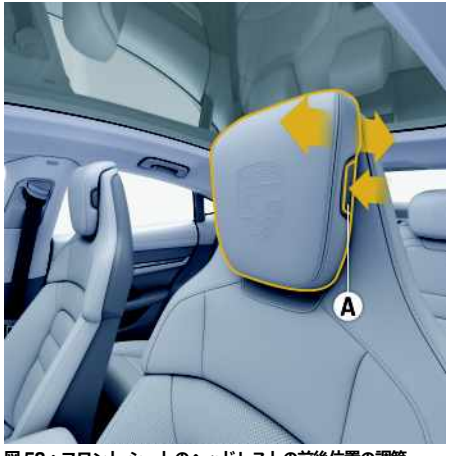



**図 58 : フロント シートのヘッドレストの前後位置の調節**

**前方向**

▸ ボタン **A** を押しながら、ご希望の設定になるまでヘッドレストを両手で前方向に引いてください。

**後ろ方向**

▸ ボタン **A** を押しながら、ご希望の設定になるまでヘッドレストを両手で後ろ方向に押してください。

### リヤ シートのヘッドレストの調節

**⚠ 警告** 中央のリヤ シートのヘッドレスト位置

ヘッドレストが正しく調節されていない場合、事故の際に負傷する恐れが高まります。

▸ 中央のリヤ シートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを格納位置から動かし、上の設定に上げてください。

リヤ シートのヘッドレストは、高さ調節が可能です。

▸ ヘッドレストの上端が目線の位置になるように、ヘッドレストの高さを調節してください。目の高さに到達できない場合、ヘッドレストの最上部の位置を選択します。

▸ ヘッドレストがしっかり固定されていることを確認してください。

**図 59 : リヤ シートのヘッドレストの高さの設定 (例 : リヤ シート 3 席)**

**ヘッドレストを上げる**

- ご希望の設定になるまでヘッドレストを持ち上げてください。

**ヘッドレストを下げる**

- ボタン **A** を押しながらご希望の設定になるまでヘッドレストを押し下げてください。

後方視界を確保するために、中央のリヤ シートのヘッドレストの位置を格納位置まで通常より下げることができます。

## リヤ シートのヘッドレストの取り外しと取り付け

チャイルド シートを正しく取り付けるために、リヤ シートのヘッドレストを取り外さなければならない場合があります。

▷ 「チャイルド シート」の章（ 165ページ）を参照してください。

**⚠ 警告** リヤ シートのヘッドレストが取り外されている、または正しく調節されていない

ヘッドレストが取り外されている、または正しく調節されていない場合、事故の際に負傷する恐れが高まります。

- リヤ シートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを取り付けてください。
- それぞれのヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に、または最上部の位置になるように調節してください。
- ヘッドレストが正しく固定されていることを確認してください。

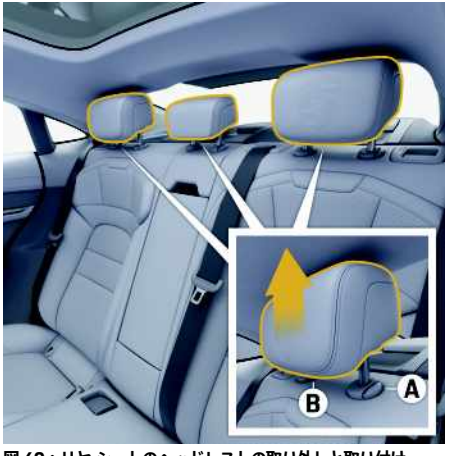



**図 60 : リヤ シートのヘッドレストの取り外しと取り付け**

**取り外し**

1. ヘッドレストをいっぱいに押し上げてください。
2. リヤ シート バックレストを前方へおおよそ半分に折りたたんでください。
3. ボタン **A** と **B** を押しながら、ボタン **B** がかみ合ったままヘッドレストを持ち上げてください。
4. ヘッドレストを取り外し、車内の安全な場所に収納してください。
5. 必要に応じてリヤ シートのバックレストを起こして固定してください。

**⚠ 警告** ヘッドレストの交換

ヘッドレストは、それぞれのシートに合わせて特別に設計されています。ヘッドレストが再取り付け時に正しく装着されていないと事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ヘッドレストが誤った位置に取り付けられていないか確認してください。

**インストール**

1. リヤ シート バックレストを前方へおおよそ半分に折りたたんでください。
2. ヘッドレストをガイドに挿入し、カチッと音がするまで押し下げてください。
3. ボタン **A** を押しながら、ヘッドレストを完全に押し下げてください。
   この状態になるとヘッドレストを引いてもバックレストから外れません。
4. リヤ シートのバックレストを起こして固定してください。

## リヤ シート バックレストを前方へ倒す

リヤ シート バックレストは、ラゲッジ コンパートメントをより広く使用するため、個別に前方に倒すことができます。

**知識**

リヤ シートに置いた物によりリヤ シートが損傷する恐れがあります。

- バックレストを倒すときは、シートに物を置かないでください。

**インフォメーション**

左側と中央のリヤ シート バックレストはつながっています。このため左側のバックレストを前方に倒すと、中央のバックレストも一緒に倒れます。
中央のリヤ シート バックレストは個別に前方に倒すことができます (取り付け具による)。

### 外側のリヤ シート バックレストを前方に倒す

**図 61 : 外側のリヤ シート バックレストを前方に倒す**

1. ヘッドレストを押し下げてください。
   ▷ 「ヘッドレストの調節」の章 ( 100ページ) を参照してください。
2. リリース ボタン **A** を押し、バックレストを前方に倒してください。

### 中央のリヤ シート バックレストを前方に折りたたむ

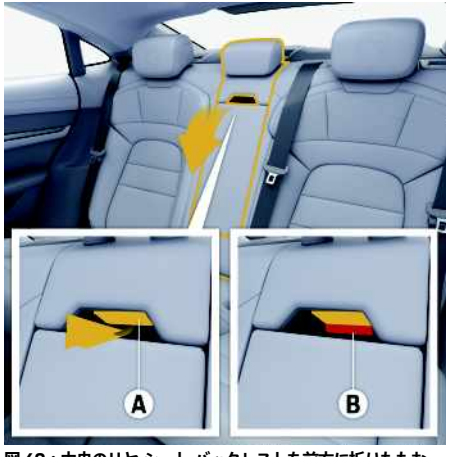



**図 62 : 中央のリヤ シート バックレストを前方に折りたたむ**

✓ リヤ シート 3 席装備車

- 解除レバー **A** を矢印の方向に操作しながらバックレストを前方に倒してください。

### リヤ シート バックレストを垂直位置に戻す

**⚠ 警告** シート バックレストが正しく固定されていない

リヤ シート バックレストが正しくラッチされていない場合、走行中に意図せずに前に倒れてしまう場合があります。

赤いマーク **B** がまだ見える場合、シート バックレストは正しく固定されていません。

- シート バックレストを起こした後、赤いマーク **B** が見えなくなったことを確認してください。
- 必要に応じて、再度シート バックレストを倒してもう一度固定してください。

- カチッと音がするまでバックレストを起こしてください。シート ベルトを挟み込まないように注意してください。

# シート ベルト

## シート ベルトの正しい使用方法

**危険** シート ベルトを着用していない、または正しく使用していない

シート ベルトを着用していないと、事故の際に保護効果を発揮できません。 シート ベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- 安全のため、すべての乗員がシート ベルトを着用することが義務付けられています。
- 1 本のシート ベルトを同時に 2 人で使うことは絶対に避けてください。
- だぶついた衣服や厚手の衣服 (ジャケットなど) は、シート ベルトが正しく装着できないうえに、動きが制限されるので、乗車時は脱ぐようにしてください。
- 硬い物または壊れやすい物の上からシート ベルトを締めないでください (例 : メガネ、ボールペン、携帯電話など) 。
  衝突の際に怪我をする危険性が高くなります。
- シート ベルトがねじれていないか、または緩んでいないことを確認してください。
- ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

**危険** 損傷したシート ベルトの使用。

損傷したシート ベルト、強い負荷のかかったシート ベルト、または摩耗したシート ベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シートベルト プリテンショナー システムは 1 回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- すべてのシート ベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またシートベルト バックルと取り付け部が正常な状態にあるかどうかを確認してください。
- シートベルト バックルは汚れないように保護し、清潔に保ってください。
- 損傷していたり、事故によって大きな負荷がかかったりしたシート ベルト、および作動したシート ベルト プリテンショナー システムと挟み込み防止機能は、早急に交換してください。
- さらに、シート ベルトのアンカー部分についても点検してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- シート ベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。

▷ 「シート ベルトの清掃」の章（ 133ページ）を参照してください。

### シート ベルト プリテンショナー

シート ベルト プリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。
シート ベルト プリテンショナーは以下の状況で作動する場合があります。

– 車両の前方および後方から衝撃を受けた場合
– 車両の横部から衝撃を受けた場合
– 車両が横転した場合

**インフォメーション**

シート ベルト テンショナーが作動すると、煙が発生する場合があります。 しかし、この煙は必ずしも車両火災の兆候ではありません。

## シート ベルト警告灯および警告メッセージの確認

**図 63 : インストルメント クラスターのシート ベルト ステータス表示**

A 左リヤ シート用シート ベルトのステータス表示
B センター リヤ シート用シート ベルトのステータス表示 (装備により異なる)
C 右リヤ シート用シート ベルトのステータス表示
D 警告灯 : 運転席または助手席のシート ベルトが着用されていない

### フロント シート

車両の走行準備が整うと、インストルメント クラスターに赤色の警告灯 D が点灯し、運転席側および助

手席側 (乗員が座っている場合) のシート ベルトが着用されるまで点灯し続けます。
さらに、インストルメント クラスターに警告シンボルが表示されます。
速度が約 24 km/h を超えた時点で運転席側および助手席側 (乗員が座っている場合) のシート ベルトが着用されていない場合、警告音とともにインストルメント クラスターに警告メッセージが表示され、赤色の警告灯 D が点滅します。

### リヤ シート

作動待機が確立されると、インストルメント クラスターにリヤ シートのベルト ステータス インジケーターが表示されます。 ベルト ステータス インジケーターは、発進後約 60 秒で消灯します。
緑色のシンボル A + B は、乗員がシート ベルトを着用していることを示します。
赤色のシンボル C は、乗員がシート ベルトを着用していないか空席であることを示します。車両の走行中にリヤ シートのシート ベルトが外されると、警告音とともに警告メッセージが表示され、赤色に変わった該当するシンボル が約 60 秒間点滅します。

## シート ベルトの調節

**図 64 : ベルトの高さ調節**

フロント シートのベルト アウトレットは、高さ調節が可能です。

- ベルトが首ではなく、肩の中央を横切るようにベルト アウトレットの高さを調節します。
  a. 上げる - ベルト アウトレットを上方向に押します。
  b. 下げる - ロック ボタン A を押しながら、ベルト アウトレットを下方向に動かします。

## シート ベルトの着用

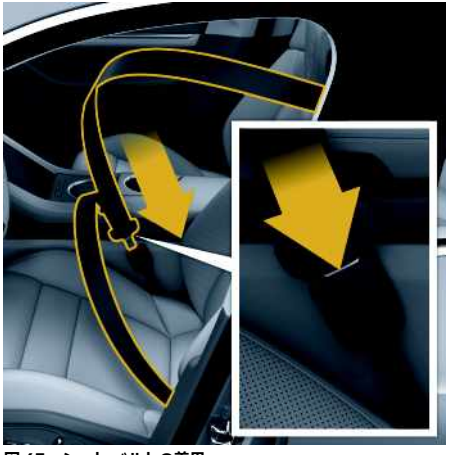


**図 65 : シート ベルトの着用**

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座してください。
2. シート ベルトが常に上半身に当たり肩の中央を横切るように、バックレストを調整します。
3. シート ベルトのラッチをつかみ、ゆっくり連続した動きでベルトを引き出し、胸とひざに回します。

### インフォメーション

シート ベルトは、次のような場合にロックされます。
– 車両が傾いた場合。
– シート ベルトが突然引き出された場合。
– 加速時または減速時、コーナリング時または登坂時。

4. シート ベルトのラッチを、シートの内側の適切な

シート ベルト バックルにカチッと音がするまで確実に差し込みます。

5. シート ベルトが挟み込まれたり、ねじれたりしていないこと、鋭利な角などにこすり付けられていないことを確認します。
6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置 (骨盤) にぴったりとかかっていることを確認してください。 そのため、シート ベルトを装着した後、肩ベルトを上に引っ張ってください。
   妊娠中の方の場合 : 腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けてください。
7. 走行中も肩ベルトを定期的に引き上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

## シート ベルト バックルを解除してシート ベルトを外す

**図 66 : シート ベルトを外す**

1. シート ベルトのラッチを手で持ちます。
2. シート ベルトのバックルにある赤いボタンを押します。
3. シート ベルトのラッチをシート ベルト引き出し口の約 7 cm (2.75 インチ) 下の位置に持っていきます。
   フロント シートとセンター リヤ シート (装備している場合) では、ストッパー ボタンによってシート ベルトのラッチが停止位置に保持されます。
   外側のリヤ シートでは、プラスチック スライドによってシート ベルトのラッチが手の届きやすい位置に保たれています (図を参照)。
4. プラスチック スライドをシート ベルトのラッチの下まで押し上げます (図を参照)。

# ジャッキおよびリフティング プラットフォーム

## 車両のリフト アップ

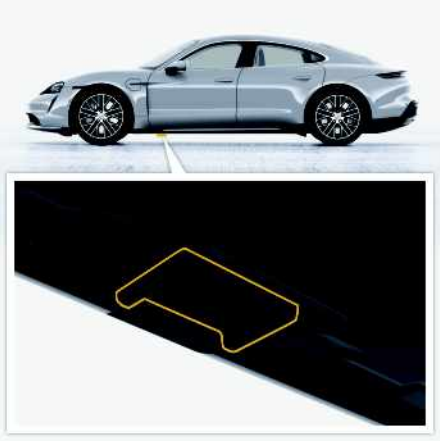


**図 67 : フロント側のジャッキアップ ポイントとリフティング プラットフォーム**

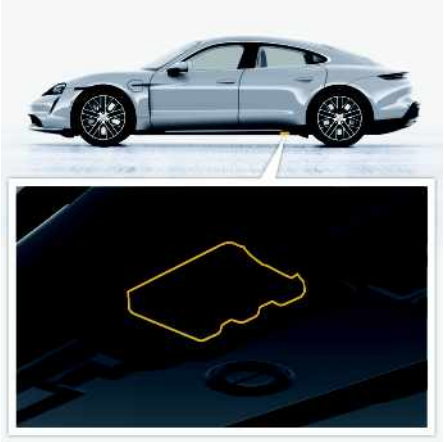


**図 68 : リヤ側のジャッキアップ ポイントとリフティング プラットフォーム**

**⚠ 警告** 不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりするおそれがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップ ポイントで持ち上げてください。
- 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート スタンドで車体を支えてください。
- 車両の電源を ON にした状態で作業する場合には、電動パーキングブレーキを作動させてください。

**⚠ 警告** レベリング システムのコントロール作動

レベリング システムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- 車両の高さを上げる際には、事前に車両の高さを「標準」に設定し、レベリング システムを OFF にします。

**⚠ 警告** 車両のリフトアップ

PASM または車両からの警告メッセージが表示されている状況で車両の高さを上げると、怪我や車両損傷の恐れがあります。

- 車両の高さを上げるのは冷却後にしてください。
- PASM からの警告メッセージが表示されている状況では、お客様ご自身でシャーシに関する作業を行わないでください。ポルシェ正規販売店にご連絡ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- **▸ 設定 ▸ 車両 ▸ 追加のシャーシ設定 ▸ ジャッキを使用する前にシャーシの調整を無効にします**

# ステアリング ホイール

## ステアリング ホイールの調節

**⚠ 警告** 走行中のステアリング ホイールの調節

走行中にステアリング ホイールを調節すると、ステアリング ホイールが必要以上に移動する可能性があります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 走行中にステアリング ホイールを調節しないでください。

### ステアリング ホイールの手動調節

**図 69 : ステアリング ホイール調節レバー**

1. ドライバーから離して、レバーを下方に回転させてください。
2. ステアリング ホイールを垂直および平行に動かし、ステアリング ホイールの位置をバックレストの傾斜や着座位置に合わせます。
3. ステアリング ホイールが確実に固定されるまで、レバーをドライバーに向かって元の位置まで戻してください。

### ステアリング ホイールの電動調節

**⚠ 注意** メモリー設定の予期せぬ呼び出し

ステアリング ホイールの調節中に可動範囲に人や動物がいると、身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- お子様だけを車内に残さないでください。

**図 70 : ステアリング ホイール調節用コントロール スイッチ**

- ステアリング コラム下に取り付けられているコントロール スイッチを前後上下に動かして、ステアリング ホイールを希望の位置に調節してください。

## ステアリング ホイール設定の保存

メモリー パッケージ装備車では、ステアリング ホイールの設定を運転席ドアやキーのメモリー ボタンに保存することができます。

▷ 「パーソナル設定」の章（ 196ページ）を参照してください。

## マルチファンクション ステアリング ホイールでのインストルメント クラスターの操作

インストルメント クラスターの操作に関する詳細なインフォメーション:

▷ 「インストルメント クラスターの操作」の章（ 50ページ）を参照してください。

## ステアリング ホイール ヒーターを ON/OFF にする

**図 71 : ステアリング ホイール ヒーター ボタン**

✓ 作動準備が整っています。

- **ステアリングホイール**または**ステアリングホイール**のメッセージがインストルメント クラスターに短時間表示されるまで、中央のステアリング ホイールのボタンを押します。

# スピード リミッター (LIM)

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。 ドライバーは、システムが作動している場合でも安全な車間距離を保ち、適切な速度で走行するなどして安全運転に努めてください。 このシステムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

- ▸ 十分注意して運転してください。
- ▸ システムによる減速が不十分な場合には、フットブレーキを使用して直ちに車両を減速させます。
- ▸ 常に車両を自分でコントロールできるようにしてください。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▹ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

## システム制限

**⚠ 警告** システムは制限付きで利用可能

特定の状況では、アダプティブ スピード リミッターによるアシストは保証されません。

考えられる被害：

- – 速度制限が正しく検出または設定されていません。
- – 車両は設定された最高速度で走行します。
- – インストルメント クラスターにインフォメーション メッセージが表示されます。

- ▸ 以下の状況では、アダプティブ スピード リミッターを使用しないでください。
  - – 悪天候 (降雪や凍結など)
  - – 路面状態が悪い (道路のくぼみ、汚れた路面、わだち、不明瞭な道路標示、緩い砂利など)
  - – 交通量の多い地域
  - – 危険な交通状況 (高速道路の出口での運転、短時間での加速)
  - – システムが車両位置を明確に検出できない
  - – 交通標識が隠れている、または損傷している
  - – フロント カメラ レンズが破損している、または覆われている
  - – ナビゲーション データが古い

## 作動原理

スピード リミッター (LIM) を使用すると、ご自身が設定した特定の速度を上回らないように維持することができます。

### アダプティブ スピード リミッター (国によって異なります)

アダプティブ スピード リミッターは、ナビゲーションとカメラのデータを使用して、システム制限の範囲内で速度制限を自動的に検出し、それに応じて最高速度を変更します。

事前に検出された速度制限がインストルメント クラスターに表示され、車両の速度が適切なタイミングで低下します。 速度制限が事前に検出されていない場合、車両が検出された交通標識を通過するまで速度は低下しません。

### インフォメーション

ルート案内とともにナビゲーションを使用する場合、アダプティブ スピード リミッターは常に提案されたルートに適応します。 ルート案内が作動していない場合は、最も信頼性の高いルートに適応します。

## 各操作部

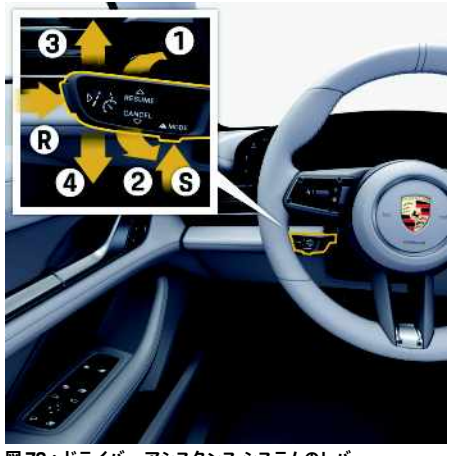



**図 72：ドライバー アシスタンス システムのレバー**

- **R** システムの ON/OFF を切り替え、オプション メニューを開く
- **S** オプション メニューを開く (システムが ON の場合)
- **1** 速度制限を設定する / 上げる
- **2** 速度制限を下げる
- **3** 再開：制御を再開し、速度を設定する
- **4** キャンセル：制御を中断する

## エレメントを表示する

### ステータス表示シンボル

| シンボル | 意味 |
|---|---|
| | スピード リミッターは無効です。 |
| | スピード リミッターは無効で、最高速度が設定されています。 |
| | スピード リミッターは作動中で、最高速度が設定されています。 |
| | スピード リミッターは作動中で、事前に速度制限が検出されました。 車両が速度制限ゾーンの開始地点に達すると、表示速度が青色から緑色に変わります。 |

## スピード リミッターの作動および停止

常に、前回選択したシステムが ON になります。 ON になった時点では、システムは停止中になっています。 コントロール機能を作動させるには、最初にシステムを起動する必要があります。

**速度制御装置を ON にする**

✓ ドライバー アシスタンス システムがまだ ON になっていません。

1. クルーズ コントロール操作レバーのボタン **R** を押してください。
   ドライバー アシスト システムのオプション メニューがインストルメント クラスターに表示されます。
2. LIM をまだ選択していない場合は、ステアリング ホイールのロータリー ノブを使用して **LIM** を選択し、ノブを押して確定します。

スピード リミッターが ON で**停止中**です。

**すでに作動しているドライバー アシスタンス システムからスピード リミッターへの切り替え**

1. コントロール レバーのボタン **S** を押してください。
   ドライバー アシスト システムのオプション メニューがインストルメント クラスターに表示されます。
2. ステアリング ホイールのロータリー ノブを使用して **制限** を選択し、ノブを押して確定します。

スピード リミッターが ON で**停止中**です。
ステータス ディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。 アダプティブ スピード リミッターが作動中の場合、現在検出されている速度制限もグレーで表示されます。

**インフォメーション**

作動したドライバー アシスタンス システムは、OFF にして作動待機が復元された後でも、再び作動します。

**速度制御装置の解除**

▸ クルーズ コントロール操作レバーのボタン **R** を押してください。
設定目標最高速度が削除されます。

**インフォメーション**

システム エラーによりスピード リミッターが自動で解除された場合、アクセル ペダルを離すか、**R** ボタンを押してシステムを OFF にしたときにのみ完全に無効になります。

## スピード リミッターの作動

**現在の走行速度を最高速度に設定する**

▸ レバーを前方に軽く押します (**1** の位置)。
スピード リミッターが**作動しています**。
現在の走行速度が最高速度として設定され、ステータス ディスプレイに緑色で表示されます。

**検出された速度制限を最高速度に設定する**

✓ アダプティブ スピード リミッターが作動しています

▸ コントロール レバーを上方向に押します (**RESUME**)。
スピード リミッターが**作動しています**。
検出された速度制限が最高速度として設定され、ステータス ディスプレイに緑色で表示されます。

## 最高速度の変更

設定最高速度または検出された制限速度は、コントロール レバーを押すことで変更できます。

✓ スピード リミッターが作動しています。

**速度を上げる**

▸ コントロール レバーを、次のように前方 (位置 **1**) に押します。
- 短く押す = 1 km/h (1 mph) ずつ速くなります
- 押し続ける = 10 km/h (6 mph) ずつ速くなります

**減速する**

▸ コントロール レバーを、次のように (位置 **2**) に引きます。
- 短く引く = 1 km/h (1 mph) ずつ遅くなります
- 引き続ける = 10 km/h (6 mph) ずつ遅くなります

アダプティブ スピードリミッターが作動中の場合、± シンボル が最高速の横に表示されます。

## スピード リミッターの中断と再開

中断するとシステムが停止状態のスタンバイ モードに切り替わり、手動で再び作動させるまでスタンバイ状態のままになります。

### 制御を中断する

▸ コントロール レバーを下方向に押します (**CANCEL**)。
スピード リミッターは無効です。
中断する前に検出された最高速度設定または速度制限がグレーで表示されます。

### 制御の再開

✓ 走行速度が設定された最高速度よりも**遅い**。
▸ コントロール レバーを上方向に **1 回**押します (**RESUME**)。
スピード リミッターが作動します。
**– または –**
✓ 走行速度が設定された最高速度よりも**速い**。
1. コントロール レバーを上方向に **1 回**押します (**RESUME**)。
2. アクセルから足を離すか、ブレーキ ペダルを踏んで、車両の速度が表示されている最高速度を下回るようにします。
**– または –**
コントロール レバーを**もう一度**上方向に押します (**RESUME**)。
設定された最高速度または現在検出されている速度制限をもう一度超えるまで、車両は制動されます。
スピード リミッターが作動します。

### インフォメーション

別のドライバー アシスタンス システムが選択されている場合、スピード リミッターは中断されます。 以前に設定された最高速度は保持され、スピード リミッターが再度作動すると再び適用されます。 アダプティブ スピード リミッターが作動中の場合、現在検出されている速度制限が適用されます。

## スピード リミッターを一時的に無効にする

速度制限はキックダウンによって一時的に無効にできます。 これは、たとえば追い越しをするときに役立ちます。

✓ スピード リミッターが作動しています。
▸ アクセル ペダルが完全に踏み込まれています。
システムが一時停止状態です。
警告音が鳴ります。
設定最高速度とスピード リミッターのシンボル マークがインストルメント クラスターで点滅します。

**制御を再開するには :**

▸ コントロール レバーを上方向に押します (**RESUME**)。
現在の走行速度が設定最高速度を超えている場合は、車両が設定最高速度に再び達するまで減速されます。
**– または –**
▸ アクセルから足を離すか、ブレーキ ペダルを踏んで、車両の速度が表示されている最高速度を下回るようにします。
スピード リミッターが作動します。 以前に設定された最高速度または現在検出されている速度制限が再び適用されます。

## アダプティブ スピード リミッターの作動および停止

▸ **▸ アシスト ▸ ▸ アシスタンスシステム設定 ▸ アダプティブ スピードリミッター ▸ 検知した速度制限を考慮する**

現在検出されている速度制限が最高速度として設定されます。

## 最高速度の設定

速度制限のない道路、または速度制限が検出されていない道路では、設定されている最高速度が使用されます。

### 最高速度の設定

▸ **▸ アシスタンス ▸ ▸ アシスタンスシステム設定 ▸ アダプティブ スピードリミッター ▸ 最高速度**

ドライバーが変わったり車両が再始動したりしても、最高速度設定はリセットされるまで有効です。

## カスタム速度制限の利用

カスタム速度制限機能を使用すると、独自の制限速度を設定できます。警告メッセージが表示され、制限を超えると警告音が鳴ります。この機能は、装着しているタイヤに許容される最高速度についての注意喚起のために利用できます。

### カスタム速度制限の設定と作動

制限速度は 3 つ設定できますが、一度に作動できるのは 1 つだけです。

▸ **▸ 速度制限 ▸ ▸ アシスタンスシステム設定 ▸ パーソナル アシスト**

# スポイラー

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 展開式リヤ スポイラーの故障

高速走行時にリヤ アクスルが浮き気味になるために走行安定性が妨げられます。

- この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**知識**

リヤ スポイラーを損傷する危険があります。

- リヤ スポイラーを持って車両を動かさないでください。
- 自動洗車機を使用する前に、リヤ スポイラーを格納してください。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

## 作動原理

リヤ スポイラーは高速走行時の走行安定性を向上させます。 車両速度および選択した走行モードに応じて、リヤ スポイラーは自動的に展開または格納されます。

## リヤ スポイラーを清掃位置に動かす

**⚠ 注意** リヤ スポイラーの展開および格納

停車中にリヤ スポイラーを手動で展開または格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- リヤ スポイラーが稼動する範囲に人や物がないことを確認してください。

リヤ スポイラーは、セントラル ディスプレイから手動で清掃位置に動かすことができます。

**リヤ スポイラーを清掃位置に動かす**

✓ 作動準備が整っています。

✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動しています。

▸ **▸ 設定 ▸ 車両 ▸ スポイラー手動清掃位置**

# スポーツ クロノ ストップウォッチ

スポーツ クロノ ストップウォッチを使用して、時間を停止および評価し、インストルメント クラスターに表示できます。

以下の情報を記録し、評価することができます。

- ラップ回数
- 完了したラップ距離
- ラップ タイム
- オプション：その他の各種データ (車両位置や速度など)

記録中は以下を表示します。

- 現在のラップ数
- 現在のラップ タイムと最速ラップ タイムの色分けでの比較
- 基準ラップに対する完了したラップ回数
- 現在のラップ タイムが最新のラップ タイムまたは選択したラップ タイムより速いか、遅いか、または同一かを表示するカラー レート
- 残りの記録時間

10 時間まで記録および表示できます。

## ダッシュボードのストップウォッチ

**図 73：スポーツ クロノ ストップウォッチ**

ダッシュボードのストップウォッチに合計時間が表示されます。

アナログ ポインターは秒を表示します。 デジタル表示は最初の 1 分までは 1/100 秒で表示します。 その後、表示は 2 番目のステップに進みます。

### ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示およびライトの設定

▷ 「車両設定」の章（ 138ページ）を参照してください。

## インストルメント クラスターのストップウォッチ

ストップウォッチが「車両＆情報」ディスプレイに表示されます。

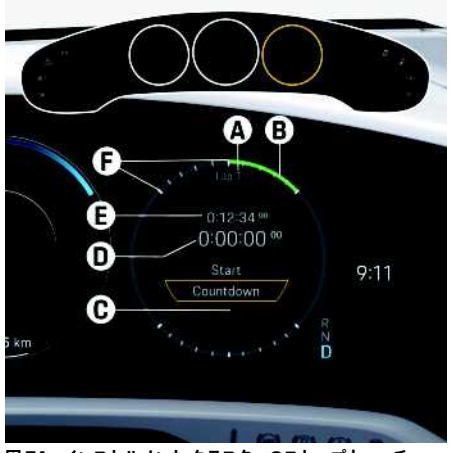



**図 74：インストルメント クラスターのストップウォッチ**

A ラップ カウンター
B サークル ダイアグラム：基準ラップと比較してどれだけラップを完了しているかを示します。
C コントロール コマンド
D 現在のラップ タイム
E ラップ タイム基準ラップ
F 選択されたラップ タイム

### 計時の開始

▸ **Sport Chrono ▸ 開始**
データの記録が開始されます。基準ラップが読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

### 計時の停止

✓ 計時が開始されました。

▸ **Sport Chrono ▸ 停止**

### 計時の継続

✓ 計時が停止されました。

▸ **Sport Chrono** ▸ **継続**

### ラップの停止 / 新しいラップの開始

現在のストップウォッチ タイムはラップ タイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

✓ 計時が開始されました。

▸ **Sport Chrono** ▸ **ラップ**
ラップ カウンター **A** が 1 ラップずつ増えます。
最速で終了したラップのタイムが最速ラップ タイムとして保存されます。

### 中間タイムの保存

✓ 計時が開始されました。

▸ **Sport Chrono** ▸ **中間タイム**
中間タイムは短時間表示され、保存されません。
計時はバックグラウンドで継続します。
サークル ダイアグラムの **F** の部分に、設定されているすべてのラップ タイムが表示されます。

### ストップウォッチ タイムのリセット

✓ 計時が停止されました。

▸ **Sport Chrono** ▸ **リセット**
**すべて**のストップウォッチ タイム表示は 0 にリセットされます。

# スマート サービス

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 運転中のアプリの設定変更および操作

マルチファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの設定と操作は、交通状況に対する注意が逸らされる危険があります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▸ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合にのみコンポーネントを操作してください。
- ▸ 安全を確保できない場合は、車列を離れ車両を停車してから詳細な操作や設定を行ってください。

## 機能

車両の一部のコンポーネントは、定期的なメンテナンスまたは交換を必要としています。 国別仕様によって異なるスマート サービスを使用すると、メンテナンスと修理データを呼び出して更新できます。 メンテナンスまたは修理が必要な場合、セントラル ディスプレイにメッセージが表示されます。

## スマート サービスの作動

コネクト ストアのコネクト カー パッケージの一部として作動します。 その後、この機能は自動的に車両で利用できるようになります。

▹ 「ポルシェ コネクト」の章（220ページ）を参照してください。

### インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細（ヘルプ ビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ）は、 www.porsche.com/connectをご覧ください。

## スマート サービスの使用

作動後、現在のスマート サービス データを PCM で確認できます。

### スマート サービスを開く

▸ ▸ **スマート サービス** をタップします。

スマート サービス データを含む概要が表示されます。

- – 一般的な点検
- – サービス間隔
- – ブレーキ システム
- – ブレーキ フルード
- – タイヤ空気圧モニタリング
- – 車室内フィルター
- – 応急処置セット
- – タイヤ シーラント キット（Tire Mobility System – TMS）
- – ワイパー ブレード
- – オンボード DC 充電器
- – 12 V バッテリー

### コンポーネントの機能を開く

✓ スマート サービスが呼び出されている。

▸ 目的のコンポーネントの隣にある をタップします ▸ 希望の機能を選択してください。

選択したコンポーネントに応じて、以下の機能が利用可能です。

- – **手順**を開きます。
- – 最寄りの修理工場を PCM に表示します。
- – コンポーネントをリセットします。
- – 新しい有効期限を入力してください。

### コンポーネントの停止または作動

✓ スマート サービスが呼び出されている。

▸ 目的のコンポーネントをタップします ▸ **設定** ▸ コンポーネントを停止または作動します。

停止したコンポーネントに関する必要なメンテナンスまたは修理の通知は表示されません。

### 必要なメンテナンスまたは修理の通知の表示

▸ 次の機会にコンポーネントをメンテナンスまたは修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

以下の機能を利用できます。

- – メッセージを読み上げます。
- – 最寄りの修理工場を PCM に表示します。
- – メッセージを閉じます。 メッセージは PCM を再起動すると再び表示されます。

コンポーネントのメンテナンスおよび修理に関する詳細情報は、My Porsche で呼び出すことができます。

▹ 「ポルシェ コネクト」の章（220ページ）を参照してください。

## スマート サービスの停止

▸ プライベート モードを有効にして、スマート サービス（国別仕様による）を無効にします。

▹ 「ポルシェ コネクト」の章（220ページ）を参照してください。

# スモーカーパッケージ

## 灰皿の使用

**⚠ 警告** 可燃物による火災

灰皿に紙類を入れると発火するおそれがあります。

- ▶ 可燃物を灰皿に入れないでください。

### 灰皿を挿入する

**図 75 : 灰皿を挿入する**

車両装備によっては、センター コンソールのカップホルダーで灰皿が利用可能です。

- ▷ 「カップホルダー」の章（ 75ページ）を参照してください。
- ▶ 灰皿をカップホルダーに挿入し、奥まで押し込んでください。

### 灰皿の開閉

**図 76 : 灰皿の開閉**

- ▶ リッドを持ち上げ、倒すことで灰皿を開閉します。

### 灰皿の取り外し

- ▶ 灰皿を握って取り外します。

# センター コンソール コントロール パネル

## センター コンソール コントロール パネルの概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要だけでなく、必ず「安全指示」および「警告」をお読みください。

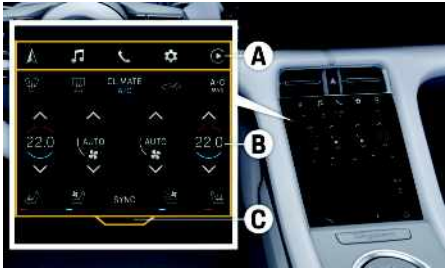



図 77 : センター コンソール コントロール パネル上部

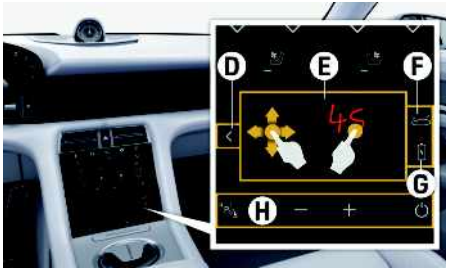



図 78 : センター コンソール コントロール パネル下部

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| **メニュー バーの表示と非表示** | ▸ メニュー バーの表示と非表示を切り替えるには (A を参照)、センターコンソール コントロール ユニットを上から下にスワイプします。<br>**– または –**<br>をタップします (C を参照)。 | – |
| **セントラル ディスプレイにクイック フィルター (ナビゲーション、メディア、電話、設定、Apple CarPlay など) を表示する** | ✓ メニュー バーが表示されている。<br>1. タップして、目的のクイック フィルターを選択します (例 : 電話 )。<br>選択したクイック フィルターがセントラル ディスプレイに表示されます。 | – |
| **エアコン システムの操作** | ▸ センター コンソール コントロール パネルのコントロール パネルの使用 (B を参照)。 | ▹ p. 60 |
| **戻る機能** | ▸ 手書き文字パネル (D を参照) をタップして、セントラル ディスプレイに戻ります。 | – |

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| **リモート コントロールの使用** | ▸ セントラル ディスプレイでジェスチャーにより手書き文字パネル (**E** を参照) を操作します。 | ▹ p. 119 |
| **テキストまたは文字の入力** | ✓ キーボードまたは入力フィールドがセントラル ディスプレイに表示されている。<br>▸ 手書き文字パネルに希望のテキストまたは文字を入力します (**E** を参照)。 | ▹ p. 119 |
| **リッド スクリーンの表示** | ▸ **F** を使用します。 | ▹ p. 233<br>▹ p. 255 |
| **充電スクリーンの表示** | ▸ **G** を使用します。 | ▹ p. 147 |
| **音量を調節する** | ▸ クイック アクセス バーの + / − をタップするか、手書き文字パネルを 2 本の指で上下にスワイプします。<br>ミュート : − を長押しします。 | – |
| **パークアシストの表示** | ▸ クイック アクセス バーの をタップします (**H** を参照)。<br>パークアシストがセントラル ディスプレイに表示されます。 | ▹ p. 192 |
| **ディスプレイを OFF にするか、PCM をシャットダウンする** | ▸ クイック アクセス バーの をタップします (**H** を参照)。<br>セントラル ディスプレイでは、次のオプションを使用できます :<br>– **セントラル ディスプレイを OFF にする**<br>– **PCM をシャットダウンする** | – |
| **センター コンソール コントロール パネルの設定** | セントラル ディスプレイ内 :<br>▸ ▸ **設定** ▸ **センター コンソール コントロール パネル**をタップします。 | – |

# センター コンソール コントロール パネルの使用

セントラル ディスプレイは、センター コンソール コントロール パネルで制御できます。センターコンソール キーパッドは、操作中に触知フィードバックを返します。

**知識**

センター コンソール コントロール パネルに物を置くと、損傷する恐れがあります。

- センター コンソール コントロール パネルの上部には物を置かないでください。
- この指示で説明されている収納オプションのみを使用してください。

146ページの 「収納スペース」の章を参照してください。

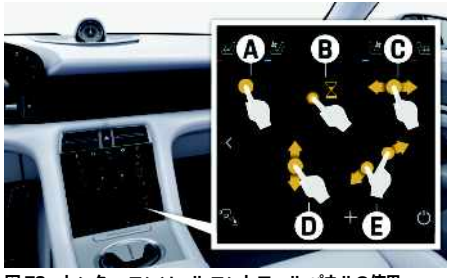



**図 79 : センター コンソール コントロール パネルの使用**

**A タッチ (選択)**
センター コンソール コントロール パネルまたは手書き文字パネルに指 1 本で軽くタッチします。例 : 機能をタップしたり、チェックボックスの ON/OFF を切り替えたりします。

**B 長押し**
センター コンソール コントロール パネルまたは手書き文字パネルを指 1 本で押し続けます。

**C スワイプ**
手書き文字パネルを指 1 本で左右にスワイプします。例 : セントラル ディスプレイのリストを横方向にスクロールします。

**D 上下にスワイプ (スクロールと切り替え)**
手書き文字パネルを指 1 本で上下にスワイプします。例 : セントラル ディスプレイのリストを縦方向にスクロールします。

**E ズーム**
手書き文字パネルにタッチしている 2 本の指を広げて、セントラル ディスプレイのマップ ビューのセクションを拡大します。

## 文字の入力

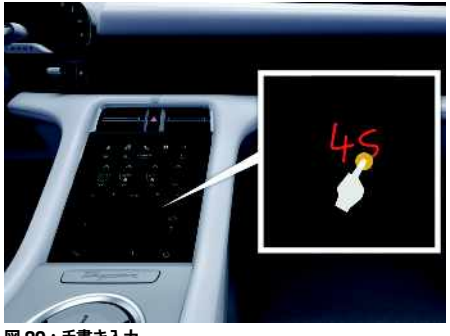



**図 80 : 手書き入力**

✓ キーボードまたは入力フィールドがセントラル ディスプレイに表示されている。

1. 目的のテキストまたは文字を指で直接書きます (手書き認識)。
   - スペースを挿入するには、左から右に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。
   - スペースを削除するには、右から左に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。
2. センター コンソール コントロール パネルの ◀ で入力を確認し、結果のリストにジャンプします。
3. セントラル ディスプレイのセンター コンソール コントロール パネルから、リモート コントロールを使用してカーソルを自由に移動できるようになりました。
   結果やその他の機能を選択できます。

# セントラルロッキング

## 概要：車外からのドアの開閉操作とロック

この概要説明は「セントラルロッキング」に記載された詳細な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

**図 81：キー**

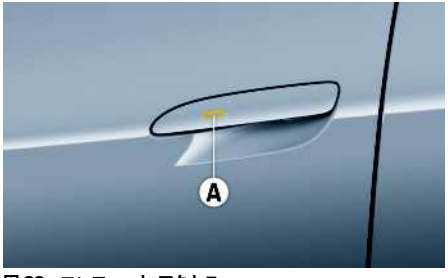



**図 82：コンフォート アクセス**

| 希望する操作 | 操作方法 | 結果 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| **ロック解除** | キーを使用する：<br>▸ キーの 🔓 ボタンを押してください。<br>コンフォート アクセスを使用する：<br>▸ ドア ハンドルのくぼみ部分に手を入れます。 作動中はドア ハンドルの近接センサー **A** に**触れない**でください。<br>車両に近づく場合：<br>▸ 車両に近付きます。 | ハザード ライトが 1 回点滅します。<br>ドア ハンドルが展開します。<br>ドアおよびリヤ リッドを開くことができます。 | ▷ p. 122 |
| **ロック** | キーを使用する：<br>▸ キーの 🔒 ボタンを押してください。<br>コンフォート アクセスを使用する：<br>▸ ドア ハンドルの近接センサー **A** に触れてください。 | ハザード ライトが 2 回点滅します。<br>ドア ハンドルが格納します。<br>ドアとトランクがロックされ、車内からドア ハンドルを引いてもドアを**開けられなく**なります (セーフロック)。内側から開けようとした場合、警報システムが発動します。 | ▷ p. 123 |

| 希望する操作 | 操作方法 | 結果 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| **人 / 動物を車両に残してロックする**<br>▸ **セーフロック**と警報システムの**車内モニタリング システム**を **OFF** にします。 | キーを使用する：<br>▸ キーの 🔒 ボタンを (約 2 秒以内に) 2 回押してください。<br>コンフォート アクセスを使用する：<br>▸ ドア ハンドルにあるタッチ センサー **A** に 2 回触れてください (約 2 秒以内)。 | ハザード ライトが 2 回短く点滅し、その後 1 回長く点滅します。<br>ドア ハンドルが格納します。<br>ドアおよびリヤ リッドはロックされますが、ドア ハンドルを引けば、車内からドアを**開ける**ことが**できます**。 車内からドア ハンドルを引くと、警報システムが作動します。 | ▷ p. 123 |
| **警告システムの警告音を OFF にする** | ▸ キーの 🔓 ボタンを押してください。<br>**– または –**<br>パワー ボタンを押して、車両を ON にします。 | 警告音が OFF になります。 | ▷ p. 94 |

# セントラル ロッキング システムの使用

## インフォメーション

▸ キーを使用するのは、車両が視界に入っている時だけにしてください。

車両装備により、キーを使用して、またはキーを使用せずにコンフォート アクセスで、ドアのロック解除およびロックができます。
車両のロックを解除する際、運転席ドアのみを解除するか、または車両全体のロックを解除するかを選択できます。
▷ 「車両設定」の章（ 138ページ）を参照してください。
設定内容に関わりなく、すべてのドアをロック解除できます。

▸ キーの 🔓 ボタンを 5 秒以内に 2 回押してください。

## インフォメーション

車両の工場設定については、この章で説明されています。

### コンフォート アクセス[1]

コンフォート アクセス装備車では、キーを使用せずにロック解除およびロックができます。 そのためには、常にキーをズボンのポケットなどに入れて携帯する必要があります。
ドア ハンドルの汚れがひどいと、コンフォート アクセス機能が制限されることがあります。
▷ 「車両のお手入れ」の章（ 128ページ）を参照してください。

### キーを使用するコンフォート アクセスの解除

第三者による車両の不正なロック解除および始動を防ぐため、キーを使用してコンフォート アクセス機能を一時的に停止することができます。
▸ キーのインジケーター ライトが連続して点灯するまで 🔒 ボタンと 🔓 ボタンを同時に押します。
キーのインジケーター ライトが点灯し続けている間は、キーで解除されていることを示しています。
キーのボタンを押すと、コンフォート アクセス機能が自動的に起動します。
▸ キーを強い電磁波にさらさないでください。コンフォート アクセスが妨げられることがあります。

1. コンフォート アクセス システムは最先端技術です。しかし、無線キーのキー コードが傍受されて、車両のロック解除や盗難に使用される可能性を完全に排除できるわけではありません。

# ドアのロック解除

## インフォメーション

– ドア、ボンネット、リヤ リッドが閉じられてから 45 秒後に、ドア ハンドルが格納されます。車両はロック解除されたままになります。
– 車両のロックを解除し、ドア、ボンネット、またはリヤ リッドを 45 秒以内に開かなかった場合には、車両が自動的に再ロックされます。

## インフォメーション

事故が発生してエアバッグが作動した場合、救助者が車両に入れるようにするために、車両全体が自動的にロック解除されます。 ハザード ライトも自動的に作動します。

### キーによるドアのロック解除

**図 83 : キーによるドアのロック解除**

1. ボタンを押します。
ハザード ライトが 1 回点滅します。
設定によっては、車両のロックが解除され、ドア ハンドルが展開します。
2. ドア ハンドルを引いてください。

### ドア ハンドルの近接センサーによるドア ロックの解除

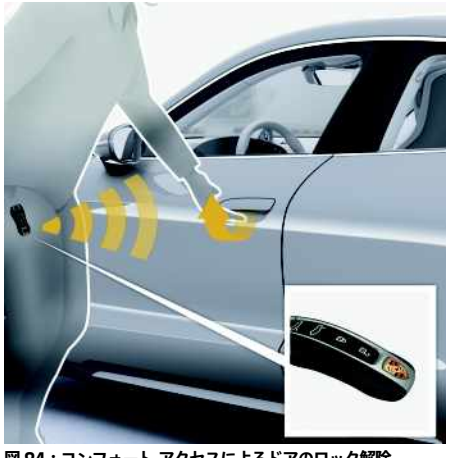


**図 84 : コンフォート アクセスによるドアのロック解除**

✓ コンフォート アクセス装備車。
✓ 機能が作動しています。

▸ ▸ 設定 ▸ 車両 ▸ 車両ロック システム ▸ ドアのロック解除

✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。

キーを携行して運転席または助手席側のドアに近づくと、ドア ロックを解除することができます。

1. ドア ハンドルのハンドルのくぼみに手を入れ、つかみます。作動中にドア ハンドル前部の近接センサーに**触れない**でください。
ハザード ライトが 1 回点滅します。
設定によっては、車両のロックが解除され、ドア ハンドルが展開します。
2. ドア ハンドルを引いてください。

## インフォメーション

バッテリーを節約するために、不要なコンフォート機能は 次第に OFF になります。 その後、キーを使用して車両のロックを解除できます。

### 車両接近時のドアのロック解除

セントラル ロックは、車両に近づくとドアが自動的にロック解除されるように構成できます (約 2 m の距離から)。
最後のロック操作の後、キーが 6 m 以上車両から離れたことがこの前提条件になります。 車両を駐車してロックする場合、キーを十分に離してください。 そうしないと、45 秒以内に誤ってロック解除される可能性があります。

✓ コンフォート アクセス装備車。
✓ 機能が作動しています。

▸ ▸ 設定 ▸ 車両 ▸ 車両ロック システム ▸ 接近時のドアの自動ロック解除

✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。

1. 車両に近付きます。
ハザード ライトが 1 回点滅します。
設定によっては、車両のロックが解除され、ドア ハンドルが展開します。
2. ドア ハンドルのハンドルのくぼみに手を入れ、つかみます。作動中にドア ハンドル前部の近接センサーに**触れない**でください。
3. ドア ハンドルを引いてください。

### 車内からのドア ロックの解除

図 85 : ドア パネルのセントラル ロック ボタン

- ドア パネルの 🔓 ボタンを押してください。
  **– または –**
  インナー ドア ハンドルを引いてください。
  **すべて** のドアとリヤ リッドのロックが解除されます。ドア ハンドルが展開します。
  ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

#### インフォメーション

セーフロック作動で車両をロックした場合、またはエマージェンシー キーを使用して車両をロックした場合には、車内からドアを開くことはできません。

#### インフォメーション

車両の電源が入っていない場合 (高電圧バッテリーが放電しているなど)、またはドア ハンドルを引っ張るのが速すぎた場合には、ドア ハンドルを 2 回引っ張ることが必要な場合があります。

- ドア ハンドルから手を放し、もう一度引きます。

### 車両の自動ロック解除

ドアを開けると車両のロックが自動解除されます。

### バッテリーが切り離された状態でのロック解除

既にロック解除されていたドアは、12 V リチウム バッテリーを切り離した後に、エマージェンシー キーで車外からのみ開くことができます。

- 12 V リチウム バッテリーを切り離す前にウィンドウを開きます。
  車内のドア ハンドルを 2 回引っ張ると、ドアは車内外から開くことができます。 そのためには、内側のドア ハンドルを静止位置からいっぱいに停止する位置まで完全に引きます。

## ドアのロック

**知識**

展開中のドア ハンドルは、洗車機にかけると損傷する恐れがあります。

- 洗車機にかける前に、車両をロックしてください。

### 2 段階ロックの使用 (国別仕様による)

**⚠ 警告** 車外からのドア ロック

車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります (セーフロック)。
そのため、ロックする前に車両に人または動物が残っていないことを確認してください。 ドアをロックすると、緊急時に救助者が車内に入ることが非常に難しくなります。

- ドアをロックする際、人や動物が車内にいないことを確認してください。

2 段階ロック (国によって異なります) を使用すると、車両をロックしたときにインナー ドア ハンドルとセントラル ロッキング ボタンが無効になり、車両に侵入することが一層難しくなります。
セーフロック作動中 : ドア ハンドルを引いても車内から**ドアを開けられなくなります**。内側から開けようとした場合、警報システムが発動します。
人や動物を車内に残して車両をロックする場合、セーフロックを解除してください。

### キーによるドアのロック

✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動しています。
✓ すべてのドアが閉じられている。

- 🔒 ボタンを 1 回押してください。
  ハザード ライトが 2 回点滅します。
  ドア ハンドルが格納します。

#### 車両のロック時の 2 段階ロックの停止

- 🔒 ボタンを 2 秒以内に 2 回押してください。
  ハザード ライトが 2 回短く点滅し、その後 1 回長く点滅します。
  ドア ハンドルが格納します。
  ドアはロックされますが、インナー ドア ハンドルを引くことにより、内側から開くことができます。
- ドアを開くと警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

### インフォメーション

ドア、ボンネット、またはリヤ リッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザード ライトは点滅しません。

### インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。 何度か警告音が鳴り、ハザード ライトが 4 回点滅します。 ドア、ボンネット、またはリヤ リッドを約 45 秒以内に開けなかった場合にのみ車両がロックされ、その後はスペア キーを使用しないとロック解除できなくなります。

- 車両をロックするときは、キーが車内にないことを確認してください。

## ドア ハンドルの近接センサーによるドアのロック

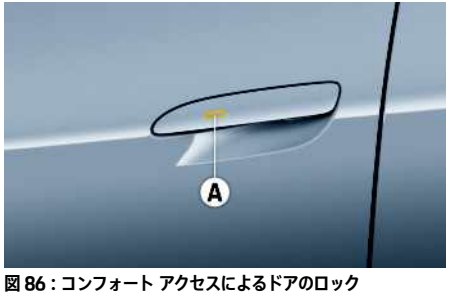



**図 86 : コンフォート アクセスによるドアのロック**

✓ コンフォート アクセス装備車。
✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動しています。
✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。
✓ すべてのドアが閉じられている。

- ドア ハンドルの近接センサー **A** に触れてください。
  ハザード ライトが 2 回点滅します。
  ドア ハンドルが格納します。

**車両のロック時の 2 段階ロックの停止**

- ドア ハンドルの近接センサー **A** に 2 秒以内に 2 回触れてください。
  ハザード ライトがゆっくり 1 回点滅します。
  ドア ハンドルが格納します。
  ドアはロックされますが、インナー ドア ハンドルを引くことにより、内側から開くことができます。
- ドアを開くと警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

### インフォメーション

– ドア、ボンネット、またはリヤ リッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザード ライトは点滅しません。
– 車両をロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあると車両をロックできません。

## 車内からのドア ロック

**図 87 : ドア パネルのセントラル ロック ボタン**

✓ ドアが閉じられている。

- ドア パネルの 🔒 ボタンを押してください。
  **すべて**のドアとリヤ リッドがロックされます。
  ドア ハンドルが格納します。
  ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
  インナー ドア ハンドルを引くことによってのみ、車内からドアを開くことができます。

## 自動ロック

✓ 機能が作動しています。

速度が約 15 km/h を超えると、車両は自動的にロックされます。

▷ 「車両設定」の章（ 138ページ）を参照してください。

## チャイルド ロックの作動 / 解除

リヤ ドアは、車内から開けられないようにロックできます。 チャイルド ロックはチャイルド プロテクションと連動して作動します。

▷ 「リヤでの操作を無効にする – チャイルド プロテクション」の章（58ページ）を参照してください。

チャイルド ロックが故障した場合、インストルメント クラスターに警告メッセージが表示されます。

## セントラル ロックの設定

セントラル ロックの動作の設定は、セントラル ディスプレイで調整できます。

### ドアのロック解除 (運転席ドアのみ、サイド選択、すべてのドア)

▸ ▸ 設定 ▸ 車両 ▸ 車両ロック システム ▸ ドアのロック解除

### 車両接近時のドアのロック解除

✓ コンフォート アクセス装備車。

▸ ▸ 設定 ▸ 車両 ▸ 車両ロック システム ▸ 接近時のドアの自動ロック解除

### 速度が約 15 km/h を超えると、車両は自動的にロックされます。

▸ ▸ 設定 ▸ 車両 ▸ 車両ロック システム ▸ 走行中のドアのロック

### ドア ミラーの自動格納および復帰

✓ ドア ミラーの電動格納および復帰を装備した車両。

▸ ▸ 設定 ▸ 車両 ▸ 車両ロック システム ▸ ロック時のドア ミラーの格納

## ドアの緊急ロック解除および緊急ロック

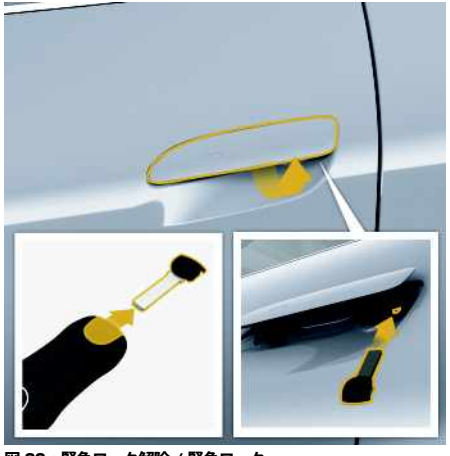


**図 88 : 緊急ロック解除 / 緊急ロック**

キーのリモコンが機能しない場合、リモコンなしでもドアのロック解除およびロックができます。

### 緊急ドア ロック解除の実行

▸ リヤ ウィンドウの進行方向右上にキーを置き、ボタンを押してください。

車両のロックがまだ解除できない場合 :

1. エマージェンシー キーをキーから取り外してください。
   ▷ 「エマージェンシー キーの使用」の章（77ページ）を参照してください。
2. 運転席ドアのドア ハンドルを引いたままにします。
3. エマージェンシー キーをラウンド エッジが上を向くようにしてドア ロックに挿入します (右ハンドル車ではラウンド エッジが下を向きます)。
4. エマージェンシー キーを、最初に抵抗を感じるところまで反時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
5. エマージェンシー キーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. ドア ハンドルを、閉位置からしっかりした抵抗を感じる位置を超えるまで引きます。
   ドアを開くことができます。
7. 警報システムが作動しないようにするためには : 電源ボタンを押して 15 秒以内に車両の電源を ON にする必要があります。

### インフォメーション

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

### 緊急ドア ロックの実行

### インフォメーション

ドアの緊急ロックは、エンジンが停止している場合のみに使用してください。

▸ 運転を開始する前に、ドアのロックを解除してください。

1. エマージェンシー キーをキーから取り外してください。
   ▷ 「エマージェンシー キーの使用」の章（77ページ）を参照してください。
2. 運転席ドアのドア ハンドルを引いたままにします。
3. エマージェンシー キーをラウンド エッジが上を向くようにしてドア ロックに挿入します (右ハンドル車ではラウンド エッジが下を向きます)。
4. 運転席ドアを開けた状態で、エマージェンシー キーを最初に抵抗を感じるところまで時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
5. エマージェンシー キーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. 運転席ドアを閉じます。
7. 車両がロックされているか確認してください。

### インフォメーション

セントラルロッキングが故障した場合、セントラル ロッキング システムのすべてのファンクション ロック は運転席ドアのロックからロックすることができま す。

- セントラル ロッキング システムの故障は修理して ください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ 正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分な トレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最 新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確 かな整備をお約束します。

### セントラル ロッキング システムが故障した場合のドアの緊急ロックの実行

助手席ドアおよびリヤ ドアに対して、この手順を行ってください。

**図 89 : 助手席ドアの緊急ロックの実行**

1. ドアを開けます。
2. エマージェンシー キーをキーから取り外してください。
3. クリップを外し、カバーを取り外してください。
4. エマージェンシー キーを使用して、キー スイッチを車両の外側方向に回してください。
5. カバーを再度取り付けてください。
6. ドア ハンドルを引いたままにしてください。
7. ドアを開けた状態で、エマージェンシー キーを最初に抵抗を感じるところまで時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
8. エマージェンシー キーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
9. ドアを閉じてください。
10. すべてのドアがロックしているか確認してください。

### ポルシェ エントリー&ドライブ

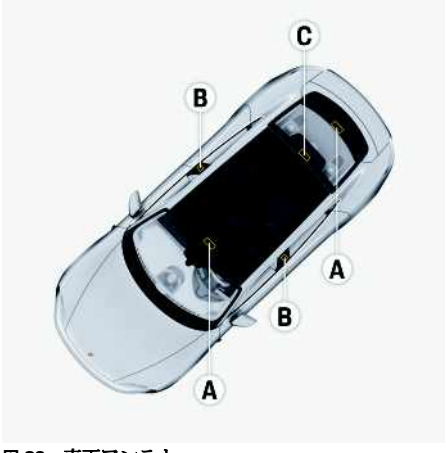



**図 90 : 車両アンテナ**

### ポルシェ エントリー&ドライブのアンテナの取り付け位置

ポルシェ エントリー&ドライブ装備車は、リ モート コントロール付きキーと車両のアンテ ナが電波で通信することで、ドアやトランク リッドをロック/ロック解除できます。

### 植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込 み型除細動器を装着されているお客様へ

**⚠ 警告**

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込 み型除細動器を装着されている方は、車室内ア ンテナAおよび車室外アンテナBから約22cm 以内の範囲に、植え込み型心臓ペースメーカー および植え込み型除細動器を近づけないでく ださい。

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え 込み型除細動器を装着されている方は、車室 内アンテナAおよび車室外アンテナBから約 22cm以内の範囲に近づかないでください。 アンテナからは電波が出ており、植え込み型 心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細 動器の作動に影響を与える恐れがあります。
- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え 込み型除細動器以外の医療用電気機器を使 用されている方は、医師や医療用電気機器 製造業者などに電波の影響の有無について 事前に確認してください。電波により医療 用電気機器の作動に影響を与える恐れがあ ります。

# ソケット

## 12 V ソケットの使用

12 V プラグ ソケットには電装品 (アクセサリー) を接続できます。
12 V ソケットは、フロント アーム レストの小物入れ (USB タイプ C)、リヤ シートの間 (USB タイプ C)、および進行方向右側のリヤ ラゲッジ コンパートメントにあります。
デバイスはフロント部の 12 V ソケットで充電することができ、車両の走行準備が整うとすぐにデータを PCM に転送できます。
デバイスはリヤ部およびラゲッジ コンパートメントの 12 V ソケットでいつでも充電できます。

## 充電アダプターの接続

### インフォメーション

- 12 V プラグソケットおよび接続された電装品は、車両が OFF であっても機能します。車両のバッテリーを保護するため、最大 30 分後に電源の供給が遮断されます。再び電装品を ON にするには、電源ボタンを押して車両を ON にする必要があります。
- 電装品が 1 つだけ作動している場合、12 ボルト プラグ ソケットの最大電流値は 20 A です。複数の電装品を同時に使用する場合は、12 ボルト プラグ ソケット 1 つ当たりの電流値が 10 A を超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、電波干渉や車両電装品の誤動作の原因となることがあります。

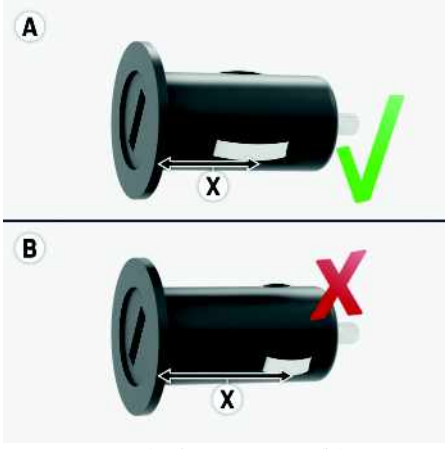



**図 90 : 12 ボルト プラグ ソケット用充電アダプター**

**A** 適切な充電アダプター
**B** 不適切な充電アダプター

### 知識

電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▸ 適切な充電アダプター (A) のみを使用してください :
  グラウンド端子部から充電アダプター上端までの **寸法 X** は、**約16 mm以下**である必要があります。
- ▸ グラウンド端子部から充電アダプター上端までの **寸法 X** が 16 mm を超える不適切な充電アダプター (B) を使用すると、12 V プラグ ソケットが損傷することがあります。

# 車両のお手入れ

## 一般的なお手入れの諸注意

**⚠ 警告** ブレーキ ディスクの水膜

大雨の中で水たまりや浅瀬を走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキの反応が遅れたり、ペダルを踏み込む時に普通以上に力が必要になったりすることがあります。

- 洗車後にはブレーキを点検してください。
- そのため、前走車との車間距離を十分に確保しながら、断続的にブレーキをかけてブレーキを「乾燥」させます。 後続の車両に影響を与えないように注意してください。

---

ポルシェ正規販売店で定期的に点検することは、車両の価値の維持につながります。また、このような点検が車両の保証を受けるための前提条件になっている場合があります。

**ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製のカー ケア用品の使用を推奨しています。**

- カー ケア用品のパッケージに記載されている使用上の注意事項を遵守してください。
- カー ケア用品はお子様の手の届かない場所に保管してください。
- カー ケア用品を廃棄する際には、廃棄物に関する法律や地域のルールに従ってください。

車両の点検を適切に実施して、保証期間内の保証を維持するには、ポルシェ正規販売店までお問い合わせください。ポルシェ正規販売店が状態レポートを作成し、車両の整備状況を認定いたします。

**知識**

高圧洗浄機およびスチーム クリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります。

– タイヤ
– ロゴ、エンブレム、デコラティブ フィルム
– 塗装面
– 充電ポート
– 電子部品 (高電圧バッテリーなど) およびプラグ接続
– パークアシスト センサー
– アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) などのアシスタント システムで使用される (レーダー) センサー
– カメラ
– フロント ウィンドウ ワイパー

車両は、浸水を完全に防止できる構造ではありません。清掃中に車内に水が漏れることがあります。

- 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
- 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから 50 cm 以上離してください。洗浄機を近づけすぎると、洗浄水がリヤ リッド リリース ボタンに当たり、誤ってリヤ リッドが開く恐れがあります。
- 高圧洗浄機を使用するときは、これらの構成部品にジェット ノズルを直接向けないでください。
- 開口部にはジェット ノズルを直接向けないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。
- デコラティブ フィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチーム クリーナーを使用しないでください。
- 高圧洗浄機またはスチーム クリーナーを丸型ジェット ノズルと組み合わせて使用することはしないでください。高圧洗浄機またはスチーム クリーナーと丸型ジェット ノズルを組み合わせて使用すると、車両に傷が付きます。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェット ノズルで洗浄しないでください。

---

## 高電圧バッテリーのお手入れ

### 一般充電およびお手入れの諸注意

高電圧バッテリーは、物理的および化学的な劣化と消耗のプロセスの影響を受けます。 これにより、使用パターンや環境条件に応じて、ライフ サイクル全体にわたって高電圧バッテリーの容量が減少します。そうすると特に、バッテリーが古くなるにつれて最大可動範囲が減少し、充電時間が長くなります。

バッテリーの劣化と消耗を抑えるために、以下の対策を講じることができます。

- 充電プロセス中は、可能であれば車両の温度が約 -20 °C から +30 °C の間になるようにします。
- 可能であれば、車両を長時間 30°C を超える温度にさらさないでください (直射日光の当たる場所に駐車するなど)。
- 外気温度が 30 °C 以上で停車中の場合、作動後に車両を主電源に接続し、高電圧バッテリーを交流 (AC) で 85% の最大充電レベルまで充電します。タイマー機能を使用します。
- 外気温が 35 °C を超える場合、高電圧バッテリーを最大限冷却するために 150 kW を超える直流 (DC) での充電直後に「レンジ」走行モードを使用しないでください。
- 高電圧バッテリーのプレコンディショニングにより、充電時間が短縮されます。 長距離走行中は特に、充電プランナーを使用して高電圧バッテリーの充電を開始し、可能であればタイマーまたはプロファイル機能を使用して交流 (AC) でバッテリーを充電します。
- 長距離走行を行わない日常の車両用途の場合、タイマーまたはプロファイル機能を使用して、高電圧バッテリー充電を最大 80% でプログラムします。
- 充電レベルが 5% 以下の場合、作動後に車両を主電源に接続し、高電圧バッテリーを充電します。
- 必要に応じて、長距離走行の前に 100% のバッテリー充電をプログラムできます。

### 車両を長期間使用しない場合の注意点

未使用期間が 2 週間以上の場合：

- 高電圧バッテリーが放電した状態で車両を駐車しないでください。主電源に常時接続してください。
- 未使用期間中は、高電圧バッテリーが 20%~50% の間に充電されるようにしてください。 この目的でプロファイル機能を使用することもできます。
- 車両が常に直射日光に当たっていないことを確認してください。 屋根付きのガレージに駐車することをお勧めします。

車両を主電源に常時接続することができない場合：

- 車両を駐車する前に、高電圧バッテリーを半分程度 (充電レベル 50% まで) 充電してください。
- 3 か月ごとに充電レベルを確認し、充電レベルが 20% を下回らないように、必要に応じて再充電してください。
- 車両付近の外気温が 0 ℃~20 ℃ の間になるようにしてください。
- スマートフォン アプリの「ポルシェ コネクト」は使用しないでください。 アプリと車両の接続が確立されると高電圧システムが作動するため、高電圧バッテリーおよび 12 V バッテリーが放電します。

## 車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。 解氷剤 (塩分)、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の排せつ物、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。 完全な防漏構造の車両はありません。 清掃中に車内に水が漏れることがあります。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください。

- 車両の下周りは、少なくとも道路の砂まきのシーズンの終わりには、しっかりと洗い流す必要があります。
- すす、グリース、油、重金属が車両に影響を与えるのを防ぐために指定された洗浄エリアのみを洗車するようにしてください。
- 直射日光のもとで、または車体が熱くなっているときには洗車しないでください。
- 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カー シャンプーを使用して多量の水で洗ってください。
- 洗車を始める際には、塗装面にしっかりと水をかけて、泥を洗い落としてください。
- 洗車後は、水で十分に洗い流して、セーム革でふき取って乾かします。 ふき取りには、ウィンドウを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

### 自動洗車機

**知識**

取り付けたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツは、洗車機内で損傷する恐れがあります。

- 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。

| 危険 | 以下の点をご確認ください。 |
|---|---|
| 洗車機で洗車中、フロント ウィンドウ ワイパーの不意の作動による損傷の可能性があります。 | ▸ フロント ワイパーのスイッチを OFF にしてください。<br>▸ 洗車機での洗車中はヘッドライト ウォッシャー システムを操作しないでください。 |
| 充電ポート リッドが意図せずに開く | ▸ ドアをロックする |
| 外装部品への損傷 | ▸ ドア ミラーを格納してください。<br>▸ 展開したスポイラーを格納してください。<br>▸ ルーフ トランスポート システムを完全に取り外してください。<br>▸ 充電ポート リッドを閉じます。<br>▸ 車両をロックします。 |

| 危険 | 以下の点をご確認ください。 |
|---|---|
| ホイールへの損傷 | ▸ 洗車機のガイドレールの寸法を確認してください。 タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに従い、損傷のリスクも大きくなります。 |
| ハイグロスまたはシルクグロス ホイールへの傷 | ▸ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。 |

## 塗装面のお手入れ

**知識**

塗装面に付着した汚れの粒子は、適切にお手入れをしないと塗装に損傷を与える場合があります。

▸ 乾いた布でほこりを拭きとらないでください。

**知識**

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

▸ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を**使用しない**でください。

### 塗装面の保護

塗装面は風化によって時間とともにつやがなくなりますので、洗車後に定期的に塗装保護剤で保護する必要があります。 そうすることにより、塗装の輝きと弾性を維持することができ、汚れが塗装面に付着したり、粉塵が塗装面に侵入したりすることを防ぎます。

### 塗装面のつや出し (研磨)

ペイント ポリッシュを使用するのは、保護剤で元の輝きが出せなくなった場合のみにしてください。
ヘッドライトは磨かないでください。

### マークを取り除く

タールの跳ねかかり、オイル跡、虫などは、そのまま放っておくと時間とともに塗装が変色しますので、インセクト リムーバーを使用してできるだけ早めにそれらを取り除いて、その後その部分を慎重に洗ってください。

### 小さな傷の補修

亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。 錆を取り除いたら、その箇所にプライマー (防錆剤) を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

## ワイパー ブレードのお手入れ

**知識**

適切に洗浄されない場合、ワイパー ブレードのグラファイト コーティングが損傷することがあります。

▸ 洗浄機のノズルをワイパー ブレードに向けないでください。
▸ 布やスポンジでワイパー ブレードを洗浄しないでください。
▸ ワイパー ブレードの洗浄は清潔な水でのみ行ってください。

フロント ワイパー ブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

▸ ウィンドウ クリーナーを使用してフロント ウィンドウを定期的に清掃してください。特に洗車機を使用した後は清掃してください。
▸ 汚れがひどい場合 (虫の付着など)、スポンジまたは布を使用してフロント ウィンドウを清掃します。

ワイパーブレードは年に 2 回 (寒い季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

## ウィンドウの清掃

### フロント ウィンドウ、サイド ウィンドウ、リヤ ウィンドウの清掃

▸ すべてのウィンドウの内側と外側を、ウィンドウ洗浄剤を使用して定期的に清掃してください。
▸ 塗装面に使用したのと同じセーム皮を使用してウィンドウをふき取らないでください。 保護剤の残留物で視界が低下する可能性があります。
▸ 虫の死骸はインセクト リムーバーで取り除きます。

### パノラマ ソリッド ガラス ルーフの清掃

▸ 清潔で柔らかい布を使用して、定期的に内側の窓からほこりを取り除きます。
▸ 頑固な汚れの場合は、ウィンドウ クリーナーでウィンドウを清掃し、浄水で洗い流してから、清潔な柔らかい布でふき取ります。

### フロント側ウィンドウ コーティング

フロント両側のウィンドウには、汚れを抑制する (疎水性の) 撥水剤がコーティングされています。 このコーティングは経年変化により徐々に効果が弱まります。 また新たにコーティングすることができます。

▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分な

トレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## アンダー コーティングの補修

車両のアンダーボディは化学的、機械的影響から永続的な方法で保護されています。 走行中の保護コーティングへの損傷をなくすことはできません。

- ポルシェ正規販売店で定期的に点検を受け、必要に応じて保護コーティングの復元を依頼するようお勧めします。

## デコラティブ フィルムの清掃

**知識**

洗浄時にデコラティブ フィルムが剥れて損傷する恐れがあります。

- ポリッシュやホット ワックスを使用しないでください。
- 高圧洗浄機またはスチーム クリーナーを使用しないでください。
- 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

## ヘッドライト、ライト、プラスチック製部品と表面、センサーとカメラの清掃

**知識**

洗剤がコントローラーまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。 不適切な洗浄剤を使用するとプラスチック面に損傷を与える場合があります。

- 車内のプラスチック製部品に直接水や室内用ウィンドウ クリーナーをスプレーしないでください。
- ヘッドライト、ライト、プラスチック製部品と表面、アシスタンス システム用レーダー センサーおよび車両カメラの清掃には、きれいな水と小量の液体洗剤または室内用ウィンドウ クリーナーのみを使用してください。 このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ヘッドライトは磨かないでください。
- タッチ センシティブ ボタンを有するセンター コンソールの清掃には、マイクロ ファイバー クロスのみを使用してください。
- 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

## ホイールのお手入れ

**⚠ 警告** ブレーキ ディスクの洗浄剤の膜

洗浄剤 (ホイール洗浄剤など) がブレーキ ディスクにかかると、ブレーキ ディスクに膜が形成されてブレーキ性能が低下する恐れがあります。

- 洗浄剤がブレーキ ディスクにかからないように注意してください。
- 洗浄剤がブレーキ ディスクにかかった場合は、強力なウォーター ジェットでブレーキ ディスクをしっかりと清掃してください
- 後方の交通に注意しながら、ブレーキをかけてブレーキ ディスクを乾燥させます。

軽合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子 (ブレーキ ダストに含まれる黄銅や銅など) は長期間放置しないでください。接点の腐食により穴開きが発生する恐れがあります。
酸化除去効果のある洗浄剤や不適切な pH 値の洗浄剤 (他の金属には通常使用している)、および機械的なツールや製品は、表面を損傷するため、使用には適しません。

- 合金製ホイールには中性の洗浄剤のみを使用してください (pH 値 : 4～10)。不適切な pH 値の製品を使用すると、ホイールの表面が損傷する恐れがあります。
- 可能な限り、2 週間ごとにホイールをスポンジか洗車用ブラシで洗浄してください。ホイールが、解氷剤 (塩分)、砂、または粉塵にさらされる場合は、毎週清掃する必要があります。

## ドア、カバー、リッド、ウィンドウ シールの清掃

**知識**

インナー ドア シールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダメージを受けることがあります。

- 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
- 防錆剤を使用しないでください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください :

- 定期的に、すべてのシールの汚れ (摩耗、ほこり、凍結防止剤、砂など) を暖かい石鹸水を使用して洗浄してください。
- 凍結の恐れがある場合は、適切な手入れ用品を使用して、アウター ドア シールおよびリッドとフラップのシールを凍結から保護してください。

## 革製品のお手入れ

**知識**

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行ったりすると革製品が傷む場合がありま

す。

- 腐食性のある洗浄剤または固い清掃具を使用しないでください。
- 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないよう注意してください。
- 水滴は革製品から直ちに取り除いてください。

適切な車両の清掃と整備のために、次の点を遵守してください：

- 湿らせた柔らかくて白い毛織布、または市販のマイクロファイバー クロスを使用して、すべての種類の革製品を定期的に清掃し、細かなほこりを取り除いてください。
- 頑固な汚れ (水性のしみ**ではない**) は、革用洗浄剤で取り除きます。 容器に記載されている取扱説明をお読みください。
  ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製のカー ケア用品の使用を推奨しています。
- 清掃した革製品は、皮革ケア製品でのみ取り扱うようにしてください。

### シート ベンチレーター付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革シートに染みが付く可能性があります。

**水染みおよび湿気による染みを取り除く**

✓ シート ヒーターおよびシート ベンチレーターが OFF です。

✓ 直射日光が当たらないようにしてください。

1. 清潔で、目の細かいスポンジと蒸留水を使用して、シートおよびバックレストの表面全体を軽くたたいてください。 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないよう注意してください。
2. シート カバーは直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。 シート ヒーターおよびシート ベンチレーターを ON にしないでください。
3. 乾いた後、シート カバーを乾燥した不織布で拭いてください。

## カーペットおよびフロア マットの清掃

**⚠ 警告** ペダル操作の妨げ

不適切なフロア マットや正しく固定されていないフロア マットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。 アクセル ペダルが不意に踏み込まれたり、ブレーキ ペダル操作の妨げとなったりする場合があります。 これにより、予期しない加速が起こったり、ブレーキ操作が難しくなったりすることがあります。

- 車両に適切なフロア マットのみを使用してください。
- フロア マットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- いくつものフロア マットを重ねて敷かないでください。
- 清掃などのためにフロア マットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- 電気掃除機または柔らか過ぎないブラシを使用して清掃します。
- しみ抜きを使用して、ひどい汚れやしみを取り除きます。
  ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製のカー ケア用品の使用を推奨しています。

フロア カーペットの汚れや傷付きを防ぐため、この車両に適したサイズの固定具付きフロア マットをカー アクセサリーとして用意しています。

## エアバッグ カバーの清掃

**⚠ 危険** 不適切な清掃

不適切な洗浄剤やケア剤を使用すると、エアバッグ システムに侵入する場合があります。 正しく取り扱わないと、エアバッグ システムが損傷する恐れがあります。 事故の際にエアバッグが作動しなくなる恐れがあります。

- 個々の部品 (ステアリング ホイール カバー、ダッシュボード、フロント シート、ドア パネル、天井パネルなど) にいかなる調整も加えないでください。
- エアバッグのエリアには、クリーナーや他の液体を使用しないでください。

## ファブリック ライニングの清掃

ピラー、ルーフライナーおよびサン ブラインドなどのファブリック ライニングは、素材に適した洗浄剤やドライ フォームと柔らかいブラシのみを使用して清掃してください。

## Race-Tex のお手入れ

Race-Tex **マイクロファイバー カバー**の清掃には皮革ケア製品を絶対に使用しないでください。 普段のお手入れには、柔らかいブラシでカバーを清掃するだけで十分です。 清掃する際に強く擦りすぎると、表面に永久的な変化を与えてしまいます。

- 軽い汚れの場合、柔らかい布を水または中性石鹸水で湿らせて、汚れをふき取ります。
- ひどい汚れの場合、柔らかい布をぬるま湯または水で薄めた揮発油で湿らせて、外側から内側に軽くたたいて汚れを取り除きます。

Race-Tex マイクロファイバー カバー装備の**ステアリング ホイール**は常に皮膚に接触するため、より頻繁に汚れる可能性があります。

- 軽い汚れの場合、柔らかい布を中性石鹸水で濡らし、これでアウター ステアリング ホイール リムをふき取ります。
- ひどい汚れの場合、フォーム メーカーの指示に従って、柔らかい布と市販の内張りフォーム クリーナーでアウター ステアリング ホイール リムを軽くこする / たたくことで清掃できます。

## シート ベルトの清掃

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- シート ベルトの汚れには、中性洗剤を使用します。
- 乾燥時は直射日光を避けてください。
- 適切な洗浄剤のみを使用してください。
- シート ベルトを染めたり漂白したりしないでください。 ベルトの繊維が弱くなり安全性に影響が出る可能性があります。

## スクリーンとタッチ ディスプレイの清掃

**知識**

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行うとスクリーンおよびタッチディスプレイを痛めることがあります。

- PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類（エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール）などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- スクリーンおよびタッチディスプレイに直接クリーナーや他の液体を吹きつけないでください。水が入ると、電子部品は修理不能になることがあります。液体を吹き付けるのではなく、布にしみこませて注意深くスクリーンを拭いてください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- スクリーンとタッチ ディスプレイは擦ると傷がつく恐れがあります。 時々、清潔で柔らかい乾いた布 (マイクロファイバー クロス) で慎重にスクリーンとタッチ ディスプレイを清掃してください。 清掃の際、表面に力を加えすぎないでください。
- 指紋は、少し湿らせた布や中性洗剤を使用してふき取ります。

## 車両の保管

車両を長期間にわたり保管する場合には：ポルシェ正規販売店にご連絡ください。 必要な対策 (腐食の予防、お手入れ、メンテナンス、保管など) についての情報やアドバイスを喜んでお伝えします。

# 車両の始動、運転、停止

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 電気自動車の低減された運転音

法規に従って E-Sound を ON にした場合でも、電気自動車は運転音をほとんど発生させないため、他の道路利用者にはそれが聞こえない可能性もあります。そのため、特に交通量が少ない地域では、クリーピング時や駐車時に事故の危険性があります。

- 運転中は特に注意してください！

## 作動原理

作動準備 (スタンバイ) と走行準備は区別されています。 両方が個別に作動します。

### 作動準備が整っています

車両に乗り込むと、持っているキーが車両によって検出され、**作動準備**が自動的に確立します。 セントラル ディスプレイなどの一部の電装品および電子回路が利用可能です。

- バッテリーを節約するため、車両をスタンバイ状態 (作動準備が整っている状態) にして作動中の電装品を使用するのは、必要不可欠な場合のみにしてください。

### 走行準備

トランスミッション レンジ **D**、**N**、または **R** を選択し、**作動待機**を確立します。 走行準備が整ったため、車両を移動できます。

### シフト ポジション

**図 91 : シフト ポジションの表示**

次のシフト ポジションを使用できます。

**D – ドライブ**

前進するためのシフト ポジション **D**。

**R – リバース ギヤ**

後退するためのシフト ポジション **R**。

車両の停止中にブレーキをかけたときのみ締結します。

**N – ニュートラル**

自動洗車機を使用するときなどは、セレクター レバーの位置を必ず **N** にします。

**P – パーキング**

車両を駐車するためのシフト ポジション **P**。

シフト ポジション **D**、**R**、および **N** は、**P** ボタンを押してシフト ポジション **P** を選択しながら、ステアリング ホイール右側のセレクター レバーを使用して選択します。

## 車両の始動と走行

### 作動準備の確立

✓ 高電圧バッテリーは十分に充電されています。
✓ 車両充電ポートから車両プラグを切り離します。
✓ キーが車室内で検出されている。

**自動**

- 車両に乗り込み、運転席のドアを閉めます。
  作動準備が整っています。

**手動**

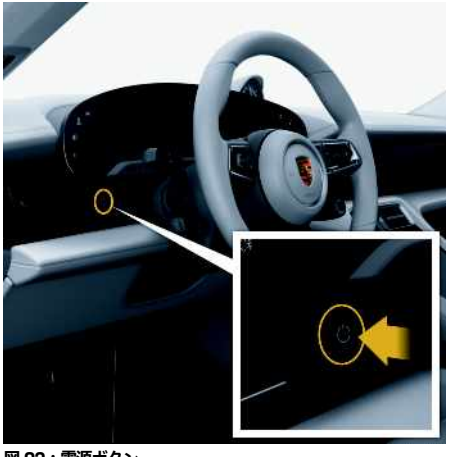


**図 92 : 電源ボタン**

✓ 作動準備が OFF になりました。
✓ キーが車室内で検出されている。

- 電源ボタンを押してください。
  作動準備が整っています。

### 作動および発進準備の確立

✓ 作動準備が整っています。

1. ブレーキ ペダルを踏んでください。
2. セレクター レバーでトランスミッション レンジ **D** または **R** を選択します。
   パーキング ロックおよびエレクトリック パーキング ブレーキが自動的に解除されました。
3. 発進するには、ブレーキ ペダルを放し、アクセル ペダルをゆっくり踏みます。

走行可能距離は、走行スタイル、気象、大量のエネルギーを消費する負荷の使用、および走行モードなどの選択された車両設定によって異なります。

### インフォメーション

作動準備は以下の状況で OFF になります。

– エネルギー マネージメント システムの該当する設定で
– 車両が外部からロックされた場合
– 走行位置が **D** または **R** で運転席ドアが開いており、運転席シート ベルトが着用されていない
– **P** ボタンを押すことによって
– エラーが発生した場合に、トランスミッション レンジ **P** を自動的に選択したり、**P** の有効化をリクエストしたりする他のシステムによって

### 高加速での発進 (ローンチ コントロール)

**警告** 高加速での発進

高加速で発進すると、特定の状況 (路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど) で車両が制御できなくなったり、他の通行者を危険にさらしたりする恐れがあります。

- 一般道での高加速の発進は、路面状況や周囲の交通状況から判断して安全が確保できる場合だけにしてください。
- 高加速で発進するときは、他の通行者に危険が及ばないようにしてください。

車両は通常の走行モードでも、高い加速度で発進することができます。 ローンチ コントロールを使用すれば停車状態から最大加速度で発進することができます。

**ローンチ コントロールを使用した発進**

✓ 車両は停止しています。
✓ 作動準備が確立されました。
✓ ステアリング ホイールが直進方向に向いている。
✓ トランスミッション レンジ **D** が選択されている。
✓ スポーツ モードまたはスポーツ プラス モードが有効になりました。

1. 左足でブレーキ ペダルを踏んでください。
2. 素早くアクセル ペダルをいっぱいに踏んで、そのまま保持してください。
   インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。
3. 短時間でブレーキ ペダルを放します。
   車両は最大まで加速します。

### インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

## エネルギー回生 (回復)

**警告** 回生の不適切な使用

回生は、エネルギー回生のみに使用されるシステムです。 ドライバー アシスタンス システムとともに回生レベルを使用する場合、ドライバー アシスタンス システムの制御動作が常に優先されます (表示に関係なく)。 これはドライバー アシスタンス システムではないため、ドライバー アシスタンス システムのタスクを引き継ぐことはできません。

- 回生の減速効果を距離制御システムとして使用しないでください。
- いつでもブレーキをかけることができるように準備し、前走車と安全な車間距離を保ってください。
- より大きな制動力を得る、または車両が停止するように制動するには、必要に応じてブレーキ ペダルを踏みます。

**警告** 自動オーバーラン回生が制限されているか利用できない

最大オーバーラン回生は制限されています。

センサーの検出性能は、汚れ、悪天候 (雨、雪、氷、霧、水しぶき)、および路面状態が悪い状況 (石はね、反射物) によって損なわれる可能性があります。前方の車両が適切に検出されないか、まったく検出されない場合があります。

自動オーバーラン回復 (**自動**設定) が使用できない場合 (たとえば、センサーが汚れている場合)、この影響に関するメッセージがインストルメント クラスターに表示されます。

- 視界が悪い場合や路面状態が悪い場合には、自動オーバーラン回生を使用しないでください。

### 作動原理

回生時、ドライブはほとんどの運動エネルギーを電気エネルギーに変換し、高電圧バッテリーに保存します。オーバーラン回生と制動回生は次のように区別されています。

– **オーバーラン回生**は、アクセル ペダルから足を離すとすぐに起動し、車両を減速させます。オーバーラン回生の強度を設定できます。
– ブレーキを踏むと、**制動回生**により、回生されるエネルギーの量が最大まで増加します。その後、

車両のホイール ブレーキを使用して、より高いブレーキ要求が達成されます。

### オーバーラン回生の設定

| 設定 | 表示 | 意味 |
|---|---|---|
| OFF | 表示なし | オーバーラン回生なし。車両の惰性走行。 |
| ON | | 車両の適度な減速を伴うオーバーラン回生。 |
| AUTO | | 車両の周囲に関連するデータに基づいたオーバーラン回生の可変的な適応。 |

**インフォメーション**

たとえば、高電圧バッテリーの充電状態が高い場合、オーバーラン回生の減速効果を制限できます。

- 必要に応じてブレーキを踏み、オーバーラン回生の減少を補います。
  オーバーラン回生の強度は、パワー メーターに表示されます。

#### オーバーラン回生レベルの選択

- 次のようにステアリング ホイールの回生ボタンを押してください。
  - 早押し = オーバーラン回生のオンとオフを切り替える
  - 長押し = 自動オーバーラン回生 (自動) のオンとオフを切り替える

**- または -**

- **走行 ▸ 回生 (アクセル ペダル)**

選択した設定がインストルメント クラスターに表示されます。

**インフォメーション**

自動オーバーラン回生は PSM が有効な場合にのみ使用可能です。自動オーバーラン回生は「PSM スポーツ」モードでは使用できません。

**インフォメーション**

さまざまなオーバーラン回生設定が走行モードに割り当てられていますが、ドライバーが自由に選択することもできます。
INDIVIDUAL 走行モードではカスタマイズが可能です。

### 惰性走行モードで走行する

「惰性走行」とは、オーバーラン回生のブレーキ効果のない走行を指して使用される用語です。 この機能は、消費電力を削減することで効率を高めるように設計されています。 惰性走行を開始するには、アクセルから足をゆっくりと完全に離します。 アクセルを踏むと惰性走行が終了します。

✓ トランスミッション レンジ D での運転。
✓ PSM が作動しています。
✓ ゆるやかな上り / 下り勾配
✓ 回生が OFF です。

- アクセル ペダルからゆっくりと足を離します。

**インフォメーション**

惰性走行モードは、「SPORT」または「SPORT PLUS」走行モードでも可能です。これらのモードを選択するときは、これらの走行モード時に標準で作動するオーバーラン回生設定を OFF にする必要があります。

## 車両の停止、駐車、および降車

**警告** 停止中のパワー ステアリングおよびブレーキ ブースター

パワー ステアリングとブレーキ ブースターは、車両の作動準備が整っている場合にのみ作動します。車両の作動準備が整っていない場合、ステアリング ホイールを回す、またはブレーキをかけるには、より大きな力が必要です。

- 車両の電源を OFF にするのは、車両が完全に停車してからにしてください。

**警告** 車両が動き出す危険

次の状況では、パーキング ブレーキが作動せず、車両が不意に動き出す恐れがあります。

– シフト ポジションを N にして車両を離れる。
– 運転席のドアが開いており、ドライバーがシートベルトを着用していない場合、ブレーキ ペダルを踏みながらシフト ポジションを D または R に戻すと、パーキング ブレーキが解除される。

車両が不意に動き出すと、人にケガを負わせたり、車両が損傷したりする恐れがあります。車両が動き出す危険に関する警告が、インストルメント クラスターに表示されます。

- 車両を離れる前に、P ボタンを押してパーキング ブレーキをかけてください。

### 車両の停止

- 車両が停止するまでブレーキ ペダルを踏みます。
  – 短時間の停車時には、ブレーキ ペダルを使って車両位置を維持し、セレクター レバーをトランスミッション レンジ D の位置に保持します。
  傾斜面では、HOLD 機能を使用して車両が自動的に停止状態を維持します。

### 駐車

P ボタンを押すと、車両が不意に動き出すことを防げます。

#### シフト ポジション P を手動で作動させる

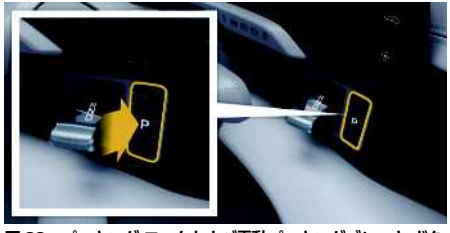


**図 93 : パーキング ロックおよび電動パーキングブレーキ ボタン**

✓ ブレーキ ペダルを踏んで、車両の停止状態を維持します。

▸ P ボタンを押してください。
パーキング ロックと電動パーキングブレーキが同時に作動します。
インストルメント クラスターで、ブレーキ警告灯 (!) およびシフト ポジション P の表示が点灯します。

#### シフト ポジション P を自動で作動させる

✓ ブレーキ ペダルを踏んで、車両の停止状態を維持します。

✓ トランスミッション レンジ D または R が選択されている。

▸ ドライバーのシート ベルトを外し、運転席ドアを開く
パーキング ロックと電動パーキングブレーキが自動的に作動します。
インストルメント クラスターで、ブレーキ警告灯 (!) およびシフト ポジション P の表示が点灯します。

- または -

▸ 電源ボタンを使用して車両の電源を OFF にします。
パーキング ロックが自動的に作動します。
インストルメント クラスターで、シフト ポジション P が点灯します。
パーキング ブレーキは、勾配率が 8% を超える坂道や傾斜面に車両を駐車するときにも作動します。ブレーキ警告灯 (!) が点灯します。

**⚠ 警告** 電動パーキングブレーキが作動しない

緩やかな坂道や傾斜面などでは、電源ボタンを使用して車両の電源を OFF にしても電動パーキングブレーキが作動しない場合があります。車両が不意に動き出す恐れがあります。

▸ 坂道や傾斜面でパーキング ブレーキを作動させるには、車両の電源を OFF にする前に必ず P ボタンを押してください。

#### 電動パーキングブレーキを手動で作動または解除する

電動パーキングブレーキは、シフト ポジション P の作動状態に関係なく、セントラル ディスプレイで作動または解除できます。

▸ ▸ 設定 ▸ 車両 ▸ 電動パーキングブレーキ

ブレーキ警告灯 (!) が点灯または消灯します。

#### 警告メッセージへの対応

車両が停車しているときに電動パーキングブレーキが十分に作動していない場合、ブレーキ警告灯 (!) が点滅します。
パーキング ロックの作動に失敗した場合、インストルメント クラスターに警告が表示されます。

▹ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

#### 車両の電源を OFF にして、外に出る

✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動しています。

▸ 車両の外に出て、ドアをロックします。
車両の作動待機が OFF になります。

**インフォメーション**

以下の状況になると、車両の電源は自動的に OFF になります。
– 降車してから 30 分後
– 高電圧バッテリーが十分に充電されていない

## 追加情報

#### 車両のシフト ポジションを N のままにする

シフト ポジションが N の場合、次の状況では 30 秒後に運転準備が OFF になります。
– パーキング ブレーキが作動していないとき
– 運転席のドアが開き、ドライバーがシート ベルトを着用していないとき
– ブレーキ ペダルが踏まれていないとき

# 車両設定

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な車両機能を調整できます。 ここで説明した車両機能は、すべてのモデル、国別仕様および装備仕様で利用可能なわけではありません。 安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

車両設定は車両を OFF にしても引き続き保存されます。

▷ 「パーソナル設定」の章（ 196ページ）を参照してください。

## システム設定

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| 一般的なシステム設定 (言語、時間、単位など) のコンフィギュレーション | ▸ ▸ **設定** ▸ **システム**の順にタッチします。<br>– **言語/キーボード**<br>– **日付と時刻**<br>– **単位**<br>– **システムを出荷時の状態にリセットする** | – |

## ディスプレイ設定

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| 一般的なディスプレイ設定のコンフィギュレーション (明るさ、タッチ操作音など) | ▸ ▸ **設定** ▸ **表示**の順にタッチします。<br>– **セントラル ディスプレイ**<br>– **画面をタッチ**<br>– **インストルメント クラスター**<br>– **その他の手段** | – |

## 音量設定

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| 音量の調整 (ナビゲーション案内、パークアシストなど) | ▸ ▸ **設定** ▸ **音量**の順にタッチします。<br>– **ナビゲーション案内**<br>– **パークアシスト**<br>– **パークアシスト作動中は音量を引き下げる**<br>– **速度に適応した音量**<br>– **車線逸脱警告**<br>– **着信音**<br>– **メッセージ音**<br>– **通話中にナビをミュート** | – |

## サウンド設定

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| サウンドの調整 (トレブル / バス、バランス / フェーダー) | ▸ 🏠 ▸ 設定 ⚙ ▸ サウンドの順にタッチします。<br>– バス/トレブル<br>– バランス/フェーダー | – |

## ボイス コントロール設定

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| ボイス コントロール設定のコンフィギュレーション | ▸ 🏠 ▸ 設定 ⚙ ▸ ボイスコントロールの順にタッチします。<br>– 「Hey Porsche」と発話すると作動します<br>– 短いダイアログ<br>– ボイスコントロールを中断する<br>– オンライン音声認識 | ▷ p. 212 |

## 車両設定

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| 車両設定のコンフィギュレーション / 車両機能の使用 (車両に近づいたときのロック解除、ミラーの折り畳み、タイヤ選択、ハイビーム自動調整の有効化など) | ▸ 🏠 ▸ 設定 ⚙ ▸ 車両の順にタッチします。 | |
| | – スポイラー手動清掃位置 | ▷ p. 112 |
| | – エレクトリック パーキング ブレーキ | ▷ p. 205 |
| | – ショートカットキー | ▷ p. 45 |
| | – フード/トランクリッド | ▷ p. 233 |
| | – 車両ロックシステム | ▷ p. 120 |
| | – タイヤ空気圧モニタリング | ▷ p. 156 |
| | – ライトと視界 | ▷ p. 244 |

### アシスタンス システム設定

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| アシスタンス システム設定の調整 (警告音量、警告時間設定など) | ▸ ▸ **設定** ▸ **アシスタンスシステム**の順にタッチします。 | |
| | – **パークアシスト** | ▷ p. 192 |
| | – **Porsche Active Safe** | ▷ p. 91 |
| | – **アダプティブ スピードリミッター** | ▷ p. 109 |
| | – **車線逸脱警告** | ▷ p. 264 |
| | – **レーン チェンジ アシスト** | ▷ p. 266 |
| | – **ナイト ビュー アシスト** | ▷ p. 181 |
| | – **カスタム速度制限** | ▷ p. 109 |
| | – **危険な状況** | – |

### 通知センター

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| **通知設定**のコンフィギュレーション | ▸ ▸ **設定** ▸ **通知設定**の順にタッチします。<br>– **通知を許可**<br>– **通知音** | ▷ p. 283 |

### ラジオ設定

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| ラジオ設定のコンフィギュレーション | ▸ ▸ **設定** ▸ **メディア**の順にタッチします。<br>– **電波が不安定な状態の自動トラック放送局** | – |

## ポルシェ コネクト設定

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| **ポルシェ コネクト設定のコンフィギュレーション (プライバシーなど)、法的通知およびデータ保護通知の表示** | ▸ ▸ **設定** ▸ **プライバシーおよびポルシェ コネクト**の順にタッチします。 | ▷ p. 220 |

## セットアップ ウィザード

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| **セット アップ ウィザードを呼び出す**<br>PCM の初回起動時には**セットアップウィザード**が表示され、PCM コンフィギュレーションの重要なステップが案内されます。<br>[**セットアップウィザード**] は手動で呼び出すこともできます。 | ▸ ▸ **設定** ▸ **セットアップウィザード**の順にタッチします。 | ▷ p. 196 |

## ソフトウェア情報

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| **ソフトウェア情報表示 (バージョン、構成部品)** | ▸ ▸ **設定** ▸ **ソフトウェア情報**の順にタッチします。 | – |

## 走行

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| 走行モードを設定する | ▸ ▸ 走行 ▸ 走行モードをタッチします。 | ▷ p. 281 |
| シャーシを設定する | ▸ ▸ 走行 ▸ シャーシをタッチします。 | ▷ p. 217 |
| シャーシ高を設定する | ▸ ▸ 走行 ▸ シャーシ高をタッチします。 | ▷ p. 217 |
| 回生を設定する | ▸ ▸ 走行 ▸ 回生 (アクセル) をタッチします。 | ▷ p. 134 |
| E-Sound を設定する | ▸ ▸ 走行 ▸ E-Sound をタッチします。 | ▷ p. 281 |
| Individual 走行モードの設定 | ▸ ▸ 走行 ▸ ▸ 走行モードIndividualの設定をタッチします。 | ▷ p. 281 |
| Range 走行モードの設定 | ▸ ▸ 走行 ▸ ▸ 走行モードRangeの設定をタッチします。 | ▷ p. 281 |

## アシスタンス

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| 基本アシスタンス システムを ON にする<br>基本アシスタンス システムは安全のために設計されており、スイッチを常に ON にする必要があります。 | ▸ ▸ アシスト ▸ 基本アシストをタッチします。 | |
| | – Porsche Active Safe<br>– ナイトビューアシスト | ▷ p. 91<br>▷ p. 181 |
| パークアシストを表示する | ▸ ▸ アシスト ▸ パークアシストをタッチします。 | ▷ p. 192 |
| アシスタンス システムを ON にする | ▸ ▸ アシストをタッチします。 | |

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| | – **レーンアシスト**<br>– **アクティブレーンキープ**<br>– **操作アシスト**<br>– **後退車両検知警報**<br>– **交差点アシスト**<br>– **車線変更補助** | ▷ p. 264<br>▷ p. 35<br>–<br>▷ p. 254<br>▷ p. 95<br>▷ p. 266 |

## トリップ

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| **トリップ データ (平均燃費、走行可能距離、走行時間など) を表示する** | ▸ ▸ **トリップ**をタッチします。 | – |
| **トリップ データの表示方法を設定する** | ▸ ▸ **トリップ** ▸ **パーソナルトリップ**をタッチします。 | – |
| **トリップ データをリセットする** | ▸ ▸ **トリップ** ▸ **トリップデータをリセットする**をタッチします。 | – |

## コンフォート

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
|---|---|---|
| **アンビエント ライト (明るさ、カラー) を調節する** | ▸ ▸ **コンフォ ート** ▸ **アンビエントライト**をタッチします。 | |
| **運転席 / 助手席のコンフォート機能を設定する (マッサージ機能、シート ヒーター / シート ベンチレーター バランス)** | ▸ ▸ **コンフォ ート** ▸ **運転席 / 助手席**をタッチします。 | ▷ p. 98 |

| 希望する操作 | 選択するべき対象 | 参照先 |
| --- | --- | --- |
| イージー エントリー機能を ON にする | ▸ ▸ コンフォ ート ▸ イージーエントリーをタッチします。 | ▷ p. 98 |
| 運転席から助手席シートを調整する | ▸ ▸ コンフォ ート ▸ 助手席シートを調整するをタッチします。 | ▷ p. 98 |

# 収納スペース

## 荷物の収納

**⚠ 警告** 荷物が固定されていない、または設置位置が正しくない場合

固定されていない荷物、あるいは積載位置が正しくない荷物は、急ブレーキ、進路変更、または事故の際に、位置がずれたり飛び出したりして乗員を危険にさらす可能性があります。

- この指示で説明されている収納オプションのみを使用してください。
- 可能な場合は、必ず荷物をロック可能な小物入れに入れて運んでください。
- センター コンソール (センター コンソール コントロール パネルなど) の開いた表面を荷物の収納に使用しないでください。
- 前述の状況で荷物が滑ったり動いたりしないように収納します。
- 荷物が小物入れやラゲッジ ネットからはみ出していないことを必ず確認してください。
- 小物入れやトレイを開けた状態で、重い、尖った、鋭利または壊れやすい荷物を輸送しないでください。
- 走行中はロック可能な小物入れを閉じてください。

車両には以下の収納オプションがあります。

- グローブ ボックス
- フロントおよびリヤ ドリンク ホルダー
- B ピラーとリヤ グラブ ハンドルの衣類フック
- ブーツ フロアの下の小物入れ
- フロント アームレストの小物入れ
- フロントおよびリヤ ドア パネルの小物入れとボトル ホルダー
- 左右のブーツ内の小物入れを開く
- リヤ シートの間の小物入れを開く (リヤ シートが 2 つある車両)

装備によっては、他にも次のような収納オプションがあります。

- センター コンソール コントロール パネルの下の、側面の仕切りがある収納トレイ
- リヤ シートの前にあるセンター トンネルの収納トレイ
- ブーツ内の収納ネット
- ブーツ内のバッグ フック

## グローブ ボックスの開閉

**図 94 : グローブ ボックスを開く**

**グローブ ボックスを開く**

- ハンドルを引いてください。
  グローブ ボックスは自動的に開きます。

**グローブ ボックスを閉じる**

- カバーを押して閉じてください。

グローブ ボックスは、エマージェンシー キーを用いてロックやロックの解除ができます。

▷ 「キー」の章（77ページ）を参照してください。

## アームレストの小物入れを開く

### フロント アームレストの小物入れを開く

**図 95 : フロント アームレストの小物入れを開く**

- アームレストの運転席側のボタンを押してください。
  リッドが自動的に開きます。

# 充電

## 高電圧バッテリーの充電

**危険** 不適切な充電

間違った充電プロセス、一般的に適用可能な安全上の注意事項の非遵守、高電圧バッテリーの不適切な取り扱いは、感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因となります。

- 車両を始動する前に、車両充電ケーブルを外し、カバーおよび充電ポート リッドを閉じ、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。
- 高電圧バッテリーの充電時は、必ず規定の順序を遵守してください。充電プロセス中は、電気ソケットから車両充電ケーブルを外さないでください。充電が終了した後に電気ソケットから車両充電ケーブルを切り離してください。
- ポルシェ充電装置の取扱説明書の安全に関する指示を参照してください。
- 充電プロセス中は車内または車両の作業を実施しないでください。
- 両方の充電ポートで同時に車両を充電しないでください。

**危険** 不適合または損傷した電気ソケットおよび車両充電ケーブル

不適合なまたは損傷した電気ソケットと車両充電ケーブルの使用、および高電圧バッテリーの不適切な取り扱いは、感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因となります。

- 電気自動車の高電圧バッテリーの充電には、メーカーにより点検および承認された車両充電ケーブルのみを使用してください。
- 走行する国で適切な充電装置を常備してください。
- 車両充電ケーブルを接続する電気ソケットの取り付けは、必ず専門家が行ってください。
- 損傷した、または汚れた電気ソケットに、車両充電ケーブルを接続しないでください。
- 損傷した車両充電ケーブルを使用しないでください。
- 延長ケーブル、ケーブル リール、電源タップ、またはトラベル アダプターを使用しないでください。
- すべての電子部品に対し、改造や修理を行わないでください。
- 電気ソケットおよびプラグ接続は、水、湿気およびその他のフルードや液体を避けてください。
- 充電ソケットの汚れや氷、雪を、鋭いものまたは先が尖ったもので取り除かないでください。
- 充電ソケットが汚れている場合は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- 車両の充電ポートに異物を挿入しないでください。

**警告** 固定されていない車両充電ケーブル

固定されていない、または固定方法や固定位置が正しくない車両充電ケーブルは、ブレーキ時や方向転換時、または事故発生時に飛び出して乗員を危険にさらす可能性があります。

- 車両充電ケーブルを車室内 (シートの上や前など) に置いたり、固定しない状態で輸送したりしないでください。
- 車両充電ケーブルは必ず、ラゲッジ コンパートメントの充電バッグまたはラゲッジ コンパートメントの専用の小物入れに保管してください。

**知識**

電源の過電圧により、充電装置および車両が損傷する恐れがあります。

- 雷雨のときは、車両充電ポートを使用して高電圧バッテリーを充電しないでください。
- 雷雨発生時には、可能なら充電装置を主電源装置から切り離します。

### 一般充電およびお手入れの諸注意

高電圧バッテリーは、物理的および化学的な劣化と消耗のプロセスの影響を受けます。 これにより、使用パターンや環境条件に応じて、ライフ サイクル全体にわたって高電圧バッテリーの容量が減少します。そうすると特に、バッテリーが古くなるにつれて最大走行可能距離が減少し、充電時間が長くなります。

バッテリーの劣化と消耗を抑えるために、以下の対策を講じることができます。

- 充電プロセス中は、可能であれば車両の温度が約 -20 °C から +30 °C の間になるようにします。
- 可能であれば、車両を長時間 30°C を超える温度にさらさないでください (直射日光の当たる場所に駐車するなど)。
- 外気温度が 30 °C 以上で停車中の場合、作動後に車両を主電源に接続し、高電圧バッテリーを交流 (AC) で 85% の最大充電レベルまで充電します。タイマー機能を使用します。
- 外気温が 35 °C を超える場合、高電圧バッテリーを最大限冷却するために 150 kW を超える直流

(DC) での充電直後に「レンジ」走行モードを使用しないでください。

- 高電圧バッテリーのプレコンディショニングにより、充電時間が短縮されます。 長距離走行中は特に、充電プランナーを使用して高電圧バッテリーの充電を開始し、可能であればタイマーまたはプロファイル機能を使用して交流 (AC) でバッテリーを充電します。
- 長距離走行を行わない日常用途の車両の場合、タイマー機能を使用して、高電圧バッテリー充電レベルを約 80% でプログラムします。
- 充電レベルが 5% 未満の場合、作動後に車両を主電源に接続し、高電圧バッテリーを充電します。
- 必要に応じて、長距離走行開始前にバッテリー充電を 100% にプログラムすることができます。
- 地域の充電インフラの特徴に注意してください。充電はしばらく開始しない場合があります。 充電スタンドのスタート ボタンを押します。

高電圧バッテリーのお手入れに関する詳細情報 :

▷ 「車両のお手入れ」の章（ 128ページ）を参照してください。

### 充電機器に関する指示

- 充電器やウェブ アプリケーションに関する詳細情報は、ウェブサイト (https://www.porsche.com) の「E パフォーマンス」セクションに掲載されています。
- 電気自動車の高電圧バッテリーの充電には、点検および承認済みの、国内法規に適合した車両充電ケーブルのみを使用してください (IEC 62196-2、SAE J1772 または GB/T 20234-2 に準拠して標準化された充電プラグおよび IEC 61851-1、SAE J1772 または GB/T 18487 (モード 2 および 3) に準拠した充電プロセス)。
  保護なし車両充電ケーブル (IEC 61851-1、SAE J1772 または GB/T 18487 (モード 1) に準拠して標準化された) には対応していません。
- 最大長 30 m の充電ケーブルのみを使用してください。
- ポルシェ充電ドックまたは基本的なウォール マウントと共に、ポルシェによって承認および供給されている充電機器の使用を推奨します。ポルシェの充電機器および使用する車両充電ケーブルの別冊の説明書を参照してください。

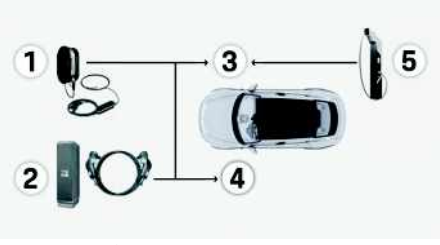



**図 96 : 高電圧バッテリーの充電**

### 充電には、家庭用および工業用電気ソケットまたは一般の充電ステーションの交流 (AC) を使用できます。

車両の高電圧バッテリーは、運転席側の充電ポート (LHD : **4**、RHD : **3**) を介した交流 (AC) で充電することができます。国および機器によっては、助手席側にもう 1 つ AC 充電ポート (LHD : **3**、RHD : **4**) があります。どちらの充電ポートも充電電力は同じです。1 つの充電ポートを使用している場合、他の充電ポートは無効になります。

充電時間短縮のために、充電ステーションの工業用電気ソケット **2** またはウォール ボックス **1** での充電を推奨します。 他の充電設備を利用できない場合は、家庭用電気ソケット **1** でのみ高電圧バッテリーを充電してください。

### 一般の充電ステーションでの直流 (DC) による急速充電

車両の高電圧バッテリーは、充電ステーションで直流 (DC) **5** による充電が可能です。その場合、助手席側の充電ポートを使用します (LHD : **3**、RHD : **4**)。これにより、充電時間が大幅に短縮されます。

最短時間で高電圧バッテリーを充電する場合は、直流 (DC) で充電することを推奨します。充電プランナーの使用により、充電時間を最短にすることができます。

高電圧バッテリーの劣化と摩耗は、**バッテリーにやさしいクイック充電**機能を使用して低減できます。 急速充電は時間がかかる場合があります。

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ **充電** ▸ **概要** ▸
2. **バッテリーにやさしいクイック充電**を有効にします。

重要な注意事項 :

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、充電中の機器本体部からの電磁波がペースメーカー、ICDの作動に一時的な影響を与える場合があるため、以下を必ずお守りください。

– 充電器に近づかない。
– 充電器を使用する場合は、操作を他の人に依頼する。

その他の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響がないかご確認ください。

# 充電ポート リッドの開閉

**知識**

異物や氷によって充電ポート リッドを損傷する恐れがあります。

- 開閉する前に、充電ポート リッドに異物や氷の付着がないか確認してください。
- 充電ポート リッドが損傷した場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 「車両のお手入れ」の章（ 128ページ）を参照してください。

充電ポート リッドは、車両の装備に応じて手動または電動で作動します。

## 手動充電ポート リッドの開閉

✓ 手動充電ポート リッド装備車両。
✓ 車両がロック解除されているか、キーが充電ポート リッドの近くにあります (装備によって異なります)。
✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動しています。

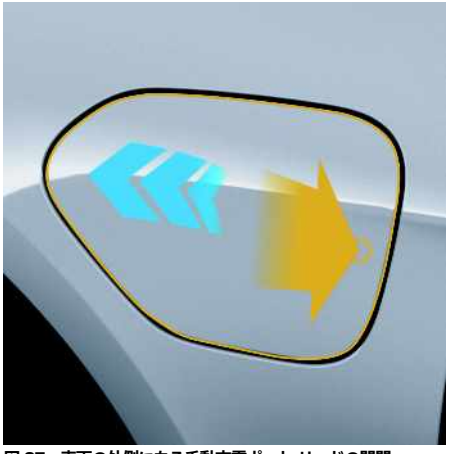


**図 97 : 車両の外側にある手動充電ポート リッドの開閉**

1. 充電ポート リッドの後部を押して開きます。
   充電ポート リッドが開きます。
2. しっかりとはまるまで充電ポート リッドの後部を押して閉じます。

## 電動充電ポート リッドの開閉

✓ 電動充電ポート リッド装備車両。
✓ 車両がロック解除されているか、キーが充電ポート リッドの近くにあります (装備によって異なります)。
✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動しています。

### 車両の外側にある電動充電ポート リッドの開閉

**図 98 : 充電ポート リッドを開く**

- フィンの下側に沿って手を動かし、フィンを開きます。
  充電ポート リッドが開きます。
- フィンの下側に沿って手を動かし、フィンを閉じます。
  充電ポート リッドが閉じます。

電動充電ポート リッドは、120 秒後か、車両プラグを取り外してから 10 秒後か、車両がロックされると直ちに、自動的に閉じます。

### センター コンソール コントロール パネルを使用した電動充電ポート リッドの開閉

1. をタップします。
2. 希望の充電ポート リッドを選択します。
   充電ポート リッドが開閉します。

## 車両プラグを車両充電ポートに挿入し、充電プロセスを開始する

✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動しています。
✓ 充電ポート リッドが開きます。
✓ 主電源装置に車両の充電ケーブルが接続されています。

1. 充電機器および使用する車両充電ケーブルの取扱説明書を参照してください。

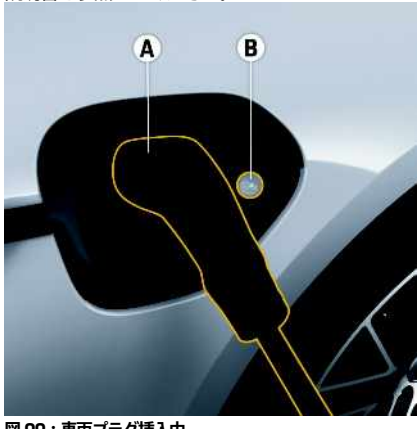



**図 99 : 車両プラグ挿入中**

A　車両プラグ
B　リリース ボタン

2. 車両プラグ **A** を、ロックする定位置まで完全に充電ポートに差し込みます。 車両プラグが重い場合には、車両プラグを少し持ち上げてロックしなければならない場合があります。
車両プラグがロックされ、タイマーまたはプロファイル機能、およびローカル充電インフラに従って、充電プロセスが自動的に開始します。 タイマーまたはプロファイル機能が作動していない場合、充電は 100 % の充電状態まで自動的に実行されます。 リリース ボタン リング **B** は、車両プラグがロックされているかどうかを示すほか、高電圧バッテリーの充電レベルも示します。
▷ 「車両充電ポートの充電表示およびロック ステータス表示」の章（ 150ページ）を参照してください。

### インフォメーション

– 車両始動時に車両プラグが差し込まれている場合、車両プラグはロックされたままになります。
– 充電中にトランスミッション レンジ **D** を選択すると、充電プロセスが中断されます。 車両プラグを取り外さなければ、約 20 秒後に充電プロセスが再開されます。
– 交流 (AC) で充電するときにタイマーまたはプロファイル機能が作動している場合、充電プロセスの開始はタイマーまたはプロファイル機能によって決まります。 車両プラグを差し込んでロックした直後には、充電が開始されない場合があります。

## 車両充電ポートの充電表示およびロック ステータス表示

リリース ボタン リングは、車両プラグがロックされているかどうかを示すほか、高電圧バッテリーの充電レベルも示します。

| B | 意味 |
|---|---|
| OFF | 車両プラグが差し込まれていないか、主電源との接続が確立されていません。<br>**または**<br>車両プラグ挿入中 : 車両はアイドル状態です。 現在の接続ステータスとバッテリー充電レベルを検出するには、キーの 🔒 ボタンまたは 🔓 ボタンを押します。 |
| ● が点灯 | 車両プラグが挿入されており、ロックされています。 |
| ● が点滅 | 車両プラグが挿入されており、ロックされています。 通信のセットアップおよび切断中 |
| ● が点滅 | 車両プラグが挿入されており、ロックされています。 高電圧バッテリーは充電中です。 |
| ● が点灯 | 車両プラグが挿入されており、ロックされています。 充電プロセスが完了し、バッテリーが目標充電レベルに達しました。 |
| ● が点滅 | 車両プラグが挿入されており、ロックされています。 プログラムされたタイマーおよびプロファイル設定により、充電が一時停止されています。 |
| ● が点灯 | 高電圧バッテリー充電中にエラーが発生しました。 |

充電プロセスが開始されていない場合 :

- ▸ 車両プラグが正しく差し込まれているか確認します。
- ▸ ポルシェ充電機器および使用する車両充電ケーブルの取扱説明書を参照し、充電ステーションの取扱説明書を遵守してください。
- ▸ 車両プラグを抜き、再度差し込みます。

– または –

1. スイッチを OFF にし、車両から離れます。
2. 車両プラグを車両充電ポートから抜きます。
3. ドア、ウィンドウ、および充電ポート リッドをロックし、キーレス コンフォート アクセス反応領域から離れます。
4. 約 5 分待ちます。 この間は、アプリを使用して車両にアクセスしないでください。
5. 車両プラグを車両充電ポートに挿入し、再度充電プロセスを開始します。

## 充電プロセスの終了および車両充電ポートからの車両プラグの取り外し

1. ドアをロック解除します。
2. 車両充電ポートのリリース ボタン **B** を押します。 車両プラグのロックが解除されます。 充電プロセスが開始していた場合でも、停止します。
3. 約 20 秒 以内に車両プラグ **A** を車両充電ポートから抜きます。
4. 車両充電ケーブルを電源から切り離し、安全な場所に保管します。
5. 充電ポート リッドを閉じます。

**インフォメーション**

- – 高電圧バッテリー充電のための規定順序を遵守してください。
- – 充電プロセスが終了した後、電気ソケットから車両充電ケーブルを切り離してください。
- – 進行中の充電プロセスは、車両プラグを解除することでいつでも終了できます。
- – 高電圧バッテリーの充電に関する安全指示を守ってください。

## 即時充電機能を使用する

タイマーまたはプロファイル機能が作動している場合、セントラル ディスプレイとセンター コンソール コントロール パネルから即時充電機能を作動させることができます。 高電圧バッテリーは、タイマーまたはプロファイル機能に関係なく、最大充電レベル 100% まで充電します。 タイマーまたはプロファイル機能が作動していない場合、即時充電機能を作動させる必要はありません。 車両プラグを挿入すると、充電プロセスが自動的に開始します。

✓ 車両プラグが挿入されている。

✓ タイマーまたはプロファイル機能が作動している。

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ **充電** ▸ **概要**
2. **即時充電**を作動させます。
   高電圧バッテリーが充電されます。

**センター コンソールのコントロール パネル**

1. ソフトキーをタップします。
2. **直接充電**ソフトキーををタップします。
   高電圧バッテリーが充電されます。

## セントラル ディスプレイ内にある充電機能の使用

充電機能の**タイマー**機能や**プロファイル**機能を使用すると、セントラル ディスプレイ上で充電プロセスに関するさまざまなパラメーターをプログラムできます。 両機能は、交流 (AC) 充電の場合に限り使用できます。 すべての充電機能を最大限に活用するには、適切な充電装置が必要です。 充電器やウェブ アプリケーションに関する詳細情報は、ウェブサイト (https://www.porsche.com) の「E パフォーマンス」セクションに掲載されています。

### 充電レベル表示機能の使用

**図 100 : 充電レベル表示**

セントラル ディスプレイとセンター コンソール コントロール パネルのバッテリーの充電状態表示には、現在の充電状態、現在の充電電力、タイマーとプロファイル機能の設定など、高電圧バッテリーの充電レベルに関するさまざまな情報が表示されます。

### タイマーのプログラミングおよび有効化

✓ 出発時間が未来の時間。

タイマー機能が作動すると、高電圧バッテリーは、プログラムした出発時間までに、指定した**目標充電レベル**まで充電されます。 充電状態が 25% 未満の場合、車両が主電源に接続されるとすぐ、高電圧バッテリーは自動的に 25% の充電状態まで充電されます。 タイ

マー機能が作動していない場合、高電圧バッテリーは、少なくともプロファイル機能でプログラムした最低充電レベルまで充電されます。
複数のタイマーが作動している場合、より早い時間に設定されているタイマーの充電状態が常に対象になります。
車両プラグを充電ポートに挿入するのは、充電タイマーをプログラムした後に行うことをお勧めします。
**プレクール / ヒート** オプションを選択すると、車室内を出発時間までに適温に調節することもできます (プレクーリング / ヒーティング)。

▹ 「エアコン システム Advanced Climate Control (2-/4- ゾーン エアコン)」の章（ 60ページ）を参照してください。

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ **充電中** ▸ **タイマー**
2. **新しいタイマーを追加**を選択します。
   **– または –**
   **タイマー** を編集します。
3. **日付 / 出発時間をプログラミングします**。選択したタイマーを定期的に使用する場合は、**リピート**を有効化し、**平日**を選択します。
4. **目標充電**をプログラミングします。
5. **充電**を有効化します。
6. 必要であれば**パーキング プレエアコン**を有効化します。
7. **タイマー**の作動。

一部の公共充電ステーションでは、出発タイマーをプログラミングしても充電プロセスを開始できません。

▸ 即時充電機能を使用します。

## タイマーの停止

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ **充電** ▸ **タイマー**
2. タイマーの停止。

## タイマーを用いた充電の開始

✓ タイマーがプログラムおよび作動済み。
✓ 車両プラグが挿入されている。

タイマー機能を使うと充電プロセスを定義でき、定義後は定義に沿ってプロセスが自動的に開始されます。プログラムされたタイマーによっては、充電プロセスが後で開始する場合があります。

## タイマーを用いた充電の終了

✓ 車両プラグが挿入されている。
✓ タイマー機能が作動している。

1. リリース ボタンを押します。
   高電圧バッテリーの充電が停止します。
2. 充電が続いている場合は、リリース ボタンからリングが消えるまで待ちます。

タイマーの終了後、車両プラグが 30 分以上挿入されたままの場合、高電圧バッテリーは 100 % の最大充電状態まで充電されます。

## 充電プロファイルのプログラミングおよび有効化

プロファイル機能が作動している場合、車両が主電源に接続されるとすぐ、高電圧バッテリーはプログラムされた**最低充電レベル**まで可能な限り迅速に充電されます。 納車時にプログラムされている最低充電レベルは 25% です。
プログラムされた最低充電レベルに達した後、高電圧バッテリーは、**希望の充電時間を設定**および**最適化充電**機能に従って、プログラムされた最低充電レベルを超えて充電されます。 **希望の充電時間を設定**機能を使用して、一時的な充電料金を利用するなどのために、高電圧バッテリーを指定した時間に充電することができます。 適切な充電装置と組み合わせて**最適化充電**機能を使用すると、地域の充電インフラと車両のネットワークができるようになります (個々の充電料金の自動使用や太陽光発電による充電など)。
同時にタイマー機能が作動している場合、高電圧バッテリーは、プロファイル機能でプログラムされた最低充電レベルに達した後、タイマー機能でプログラムされた目標充電レベルまで充電されます。

## 一般充電プロファイルのプログラミングおよび有効化

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ **充電** ▸ **プロファイル**
2. **一般充電プロファイル** を編集します。
3. 最低充電レベルの**プログラミング**。
4. **最適化充電**の有効化。
   **– または –**
   **ご希望の充電時間の設定および有効化、ご希望の充電時間**のプログラミング。
5. **一般充電プロファイル**の有効化。

## ローカル充電プロファイルのプログラミングおよび有効化

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ **充電** ▸ **プロファイル**
2. **新プロファイルの追加**を選択します。
   **– または –**

既存のプロファイル を編集します。

3. **名前**をプログラムし、**場所**を選択します。
4. 最低充電レベルの**プログラミング**。
5. **最適化充電**を有効化します。
   **– または –**
   **ご希望の充電時間の設定および有効化、ご希望の充電時間**のプログラミング。
6. **充電プロファイル**を有効化します。

### プロファイルの無効化

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ **充電** ▸ **プロファイル**
2. **プロファイル**を無効化します。

### プロファイルを用いた充電の開始

✓ プロファイルがプログラムおよび有効化されている。
✓ 車両プラグが挿入されている。

プロファイル機能を使うと充電プロセスを定義でき、定義後は定義に沿ってプロセスが自動的に開始されます。
プログラムした最低充電レベルによっては、高電圧バッテリーが完全に充電されない場合があります。

### プロファイルを用いた充電の停止

✓ 車両プラグが挿入されている。
✓ プロファイル機能が作動している。

1. リリース ボタンを押します。
   高電圧バッテリーの充電が停止します。
2. 充電が続いている場合は、リリース ボタンからリングが消えるまで待ちます。

## インテリジェント充電機能の使用[1]

Taycan では、適切な充電インフラと連携すると、私有地と公共エリアでインテリジェント充電機能が使用できるようになります。 機能内容 :

– Plug & Charge
– 個々の電気料金 (コスト最適化充電など) の使用
– 自家消費の最適化 (太陽光発電による充電など)
– 個々の充電統計に関する詳細
– 位相同期および位相個別の過負荷保護

私有地でインテリジェント充電機能を利用するには、車両を自宅の主電源とネットワーク接続できるようにする充電インフラが必要です。 詳細については、資格のある専門業者、電力会社、またはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。 ポルシェでは、Porsche Mobile Charger Plus または Mobile Charger Connect を Home Energy Manager (HEM) と組み合わせて使用することを推奨しています。
公共エリアでインテリジェント充電機能を利用するには、充電サービス / モビリティ サービス プロバイダーとのインテリジェント充電機能用の契約が必要です。 詳細については、資格のある充電サービス / モビリティ サービス プロバイダー、またはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。 ポルシェでは、ポルシェ チャージング サービスの使用を推奨しています。

### 車両のインテリジェント充電機能を有効にする

**セントラル ディスプレイ**

1. ▸ **充電** ▸ **概要** ▸
2. **プラグ 充電**を有効にします。

充電インフラのソフトウェア バージョンが異なるため、インテリジェント充電機能が機能しない場合や、個々のケースで限られた範囲でしか機能しない場合があります。 たとえば、車両を認証できなかったり、充電プロセスが中断されたりする場合があります。 インテリジェント充電機能が制限されていても、車両を充電できます。 この場合、Plug & Charge を無効にします。

**セントラル ディスプレイ**

1. 地域の充電インフラの指示に従ってください。
2. ▸ **充電** ▸ **概要**
3. **プラグ 充電**を無効にします。
4. 充電を開始します。

後でインテリジェント充電機能を再び最大限に活用するには、Plug & Charge を有効にします。

### Plug & Charge の使用

Plug & Charge を使用すると、充電ステーションまたは充電器の充電プロセスを手動で初期化する必要がなく、私有地と公共エリアで適切な充電インフラを使用して車両を充電できます。 充電プロセスは、充電プロバイダーとの契約に基づいて自動的に請求されます。

✓ 車両のインテリジェント充電機能が有効になっている。
✓ Plug & Charge に適した充電インフラ。
✓ 充電プロバイダーとの契約に、Plug & Charge が含まれている。

1. 充電ポート リッドを開きます。
2. 車両プラグを充電ポートに差し込みます。
   車両プラグがロックされ、充電プロセスが自動的に開始します。 充電インフラによっては、充電プロセスの開始に数秒かかる場合があります。

### 手動での充電契約証明書の更新

公共エリアでの Plug & Charge を含む充電契約の締結後、Plug & Charge に適した充電ステーションでの最初の登録時に、適切な充電契約証明書が車両にインストールされます。 車両の充電契約証明書は、これまで

1. 装備は、後にならないと使用できない場合や、特定の市場でしか使用できない場合があります。

の充電契約が期限切れになって新しい充電契約が有効になり次第、自動更新されます。
これまでの充電契約が有効性を失う前に Plug & Charge を含む新しい課金契約を使用する場合、これまでの充電契約証明書を手動で削除する必要があります。

- システムを工場設定にリセットします。
  重要な車両設定 (ポルシェ コネクト サービスの設定など) が失われる可能性があります。
  - 「車両設定」の章（ 138ページ）を参照してください。

## 充電時間

充電の電力や時間は、下記のようなさまざまな要素に応じて変化するため、実際の充電時間は、表示値と比べて大幅に長くなる場合があります。

- 各国固有のエネルギー インフラの利用可能な出力定格。
- お客様固有の取り付け品 (電気ソケットなどを使用)。
- コントロール ユニットでの充電電流制限の設定。
- 主電源電圧のバラつき。
- 車両や充電装置周辺の外気温。
- 高電圧バッテリーおよびコントロール ユニットの温度。
- 高電圧バッテリーの充電レベル。
- 高電圧バッテリーのタイプと使用年数。
- 車室内温度プレクーリング / ヒーティング。
- 車両プラグの通電容量。

| 充電タイプ | 充電時間 |
|---|---|
| 11 kW の交流 (AC) で 0% から 100% まで | 約 8~9 時間 |
| 50 kW の直流 (DC) で 100 km (WLTP) まで | 約 28~31 分。 |
| 最適な条件下 (> 270 kW、> 850 V の CCS クイック充電スタンド、バッテリー温度 30 °C~35 °C、5% の初期充電状態) において、最大充電電力の直流 (DC) で 100 km (WLTP) まで | 約 5~5.5 分。 |
| 50 kW の直流 (DC) で 5% から 80% まで | 約 93 分。 |
| 最適な条件下 (> 270 kW、> 850 V の CCS クイック充電スタンド、バッテリー温度 30 °C~35 °C、5% の初期充電状態) において、最大充電電力の直流 (DC) で 5% から 80% まで | 約 22.5 分。 |

主電源から取り込まれるエネルギーの量は、高電圧バッテリーの充電中に蓄えられるエネルギーの量を上回ります。 この理由には、物理的な充電損失が起こることや、高電圧バッテリーの温度を制御するために一定のエネルギーが使用されることなどがあります。
物理的および化学的な理由により、充電レベルが 100% に近づくと充電速度が低下します。
主にクイック充電スタンド (DC) が使用される状況では、長期的には充電時間が長くなります。

- 通常の直流 (DC) 充電の場合、最大充電電力は 50 kW が推奨されています。
- 家庭では交流 (AC) 充電をお勧めします。 工業用電気ソケット (AC) を使用すると、家庭用ソケットを用いて充電するよりも効率を高め、充電時間を大幅に短縮することができます。

## 充電ポート リッドの緊急解除の実施

充電トレイが故障した場合、充電ポート リッドは手動で開けられます。

- 両側の充電ポート リッドを同時に緊急解除したり、1 つの充電ポート リッドが既に正しく開いている状況で緊急解除を実行したりすることはしないでください。 反対側にある充電ポート リッドは自動的にロックされます。

### 手動充電ポート リッドの緊急解除の実施

手動充電ポート リッドの緊急解除後には、このリッドを介して車両を交流 (AC) または直流 (DC) 充電できます。

**図 101：手動充電ポート リッドの緊急解除**

✓ 車両のロックが解除されている。
1. 緊急解除ツールを工具セットから取り外します。
2. 緊急解除ツールの金属製フックを、充電ポート リッド後ろの下部までガイドします。
3. 緊急解除ツールを配置し、引いて開けます。
4. 緊急解除ツールのメタル フックをプランジャーのくぼみにカチッと音がして収まるまで挿入します。 緊急解除ツールに軽い力を加えて進行方向に約 45° 回します。
5. プランジャーを取り外します。
6. 充電を実施します。
7. 充電が終わったら充電ポート リッドを閉めます。

充電ポート リッドのロック解除機構を確認するには :

▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### 電動充電ポート リッドの緊急解除の実施

緊急解除後には、車両の交流 (AC) 充電のみ実施できます。

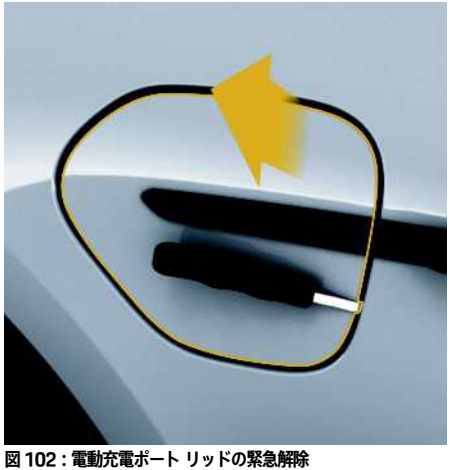


図 102 : 電動充電ポート リッドの緊急解除

✓ 車両のロックが解除されている。
1. 緊急解除ツールを工具セットから取り外します。
2. 緊急解除ツールの金属製フックを充電ポート リッドの後ろまでガイドします。
3. 緊急解除ツールを位置決めして引っ張り、充電ポート リッドをアンカーから解放して慎重に取り外します。
4. 充電を実施します。
5. 充電ポート リッド カバーをアンカー上に置き、しっかりとかみ合うまで押して閉じます。

充電ポート リッドのロック解除機構を確認するには :

▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 車両プラグ緊急解除の実施

(故障などにより) 車両プラグが解除できない場合、緊急解除の実施が必要です。

### セントラル ディスプレイ

1. ▸ 充電 ▸ 概要 ▸
2. 充電プロセスを終了し、一時的に車両プラグを解除します。

### 手動での緊急解除の実施

セントラル ディスプレイによる車両プラグの緊急解除が作動しない場合は、手動の緊急解除を実施できます。 助手席側の車両プラグを手動で緊急解除できるかどうかは、国によって異なります。

図 103 : 車両プラグの緊急解除の実施

1. 運転席または助手席のドアを開けます。
2. 運転席または助手席のドアとフェンダーの間にある空間に手を伸ばします。 抵抗を感じる位置までノブを上に引いてください。
   車両プラグが解除されます。 充電プロセスが開始していた場合でも、停止します。
3. 約 20 秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。
4. 充電ポート リッドを閉じます。

車両プラグの解除をテストするには :

▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

# タイヤおよびホイール

タイヤの寿命は、適正なタイヤ空気圧やホイール アライメント以外に、お客様の運転スタイルにも左右されます。 急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。 また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

## 積載荷重および速度の要件を満たす

- 適切な速度で走行してください。
- 車両には規定重量を超える荷物を積まないようにし、ルーフ積載荷重を確認してください。

▷ 「テクニカル データ」の章（306ページ）を参照してください。

## タイヤ空気圧の点検

**知識**

不十分なタイヤ空気圧が原因でタイヤがオーバーヒートし、目に見えない損傷が生じることがあります。

- タイヤ空気圧を補正しても目に見えないタイヤの損傷は除去されません。
- 温かいタイヤから空気を決して抜かないでください。 タイヤが温かい場合、タイヤ空気圧が上昇します。 これにより、タイヤ空気圧が規定値下に低下する原因となる場合があります。

**図 104：タイヤ空気圧プレート固定ポイント**

規定の空気圧を維持してください。 タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき (20 °C) を基準にしています。

- タイヤ空気圧プレートを確認します。
- タイヤが冷えているときに、最低 2 週間ごとにタイヤ空気圧を点検します。

## タイヤ空気圧モニタリング (TPM)

タイヤ空気圧モニタリングには、次の機能があります：

– タイヤ空気圧および温度の常時モニタリング。
– 走行中の実際のタイヤ空気圧 (実際の空気圧) の表示。
– 2 段階のタイヤ空気圧警告 (黄色と赤色の警告)。
– 停車時：規定空気圧との空気圧差の表示。

タイヤ空気圧警告灯 (!) およびインストルメント クラスターの関連するメッセージは、空気圧が不足している場合、2 段階 (空気圧低下の程度に応じた黄色および赤色のタイヤ空気圧警告) で警告を表示します。

タイヤ空気圧警告灯が消灯するのは、タイヤ空気圧が正された場合だけです。
黄色のタイヤ空気圧警告は、車両を停止して OFF にした後、または車両の電源を再度 ON にした場合に、約 10 秒間表示されます。車両の電源を ON にすると黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。赤色の空気圧警告は走行中でも表示され、異常を知ることができます。

- タイヤ空気圧が適正であるにもかかわらず、タイヤ空気圧警告灯が点灯し、タイヤ空気圧警告が表示される場合、ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリングは、自然に発生する圧力低下や異物による緩やかな圧力低下を警告します。タイヤ空気圧モニタリングは、突然生じるタイヤの損傷については警告しません (予期しない外部効果によるパンクなど)。

**⚠ 警告** 欠陥のあるタイヤ

欠陥のあるタイヤで走行すると、重大な事故につながることがあります。

- 赤色のタイヤ空気圧警告がインストルメント クラスターに表示されるとき：直ちに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じて、パンク修理剤で損傷箇所の修理を行うか、スペア ホイールを装着してください。
- 損傷したタイヤを装着したままで運転を続けないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなス

タッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- 空気圧を調整しても短時間で空気が抜ける場合、そのタイヤでの運転を続けないでください。不安な場合は、ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障

次のような場合は、TPM は正常に機能しません :

- タイヤ空気圧モニタリング システムが故障している場合
- タイヤ空気圧モニタリング システム用のホイール トランスミッターが取り付けられていない場合
- タイヤ設定を更新した直後の登録プロセス中
- ホイールを交換後、タイヤ設定を更新しなかった場合
- タイヤ温度が高すぎる場合

### サービス ステータス

サービス ステータスに関する詳細情報 (国別仕様による) :

▷ 「スマート サービス」の章（ 115ページ）を参照してください。

### インストルメント クラスターのタイヤ空気圧を確認する

個々のタイヤ空気圧は、約 25 km/h の速度を超えた場合、またはタイヤに 0.1 bar 以上の空気を補充した場合にのみ表示されます。車両を約 10 分間以上停止した後に電源を ON にした場合、タイヤ空気圧の代わりにダッシュ記号 (-.-) が表示されます。

▸ **タイヤ情報 ▸ 現在**

▷ 「インストルメント クラスターの操作」の章（ 50ページ）を参照してください。

この空気圧表示は、情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

- いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

### インストルメント クラスターの空気圧偏差を確認する

**図 105 : 圧力差の例**

✓ 車両が停止している。

▸ **タイヤ情報 ▸ 空気圧偏差**

▷ 「インストルメント クラスターの操作」の章（ 50ページ）を参照してください。

該当するホイールの規定圧との差が表示されます。
例 :
右リヤ ホイールに対して **–0.1 bar** と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充してください。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧差を必ず使用してください。

### タイヤ設定

タイヤの種類とサイズおよび負荷の設定は、セントラル ディスプレイで調整できます。

▷ 「セントラル ディスプレイでのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定」の章（ 157ページ）を参照してください。

## セントラル ディスプレイでのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定

**⚠ 警告** 不適切な設定

極端に低いまたは高いタイヤ空気圧は、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリングを使用している場合でも、タイヤ空気圧を適切に維持し、車両を適切に設定することはドライバーの責務です。 不完全な、または不適切な設定は、警告とメッセージ表示に悪影響を及ぼす可能性があります。

- タイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
- タイヤ空気圧モニタリング メニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載荷重と一致していることを確認してください (特にホイール交換後または車両積載の変更後)。
- 新しく装着したホイールのタイヤ空気圧が以前の設定と一致しているとしても、タイヤ空気圧モニタリング メニューでタイヤの種類とタイヤのサイズを再度選択してください。

### 充填情報へのアクセス

✓ 車両が停止している。

▸ **▸ 設定 ▸ 車両 ▸ タイヤ空気圧モニタリング**

積載量、タイヤ タイプ、タイヤ サイズの設定が表示されます。

タイヤがまだ登録されていない場合は、タイヤ空気圧の代わりにダッシュ (-.-) が表示されます。

### 圧力差を表示する

✓ 車両が停止している。

▸ **▸ 設定 ▸ 車両 ▸ タイヤ空気圧モニタリング ▸ 空気圧偏差**

表示されるのは、各ホイールの規定空気圧と規定空気圧との差、および積載量、タイヤの種類、タイヤのサイズの情報です。

例 : 右リヤ ホイールに対して **–0.1 bar** (–1.5 psi) と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar (1.5 psi) の空気を必ず補充してください。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧差を必ず使用してください。

タイヤをまだ登録していない場合、現在の空気圧偏差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

### タイヤの種類とサイズの設定

#### インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデルやタイヤの種類により異なります。このため本書で説明しているオプションの中には、利用できないものが含まれている場合があります。

- タイヤ空気圧モニタリング メニューで選択できないサイズのタイヤとホイールを装着するときは、装着の前に不足している情報を追加する必要があります。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ポルシェが認定したタイヤとホイールのみを使用してください。

▸ **▸ 設定 ▸ 車両 ▸ タイヤ空気圧モニタリング ▸ タイヤ選択**

### 全負荷または部分積載の選択

▸ **▸ 設定 ▸ 車両 ▸ タイヤ空気圧モニタリング ▸ 全負荷**

☑ **全負荷**
全負荷が選択されます。

☐ **全負荷**
部分積載が選択されます。

- 選択した荷重タイプに応じてタイヤ空気圧を調整してください。

#### インフォメーション

**全負荷**が表示されない場合は、荷重タイプに応じてタイヤ空気圧の調整が必要ないことを意味します。

### タイヤ空気圧モニタリングの登録

タイヤ / ホイールを交換、ホイール トランスミッターを交換、またはタイヤの設定を更新すると、タイヤ空気圧モニタリング システムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリング システムが各タイヤとその装着位置を認識します。タイヤ空気圧モニタリング システムが各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。

登録プロセス中に、セントラル ディスプレイに冷間時 (20 °C) の目標タイヤ空気圧が表示され、インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

すべてのタイヤの登録が完了するまで、インストルメント クラスターのタイヤ空気圧警告灯 (!) が点灯したままになります。

## タイヤ空気の充填

**⚠ 注意** 高温の充填ホース

充填中に、コンプレッサー充填ホースが高温になり、やけどの原因となる場合があります。

- 作業用手袋を着用してください。

コンプレッサーはフロント ラゲッジ コンパートメントの右側のボックスに収納されています。

▹ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（250ページ）を参照してください。

▹ コンプレッサーの取扱説明書を読み、遵守してください。

1. コンプレッサー充填ホースをタイヤ バルブにねじ込んでください。
2. コンプレッサーを車両のプラグ ソケットに接続し、コンプレッサーを ON にしてください。
   タイヤに空気が充填されます。
3. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であれば

タイヤ空気圧を調整してください。もう 1 回タイヤ空気圧を点検してください。

4. コンプレッサーを OFF にしてください。
5. コンプレッサー充填ホースをゆるめます。

### インフォメーション

また、ガソリンスタンドでもタイヤ空気圧の点検、およびタイヤに空気の充填ができます。

**タイヤ空気圧を下げる**

1. コンプレッサーを OFF にしてください。
2. 規定のタイヤ空気圧になるまで、充填ホースのエア抜きスクリューを開いてください。

## タイヤ表記の読み取り

**図 106 : タイヤ表記**

**A** 公称タイヤ幅 (mm)
**B** 偏平率 (%)
**C** タイヤ構造記号
**D** リム径 (インチ)
**E** ロード インデックス
**F** 速度記号

速度記号 **F** は、そのタイヤの許容最高速度を示します。

| | |
|---|---|
| **H** | 210 km/h まで |
| **V** | 240 km/h まで |
| **W** | 270 km/h まで |
| **Y** | 300 km/h まで |
| **(Y)** | 300 km/h まで (Y 記号タイヤの場合) タイヤのロード インデックス (最大積載容量) の 85% までを搭載した状態の場合、300 km/h 以上の速度で走行することが可能です (300 km/h 以上で走行する場合はタイヤ メーカーの確認が必要です)。 |

## タイヤの損傷の検出

**⚠ 警告** 見えないタイヤ損傷とリム フランジの損傷

目に見えないタイヤの損傷によりタイヤがバーストする恐れがあります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 定期的にタイヤの状態 (側面も含めて) を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがないか確認してください。
- 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。 傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体 (石など) に強くぶつかったり乗り上げたりしないように注意してください。
- ホイールを損傷した可能性があるとき (特に内側) は、専門家による点検を受けてください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。 タイヤ シーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください：

– タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき。
– タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、異常な負荷がかかった可能性があるとき。

## タイヤおよびリムの交換

- ホイール交換の際には、イグニッションを OFF にしてください。

**⚠ 警告** グリップの低下

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- このため最初の 200 km は、控えめな速度で走行してください。これによりタイヤ寿命が伸び、性能を最大限に引き出すことができます。

---

- 装着するタイヤはすべて同一メーカーで同じタイプの同一仕様（「N...」など）に統一してください。
- 新しいタイヤを取り付ける前に、タイヤの最新承認状況についてポルシェ正規販売店にお尋ねください。
- ポルシェがテストを行い、承認したタイヤのみを使用してください。
- 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は 30% を超えないようにしてください。
- 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- トレッド溝の深さの差を原因とする車両操作への不必要な影響を避けるため、同一アクスルのタイヤは必ず同時に両方交換してください。
- タイヤの交換は、必ず専門の整備工場で実施してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用タイヤ空気圧センサー付きタイヤのみを使用してください。
- この車両の TPM システムに適合するホイールであることを確認してください。この車両の適正ホイールと TPM システムに関する情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- タイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を点検してください：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 「テクニカル データ」の章（306ページ）を参照してください。

**ℹ インフォメーション**

新しいタイヤを 1 つのアクスルのみに取り付ける場合、前後のアクスルのトレッド溝の深さの相違により、以前の慣れた運転挙動が大きく変化する可能性があります。新しいタイヤをリヤ アクスルに取り付ける場合は特にそうです。とはいえ、タイヤの走行距離が長くなるにつれ、影響は減少していきます。

---

## バルブおよびバルブ キャップの点検と交換

- タイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) 用のポルシェ純正バルブのみを使用してください。
- タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブ キャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- バルブ インサートの汚れを防ぐため、必ずバルブ キャップをしっかりと閉めてください。 バルブ インサートが汚れると、タイヤ空気圧がゆっくり減少する場合があります。
- 紛失した場合は、直ちに新しいバルブ キャップを取り付けてください。
- プラスチック製のバルブ キャップのみを使用してください。

## ウィンター タイヤを使用する

**⚠ 警告** 最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバーストする恐れがあります。

- タイヤの最高許容速度を守ってください。
- ウィンター タイヤの側面に M+S 名称、または雪の結晶のマーク (国により異なる) がある場合、車両の最高速度より最高許容速度が低いタイヤのみを装着してください。各国の法律を遵守してください。
- 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。各国の法律を遵守してください。
- 許容最高速度を制限速度として設定します。

---

- 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウィンター タイヤを装着してください。
- ポルシェがテストを行い、承認したタイヤのみを使用してください。
- 新しいタイヤを取り付ける前に、タイヤの最新承認状況についてポルシェ正規販売店にお尋ねください。

**インフォメーション**

このようなタイヤを気温が低いときに使用し続けると、ドライ / ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中に振動に伴うノイズが発生することがあります。
サマー タイヤの走行性能は、気温が 7 °C を下回ると低下し、快適性も損なわれます。 このため、ポルシェ社では気温が 7 °C を下回る時期にはウィンター タイヤの使用を推奨しています。
さらに外気温度が -15 °C を下回り極端に低くなると、サマー タイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。
ウィンタータイヤは、トレッド溝の深さが 4 mm 以下になると使用に適さない状態になります。

## スノーチェーンを使用する

スノー チェーンはリヤ タイヤのみに装着してください。また「テクニカル データ」の章のリストを参照して、スノー チェーンの装着に適したタイヤ / ホイールの組み合わせを使用しなければなりません。

▹ 「テクニカル データ」の章（ 306ページ）を参照してください。

- スノー チェーンとタイヤ ハウスのクリアランスを十分に確保するため、ポルシェ社が承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- チェーンを装着する前に、タイヤに溜まった雪や氷を取り除いてください。
- 最高速度については各国の法規に従ってください。

## タイヤ トレッドの点検

多くのタイヤはトレッド中央部にウェア インジケーターを備えています。 ウェア インジケーターは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の 1.6 mm になると現れます。

- タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。

### タイヤ トレッドの深さの測定

- 市販のトレッドの深さを測るゲージまたはキャリパーをタイヤ トレッドに挿入してタイヤ トレッドの深さを測定します。

**インフォメーション**

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます：

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## タイヤの保管

製造から 6 年以上が経過したタイヤは**使用しない**でください。 年数が経過すると、ゴムに弾性を与えるために添加している化学添加物の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。 タイヤの製造時期は、タイヤ側面の DOT コードでわかります。 たとえば、最後の 4 桁の数字が 3016 の場合、タイヤが 2016 年の第 30 週に製造されたことを示します。

- タイヤは、常に乾燥した冷暗所に保管してください。 ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- 外気温が -15 °C 以下の場所にサマー タイヤを保管したり、またはサマー タイヤ装着車を駐車したりしないでください。
- 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。

## ホイールのバランス調整

万一に備えて、春 (サマー タイヤ) および冬 (「M+S」のタイヤ) の前にホイールのバランス調整を実施してください。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ホイール交換

**警告** 車両の下側の作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ジャッキ アップやホイール交換時に、車内に人がいないことを確認してください。
- 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキ アップ ポイントで持ち上げてください。
- 車両が斜面 (上り坂、下り坂、道路端に向かって傾斜している場所など) に駐車されている場合は絶対にジャッキ アップしないでください。
- ジャッキは、ホイール交換時に車両を持ち上げるためのみに使用してください。
- 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート スタンドで車体を支えてください。

▹ 「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」の章（ 106ページ）を参照してください。

**インフォメーション**

ホイール交換に必要な工具 (ジャッキ、ホイール ボルト レンチ、取付補助工具など) は車両の標準装備ではありません。

- 必要な工具についての情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

### インフォメーション

前輪と後輪のタイヤ / ホイールのサイズは異なります。ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

- 認可されたサイズの前輪 / 後輪用ホイール / タイヤを必ず使用してください。

車両登録文書または 306ページの 「テクニカル データ」の章を参照してください。

### ホイール取り付け面のお手入れ

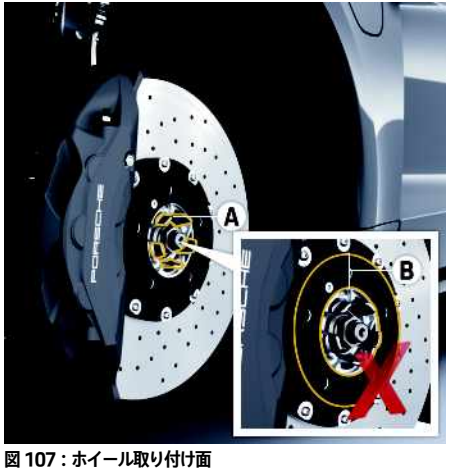



**図 107 : ホイール取り付け面**

**知識**

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ブレーキ ディスクのホイール取り付け面 B およびホイール ハブ自体にグリースを絶対に塗布**しないでください**。
- A の領域にのみグリースを塗布します。これらの領域にグリースの Optimoly® TA を非常に薄く塗ります。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。他のグリースやペーストを使用しないでください。

### ホイール ボルトのお手入れ

- ホイール ボルトは取り付ける前に、必ず清掃してください。
- ホイール ボルトには油脂類を塗布しないでください。
- 損傷したホイール ボルトは交換してください。このモデル専用のポルシェ純正ホイール ボルト、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- **ホイール ボルトは 160 Nm の締め付けトルクで締め付けてください。**
- インパクト ドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。

### 盗難防止ホイール ボルトの使用

**図 108 : 盗難防止ホイール ボルト アダプター**

盗難防止ホイール ボルトのアダプターは、ツール キットにあります。

- 盗難防止ホイール ボルトを脱着するときは、このアダプターをホイール ボルトとホイール ボルト レンチの間に入れて使用してください。
- アダプターを取り付けるときは、ホイール ボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

## ホイール交換

### 車両の準備

**⚠ 警告** レベリング システムのコントロール作動

レベリング システムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。 これにより深刻な怪我や

損傷を受ける場合があります。

- 手動でノーマル レベルに設定し、車両のリフト アップを行う前にレベリング システムを OFF にします。

▶ **▶ 設定 ▶ 車両 ▶ 追加のシャーシ設定 ▶ ジャッキを使用する前にシャーシの調整を無効にします**

1. エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
2. 車両を OFF にします。
3. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
4. 交換するホイールのホイール ボルトまたはホイール ナットをわずかにゆるめます。
5. 車両のリフト アップは必ず所定のジャッキアップ ポイントで行ってください。
   ▷ 「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」の章（106ページ）を参照してください。
6. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

## ホイール交換

**図 109：PCCB 非装備車には、組み付け補助工具を 1 つねじ込みます**

**図 110：PCCB 装備車には、組み付け補助工具を 2 つねじ込みます**

1. PCCB 非装備車：ホイールのボルトを 1 本取り外し、組み付け補助工具にねじ込みます。
   **– または –**
1. PCCB 装備車：ホイールのボルトを 2 本取り外し、組み付け補助工具 2 つ **A** および **B** をねじ込みます。

**知識**

ホイール交換を正しく行わないと、特に ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ 装備車の場合、ブレーキ ディスクを損傷する恐れがあります。

- タイヤを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。

2. 残りのホイール ボルトを取り外してください。
3. ホイールを取り外します。
4. 新しいホイールを取り付けます。
5. ホイール ボルトを挿入し、対角線方向の順に少しだけ締め付けてください。
6. 組み付け補助工具を外し、残りのホイール ボルトを仮締めしてください。すべてのホイール ボルトを対角線方向の順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。
8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイール ボルトを対角線方向の順に完全に締め付けてください。インパクト ドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。
10. **ホイール ボルトを締め付けたら、直ちにトルクレンチを使用してホイール ボルトを 160 Nm の締め付けトルクで増し締めしてください。**
11. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定は更新されました。
    ▷ 「タイヤ空気圧モニタリングの登録」の章（ 158ページ）を参照してください。

# チャイルド シート

**⚠ 危険** チャイルド シートの誤った使用

チャイルド シートを正しく使用しなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

車種に適さないチャイルド シートを使用した場合、またはチャイルド シートを車両に正しく取り付けていない場合は、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- 該当するチャイルド シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- チャイルド シートは道路交通法に従って使用してください。
- ポルシェ社が推奨するチャイルド シートのみを使用してください。これらのチャイルド シートは、テストを実施し、ポルシェ車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。推奨外のチャイルド シートはテストされておらず、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- チャイルド シートを助手席に取り付ける場合は、助手席エアバッグを OFF にしてください。

ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製品のチャイルド シートを使用することを推奨いたします。取り付け方法に関するインフォメーション：

- ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▷ www.porsche.com/tequipment
- ▷ 「チャイルド シートの正しい取り付け位置の徹底」の章（167ページ）を参照してください。

**⚠ 危険** 助手席のチャイルド シート

助手席エアバッグは、ある程度の最低限の身長と最低限の体重がある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルド シートを助手席に取り付けた場合、あるいは小柄または体重の軽い乗員が助手席に乗車している場合は、助手席エアバッグが展開することにより重傷または致命傷を負う危険性があります。

- チャイルド シートを助手席に取り付ける前に、助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうか必ず確認してください。
- 助手席とチャイルド シート システムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。

- ▷ 「チャイルド シートの正しい取り付け位置の徹底」の章（167ページ）を参照してください。
- ▷ 「助手席エアバッグを OFF にする」の章（72ページ）を参照してください。

**図 111：エアバッグ警告ラベル**

**図 112：サンバイザーのエアバッグ警告ラベル**

- エアバッグ警告ラベル A または警告標識を除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。

## チャイルド シートの正しい使用

このセクションは、1 つずつ遵守していただく必要のある 3 つの項目に分けられています。

- チャイルド シートを安全に取り付けるため、以下の 3 つの項目すべてを注意深くお読みください。

1. 適切な体重および身長カテゴリーのチャイルド シートを使用してください。
   - ▷ 「適切な体重およびサイズ グループのチャイルド シートの使用」の章（166ページ）を参照してください。
2. チャイルド シートは正しい取り付け位置で使用してください。
   - ▷ 「チャイルド シートの正しい取り付け位置の徹底」の章（167ページ）を参照してください。
3. チャイルド シートを確実に固定して取り付けてください。

▹ 「チャイルド シートの取り付け」の章（ 170 ページ）を参照してください。

## 適切な体重およびサイズ グループのチャイルド シートの使用

▸ 適切な体重およびサイズ グループに加えて、チャイルド シートが正しく取り付けられており、取り付け位置が適切であることも確認してください。
▹ 「チャイルド シートの正しい取り付け位置の徹底」の章（ 167ページ）を参照してください。
▹ 「チャイルド シートの取り付け」の章（ 170 ページ）を参照してください。

**図 113 : チャイルド シート システムの ECE ラベルの例**

**A** サイズ分類
**B** 「汎用 (ユニバーサル)」または「準汎用 (セミ ユニバーサル)」マーク
**C** 体重グループ

▸ 準汎用 (セミ ユニバーサル) 認可のチャイルド シートの場合は、該当のチャイルド シートに付属する、またはインターネットで入手できる適合車種一覧表を参照してください。

### チャイルド シートの体重グループによる分類

**グループ 0、0+のお子様 : 13 kg まで (i-Size システム、ISOFIX システム、およびシート ベルトによる固定)**
この体重グループのお子様は、**後ろ向きに着座するタイプ**のチャイルド シートを必ず使用してください。このタイプのチャイルド シートは、可能な限り、リヤ シートに取り付けてください。

**グループ I のお子様 : 9~18 kg (i-Size システム、ISOFIX システム、またはシート ベルトによる固定)**
この体重グループのお子様は、必ず**前向きに着座するタイプ**のチャイルド シートを使用してください。特別な状況に限り、この体重グループのお子様は後ろ向きに着座するタイプの特別なチャイルド シートを使用することもできます。このタイプのチャイルド シートは、可能な限り、リヤ シートに取り付けてください。

**グループ II のお子様 : 15~25 kg (シート ベルトによる固定)**
この体重グループのお子様は、必ず**前向きに着座するタイプ**のチャイルド シートを使用してください。このタイプのチャイルド シートは、可能な限り、リヤ シートに取り付けてください。

**グループ III のお子様 : 22~36 kg (シート ベルトによる固定)**
この体重グループのお子様は、必ず**前向きに着座するタイプ**のチャイルド シートを使用してください。このタイプのチャイルド シートは、可能な限り、リヤ シートに取り付けてください。

### チャイルド シートのサイズ グループによる分類

**A** ISO/F3 : 前向き、フルサイズ チャイルド シート
**B** ISO/F2 : 前向き、小型サイズ チャイルド シート
**B1** ISO/F2X : 前向き、小型サイズ チャイルド シート
**B2** ISO/B2: バックレスト付き前向き i-Size ブースター シート
**C** ISO/R3 : 後ろ向き、フルサイズ チャイルド シート
**D** ISO/R2 : 後ろ向き、小型サイズ チャイルド シート
**E** ISO/R1 : 後ろ向き、乳幼児用チャイルド シート
**F** ISO/L1 : 左向きチャイルド シート (ベビー キャリア)
**G** ISO/L2 : 右向きチャイルド シート (ベビー キャリア)

**バックレスト装備または非装備のブースター シート**
ISO/B2 : 前向きチャイルド シート (バックレスト装備または非装備のブースター シート)、減少幅 440 mm
ISO/B3 : 前向きチャイルド シート (バックレスト装備または非装備のブースター シート)、全幅 520 mm

▸ チャイルド シートの適用範囲、および使用するチャイルド シートのメーカーの取り付けおよび取扱説明書を遵守してください。

### 体重およびサイズ グループの概要

この表は利用可能なチャイルド シート サイズの概要を示しています。推奨する取り付け方法を示しているわけではありません。

| 体重グループ | チャイルド シートの位置 | サイズ グループ /ISOFIX グループ |
|---|---|---|
| **グループ 0**<br>0 から 10 kg | 左向き | F/L1 |
| | 右向き | G/L2 |
| | 後ろ向き | E/R1 |
| **グループ 0+**<br>0 から 13 kg | 後ろ向き | C/R3 |
| | | D/R2 |
| | | E/R1 |
| **グループ I**<br>9 から 18 kg | 前向き | A/F3 |
| | | B/F2 |
| | | B1/F2X |
| | 後ろ向き | C/R3 |
| | | D/R2 |
| **グループ II**<br>15 から 25 kg | 前向き | — |
| **グループ III**<br>22 から 36 kg | 前向き | — |
| i-Size チャイルド シート | 後ろ向き | –/R2X |
| | 前向き | –/B2、F2X |
| ブースター シート | 前向き | –/B2、B3 |

## チャイルド シートの正しい取り付け位置の徹底

- 適切な取り付け位置に加えて、チャイルド シートが正しい体重およびサイズ グループで、正しく取り付けられていることを確認してください。
  - ▷ 「適切な体重およびサイズ グループのチャイルド シートの使用」の章（ 166ページ）を参照してください。
  - ▷ 「チャイルド シートの取り付け」の章（ 170ページ）を参照してください。

下表は、ECE-R16 規格に従ってチャイルド シートを使用する方法の概要です。

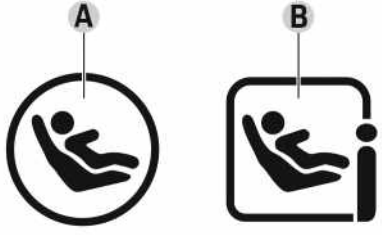



**図 114 : ISOFIX および i-Size のシンボル**

**A** ISOFIX チャイルド シートのアタッチメントのシンボル (国によって異なる)
**B** i-Size チャイルド シートのアタッチメントのシンボル (国によって異なる)

i-Size および ISOFIX はチャイルド シート用の標準化されたリテーニング ラグです。使用できるかどうかは国によって異なります。 ECE-R 129 および ECE-R 44 に準拠して承認された ISOFIX チャイルド シートおよび i-Size チャイルド シートは、i-Size のリテーニング ラグに取り付けることができます。

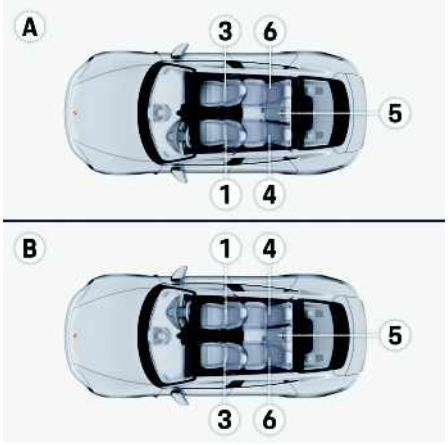



**図 115 : リヤ シート 3 席装備車にチャイルド シートを取り付けるためのシート番号**

**A** リヤ シート 3 席装備の左ハンドル車
**B** リヤ シート 3 席装備の右ハンドル車

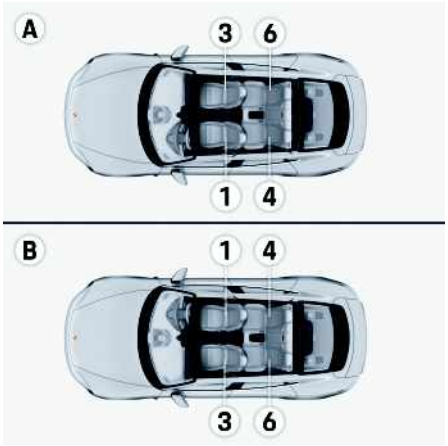



**図 116 : リヤ シート 2 席装備車にチャイルド シートを取り付けるためのシート番号**

**A** リヤ シート 2 席装備の左ハンドル車
**B** リヤ シート 2 席装備の右ハンドル車

| | i-Size システムによる固定 | シート ベルトによる固定 | ISOFIX システムによる固定 |
|---|---|---|---|
| シート番号に応じて許容される取り付け位置<br>▷ （167ページの図 115）<br>▷ （168ページの図 116） | 4 および 6 | 3、4、5 [1]および 6 | 4 および 6 |

1. シート 5 は、リヤ シート 3 席装備車でのみ使用可能で、車両のシート ベルトで固定されるチャイルド シートの取り付けのみに適しています。

| チャイルド シートを取り付けるためのシート番号 | 1 | 3[1] | 4 | 5[2、3] | 6 |
|---|---|---|---|---|---|
| シート ベルトによる固定[4] | 不可 | 可 | 可 | 可 | 可 |
| ISOFIX 取り付け位置[5] | 不可 | 不可 | 可 | 不可 | 可 |
| i-Size 取り付け位置[6] | 不可 | 不可 | 可 | 不可 | 可 |
| 横向きのチャイルド シート | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 |
| 適切な後ろ向きチャイルド シートで最大のもの | 不可 | R2X | R2X/R3 | R2 | R2X/R3 |
| 適切な前向きチャイルド シートで最大のもの | 不可 | F2X | F3 | F2 | F3 |
| 適切なチャイルド シートで最大のもの (バックレスト装備または非装備のブースター シート) (B2/B3) | 不可 | B3 | B3[7] | B3[8] | B3[7] |

**不可** : シートはこのグループのチャイルド シートの取り付けに適して**いません**。

チャイルド シートの体重とサイズ グループの説明、および i-Size チャイルド シートとバックレスト装備または非装備のブースター シートの分類 :

▷ 「体重およびサイズ グループの概要」の章 ( 166 ページ) を参照してください。

### 助手席へのチャイルド シートの取り付けの概要

汎用 (U) または「準汎用」 (L) 認定カテゴリーのチャイルド シートを助手席に取り付ける場合、下記の表を使用して、助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを確認してください。

認定カテゴリーの詳細については、チャイルド シートにあるオレンジ色の認証マークを参照してください。

X : シートはこのグループのチャイルド シートに適していません。

U / L : 「汎用」または「準汎用」認定カテゴリーの前向きタイプのチャイルド シートで、大人用シート ベルトで固定され、このグループでの使用が認定されているものに適しています。

1. 助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを必ず確認します。
2. シート 5 は、リヤ シート 3 席装備車でのみ使用可能で、車両のシート ベルトで固定されるチャイルド シートの取り付けのみに適しています。
3. この取り付け位置は、サポート レッグ付きチャイルド シートの取り付けに適して**いません**。
4. **可** : シート ベルトで固定された汎用および準汎用チャイルド シートに適しています。 準汎用チャイルド シートを取り付けることができるかどうかを検討する際、チャイルド シートに付属している、インターネットで入手可能なタイプ リストにご注意ください。
5. **可** : 汎用および準汎用 ISOFIX チャイルド シートに適しています。 準汎用チャイルド シートを取り付けることができるかどうかを検討する際、チャイルド シートに付属している、インターネットで入手可能なタイプ リストにご注意ください。
6. **可** : 前向きおよび後ろ向きの i-Size チャイルド シートに適しています。
7. 高さ 1.50 m まで調整可能なバックレスト付きブースター シートに適しています。
8. 高さ 1.35 m まで調整可能なバックレスト付きブースター シートに適しています。

| グループ | 助手席シート | |
|---|---|---|
| | 助手席エアバッグ ON [1] | 助手席エアバッグ OFF |
| **グループ 0** :<br>0 から 10 kg | X | U / L |
| **グループ 0+** :<br>0 から 13 kg | X | U / L |
| **グループ I** :<br>9 から 18 kg<br>後ろ向き | X | U / L |
| **グループ I** :<br>9 から 18 kg<br>前向き | U / L | U / L |
| **グループ II** :<br>15 から 25 kg | U / L | U / L |
| **グループ III** :<br>22 から 36 kg | U / L | U / L |

## チャイルド シートの取り付け

- チャイルド シートは、適切に取り付けることに加えて、体重、サイズ グループ、および取り付け位置が適切であることも確認してください。
  - ▷ 「適切な体重およびサイズ グループのチャイルド シートの使用」の章（166ページ）を参照してください。
  - ▷ 「チャイルド シートの正しい取り付け位置の徹底」の章（167ページ）を参照してください。
- チャイルド シートが取り付けられている場合、シート ヒーターを必ず OFF にしてください。
- 前向きに着座するチャイルド シートを取り付ける前には、ヘッドレストを可能な限り高く調節してください。
  リヤ シートのヘッドレストを最も高い位置に調節してもチャイルド シートが取り付けられない場合は、ヘッドレストを取り外す必要があります。
  チャイルド シートを取り外した後は、必ずヘッドレストを取り付けてください。
  - ▷ 「リヤ シートのヘッドレストの取り外しと取り付け」の章（101ページ）を参照してください。

### ベビー キャリア

サイズ カテゴリー F および G の左向きまたは右向きタイプのチャイルド シート (ベビー キャリアなど) は、どのシートにも使用できません。
ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製品のチャイルド シートを使用することを推奨いたします (例 : Porsche Babyseat ISOFIX G0+)。

### 助手席エアバッグの ON / OFF

**⚠ 危険** 助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- チャイルド シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- チャイルド シートを取り外した後は、助手席エアバッグを ON に戻してください。

**図 117 : 助手席エアバッグを OFF にする**

✓ 車両が OFF になっています。

1. グローブ ボックスを開いてください。
2. エマージェンシー キーをキーから取り外してください。
   - ▷ 「キー」の章（77ページ）を参照してください。

1. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。

**知識**

キー スイッチおよびエアバッグ システムが損傷する危険があります。

- エマージェンシー キーは、キー スイッチに完全に挿入してから回してください。
  キー スイッチはさほど大きな力をかけなくても回せるはずです。
- 助手席エアバッグは、車両が OFF のときにのみ、ON または OFF に切り替えてください。

3. エマージェンシー キーをキー スイッチにいっぱいまで挿入してください。
4. エマージェンシー キーを回し、助手席エアバッグをオフ (スイッチ位置**OFF**) またはオン (スイッチ位置**ON**) にしてください。

**⚠ 危険** 助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キー スイッチにエマージェンシー キーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシー キーが不意に回転し、エアバッグが作動する恐れがあります。

- エマージェンシー キーを助手席エアバッグ スイッチに挿入したまま走行しないでください。

5. エマージェンシー キーをキー スイッチから抜き取ってください。
6. グローブ ボックスを閉じます。

## PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケーター

**図 118 : PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケーター**

**PASSENGER AIR BAG OFF/ON** インジケーターはオーバーヘッド コンソールにあります。

**ライト作動点検**

作動準備が確立されると、ライトの作動を点検するために **PASSENGER AIR BAG OFF/ON** インジケーターが約 5 秒間点灯します。

**助手席エアバッグ OFF**

助手席エアバッグを OFF にすると、作動準備が確立されたときに **PASSENGER AIR BAG OFF** インジケーターが点灯し続けます。

**助手席エアバッグ スイッチ ON**

助手席エアバッグを ON にすると、作動準備が確立されたときに **PASSENGER AIR BAG ON** インジケーターが約 1 分間点灯し、その後消灯します。

**⚠ 危険** 助手席エアバッグの故障または作動不良

作動準備が確立されて助手席エアバッグを OFF にしたときに **PASSENGER AIR BAG OFF** インジケーターが点灯しない場合は、システムに不具合が生じている可能性があります。

- 助手席にチャイルド シートを取り付けないでください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 車両シートベルトを使用したチャイルド シートの取り付け

### 車両シートベルトを使用したリヤ シートへのチャイルド シートの取り付け

1. 助手席とチャイルド シート システムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。
2. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。
   ▷ 「シート」の章（98ページ）を参照してください。
3. 可能であれば、チャイルド シートのバックレストのシートベルト ガイドが車両の B ピラーのベルト アウトレットの前側および下側になるように調整します。
4. 助手席とその後ろに座っている乗員との間に十分な距離を確保し、必要に応じて助手席を適宜調整します。
5. お子さまの足とダッシュボードの間に十分なスペースを確保し、必要に応じて助手席を適宜調整します。

### 車両シートベルトを使用したリヤ シートへのチャイルド シートの取り付け

- バックレストのないブースター シートでは、ブースター シートがリヤ シートのバックレストと接触していることを確認します。

## i-Size または ISOFIX システム付きチャイルド シートの取り付け

▹ 「適切な体重およびサイズ グループのチャイルド シートの使用」の章（166ページ）を参照してください。

▸ チャイルド シート システムに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

### チャイルド シートのリヤ シートへの取り付け

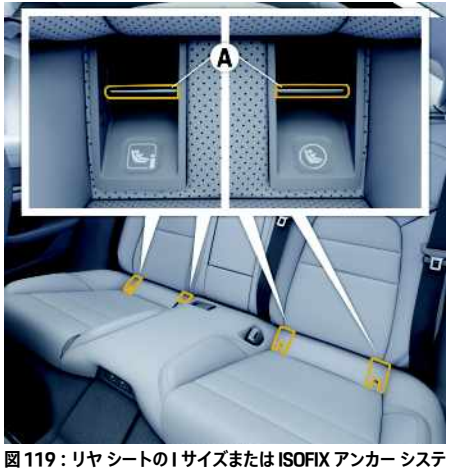



**図 119 : リヤ シートの I サイズまたは ISOFIX アンカー システム (国によって異なります)**

i-Size または ISOFIX のチャイルド シート アンカー システムのリテーニング ラグ **A** は、シート クッション上のマークされた保護キャップの下にあります。

1. 必要に応じて i-Size または ISOFIX リテーニング ラグの保護キャップを取り外し、安全な場所に置きます。
2. チャイルド シートを付属の説明書に従ってリテーニング ラグ **A** に固定してください。
3. チャイルド シートを引っ張って、両側のリテーニング ラグに確実に固定されているか点検してください。
4. フロント助手席側シートとその後ろに座っている乗員の間が快適な距離になるようにします。

回転しないように、チャイルド シートをサポート レッグまたはトップ テザーでさらに固定します。

### サポート レッグ付きチャイルド シートの取り付け

**図 120 : サポート レッグ付きチャイルド シートの取り付け**

1. ISOFIX または i-Size アンカー付きチャイルド シートを、リテーニング ラグ **A** を使用して正しく取り付けます。
   ▹ 「i-Size または ISOFIX システム付きチャイルド シートの取り付け」の章（172ページ）を参照してください。
2. チャイルド シート メーカーの指示に従って、サポート レッグを位置決めします。
3. チャイルド シートがリヤ シートに対して面一に取り付けられているようにします。

### トップ テザー付きチャイルド シートの取り付け

▸ トップ テザー付きチャイルド シートを使用する際は、トップ テザーはリヤ シート バックレストの後ろのアンカー ポイントに取り付けてください。

**図 121 : トップ テザーのアンカー ポイント**

1. トップ テザー カバーを開きます。

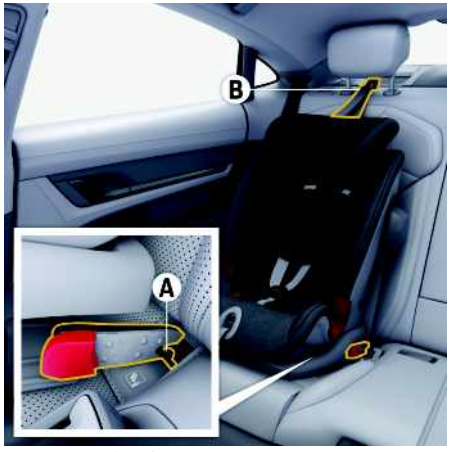



**図 122 : トップ テザー付きチャイルド シートの取り付け**

2. ISOFIX または I サイズ アンカー付きチャイルド シートをリテーニング ラグ **A** で正しく取り付けます。
   ▷ 「i-Size または ISOFIX システム付きチャイルド シートの取り付け」の章（ 172ページ）を参照してください。
3. トップ テザー **B** をヘッドレストに通してください。容易に取り付けられるようにヘッドレストは取り外すことができます。
   ▷ 「リヤ シートのヘッドレストの取り外しと取り付け」の章（ 101ページ）を参照してください。

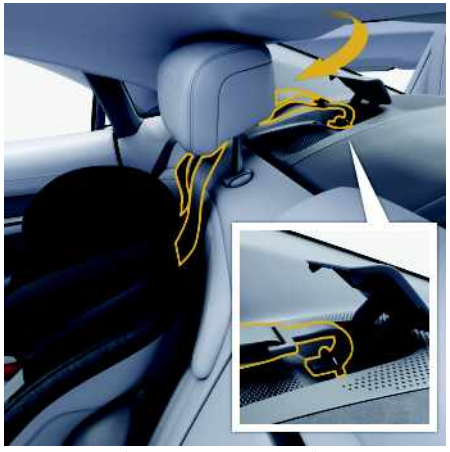


**図 123 : I サイズまたは ISOFIX トップ テザー付きチャイルド シートの固定**

4. トップ テザーをバックレスト後部の固定位置に留めて、トップ テザーを締め付けます。

# デバイス マネージャー

## デバイス マネージャーを開く

デバイス マネージャーを開くと、使用可能な機器や各機器の接続ステータスの概要を確認できます。

▸ ▸ デバイス
– または –
(接続ステータスに応じて) ステータス エリアの または をタッチします。

## 接続ステータスの表示

### シンボルの色と意味

– 青色のシンボル : 接続が有効。
– 白色のシンボル : 接続は可能だが、有効になっていない。
– シンボルがない : 接続不可能。

### 選択できる機能 :

– **電話** : 携帯電話が Bluetooth® で接続されている。 176ページの「電話」の章を参照してください。
– **ミュージック** : 外部メディア ソースが Bluetooth® で接続されている。 241ページの「メディア」の章を参照してください。
– **データ** : アクセス ポイントとのデータ接続が確立されている。 220ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。
– **WiFi** : WiFi デバイスが PCM WiFi ホットスポットに接続されている。 220ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。
– **Apple CarPlay** : iPhone が USB ポートまたは無線で接続され、Apple CarPlay にアクセスしている。 276ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。

▸ 接続マネージャーは、デバイスまたはメディア ソースを接続する際に役立ちます。 ▸ **デバイス** ▸ **接続マネージャー**

## 新しいデバイスを Bluetooth® 経由で接続する

1. ▸ **デバイス** ▸ **接続マネージャー** ▸ **新しい電話を接続/新しい音楽プレーヤーを接続** をタッチします。
2. リストからデバイスを選択してください。
6 桁の Bluetooth® コードが生成され、セントラル ディスプレイとデバイスに表示されます。
3. セントラル ディスプレイとデバイスの Bluetooth® コードを比較します。
4. PCM とデバイスの Bluetooth® コードが一致する場合、確定します。
携帯電話が正常に接続されたら、デバイス概要に表示されます。

Porsche Communication Management (PCM) の操作に関する情報は、以下をご覧ください。

▹ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章 (223ページ) を参照してください。

### デバイス リストからデバイスを削除する

▸ ▸ **デバイス** をタップします。
削除するデバイスの行を右から左にスワイプします。
デバイスはデバイス リストから削除されます。

## デバイス マネージャーの設定

▸ ▸ **デバイス** ▸ をタッチします。

次の設定が利用可能です (国によって異なります)。

– **電話設定** : 176ページの「電話」の章を参照してください。
– **Bluetooth設定** :
  – **Bluetooth** の ON/OFF 切り替え。
  – PCM の **名前:**の変更。
– **WiFi設定** :
  – **WiFi** の ON/OFF 切り替え。
  – **インターネット アクセスの許可** : PCM WiFi ホットスポットを有効にし、WiFi デバイスのデータ接続を許可します。
  – **インターネット アクセスの許可** : PCM の WiFi アクセスデータを表示および設定します。このデータは、デバイス (携帯電話など) を WiFi 経由で PCM に接続したり、WiFi ホットスポットを使用したりするために必要です。
  該当データ パッケージは www.porsche.com/connect で購入する必要があります。
– **データ接続設定** :
  – **オンラインデータの使用を表示**
  – **オンラインデータの使用をリセット**

## インターフェイス

USB インターフェース (タイプC) は、フロント アームレストとリヤにあります。 リヤの USB インターフェース (タイプ C) は、充電目的でのみ使用できます。

図 124 : リヤの USB 充電ポート

### USB を介した外部機器の接続

図 125 : アームレスト内のインターフェイス

1. アームレストを開きます。
2. 外部機器 (iPod、USB メモリーなど) を USB インターフェース (タイプ C) **A** に接続します。
3. **メディア** ▸ **再生**で希望のメディア ソースを選択します。
   ▷ 「メディア」の章（241ページ）を参照してください。
4. 外部機器およびセントラル ディスプレイの音量を必要に応じて調節します。

## ポートおよび外部接続機器に関する注意事項

- 記憶媒体にファイル、フォルダーまたはプレイリストが多数格納されている場合、媒体のトラックを最初に読み込むのに時間がかかる場合があります。
- オーディオ ファイルの再生時は、記録された追加情報 (アーティスト、タイトル、アルバム カバーなど) が自動的に表示されます。 該当する情報が媒体に記録されていない場合は、利用可能なインターネットのデータベースが利用されます。 それでも特定の追加情報が表示されない場合があります。
- USB 延長ケーブルやアダプターを使用しないでください。 性能が損なわれる原因になります。
- USB ハブには対応していません。
- ポルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカル データ :

▷ 「テクニカル データ」の章（306ページ）を参照してください。

# 電話

## 概要説明 - 電話

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

Porsche Communication Management (PCM) の操作に関する情報は、以下をご覧ください。

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（223ページ）を参照してください。

**図 126 : 電話番号を入力する (キーパッド)**

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| **Bluetooth® による電話の接続** | ▸ **デバイス** ▸ **接続マネージャー** ▸ **新しい電話を接続** をタッチします。 | ▷ p. 177 |
| **2 台の接続済み携帯電話の切り替え** | ▸ ステータス エリアで現在接続されている携帯電話を選択します。すでに接続している 2 つのデバイスが表示されます ▸ 希望する携帯電話を選択します。 | – |
| **データ接続の確立** | | ▷ p. 220 |
| **携帯電話のワイヤレス充電** | セントラル ディスプレイで、 ▸ **電話** ▸ ▸ **電話設定** ▸ **一般設定** ▸ **ワイヤレス充電** の順で機能を有効にします。<br>▸ 携帯電話をスマートフォン トレイに収納します。 | ▷ p. 179 |
| **番号をダイヤルする** | ▸ ▸ **電話** ▸ **キー** (**A** を参照) ▸ をタッチします (**B** を参照) | – |

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| **連絡先をお気に入りに登録する** | ▸ ▸ **電話** ▸ **お気に入り** (A を参照) ▸ **お気に入りを 追加** ▸ リストから目的の連絡先を選択します ▸ をタッチします。 | ▹ p. 178 |
| **通話履歴を表示する** | ▸ ▸ **電話** ▸ **通話履歴** (A を参照) | – |
| **連絡先を表示する** | ▸ ▸ **電話** ▸ **連絡先** (A を参照) | – |
| **メッセージを表示する** | ▸ ▸ **メッセージ** をタッチします。 | ▹ p. 240 |
| **ボイスメールを聞く** | ▸ ▸ **電話** ▸ **キー** (A を参照) ▸ ボタン **1** を押し続けます (B を参照)。 | – |
| **着信に応答する / 拒否する** | ▸ **承認** または **拒否** をタッチします。 | – |
| **通話を終了する** | ▸ フッターまたは電話メニューの をタッチします。<br>**– または –**<br>マルチファンクション ステアリング ホイールの ボタンを使用します。 | – |

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、いろいろなオプションが利用できます。 ここに説明されている機能は、すべてのモデル、国別仕様および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。

**⚠ 警告** 携帯電話を使用することによる事故の危険

走行中に携帯電話を使用すると、交通状況に対する注意力が低下する恐れがあります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

▸ 必ずハンズ フリー機器を使用してください。

**⚠ 警告** 怪我をする危険

ガソリン スタンド、燃料貯蔵所、化学工場、または爆破作業を行っている近くなど、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。 携帯電話は機器設備と電波干渉を起こすことがあります。

▸ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

## Bluetooth® 経由で携帯電話を接続する

### 新しい携帯電話を接続する

✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能が作動していて、他のデバイスから探索可能な状態になっている。

✓ PCM の Bluetooth® 機能が作動している。

▹ 「デバイス マネージャー」の章（ 174ページ）を参照してください。

1. ▸ **デバイス** ▸ **接続マネージャー** ▸ **新しい電話を接続**をタップします。
2. デバイス リストから携帯電話を選択します。

6 桁の Bluetooth® コードが生成され、セントラル ディスプレイと携帯電話の両方に表示されます。

3. セントラル ディスプレイと携帯電話の Bluetooth® コードを比較します。

4. 携帯電話の Bluetooth® コードが一致していれば確定してください。
電話の接続に成功すると、数字入力 (**キーパッド** メニュー) がセントラル ディスプレイに表示されます。

### インフォメーション

– 携帯電話の Bluetooth® の性能によっては、電話帳、通話履歴、およびメッセージの内容にアクセスすることができます。携帯電話がサポートしている場合には、車両を停車した後に通話を携帯電話に転送し、車両の外で通話を継続することもできます。
– 対応している携帯電話の概要は、ご利用の国のポルシェ ウェブサイトからご覧いただけます : モデル ▸ お客様の所有モデル (例 : 911 Carrera) ▸ 取扱説明書のダウンロード ▸ Bluetooth® 経由。

### 携帯電話の接続 (Windows® および iOS オペレーティング システム)

Windows® または iOS オペレーティング システムを搭載した携帯電話については、携帯電話から接続を開始することをお勧めします。

✓ PCM の Bluetooth® 機能が作動している。

1. 携帯電話の Bluetooth® メニューから利用可能な機器を検索してください。
2. 使用可能な機器リストから PCM を選択します。
PCM の Bluetooth® デバイス名は、 ▸ **デバイス** ▸ ▸ **Bluetooth 設定** ▸ **名前**:に表示できます。

### 登録済みの携帯電話に接続する

✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能が有効になっています。
✓ PCM の Bluetooth® 機能が作動している。
▹ 「デバイス マネージャー」の章 (174ページ) を参照してください。

1. (接続ステータスに応じて) ステータス エリアの または をタップします。
登録されている携帯電話のリストが最大 20 件表示されます。
2. リストから携帯電話を選択してください。
携帯電話が Bluetooth® 経由で接続されます。

### 別の携帯電話の接続と使用

✓ 携帯電話がすでに PCM に接続されている。

1. (接続ステータスに応じて) ステータス エリアの または をタップします。
2. リストから携帯電話を選択するか、新しい携帯電話を接続してください。
接続された携帯電話は両方とも着信可能ですが、発信は有効な携帯電話のみ行うことができます。
3. 接続された 2 台の携帯電話を切り替えるには、ステータス エリア内の右側の現在接続されているデバイスを選択します。
既に接続している 2 つのデバイスが表示されます。
**– または –**
**電話** ▸ ▸ **電話設定** ▸ で目的のデバイスを選択します。

## 接続ステータスの表示

モデル、国別仕様および装備仕様によっては、以下のようにステータス エリアに表示されることがあります:

- 電話が接続されていません。
- データ接続が利用できません (考えられる原因: 接続なし、ネットワーク品質不良、音声接続中のデータ接続の中断)。
- LTE 携帯電話ネットワークを介したデータ接続。
- UMTS/HSPA 携帯電話ネットワーク (3G) を介したデータ接続。
- EDGE 携帯電話ネットワーク (GSM) を介したデータ接続。
- 電話機能用の携帯電話ネットワークの受信電界強度。
- 外部 WiFi ホットスポットによるデータ接続。

## お気に入りの保存および編集

### お気に入りの保存

1. ▸ **電話** ▸ **お気に入り**
2. **最近の連絡先**を選択し、ドラッグ & ドロップで **お気に入り**に移動します。

### お気に入りの整理

1. ▸ **電話** ▸ **お気に入り**
2. 希望する連絡先を選択して、ドラッグ & ドロップで希望する場所に移動します。

### お気に入りの削除

1. ▸ 電話 ▸ お気に入り
2. 希望する連絡先を選択し、**お気に入り**表示エリアからドラッグ & ドロップで上に移動させます。
   – または –
   利用可能な場合は、アイコンをタップします。

## 通話中の各種機能

✓ ▸ 電話 ▸ キーが選択されている。

### マイクのミュート

✓ 通話している。

▸ マイクをミュートするには、を選択します。

### 通話の保留

✓ 通話している。

▸ をタップします。

▸ 通話を再開するには、をタップします。

### 電話会議を開始する

✓ 通話している。

1. ▸ 新しい通話の追加 (電話番号の入力または連絡先の選択) ▸
2. 会議通話を有効にするには、をタップします。
3. 会議通話の接続を解除するには、をタップします。

### 2 つの会議間の切り替え (スワッピング)

✓ 1 つ目の通話で通話している。

✓ 2 つ目の通話が保留になっている。

▸ をタップすると、保留中の通話が有効になり、代わりにそれまで有効だった通話が保留になります。

## インストルメント クラスター内の電話情報の表示

▸ インストルメント クラスターの「車両&情報」ディスプレイで希望の機能を選択してください。
▹ 「インストルメント クラスター」の章（ 45 ページ）を参照してください。

– **着信**: ステアリング ホイールの電話ボタンを使用して、着信に対して**応答**するか**拒否**します。
– **前回の通話**: ステアリング ホイールの電話ボタンやロータリー ノブを使用して、最近ダイヤルした電話番号のリストを表示します。
– **会議**: ステアリング ホイールのロータリー ノブや電話ボタンを使用して、通話中に別の電話をかけたり、会議通話の参加者を追加したりできます。

インストルメント クラスターの操作に関する情報は、以下をご覧ください。

▹ 「インストルメント クラスター」の章（ 45ページ）を参照してください。

## 携帯電話の収納 (国別仕様による)

**図 127 : アームレストのスマートフォン トレイ**

アームレストのスマートフォン トレイは、車両の外部アンテナに接続するために使用され、携帯電話の充電および PCM への接続用の USB インターフェース (タイプ C) を備えています。 外部アンテナを使用することで、車両内の電磁波を抑え、Bluetooth® 経由で接続する携帯電話の受信品質を向上させることができます。

✓ 携帯電話のキーパッド / コード ロックが有効になっています。

▸ 携帯電話の背面がサイド ウォール側になるように、携帯電話をスマートフォン ホルダーに入れてください。

▹ 「インターフェイス」の章（ 174ページ）を参照してください。

## 携帯電話のワイヤレス充電 (国によってはご利用いただけない場合があります)

ワイヤレス充電機能はセントラル ディスプレイで有効/無効を切り替えることができます。

**⚠ 注意** スマートフォン トレイの金属の障害物

携帯電話のワイヤレス充電中は、電話と充電パッドの間に金属体があると非常に高温になり、身体損傷や所

有物の損傷を引き起こす場合があります。

- 携帯電話と充電パッドの間に、障害物を置かないでください。

**⚠ 注意** ワイヤレス充電中の熱の発生

ワイヤレス充電中、携帯電話が非常に熱くなる場合があります。

- 携帯電話を取り外すときは、温度に注意してください。

✓ 機能が作動しています

**▸ 電話 ▸ ⋯ ▸ 電話設定 ▸ 一般設定 ▸ ワイヤレス充電.**

✓ 携帯電話でサポートされる Qi 規格に準拠したワイヤレス充電。

- 携帯電話の背面がサイド ウォール側になるように、携帯電話をスマートフォン ホルダーに入れてください。

  シンボルは、セントラル ディスプレイのステータス エリアに表示されます。

充電パフォーマンスは、携帯電話によって異なります。

**インフォメーション**

携帯電話または車両が高温になると、携帯電話の充電機能が制限されたり、機能が実行されなくなったりする場合があります。 使用されている携帯電話のケースと作動中のアプリが充電機能に影響を与える可能性があります。

**インフォメーション**

ワイヤレス充電には、交番磁界が使用されます。感覚器官の炎症や有効なインプラント (ペースメーカ、注入ポンプ、神経刺激装置など) または停止インプラント (人工ジョイントなど) との干渉などの反応が生じる可能性があります。

- 充電パッドから常に 10 cm 以上離してください。 ICNIRP1998 に基づく継続的な露出制限は、この距離で満たされます。
- インプラントを使用されている方は、質問がある場合は専門医にお問い合わせください。

## 電話設定の変更

### 一般設定

- **▸ 電話 ▸ ⋯ ▸ 電話設定 ▸** 希望の設定を選択してください。

### 連絡先の管理

- **▸ 電話 ▸ 連絡先 ▸ ⋯ ▸** 希望の設定を選択してください。

# ナイト ビュー アシスト

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 集中力の低下およびナイト ビュー アシストにより障害物が検出されない

ナイト ビュー アシストはサポート システムであり、あらゆる状況下で衝突が差し迫っている状況を警告するものではありません。 事故を起こす恐れがあります!

適時ブレーキをかけることおよび状況に適した車両のライトの点灯は、常にドライバーの責任です。

- 十分注意して運転してください。
- 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

**⚠ 注意** ナイト ビュー アシストの制限または使用不可

駐車場の段差など、バンパーへの衝撃や損傷により、センサーが作動することがあります。これは、システムの性能を損なう可能性があります。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## システム制限

**⚠ 警告** システムは制限付きで利用可能

特定の状況では、システムによるアシストは保証されません。以下のような状況が含まれます。

– 歩行者および動物をいつも検出できるわけではありません。
– 豪雨、降雪、凍結など、悪天候によって、カメラの動作に支障をきたし、結果として衝突リスクの検出能力が低下する場合があります。
– システムの内部制限により、複雑な走行状況では、歩行者および動物警告が不意に作動することがあります。

- ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

## 作動原理

フロント バンパーのサーマル イメージング カメラは、周囲のサーマル イメージを捉えて、インストルメント クラスターに表示します。 システムはヘッドライトにより照らされたエリアを超えて人および動物を検知し、カメラ画像内で対象物をハイライトします。

周囲がかなり暗く、外気温度が 28 °C 未満で、速度範囲が 250 km/h 以下の場合、ナイト ビュー アシストが人および動物を検知します。

カメラの画像は、人間の目で知覚できる映像とは大きく異なります。

### 歩行者警告

システムが歩行者との衝突の可能性を検知した場合、警告音とインストルメント クラスターの表示によりドライバーに注意を促します。 カメラ画像は人を赤色で表示します。

歩行者が走行車線内で立ち止まっている、または走行車線に移動している場合、歩行者警告が発令されます。

LED マトリックス ヘッドライト装備車では、危険にさらされた人が危険を認識できるよう、点滅による警告が行われます。 この警告が作動した段階でも、ドライバーが歩行者を回避するか急ブレーキをかけることで、衝突を防げる可能性があります。 交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが違ってきます。

### 動物警告

システムが市街地の外で大型の野生動物 (シカなど) との衝突の可能性を検知した場合、警告音とインストルメント クラスターの表示によりドライバーに注意を促します。 同時に、動物を赤色で示したカメラ画像が表示されます。

動物警告は、走行車線に動物がいるか接近している場合に作動します。

動物警告は、市街地走行中は自動的に無効になり、つながれた犬などによる警告の誤作動を防止します。

## ディスプレイの要素

**図 128 : ナイト ビュー アシスト**

1 歩行者および動物警告
2 サーマル イメージング ディスプレイ

### シンボル

| シンボル | 意味 |
|---|---|
| | カメラ画像が表示されている場合、車外の状況 (外気温度や明るさ) が原因でシステムが人や動物を確実には検出できないことを示しています。この場合、警告機能は使用できません。このシンボルは、システムを OFF にしても表示されます。 |

## ナイト ビュー アシストの ON/OFF 切り替え

▸ ▸ アシスト ▸ 基本アシスト ▸ ナイトビューアシスト

### インフォメーション

無効化すると、警告機能ならびに歩行者および野生生物のマーキングのみが無効になります。インストルメント クラスターに画像を表示することは引き続き可能です。

### 警告時間と画像の明暗の設定

▸ ▸ アシスト ▸ ▸ アシスタンスシステム設定 ▸ ナイトビューアシスト

## ナイト ビュー アシスト カメラを清掃します

✓ ロー / ハイ ビームが作動している。

車両の作動準備が整うと、フロント ウィンドウ ウォッシャー システムが 1 回および 10 回作動するごとに、カメラが自動的に清掃されます。

▹ 「スプレーおよびワイパー作動」の章（ 209ページ）を参照してください。

### インフォメーション

システムには、一定の温度を下回ると自動的にカメラを加熱して氷結を防いだり、溶かしたりするヒーターが内蔵されています。

# ナビゲーション

## 概要説明 - ナビゲーション

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

Porsche Communication Management (PCM) の操作に関する情報は、以下をご覧ください。

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（223ページ）を参照してください。

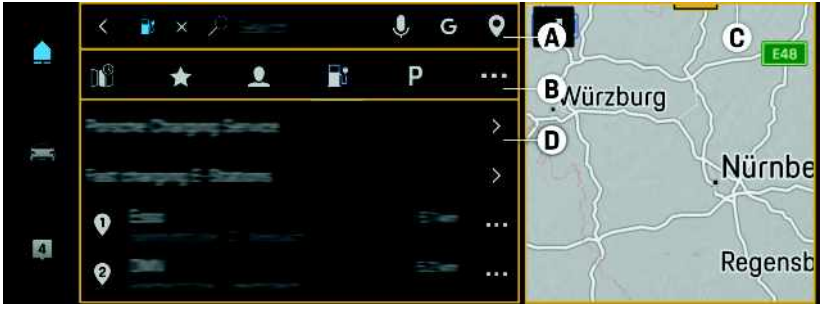



**図 129 : 目的地の入力 / 検索**

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| **目的地の検索** | ▸ ▸ **ナビゲーション** ▸ <br>コンテンツとインタラクション エリアに候補が表示されます (**D** を参照)。<br>入力オプション (**A** を参照)<br>– エリアを検索 : ルート沿いまたは付近を検索<br>– 検索 (国によってはご利用いただけない場合があります)[1] : インターネット検索 | – |
| **目的地の住所を入力する** | ▸ ▸ **ナビゲーション** ▸ (**D** を参照) | – |
| **目的地履歴から選択する** | ▸ フィルター バー (**B** を参照) 上で、 を選択します。 | – |
| **連絡先から目的地を選択する** | ▸ フィルター バー (**B** を参照) 上で、 を選択します。 | – |

1. 必要条件 : データ接続が確立されている。ポルシェ コネクト サービスおよびオンライン ナビゲーション サービスが有効になっている。

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| **検索結果を絞り込む** | ▸ 検索結果はフィルター バーで絞り込むことができます (**B** を参照)。<br>– **前回の目的地**<br>– **お気に入り**<br>– **連絡先**<br>– **E ステーション**<br>– **駐車場**<br>追加のフィルター (施設情報など) は、オプション の下のフィルター バーに表示できます (**B** を参照)。 | – |
| **GPS 座標を入力する** | ▸ ▸ **ナビゲーション** ▸ オプション ▸ **GPS 座標を入力** | – |
| **マップ ビューを開く** | ▸ ▸ **ナビゲーション** | – |
| **ルート オプションを表示する** (代替ルートなど) | ▸ ▸ **ナビゲーション** ▸ ▸ ▸ **ルートオプション**。 | – |
| **ルート案内の開始** | ▸ ▸ **ナビゲーション** ▸ ▸ 目的地を入力してください ▸ **ルート案内を開始** をタッチします。 | – |
| **ルート案内の停止** | ▸ 地図画面上で ▸ **ナビゲーション** ▸ **停止** をタッチします。 | |
| **交通情報を表示する** | ✓ ルート案内を開始している。<br>▸ ▸ **ナビゲーション** | ▷ p. 186 |
| **オンライン ナビゲーションを有効にする** | ▸ ▸ **設定** ▸ **ポルシェ コネクトの設定** ▸ **Porsche Connectサービス** を選択します。購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。 | – |

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| **ポルシェ コネクト サービスを利用する (オンライン マップ アップデートなど)** | ✓ データ接続が確立されている。ポルシェ コネクト サービスが有効になっている。ポルシェ コネクトに関する詳細は、<br>▷ www.porsche.com/connect を参照してください。 | ▷ p. 220 |
| **ETC を表示する** | ▸ **車両** ▸ **ETC** | ▷ p. 188 |

**⚠ 警告** 道路交通法を無視することによる事故の危険性。

案内されたルートが有効な道路交通法と反する場合は、いつでも国固有の交通規則が適用されます。 ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- 常に周囲の交通状況に注意してください。
- 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビング スタイルと速度で走行してください。

**⚠ 警告** システム関連の不正確さおよび不具合による事故の危険性

人工衛星に基づくナビゲーション中は、不適切な指示や不具合の可能性を排除することができません。 ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- 常にオフロードの状態に注意してください。

## 地図から目的地を選択する

1. ▸ **ナビゲーション** を選択します。
2. 地図上で目的地をタッチして長押しします。
3. 表示された住所をタッチして、ルート ナビゲーションを開始します。

## 代替ルート

マップ ビューには最大 3 つのルートが表示されます。充電プランナー (国別仕様による) を搭載した車両の場合、NORMAL および RANGE 走行モードでは代替ルートも計算されます。

1. マップ ビューの ▸ **代替ルート**を選択します。
2. 利用可能な代替ルートが表示されます。
3. 代替ルートをタップして選択します。
選択したルートが強調表示されます。
4. **開始**を選択し、ルート案内を開始します。

▷ 「ドライブ モードの選択」の章（281ページ）を参照してください。

## ツアーを計画する (経由地の入力)

ツアーは、1 つの目的地と最大 8 箇所の経由地で構成されます。

### ツアーの入力および開始

1. ▸ **ナビゲーション** ▸ ▸ 目的地を入力 ▸ **開始**。
2. ▸ **ナビゲーション** ▸ ▸ 経由地を入力または選択 ▸ ▸ **経由地に追加**。
3. **ツアー開始**.

### ツアーの編集

経由地は後で変更することができます。

✓ ツアーが開始されています。

- ▸ オプション ▸ **ルートを編集**で該当する経由地の シンボルを選択し、目的の位置にドラッグします。

## 地図コンテンツの設定

1. ▸ **ナビゲーション** ▸ (サイドバー上のリンク)
2. 地図コンテンツの起動 / 停止 (国別仕様による) :

- **ノースアップ** : 地図が北を上にした状態で表示されます。
- **3Dマップ** : 3D マップ ビューの表示と非表示 (2D ビュー) を切り替えます。
- **Google Earth** : 地図上のサテライト ビューの表示と非表示を切り替えます。
- **Range** : 地図上の走行可能距離の表示と非表示を切り替えます。

### 地図設定の変更

1. ▸ **ナビゲーション** ▸ ▸ **ナビゲーション設定** ▸ **マップ設定**
2. 地図コンテンツの起動 / 停止 (国別仕様による) :

– **オートズーム**：地図のオートズーム機能の有効と無効を切り替えます。
– **施設情報を表示**：地図上の施設情報の表示と非表示を切り替えます。
– **3D建築物**：3D マップ ビューの表示と非表示 (2D ビュー) を切り替えます。
– **制限速度を表示** (車両の仕様によっては使用不可)：地図上の制限速度の表示と非表示を切り替えます。
– **昼画面/夜画面表示**：マップ ビュー モードを選択します。

## 交通情報を表示する

### 地図上での交通情報の表示[1]

地図上に、現在地または選択したルートに関する以下の交通情報を表示することができます。
– **色付き警告シンボル**：選択したルート上に差し迫った交通渋滞。ルート案内が有効でない場合は、現在の交通渋滞がすべてカラー表示されます。
– **グレー表示の警告シンボル**：選択したルート上にはない交通渋滞。

以下の交通量情報が表示されます。
– 緑色のライン：円滑に流れる交通状態
– 黄色のライン：動きの遅い交通状態
– オレンジ色のライン：のろのろ運転状態
– 赤色のライン：渋滞
– 濃い赤色のライン：渋滞および道路閉鎖状態

加えて、道路工事、事故、事故多発地点などに関する通知も表示されます。

### 交通渋滞の回避

ルート案内で交通渋滞を自動的に回避または表示することができます。

▸ ▸ ナビゲーション ▸ ▸ ルートオプション ▸ **ダイナミックリルート / 交通案内を表示**の順に有効にします。

道路交通案内は、ラジオ放送局またはオンライン コンテンツ プロバイダーから発信されます。そのため、この情報の完全性および正確性に関してポルシェでは責任を負いかねます。

## トリップ概要

**図 130：トリップ概要の情報**

ルート案内が作動中の場合、エリア **A** をタッチしてトリップ概要を開くことができます。以下の現在のルート計画に関する情報が表示されます。
– 到着時刻と目的地における充電状態 (**A** を参照)
– 交通渋滞などによる遅延。遅延の度合いも表示されます (**B** を参照)
– 経由地 (**C** を参照)
– 充電場所と充電時間[2] (**D** を参照)

以下の交通量情報が表示されます。
– 青色：円滑に流れる交通状態
– 黄色：流れの遅い交通状態
– 赤色：渋滞

### 追加情報の表示

▸ 地図またはトリップ概要で、たとえば、渋滞による遅延 (**B** を参照) を選択します。
セントラル ディスプレイの詳細表示エリアに、このメッセージに関する追加情報が表示されます。

## Charging Planner (一部の国で利用可能)

範囲外の目的地が入力された場合、サウンドと通知によりドライバーに知らせます。充電プランナーは、必要な充電ステーションを自動的にルートに追加します。運転時間と充電時間を考慮して、充電電力 50 kW 以上の充電ステーションを選択します。
代替ルートが選択されている場合、充電プランナーは自動的にルートの走行モード (NORMAL または RANGE) を調整し、対応する通知がモニターに表示されます。
▹ 「代替ルート」の章（185ページ）を参照してください。
充電ステーションと付随する充電時間がルート モニターに表示されます。
高電圧バッテリーは、最適な充電電力を得られるようあらかじめ調整されています。
充電プランナーは、ポルシェ コネクト アプリで表示することもでき、データは携帯電話から PCM に転送できます。
▹ 「ポルシェ コネクト」の章（220ページ）を参照してください。

1. 必要条件：データ接続が確立されている。ポルシェ コネクト サービスが有効になっている。
2. 必要条件：充電プランナーが有効であること (国によってはご利用いただけない場合があります)。

### 充電ステーションの詳細を表示する

▶ ▶ ナビゲーション ▶ ▶ ルートを編集

個別の充電ステーションに関する以下の詳細は常に更新されており、表示することができます：

– 充電ステーションの名前
– 充電ステーションに到着したときのバッテリーの充電状態
– 充電ステーションへの到着時間
– 充電ステーションまでの距離
– 充電時間
– 目的地に到着したときのバッテリーの充電状態

### 充電ステーションを手動で追加する

充電ステーションは、手動で経由地および最終目的地として追加できます。

▷ 「ツアーを計画する (経由地の入力)」の章（185ページ）を参照してください。

手動で追加された充電ステーションの充電期間が計算され、自動的に追加された充電ステーションが調整されます。高電圧バッテリーは、最適な充電電力を得られるようあらかじめ調整されています。

手動で追加された充電ステーションは、マップ ビューで青色のフラグで表示され、自動的に追加された充電ステーションは白色のフラグで表示されます。

### 充電プランナーを有効または無効にする

▶ ▶ ナビゲーション ▶ ▶ ルートオプション ▶ 充電プランナー

高電圧バッテリーは、最適な充電電力を得られるようあらかじめ調整されています。

### Porsche Intelligent Range Manager (PIRM) (装備により利用可能な場合があります)

✓ 充電プランナーが有効になっている。
✓ データ接続が確立されている。
✓ ポルシェ コネクト サービスで PIRM が有効になっている。

Porsche Intelligent Range Manager (PIRM) は、RANGE 走行モードに対応する充電プランナーの拡張版です。

RANGE 以外の走行モードでルート案内が選択されている場合、PIRM は RANGE 走行モードでのルートより速い代替ルートを検索します。 PIRM が適切なルートを見つけると、モニターにメッセージが表示されます。

RANGE 走行モードでのルートが選択されている場合、PIRM はそのルートに合わせて RANGE の設定を調整します。

**「PIRM による最適化を常に許可する」**オプションが作動している場合、PIRM は必要に応じて設定された制限速度を下回ることができ、目的地に確実に到達するため、または移動時間を短縮するため、エアコン コンフォートを低下させます。

設定は手動でも変更できます。

▷ 「RANGE 走行モードの設定」の章（281ページ）を参照してください。

## インストルメント クラスター上でのマップ ビューおよびナビゲーション情報の表示

インストルメント クラスターの操作に関する情報は、以下をご覧ください。

▷ 「インストルメント クラスターの操作」の章（50ページ）を参照してください。

### 地図画面の表示および設定

1. インストルメント クラスター (パワー メーター) 上でマップ ビューを選択します。
   ▷ 「チューブ 2 - パワー メーター」の章（46ページ）を参照してください。
2. マルチファンクション ステアリング ホイールから希望のビュー オプションを選択してください：

– **ズーム手動:**地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
– **自動ズーム**：地図の縮尺は自動調節されます。
– **3Dマップ**：立体地図が表示されます。
– **ノースアップ**：地図が北を上にした状態で表示されます。
– **マップ情報**：インストルメント クラスター上の車両＆情報表示でマップ ビューが選択されていない場合、地図はナビゲーション使用時に自動的に表示されます。
– **矢印情報**：インストルメント クラスター上の速度＆アシスト機能表示で**ナビゲーション** メニューが選択されて**いない**場合、メニューはナビゲーション使用時に自動的に表示されます。

### インストルメント クラスター上でのナビゲーション情報の表示

▶ インストルメント クラスター上の速度＆アシスト機能表示で**ナビゲーション** メニューを選択します。
▷ 「インストルメント クラスターの概要」の章（45ページ）を参照してください。

## ナビゲーション設定の変更

▶ ▶ ナビゲーション ▶ ▶ ナビ設定 ▶ 希望の設定を選択します。

# ETC (道路通行料自動収受システム) の使用

**図 131 : グローブ ボックス内の ETC カード リーダー**

## ETC カードの挿入および取り出し

1. 有効な ETC カードをカード リーダーにロックされるまで差し込んでください。
2. ETC カードを取り出すには、⏏ を押してください。

   ヘッダーに表示される ETC は、カードがないこと、またはカード エラーを示します。

## ETC 設定

✓ ETC カードが挿入されている

▸ **車両** ▸ **ETC** ▸ **支払い方法**

– **通行料通知**
– **料金案内音声**
– **ETCカード抜き忘れ警告**

# パンク

モデルと車両装備によっては、車両にタイヤ シーラント キット (Tire Mobility System –TMS) またはスペア タイヤが装備されている場合があります。

## タイヤ空気圧モニタリングの警告メッセージに対応する

タイヤ空気圧モニタリング システムが空気圧の著しい低下を検出した場合、インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。 空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- 適切な場所に停車し、該当するタイヤに損傷がないか点検してください。
- ▷ 「タイヤおよびホイール」の章（ 156ページ）を参照してください。

## 安全に駐車

1. 走行車線からできるだけ遠くに車両を停止します。 車両を滑り止めのしてある固い平面に駐車する必要があります。
2. ハザード ライトを ON にします。
3. パーキング ブレーキを掛けます。
4. フロント ホイールをまっすぐにします。
5. すべての乗員に車両を降りてもらいます。 降車時には交通状況に注意してください。
6. 適切な距離に停止表示板を設置します。
7. 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。

▷ 「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」の章（ 106ページ）を参照してください。

## 損傷したタイヤの補修

✓ タイヤ シーラント装備車 (Tire Mobility System – TMS)。

**⚠ 警告** 密閉されたタイヤは事故の原因となります

タイヤ シーラントで密閉された損傷タイヤは、不適切な速度で走行したり連続的な負荷がかかったりすると、圧力を失ったりバーストしたりする可能性があります。

- タイヤ シーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。
- タイヤ シーラントは 4 mm 以下の切り傷またはパンクにしか使用しません。
- リムが損傷している場合や、空気圧が低いタイヤや収縮したタイヤで走行した場合、絶対にタイヤ シーラントを使用しないでください。
- 外気温度が -20 °C 未満の場合は、タイヤ シーラントを使用しないでください。
- 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- 80 km/h を超える速度で走行しないでください。
- 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。 タイヤ空気圧が 1.5 bar (22 psi) 未満の場合は走行を中止してください。
- 密閉されたタイヤはできるだけ早く修理工場で交換してください。 タイヤ シーラントを使用したタイヤであることを修理工場に伝えてください。
- タイヤを修理**しないでください**。 損傷したタイヤは交換してください。
- タイヤ シーラントおよびコンプレッサーの各取扱説明書に記載されている安全と操作の指示を読み、それに従ってください。

パンクした場合、車両に備えられているタイヤ シーラントを使用してタイヤの傷を一時的にふさぐことができます。

**タイヤ シーラント セット (タイヤ モビリティ システム - TMS)** とそれに対応するコンプレッサーは、フロント ラゲッジ コンパートメントにあります。

▷ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（ 250ページ）を参照してください。

### サービス ステータス

サービス ステータスに関する詳細 (国別仕様による) :

▷ 「スマート サービス」の章（ 115ページ）を参照してください。

### タイヤ シーラント (Tire Mobility System – TMS) の充填

**⚠ 警告** 人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。 長時間または繰り返しの露出は、刺激、アレルギー反応、または臓器の損傷の原因となります。

- タイヤ シーラントを取り扱う際、火炎、裸火、喫煙は禁止されています。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- タイヤ シーラントが皮膚に付着したり目に入ったりしたときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- 体調不良やアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- タイヤ シーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。 無理に嘔吐しないでください。 直ちに医師の診察を受けてください。

**⚠ 警告** タイヤの空気圧低下が検出されない

パンク修理剤が付着したタイヤ空気圧センサーは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

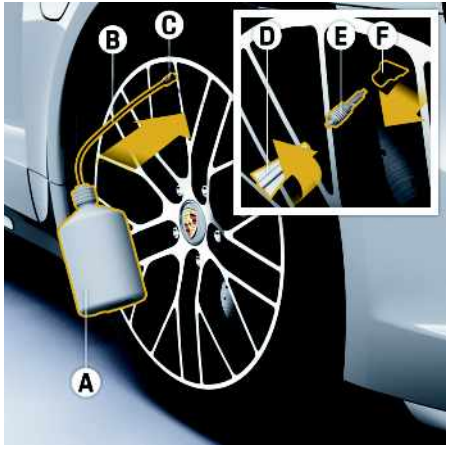



**図 132 : タイヤ シーラントの充填 (タイヤ モビリティ システム - TMS)**

A 充填ボトル
B 充填ホース
C 充填ホース プラグ
D バルブ回し
E バルブ インサート
F タイヤ バルブ

**充填作業の準備**

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. フロント ラゲッジ コンパートメントの左側のボックスからタイヤ シーラント (Tire Mobility System –TMS) と提供されたステッカーを取り外します。

▷ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（250 ページ）を参照してください。

3. 許容最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

**タイヤ シーラント (Tire Mobility System –TMS) の充填**

▷ タイヤ シーラント (タイヤ モビリティ システム - TMS) の取扱説明書に従ってください。

1. 充填ボトル A を振ってください。
2. 充填ホース B を充填ボトルに取り付けてください。
   充填ボトルが開いています。
3. タイヤ バルブ F からバルブ キャップを取り外してください。
4. バルブ回し D を使用して、バルブ インサート E をタイヤ バルブから取り外してください。
   交換用バルブ インサートが入手できない場合は、バルブ インサートを清潔で乾燥した場所に保管してください。
5. 充填ホース B のプラグ C を取り外してください。
6. 充填ホースをタイヤ バルブに押し付けてください。
7. 充填ボトルをタイヤ バルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
8. 充填ホースをタイヤ バルブから引き抜いてください。
9. 入手可能な場合は、バルブ回し D を使用して、交換用バルブ インサートまたはバルブ インサート E をタイヤ バルブに確実にねじ込んでください。

**タイヤ空気の充填**

▷ コンプレッサーの取扱説明書を読み、遵守してください。

1. フロント ラゲッジ コンパートメントの右側のボックスからコンプレッサーを取り外します。

▷ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（250 ページ）を参照してください。

2. コンプレッサーを車両のプラグ ソケットに接続し、圧力が 2.5 bar (36 psi) 以上になるまでタイヤに空気を入れてください。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤの損傷が大きすぎます。このようなタイヤで運転を続けないでください。
3. バルブ キャップをタイヤ バルブ F に取り付けてください。

**空気圧の点検**

▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar (22 psi) 以下の場合は、運転を中止してください。

▷ 「テクニカル データ」の章（306ページ）を参照してください。

**タイヤ交換**

▷ 「タイヤおよびリムの交換」の章（160ページ）を参照してください。

**ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリングのタイヤ設定を更新する**

▷ 「タイヤおよびホイール」の章（156ページ）を参照してください。

## スペア ホイールの使用

✓ スペア ホイール装備車。

**⚠ 警告** 車両操縦性の変化

スペア ホイールを装着すると車両の操縦性が損なわれる場合があります。

▶ スペア ホイールは緊急時に短距離を走行する場合にのみ使用してください。

安全のため、トレッドの溝にスリップ サイン (深さ 1.6 mm) が**現れる前に**タイヤを交換してください。

- ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) システムを絶対に解除しないでください。
- 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。

  スペア ホイールを装着すると車両の走行特性が大きく変化します。また、タイヤの摩耗を避けるためにも **80 km/h** の最高速度を厳守してください。
- 車種の異なるスペア ホイールを使用しないでください。
- この車両用のスペア ホイールを他車で使用しないでください。
- 同時に複数のスペア ホイールを使用しないでください。

---

コラプシブル スペア ホイールはトラックにあります。

▷ 「ホイール交換」の章（ 162ページ）を参照してください。

▷ 「タイヤ空気の充填」の章（ 158ページ）を参照してください。

### コラプシブル スペア ホイールの使用後は、

- スペア ホイールをトラックに再び収納して、運搬します。

### スペア ホイールが故障している場合、

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

# パークアシスト

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。 ドライバーは常に適切な注意を払う責任があります。 このシステムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

- 人や動物、障害物が操作エリア内にいないことを確認してください。
- 操作中、赤色部分に人または動物がいる場合は、車両を停止してください。

**⚠ 警告** センサーの検出範囲の制限

センサーは周辺状況を完全には監視できません。 このエリア内では、人、動物、障害物は検出されないか、限られた範囲でしか検出されない場合があります。 怪我や損傷の危険があります。

- 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

**⚠ 注意** 不利な環境条件

不利な環境条件の場合、システムは制限されるか、利用できません。そのため、けがや損傷の危険があります。

- 適切な環境条件でのみシステムを使用してください。
- 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビング スタイルで運転してください。

## システム制限

システムは以下の物体を検出できません。

- 音波を吸収する物体 (例 : 冬場の滑りやすい路面、粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など)。
- 音波を反射する物体 (例 : ガラス面や平らな塗装面など)。
- 非常に細い物体 (例 : 細い支柱など)。
- その他の超音波を発する機器 (例 : 他車のエア ブレーキ、掃除機、削岩機など) が障害物の検出に干渉する場合があります。
- 障害物がある、センサーやカメラが非常に汚れている、ほこり、汚れ、雪や氷などに覆われている場合など。

## 機能

ドライバーが駐車操作をしているとき、駐車アシストが車両と障害物の間の距離を視覚的および音響的に示します。
視覚的なパーキング エイドであるパークアシストがセントラル ディスプレイに表示されます。 車両前後の障害物が色別にフィールド表示されます。 このフィールドにより障害物の形や車両との距離が分かります。

### 距離の測定

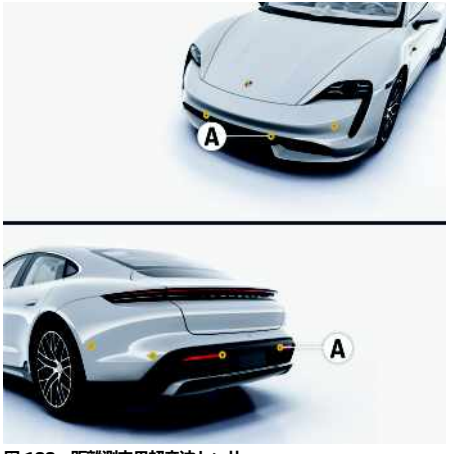



**図 133 : 距離測定用超音波センサー**

フロントおよびリヤ バンパーの超音波センサー **A** が障害物からの距離を測定します。 障害物を検出すると**警告音が断続的に**鳴ります。 障害物との距離が近づくにつれて警告音の断続間隔が短くなります。 障害物との距離が約 30 cm 以下になると、**警告音が連続**して鳴ります。
センサーの上および下にある障害物は検知できません。
警告音の音量はセントラル ディスプレイで設定できます。

▷ 「車両設定」の章（ 138ページ）を参照してください。

## パークアシストの作動

### 自動作動

✓ イグニッションが ON になっている。
✓ 車両速度が約 15 km/h 未満。

✓ リバース (後退) ギヤに入っている。
– または –
✓ 前方の距離が約 80 cm 以下。
– または –
✓ 車両の後退を検出している。

### 手動での作動

▸ ▸ アシスタンス ▸ パークアシスト

### セントラル ディスプレイに表示されます。

図 134 : パークアシストの表示

| 色 | フロント側の距離 | リヤ側の距離 |
|---|---|---|
| 白色 | 車両の経路にない障害物との距離 | |
| 橙色 | < 120 cm | < 180 cm |
| 赤色 | < 40 cm | < 40 cm |
| 赤色と連続音 | < 30 cm | < 30 cm |

| シンボル | 意味 |
|---|---|
| | 現在の駐車操作では、パークアシストを無効にします。 15 km/h の速度を超えるか、トランスミッション レンジ R を再度選択した場合、無効化はキャンセルされます。 |
| | オーディオ再生を OFF にします。 |

セントラル ディスプレイの操作に関する情報 :
▹ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章 (223ページ) を参照してください。

## パークアシストを無効にする

▸ セントラル ディスプレイで、 をタップします。
– または –
▸ トランスミッション レンジ P を選択します。

## パークアシストの設定

▸ ▸ アシスト ▸ ▸ アシスタンスシステム設定 ▸ パークアシスト

## リバース カメラ

### 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** ゆがんで映ることによる怪我の危険

カメラが映す物体はゆがんで見えます。リバース カメラ画像は車両の後方全体を映してはいません。

▸ 常に車両周囲全体の状況に十分注意を払ってください。
▸ 人や動物、障害物が操作エリア内にいないことを確認してください。

### システム制限

カメラがひどく汚れている場合、またはほこり、汚れ、雪、氷などで覆われている場合、このシステムは使用できないか、限られた範囲でのみ使用できます。

### 機能

リバース カメラは駐車操作時の車両後方エリアのモニタリングを容易にします。
リバース カメラ画像はセントラル ディスプレイに表示されます。

### リバース カメラの作動

#### 自動

✓ 作動待機が確立されており、トランスミッション レンジが R に入っている。
– または –
✓ 車両の後退を検出している。

#### 手動

▸ セントラル ディスプレイ : ▸ アシスタンス ▸ パークアシスト

### インフォメーション

カメラ画像に加え、リヤ カメラ ビューにはガイド ラインも重ねて表示されます。
これらのガイドラインは、現在の位置のステアリング ホイールで車両が進むことのできる方向を示しています。ガイドラインは前輪の位置の変更に応じて変わります。

### リバース カメラの自動停止

✓ 速度が 15 km/h を超過。

**手動**

- P ボタンを押してください。

### リバース カメラの清掃

- カメラ ディスプレイ上の車両後部にある ボタンを一度短くタップします。

### インフォメーション

- 汚れが激しい場合はウォッシャーを繰り返し作動させてください。
- 頑固な汚れ (昆虫の死骸など) は定期的に清掃してください。

## サラウンド ビュー (RTV)

### 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** ゆがんだ表示による怪我の危険

カメラが検出した物体はゆがんで見えます。 スクリーン ウィンドウの多くは、車両周囲全体を映してはいません。

- 常に車両周囲全体の状況に十分注意を払ってください。
- 人や動物、障害物が操作エリア内にいないことを確認してください。

### システム制限

カメラがひどく汚れている場合、またはほこり、汚れ、雪、氷などで覆われている場合、このシステムは使用できないか、限られた範囲でのみ使用できます。

### 機能

サラウンド ビューは車両を上方から見た映像で、車両周辺のエリアを映し出したものです。 複数のカメラで障害物や路面標識を、車両の正確な位置とともに検出します。 サラウンド ビューが作動しているときは、明るさを確保するためカーテシー ライトのスイッチが ON になります。

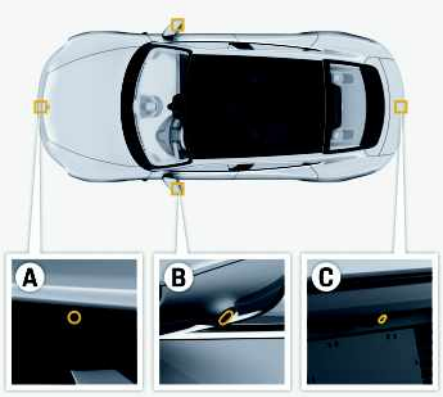



**図 135 : サラウンド ビュー カメラの位置**

A フロント バンパーのセンターにあるカメラ
B 両方のドア ミラーのカメラ
C リヤ リッドのライセンス プレート ライト間のカメラ。

### Surround View (サラウンド ビュー) を有効にする

**自動**

✓ パークアシストが作動している。

**手動**

1. ▸ アシスト ▸ パークアシスト
2. 希望するビューを選択します。

作動中のビューのシンボルが青色でハイライト表示されます。

| シンボル | 意味 |
|---|---|
| | **駐車場**<br>フロントまたはリヤ カメラ シンボルをタッチして、ビューを切り替えます。 |
| | **パノラマ**<br>フロントまたはリヤ カメラ シンボルをタッチして、ビューを切り替えます。 |
| | **サイド**<br>フロントまたはリヤ カメラ シンボルをタッチして、ビューを切り替えます。 |
| | **3D ビュー**<br>– サイド カメラ シンボルのいずれかをタッチして、視点を切り替えます。<br>– 画面下部にあるカメラ シンボルをタッチして、オールラウンド ビューを選択します。カメラ画像をスワイプして視点を 360° 回転させることができます。 |
| | リバース カメラを清掃します。 |

**インフォメーション**

カメラ画像に加え、フロントおよびリヤ カメラのビューにはガイドラインが重ねて表示されます。これらのガイドラインは、現在の位置のステアリング ホイールで車両が進むことのできる方向を示しています。 前輪の位置が変わると、ガイドラインも変わります。

### サラウンド ビューを無効にする

▶ パークアシストを無効にします。

# パーソナル設定

運転席ドアのメモリー ボタンを使って、手動で、人間工学に基づいた設定を保存して呼び出せます。 さらに、人間工学に基づく設定およびコンフォート設定を自動的に保存して呼び出す個別のアカウントをセントラル ディスプレイで登録できます。 どちらの機能も、お互いに独立して使用できます。

## パーソナル設定の保存と呼び出し

車両の電源を OFF にすると、その時点での設定が選択したアカウントに自動的に保存され、使用しているキーと関連付けられます。ドアのロックを解除したときに、その設定が自動的に読み込まれます。このプロセス中に、キーに関連付けられたアカウントが検出されます。複数の人が車両を使用する場合には、各自で別個にアカウントとキーを使用すると便利です。必要であれば、アカウントを手動で変更できます。

**人間工学に基づいた設定**の機能 :
シート、ドア ミラーおよびステアリング ホイールの設定。
さらに、運転席ドアのメモリー ボタンにより、人間工学に基づいた設定を 3 件まで手動で保存して呼び出せます。

**コンフォート設定**は、以下のものに適用されます (国によって異なります)。
人間工学、エアコン、ライト、視界、アシスタンス システム、インストルメント クラスターおよびインフォテインメントの設定。

### インフォメーション

一部の機能はカスタマイズできません (充電タイマー、タイムゾーン、予冷/予熱など)。

### 注意

シート、ドア ミラー、およびステアリング ホイールの自動設定の呼び出し

メモリー設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫される恐れがあります。

- お子様だけを車内に残さないでください。
- 必要なときにメモリー ボタン、シート調節ボタン、セントラル ディスプレイのいずれかを使って設定を変更すると、**人間工学に基づいた設定**の自動呼び出し機能が**キャンセル**されます。

## コンフォート設定の保存と読み込み

いろいろなオプションが利用できるため、ここに説明されている機能はすべてのモデル、国別仕様、および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。

### コンフォート設定の保存

- 車両を OFF にしてロックすると、以前に行った設定は**自動的に**アカウントに保存されます。
- 作動中のアカウントから別のアカウントに切り替えた場合、コンフォート設定は上書きされます。人間工学に基づいた設定は上書きされません。

### コンフォート設定の読み込み

1. ドアをロック解除します。
   アカウント設定が呼み込まれます。
   – または –
✓ 車両が停止している。
1. セントラル ディスプレイでアカウントを切り替えます。
2. すべての設定が適用されるまで待ちます。

## アカウントを管理する

セントラル ディスプレイで最大 7 つのアカウントを登録および管理できます。1 つのゲスト アカウントが利用可能です。これは削除できません。
ドライバーのパーソナル設定はアカウントに保存されます。
システムを初めて起動すると、**セットアップ ウィザード**がセントラル ディスプレイに表示されます。これにより、重要な構成手順が案内されます。最初のアカウントを正しく作成するために、**セットアップ ウィザード**を完全に実行することを推奨します。アカウントを設定して使用するには、Porsche ID (Porsche Connect ユーザー) が必要です。 220ページの 「ポルシェ コネクトの利用」の章を参照してください。
車両を ON にしたときに、セントラル ディスプレイを介していつでも登録済みアカウントを切り替えることができます。
キーを使用するとドライバーを自動的に検出します。キーは必ず作動中のアカウントに自動的に割り当てられます。

### インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細 (ヘルプ ビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、 www.porsche.com/connectをご覧ください。

### アカウントを管理する

アカウントはセントラル ディスプレイで管理できます。

▷ 「ポルシェ コネクトの利用」の章 ( 220ページ) を参照してください。

有効になった個人設定が現在のドライバーと一致しない場合、別の登録済みアカウントに切り替えることをお勧めします。ご自身のアカウントを使用することをお勧めします。必要であれば、新しいアカウントを作成して車両設定を調整できます。これにより、最初に

選択したアカウントの車両設定を不用意に調整することを避けることができます。

# 人間工学に基づいた設定の保存と呼び出し

## メモリー ボタンへの人間工学に基づいた設定の保存

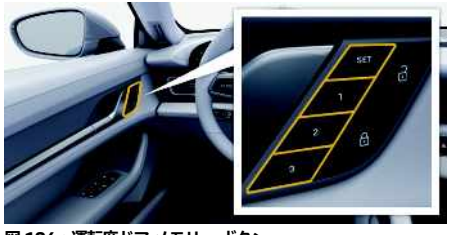



**図 136 : 運転席ドア メモリー ボタン**

1. SET ボタンを押してください。
   ボタンの表記が点灯します。
2. 該当するメモリー ボタン **1**、**2** または **3** を 10 秒以内に押してください。

設定が保存されます。
保存されると確認音が鳴り (運転席ドアのみ)、**設定**ボタンのライトが消灯します。

## メモリー ボタンによる人間工学に基づいた設定の呼び出し

1. すべての設定が呼び出されるまで該当するメモリー ボタン **1**、**2** または **3** を押し続けてください。
   **– または –**

✓ 車両が OFF になっています。
✓ 運転席ドアが開いています。

1. 該当するメモリー ボタン **1**、**2** または **3** を短く押してください。
   設定が自動的に呼び出されます。
2. すべての設定が適用されるまで待ちます。

**人間工学に基づいた設定の呼び出しの中止**

- ドアのいずれかのメモリー ボタンを押します。
  **– または –**
- シートのいずれかのコントロールを操作します。
  **– または –**
- セントラル ディスプレイで**シート調整をキャンセル**をタップします (リバース カメラなどの他の有効な機能によって異なり、常に使用できるとは限りません)。

# ヒューズ

**⚠ 警告** 短絡

車両のエレクトリカル システムの作業により、短絡が発生する場合があります。回路の短絡が原因で火災が発生する恐れがあります。

- 電気系統の作業を行うときは、必ず 12 V リチウム バッテリー マイナス ケーブルの端子を外してください。

▷ 「12 V バッテリー」の章（271ページ）を参照してください。

**⚠ 警告** 不適切な介入および不適切なアクセサリー

ヒューズ ボックスへの不適切な介入および不適切なアクセサリーの使用は、エレクトリカル システムおよび電子回路の損傷や故障の原因になります。

- ここに記載されているヒューズ以外のすべての電気部品 (リレーなど) については、交換しないでください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ポルシェによって認証されたアクセサリーのみを使用してください。 認証されたアクセサリーについての情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ヒューズの点検および交換

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各回路はヒューズで保護されています。
ヒューズ ボックスは、フットウェルおよび運転席側と助手席側のダッシュボード外側端部にあります。

装備仕様により、追加のヒューズ ボックスが車両内のさまざまな箇所にあります。これらの箇所には修理工場でのみアクセスできます。

### ヒューズ定格

| 色 | | 定格電流 |
|---|---|---|
| | 薄茶色 | 5 A |
| | 茶色 | 7.5 A |
| | 赤色 | 10 A |
| | 青色 | 15 A |
| | 黄色 | 20 A |
| | 白色 / 透明 | 25 A |
| | 緑色 | 30 A |
| | 青緑色 | 35 A |
| | 橙色 | 40 A |

### ヒューズの点検および交換

ヒューズ スロットの番号は、ヒューズ ホルダーに刻印されています。
割り当てられていないヒューズ スロットは、以下の概要に記載されていません。

1. 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品を OFF にしてください。
2. 該当するヒューズ ボックス カバーを開きます。
3. 必要に応じて、ヒューズ上の紫色のプラスチック ストリップを慎重に取り外します。
4. ヒューズを点検するため、プラスチック製ヒューズ リムーバー D を使用して、スロットから対応するヒューズを引き抜いてください。 切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。
5. 新しいヒューズを差し込んでください。 交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。
6. 紫色のプラスチック ストリップを元の位置に戻します。

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 左側ダッシュボードのヒューズ ボックスを開ける

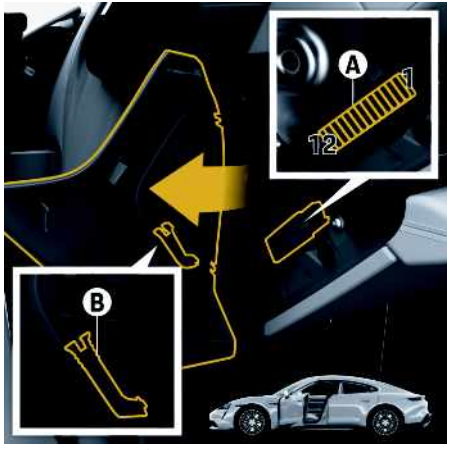



**図 137 : 左ヒューズ ボックス**

A 1~12 個のヒューズ (機器による)
B プラスチック製ヒューズ リムーバー

### 左ヒューズ ボックス

- カバーを下側から慎重にこじり外し、取り外します。

| No. | 負荷 |
|---|---|
| 2 | リヤ エアコン、リヤのシート ヒーター コントロール ユニット |
| 3 | エアコン コントロール ユニット |
| 5 | ステアリング コラム エレクトロニクス コントロール ユニット |
| 6 | ステアリング コラム調節用コントロール ユニット |
| 8 | インストルメント クラスター |
| 9 | カード リーダー ETC 料金システム (国別仕様による) : |
| 10 | デジタル / ストップウォッチ |
| 12 | ステアリング ホイール ヒーター |

## 右側ダッシュボードのヒューズ ボックスを開ける

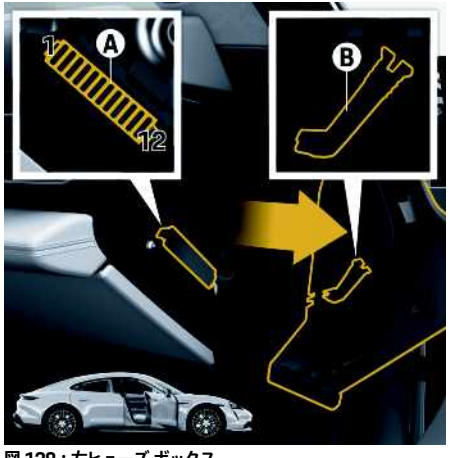



**図 138 : 右ヒューズ ボックス**

A 1~12 個のヒューズ (機器による)
B プラスチック製ヒューズ リムーバー

- カバーを下側から慎重にこじり外し、取り外します。

### 右ヒューズ ボックス

| No. | 負荷 |
|---|---|
| 1 | スマートフォン トレイ |
| 2 | PCM |
| 3 | セントラル ディスプレイ |
| 4 | セントラル ディスプレイ |
| 5 | オーディオ インターフェース |
| 6 | 外気ファン |
| 7 | PCM コントロール ユニット |
| 8 | ギヤ セレクター |
| 12 | 故障診断用ソケット |

# 左フットウェルのヒューズ ボックスを開く

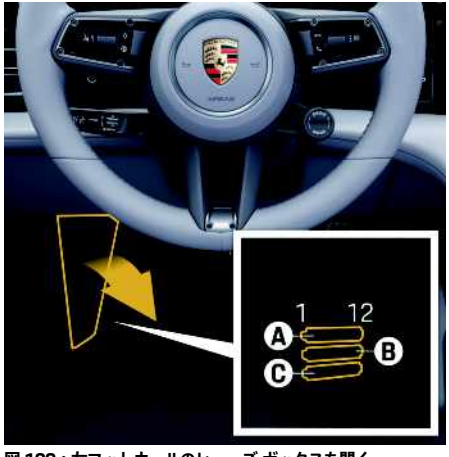



**図 139 : 左フットウェルのヒューズ ボックスを開く**

## A 列

| No. | 負荷 |
|---|---|
| 1 | ヒーター回路クーラント ポンプ |
| 2 | ヒーター回路クーラント ポンプ |
| 3 | 冷却回路リレー |
| 5 | BCM コントロール ユニット (左ハンドル車) |
| 6 | BCM コントロール ユニット (左ハンドル車) |
| 7 | ライト / レイン センサー |
| 8 | 無線制御パーキング コントロール ユニット (左ハンドル車)、充電ポート センサー (右ハンドル車) |
| 9 | オーバーヘッド コンソール |
| 10 | BCM コントロール ユニット (左ハンドル車) |
| 11 | ワイヤレス データ転送コントロール ユニット (左ハンドル車) |
| 12 | 通信ボックス |

## B 列

| No. | 負荷 |
|---|---|
| 1 | ドライバー アシスタンス システム コントロール ユニット |
| 2 | 左リヤ ドア コントロール ユニット |
| 3 | ヒーター回路コントロール ユニット (左ハンドル車)、充電ポート (右ハンドル車) |
| 4 | フロント ウィンドウ ワイパー (左ハンドル車) |
| 5 | PSM コントロール ユニット |
| 7 | シート ベルト、左フロント |
| 8 | BCM コントロール ユニット (左ハンドル車) |
| 9 | BCM コントロール ユニット (左ハンドル車) |
| 10 | 左ヘッドライト エレクトロニクス |
| 11 | 左フロント ドア コントロール ユニット |
| 12 | BCM コントロール ユニット (左ハンドル車) |

## C 列

| No. | 負荷 |
|---|---|
| 1 | ワイヤレス データ転送コントロール ユニット (左ハンドル車) |
| 3 | BCM コントロール ユニット (左ハンドル車) |
| 4 | 故障診断用ソケット (左ハンドル車) |
| 6 | 左フロント レーダー センサー コントロール ユニット |
| 7 | ブレーキ ブースター コントロール ユニット (左ハンドル車) |
| 8 | ルーム ミラー |
| 9 | 通信ボックス |
| 10 | 右電圧供給端子 15 (右ハンドル車) |
| 11 | リヤ電圧供給端子 15 (右ハンドル車) |

# 右フットウェルのヒューズ ボックスを開く

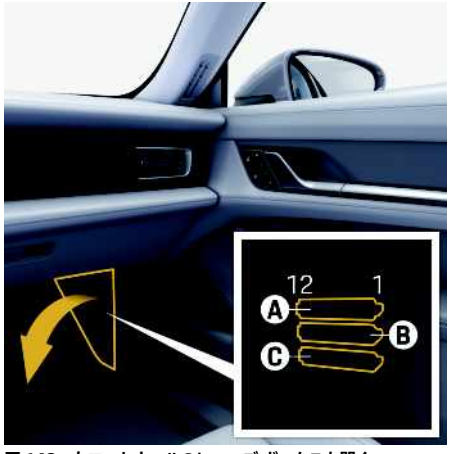



図 140 : 右フットウェルのヒューズ ボックスを開く

## A 列

| No. | 負荷 |
|---|---|
| 1 | BCM コントロール ユニット (右ハンドル車) |
| 3 | BCM コントロール ユニット (右ハンドル車) |
| 4 | フロント ウィンドウ ワイパー (右ハンドル車) |
| 5 | BCM コントロール ユニット (右ハンドル車) |
| 6 | 右リヤ ドア コントロール ユニット |
| 7 | アシスタンス システム コントロール ユニット |
| 8 | 右フロント ドア コントロール ユニット |
| 9 | エアバッグ コントロール ユニット |
| 10 | シート ベルト、右フロント |
| 11 | 充電ポート センサー (左ハンドル車)、無線制御パーキング コントロール ユニット (右ハンドル車) |
| 12 | BCM コントロール ユニット (右ハンドル車) |

## B 列

| No. | 負荷 |
|---|---|
| 1 | ゲートウェイ コントロール ユニット |
| 2 | ワイヤレス データ転送コントロール ユニット (右ハンドル車) |
| 3 | ヒーター回路コントロール ユニット (右ハンドル車)、充電ポート (左ハンドル車) |
| 4 | 右ヘッドライト エレクトロニクス |
| 5 | BCM コントロール ユニット (右ハンドル車) |
| 6 | BCM コントロール ユニット (右ハンドル車) |
| 7 | ナイト ビュー アシスト コントロール ユニット |
| 8 | ドライバー アシスタンス システムのフロントカメラ |
| 9 | フロント PDCC コントロール ユニット |
| 10 | ワイヤレス データ転送コントロール ユニット (右ハンドル車) |
| 11 | レーダー センサー コントロール ユニット、右フロント |

## C 列

| No. | 負荷 |
|---|---|
| 1 | 故障診断用ソケット (右ハンドル車) |
| 2 | ゲートウェイ コントロール ユニット |
| 3 | ブレーキ ブースター コントロール ユニット (右ハンドル車) |
| 4 | BCM コントロール ユニット (右ハンドル車) |
| 5 | フロント パルス制御式インバーター |
| 6 | イオナイザー |
| 7 | 電源供給左、端子 15 (左ハンドル車) |
| 8 | 電源供給リヤ、端子 15 (左ハンドル車) |
| 9 | DC/DC コンバーター |

| No. | 負荷 |
|---|---|
| 10 | 電動パワー ステアリング コントロール ユニット |
| 12 | アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) |

# ファンクション オンデマンド (FoD)

### ファンクション オンデマンド (FoD) の購入

✓ ポルシェ コネクト サービスおよび個々のサービスが、My Porsche で有効になっている。

1. ポルシェ コネクト ストアで目的の FoD サービスを購入します。

### インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細 (ヘルプ ビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、 www.porsche.com/connectをご覧ください。

### ファンクション オンデマンド (FoD) のダウンロード

FoD サービスはバックグラウンドで自動的にダウンロードされます。 すべての PCM 機能および車両機能は、ダウンロード中も完全に使用可能です。 ダウンロードは、車両を OFF にすると一時停止し、ON にすると自動的に再開されます。 ダウンロード時間は接続品質によって異なります。 ダウンロードの完了後、アクティベーションを開始できます。

✓ ポルシェ コネクト サービスおよび個々のサービスが、My Porsche で有効になっている。
✓ データ接続が正常に確立されている。
✓ プライベート モードが無効になっている。
  ▷ 「プライベート モードの有効化 (一部の国で利用可能)」の章（221ページ）を参照してください。

### ファンクション オンデマンド (FoD) のアクティベーション

購入後、メッセージが 1 回だけセントラル ディスプレイに表示され、PCM は毎回再起動します。 通知で、いつでもメッセージを表示でき、アクティベーションを開始できます。 アクティベーションを行う前に、故障診断用ソケットに外部デバイスが接続されていないことを確認してください。

▸ FoD サービスの詳細については、ホーム画面の **アップデート**をタップしてください。

**知識**

アクティベーション中の使用制限。

作動準備がブロックされています。 ディスプレイと車両機能 (コンフォート機能や盗難防止機能など) が一時的に無効になる場合があります。

▸ 車両を安全に駐車します。
▸ すべての乗員が降車するなど、セントラル ディスプレイの要求に従ってください。
▸ アクティベーション中は、車両を使用**しない**でください。
▸ 車両はアクティベーション後にのみ使用してください。

1 つのアクティベーション プロセスのみ開始できます。 このアクティベーション プロセスは**中断できません**。 アクティベーション時間は FoD サービスによって異なります。

✓ FoD サービスが正常にダウンロードされた。
✓ 車両が OFF になっている。
✓ パーキング ロックとパーキング ブレーキが作動している。
✓ バッテリーが十分に充電されている。
✓ さらなる条件が必要になる場合があります (ドアが閉まっている、車両がロックされている)。これらの条件はセントラル ディスプレイに表示されます。

### インフォメーション

アクティベーションを確定していない場合、または**後でインストールする**場合、アクティベーション時間は自動的に延期されます。

▸ **はい**を選択して、FoD サービスのアクティベーションを確定します。
  アクティベーションの進行状況がセントラル ディスプレイに表示されます。
  アクティベーションが正常に完了すると、1 回限りのメッセージがセントラル ディスプレイに表示されます。 車両は再び完全に使用できます。

### ファンクション オンデマンド (FoD) の無効化

✓ データ接続が正常に確立されている。
✓ ポルシェ コネクト サービスおよび個々のサービスが、My Porsche で有効になっている。
✓ FoD サービスを購入しており、車両で有効になっている。
✓ プライベート モードが無効になっている。
  ▷ 「プライベート モードの有効化 (一部の国で利用可能)」の章（221ページ）を参照してください。

1. My Porsche で目的の FoD サービスを無効にします。
   無効化が完了すると、1 回限りのメッセージがセントラル ディスプレイに表示されます。 FoD サービスに関する通知も表示されます。
2. 通知またはセントラル ディスプレイの通知から FoD サービスを無効にします (メイン メニューの )。

### ファンクション オンデマンド (FoD) のアクティベーションの失敗

アクティベーション中に故障が発生する場合があります。 故障が発生した場合は、以下の手順を実施してください。

1. 車両を OFF にしてロックします。
   10 分間待ちます。
2. 車両の電源を ON にします。
3. アクティベーションを再開します。
   すべての条件を満たす必要があります。

故障が引き続き発生する場合： 取扱説明書 (別冊) の「警告および情報メッセージ」の章をご覧ください.
発生した故障の重大度とその結果は、セントラル ディスプレイに表示されます。

**知識**

アップデートの失敗による損傷と使用制限。

発生した故障の重大度によっては、車両の作動準備がブロックされる場合があります。 表示および車両機能が正常に動作しません。

- 車両の作動準備が整っている場合：道路状況に合わせた運転を心がけてください。
- 車両の運転準備が整っていない場合：ロードサイド アシスタンス サービスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。
- ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

# ブレーキ

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** ペダル操作の妨げ

不適切なフロア マットや正しく固定されていないフロア マットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。 アクセル ペダルが不意に踏み込まれたり、ブレーキ ペダル操作の妨げとなったりする場合があります。 これにより、予期しない加速が起こったり、ブレーキ操作が難しくなったりすることがあります。

- 車両に適切なフロア マットのみを使用してください。
- フロア マットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- いくつものフロア マットを重ねて敷かないでください。
- 清掃などのためにフロア マットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

**⚠ 警告** ブレーキ ブースターの停止

ブレーキ ブースターは、エンジンが作動している間のみ作動準備状態になります。 このため、エンジンがOFF の場合、またはブレーキ ブースターが故障している場合には、制動の際にペダルをより強く踏み込む必要があります。

- ブレーキが故障した車両は、決してけん引しないでください。

**⚠ 警告** ブレーキ ディスクの水膜

大雨の中で水たまりや浅瀬を走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキの反応が遅れたり、ペダルを踏み込む時に普通以上に力が必要になったりすることがあります。

- 洗車後にはブレーキを点検してください。
- そのため、前走車との車間距離を十分に確保しながら、断続的にブレーキをかけてブレーキを「乾燥」させます。 後続の車両に影響を与えないように注意してください。

**⚠ 警告** ブレーキ性能の低下

凍結防止剤 (塩分) が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長時間にわたって走行すると、ブレーキ ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。
車両を長期にわたり駐車した場合、ブレーキ ディスクの腐食は避けられません。 その結果、ブレーキに「ジャダー」が発生しやすくなります。

- ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキ フルードとブレーキ フルード レベルの点検に関する情報：

▷ 「ブレーキ フルード」の章（207ページ）を参照してください。

## 作動原理

### ブレーキの慣らしおよび清掃

車両には、制動エネルギーの一部を高電圧バッテリーに戻す制動回生システムが搭載されています。 ホイール ブレーキを慣らすために、新車やブレーキ パッドの交換後は回生システムが一時的に無効になり、これにより走行可能距離が短くなります。 回生システムは、ブレーキの清掃をアシストするために、6 時間以上の停止後、しばらくの間作動しなくなります。 回生システムは、その後自動で再起動します。

### ブレーキ パッドとブレーキ ディスク

ブレーキ パッドやブレーキ ディスクなどのブレーキ システム関連部品の摩耗は、運転スタイルや使用状況によって異なるため、必ずしも実際の走行距離で表すことはできません。
特定の速度、制動力、車両を取り巻く環境 (気温、湿度など) によってブレーキから異音が発生することがあります。
ポルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。 サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

- 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

### ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB)

高性能ブレーキ システムは、すべての速度域および温度下で最大の制動効果が得られるように設計されています。
特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境 (気温、湿度など) によってブレーキから異音が発生することがあります。
ブレーキ パッドやブレーキ ディスクなどのブレーキ システムおよび関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方や使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

### ポルシェ サーフェス コーテッド ブレーキ (PSCB)

PSCB ブレーキのブレーキ ディスク摩擦面は特徴的な外見で、標準的なブレーキ ディスクとはまったく異なります。 車両が通常の交通状況で一般的な方法で運転されている場合は、細かいひびで覆われた光るクロムのような摩擦面が現れます。 このように車両を運転す

ると、摩耗、亀裂、光沢のある銀色の摩擦面の黒ずみが増加します。 これらの外見の変化によってブレーキ機能が影響を受けることはなく、数千キロ走行した後で一部軽減します。
ブレーキ ディスクがハード コーディングされているため、PSCB の慣らし期間をより長く見積もる必要があります。その間、技術的には問題のない摩擦音が発生する可能性があります。

### サービス ステータス

サービス ステータスに関する詳細情報 (国別仕様による) :

▷ 「スマート サービス」の章（ 115ページ）を参照してください。

## 緊急ブレーキ機能の作動

**⚠ 警告** 急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。 周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失ったりする恐れがあります。

- 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用してください。
- 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

---

ブレーキが作動しない場合は、エレクトリック パーキング ブレーキを使用してブレーキをかけ、車両を停車させることができます。

- **P** ボタンを長押しします。
  ブレーキ警告灯 (!) が点滅し始めます。

緊急ブレーキ機能を解除するには :

- **P** ボタンを放します。

## 警告メッセージへの対応

### ブレーキ パッドの摩耗限界

ブレーキ パッドが摩耗限界に達した場合、インストルメント クラスターに警告マークが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（ 84ページ）を参照してください。

- 直ちにブレーキ パッドを交換してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

# ブレーキ フルード

## 警告メッセージへの対応

ブレーキ フルード レベルが少なすぎる場合、インストルメント クラスターに警告灯 (!) と警告メッセージが表示されます。警告灯が点灯した場合、ペダルの可動域が大きくなり、ブレーキ システムの故障を示す可能性があります。

- 直ちに安全な場所に停車し、運転を中止してください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（50ページ）を参照してください。

## ブレーキ フルード レベルの点検

**図 141：ブレーキ液タンク**

1. フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチック カバーを取り外します。
   ▷ 「フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチック カバーの取り付けと取り外し」の章（252ページ）を参照してください。
2. ブレーキ液タンクのブレーキ フルード レベルを読み取ります。 フルード レベルは必ず **MIN** と **MAX** マークの間でなければなりません。
   ブレーキ フルードが **MIN** マークより下にある場合は、ブレーキ フルードを補充してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
3. フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチック カバーを取り付けます。
   ▷ 「フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチック カバーの取り付けと取り外し」の章（252ページ）を参照してください。

## ブレーキ フルードの交換

ブレーキ フルードの定期的な点検および交換は、メンテナンスの一部です。

- ご自身ではブレーキ フルードを交換**しない**でください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 「サーキット走行」の章（16ページ）を参照してください。

### サービス ステータス

サービス ステータスに関する詳細については、以下をご覧ください (国別仕様による)。

▷ 「スマート サービス」の章（115ページ）を参照してください。

# フロント ウィンドウ ワイパー

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** ワイパーの不意な作動

レイン センサー モードでは、フロント ウィンドウで水分が検出されるとフロント ウィンドウ ワイパーが自動的に作動します。

- 必ずフロント ワイパーを OFF にしてからフロント ウィンドウを清掃してください。

**知識**

ラゲッジ コンパートメント リッド、フロント ウィンドウおよびワイパー システムを損傷する恐れがあります。

- フロント ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ワイパー ブレードが凍結した場合は、走行前に慎重にフロント ウィンドウから剥がしてください。
- (レイン センサー機能により) 不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロント ワイパーを OFF にしてください。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

## 各操作部

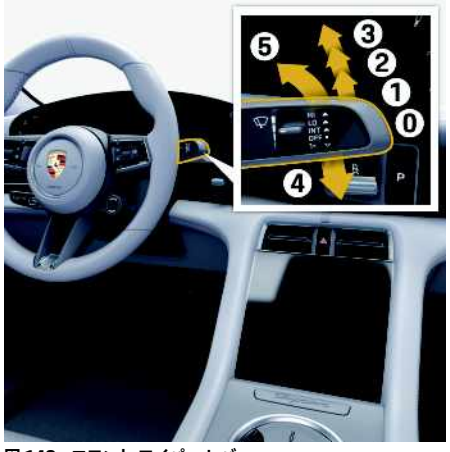



**図 142 : フロント ワイパー レバー**

0 フロント ワイパー OFF
1 レイン センサー作動
2 ワイパーのスロー作動
3 ワイパーの速い作動
4 ワイパーのワンタッチ機能
5 ワイパー & ウォッシャー作動

## レイン センサーの作動を ON にする

レイン センサー モードでは、フロント ウィンドウ上で測定された雨水の量に応じてフロント ウィンドウ ワイパーの速度が設定されます。

- ワイパー レバーを押し上げて、1 番目の位置 (位置 1) にします。
  レイン センサーが作動中です。

### レイン センサーの感度を調整する

4 段階で感度を調整して、次にワイパーが作動を開始する基準となるフロント ウィンドウ上の雨水の量を指定できます。

**図 143 : レイン センサー / 間欠作動の切り替えスイッチ**

**高感度 (高頻度でのワイパー作動)**

- スイッチ (A) を**上方向**に操作してください。
  フロント ワイパーが 1 回ワイプ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

**低感度 (低頻度でのワイパー操作)**

- スイッチ (A) を**下方向**に押してください。

## ワイパーの連続作動を ON にする

**ワイパーのスロー作動**

- ワイパー レバーを 2 番目の位置 (位置 2) まで上方向に動かします。

**ワイパーの高速作動**

- ワイパー レバーを 3 番目の位置 (位置 3) まで上方向に動かします。

## ワイパーのワンタッチ機能

**1 回だけのワイパー作動**

- ワイパー レバーを下方向に短く押します (位置 **4**)。

**複数回のワイパー作動**

- ワイパー レバーを下方向に長押しします (位置 **4**)。

## スプレーおよびワイパー作動

- ワイパー レバーをステアリング ホイール (**5**) に向かって引きます。
  ワイパー レバーを保持している間、スプレー ノズルおよびフロント ウィンドウ ワイパーが作動します。
  ワイパー レバーを放した後、フロント ウィンドウ ワイパーは数回作動します。 繰り返し作動させると、ナイト ビュー アシスト カメラは自動的に清掃されます。

## フロント ワイパーを OFF にする

- ワイパー レバーを **0** の位置に動かします。

### インフォメーション

フロント ウィンドウ ワイパーまたは作動待機が OFF の場合、ワイパーの端が正しい位置に調整されるように、ワイパーがレスト ポジションから少し持ち上がります。

## ワイパー ブレードの交換

**注意** 正しく取り付けられていないワイパー ブレード

適切に交換しない場合、正しく取り付けられていないワイパー ブレードが走行時にゆるむ可能性があります。

- ワイパー ブレードはワイパー アームに適切に装着する必要があります。
- ワイパー ブレードが確実に取り付けられていることを確認します。

**知識**

ワイパー アームが誤ってフロント ウィンドウに勢いをつけて戻ると、フロント ウィンドウが損傷することがあります。

- ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー アームをしっかりと保持してください。

ワイパー ブレードが完全な状態になっていて、明瞭な視界が確保できるようになっていることは重要です。ワイパーブレードは年に 2 回 (寒い季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

### フロント ワイパー ブレードの交換

ワイパー ブレードを交換したり、その下に氷や太陽から保護カバーを取り付けたりするには、フロント ワイパーを展開する必要があります。

**フロント ワイパーの展開**

✓ 作動準備を OFF にします。

1. ワイパー レバーを**下方向**に 1 回押してください (位置 **4**)。
   フロント ワイパーが上方に約 90° 移動します。
2. メーカーの取扱説明書 (別冊) に従い、ワイパー ブレードを交換してください。
   **ワイパー ブレードの長さが異なるので注意してください。**

**フロント ワイパーの格納**

✓ 作動準備を ON にします。

- ワイパー レバーを**下方向**に 2 秒以上押してください (位置 **4**)。
  ワイパー アームが初期位置に移動します。

### インフォメーション

この作業は、必要であればポルシェ正規販売店にご依頼ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### サービス ステータス

サービス ステータスに関する詳細 (国別仕様による) :

▷ 「スマート サービス」の章 ( 115ページ) を参照してください。

## リバース カメラの清掃

▷ 「パークアシスト」の章 ( 192ページ) を参照してください。

## 追加情報

### 作動待機が確立されたときのワイパーの動作

– ワイパー レバーが 1 の位置にある場合、4 km/h を超えると、レイン センサーが作動します。
– ワイパー レバーが 2 または 3 の位置にある場合、ワイパー レバーを操作するまで、フロント ワイパーは OFF のままです。

これにより、たとえばフロント ウィンドウが氷で覆われている場合に、作動待機が確立されるとすぐにフロント ウィンドウ ワイパーが作動するのを防ぎます。

### 速度が変化したときのワイパーの動作

✓ ワイパー レバーが 2 または 3 の位置にある。

– 速度が 4 km/h を下回ると、ワイパーはレイン センサー作動に切り替わります。
– 速度が 12 km/h を上回ると、ワイパーは選択した設定に切り替わります。

適用例: 信号でブレーキをかけると、ワイパーはレインセンサー作動に切り替わります。 加速し、12 km/h を超えると、ワイパーは選択した設定に切り替わります。

### インフォメーション

ボンネットが開くと、ワイパーは停止します。

- 再度フロント ワイパーを ON にするには、フロント ワイパー レバーを上方向/下方向に動かしてください。

# ヘッドアップ ディスプレイ

**図 144 : ヘッドアップ ディスプレイ エリア**

**A** メイン表示エリア
**B** ステータス エリア
**C** 一時的なコンテンツ

ヘッドアップ ディスプレイ (HUD) は、重要なメッセージや選別された情報をフロント ウィンドウのドライバーが見える場所に投影します。 これにより、ドライバーは道路から目を離すことなく、情報 (速度、トランスミッション レンジ、ナビゲーションなど) を読み取ることができます。 これらはカスタマイズできます。

ヘッドアップ ディスプレイは 3 つのエリアに分かれています。

- メイン表示エリア。 ドライバーは 3 つのビューから選択できます。
  - ナビゲーション
  - パワー メーター
  - カスタマイズ
- 現在の速度やドライバー アシスタンス システムのシンボルなどを表示するステータス エリア。
- 一時的なコンテンツ (通話 / ボイス コントロールなど) を表示するエリア。

ヘッドアップ ディスプレイは、インストルメント クラスターの補助ディスプレイです。

**知識**

ガラス カバーの傷により損傷する恐れがあります。

- ヘッドアップ ディスプレイのガラス カバーの上に物を置かないでください。

### インフォメーション

ヘッドアップ ディスプレイに表示された情報のドライバー ビューは、以下の要因に影響されます。

- 特定の偏光フィルター付きサングラス。
- 濡れた路面。
- 望ましくない照明条件。
- ガラス カバー上の荷物。
- ヘッドアップ ディスプレイが適切な位置にセットされ、高さが正しく調節されていることを確認してください。

## ヘッドアップ ディスプレイの調節

ヘッドアップ ディスプレイの投影の表示位置は、ドライバーの身長とシート位置に適合させることができます。 投影の ON/OFF はセントラル ディスプレイを使用して切り替えることができます。

- **▸ 設定 ▸ 表示 ▸ ヘッドアップ ディスプレイ**

# ボイス コントロール

## ボイス コントロールの概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

Porsche Communication Management (PCM) の操作に関する情報は、以下をご覧ください。

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（223ページ）を参照してください。

**図 145：ボイス コントロールの使用**

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| **ボイス コントロールの起動** | ▸ ステアリング ホイールの ボタンを押します。信号音が鳴り、対応するウィンドウ (**A** を参照) がセントラル ディスプレイに表示されます。 | ▷ p. 212 |
| **ボイス コントロール設定の表示** | ▸ セントラル ディスプレイで (**B** を参照) をタップします。 | ▷ p. 214 |

いろいろなオプションが利用できるため、ここに説明されている機能はすべてのモデル、国別仕様、および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。

**⚠ 警告** 正常に機能しない音声認識

声はストレスの多い状況で変化することがあります。そのため特定の状況下では、電話接続の要求が認識できずに失敗したり、接続に時間を要したりする場合があります。

- 緊急時はボイス コントロールを使用しないでください。
- セントラル ディスプレイを使用して緊急電話番号を入力してください。

ボイス コントロール システムはドライバーの指示を聞き取って、車両機能の利用や運転中のさまざまな操作をアシストします。

ボイス コントロール システムは頼りになるパートナーであり、インタラクティブにご利用いただけます。 ボイス コントロール システムは、音声入力に対して反応し、提案を行い、ドライバーからの質問に応じて検索を実行し、さらに環境データを取り込みます。

選択したプレクーリング / ヒーティング機能、人間工学に基づいた機能、メディア機能、ナビゲーション機能、電話機能を、簡単な音声コマンドによって手軽に利用できます。

ボイス コントロールではヘルプを利用できます。

## ボイス コントロールの使用

✓ 車両の作動準備が整っている。

✓ 通話中ではない。

✓ パーキング エイドが作動していない。

### ステアリング ホイールでボイス コントロールを開始する

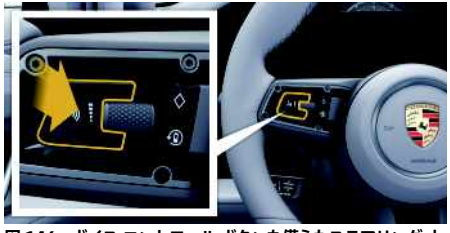


**図 146 : ボイス コントロール ボタンを備えたステアリング ホイール**

1. ステアリング ホイールの ボタンを押します。
   信号音が鳴り、対応するウィンドウがセントラル ディスプレイに表示されます。
2. ボイス コマンドを発話してください。

### セントラル ディスプレイでボイス コントロールを開始する

1. セントラル ディスプレイ の ▸ をタップします。
   入力リクエストの音が鳴り、対応するウィンドウがセントラル ディスプレイに表示されます。
2. ボイス コマンドを発話してください。

検索結果は、現在選択されているクイック フィルター バーのみに限定されます。たとえば、クイック フィルター バー **メディア** が選択されている場合、このクイック フィルター バーの検索結果のみが表示されます。

### 「ヘイ、ポルシェ」と発話してボイス コントロールを開始する

✓ 「ヘイ、ポルシェ」が作動した :

1. ▸ **設定** ▸ **ボイス コントロール** ▸ **「ヘイ、ポルシェ」と発話して作動させる**
2. 「ヘイ、ポルシェ」と言って、目的の音声コマンドを発話します。

### ボイス コントロールの一時停止

✓ ボイス コントロールが作動していて、ボイス コマンドを待機している。

▸ セントラル ディスプレイ の をタップします。
会話が一時停止し、もう一度タップすると再開できます。

### ボイス コントロールの終了

✓ ボイス コントロールが作動していて、ボイス コマンドを待機している。

▸ ステアリング ホイールの ボタンを押します。
**– または –**
**中断**と発話します。
終了音が鳴ります。

### ボタンによるボイス コントロールの中断

ボイス コントロールの音声出力は、会話中に中断される場合があります。

▸ ステアリング ホイールの ボタンを短く押します。

### 音声入力によるボイス コマンドの中断

ボイス コントロールのボイス コマンドは、他の音声コマンドを発話したり、音声コマンドをすぐに実行したりするなどして、会話中でも中断できます。 セントラル ディスプレイの機能を次のように有効にします :

▸ ▸ **設定** ▸ **ボイスコントロール** ▸ **ボイスコントロールを中断する**をタップします。

### 外部ボイス コントロール (Siri など) の始動

▹ 「Apple CarPlay」の章（276ページ）を参照してください。

1. ステアリング ホイールの ボタンを長押しします。
2. 希望のボイス コマンドを発話します。

### 外部ボイス コントロール (Siri など) の終了

▹ 「Apple CarPlay」の章（276ページ）を参照してください。

▸ ステアリング ホイールの ボタンを押します。
終了音が鳴ります。

### ボイス コントロールを使用するコミュニケーション時の注意

ボイス コントロールを使用する際は、以下の点を遵守してください。

– 普通の声量で、はっきりと発話してください。
– 発話中に長い間を置かず、むらなくボイス コマンドを強調してください。
– ドア、ウィンドウ、スライディング ルーフなどを閉じることによる、混乱の原因となる雑音を少なくしてください。
– ボイス コントロールはドライバーのために最適化されています。

## 自然な音声コマンドを使用する

ボイス コントロール システムは、自然な音声コマンドを使用して操作でき、さまざまな種類の発話コマンドに対応します。

– 「エアコンを 22 °C に設定して」、「指圧マッサージを ON にして」、「ロンドンのパーラメント ストリートまで連れて行って」など、自然な会話による指示を使用できます。
– 「寒い」、「充電ステーションに行きたい」など、自分が希望することを伝えることができます。

– 「高速道路を避ける」、「ここに駐車したい」など、状況に関連する音声コマンドを使用できます。
– 「バッテリーの充電レベルは?」、「ロンドンの天気はどう?」など、情報を求めることができます。
– 「メディア エリアでは何ができるの?」、「音声認識ってどういう仕組み?」など、一般的な質問をして検索することができます。
– 「マップを表示したい」、「連絡先を表示して」など、主要な機能を使用することができます。
– マップを使った目的地設定: 希望する目的地を長押しして、「ヘイ、ポルシェ、ここに連れて行って」と言います。

### 一般ボイス コマンド

以下の音声コマンドは会話中にいつでも発話することが可能です。
– 訂正
– 一時停止
– 中断
– ヘルプ

## ボイス コントロールによるリストの使用

### リストをブラウズする

✓ ボイス コントロールが作動している。
▸ **次のページ/前のページ**と発話します。

### リストから項目を選択する

セントラル ディスプレイに青色で表示されている行番号とリスト項目は、発話により選択できます。
✓ ボイス コントロールが作動している。
▸ **1 行目**と発話します。
**– または –**
リスト項目を発話します。

## コマンドの例

以下のリストでは、ボイス コントロール システムが対応可能な自然な音声コマンドと指示の一部のみを示しています。
適切なデータ接続を確保することで、検索結果が改善され、所要時間が短縮されます。

### エアコン システム/コンフォート機能

– シート ヒーターをレベル 2 に設定して
– フロント ウィンドウが曇っている
– マッサージをして欲しい
– アンビエント ライトを赤に変更して

### ナビゲーション/運転中/ファインダー

– ポルシェ ミュージアムに連れて行って
– 充電が必要になるのはいつ頃?
– 地図に情報を表示しましょうか: セントラル ディスプレイで地図上の目的地を選択します。
– ルート沿い/目的地のレストランを探す
– どれくらい時間がかかる?
– ここに駐車したい
– 職場まで連れて行って
– 私は最近どこまで運転した?

### メディア

– Porsche Sounds で「Get a Life (例)」を再生して
– 別の楽曲
– 今聴いているのは何の曲?
– 音楽を検索したい
– Apple Music で Nelly Furtado を再生
– クラシック FM を再生
– 1 トラックをスキップ
– 別のソースを選択したい

### 電話

✓ 通話中ではない。
– John Doe に電話して
– 020 911 (例) をダイヤル
– Andrew Forbes に電話をかけ直して
– 通話履歴を見せて
– 新しい電話を接続したい

### 過去の会話に対応する

✓ ボイス コントロールが作動している。
その他の音声コマンドを使用して、メイン機能 (電話など) の過去の会話に対応することができます。
– John Doe にもう一度電話して

## ボイス コントロールのヘルプ

システムはさまざまな方法でのアシストが可能で、質問をしたり、特定の問題について報告したりすることができます。
– (一般的な) ヘルプが必要
– ボイス コントロールの仕組み
– ナビゲーション エリアで行える操作
– 何ができるか

## ボイス コントロール設定の変更

▸ ▸ **設定** ▸ **ボイス コントロール** ▸ 希望の設定を選択します。

## オンライン モード

✓ クラウドへのデータ転送が許可されている。
✓ データ接続が十分である。
✓ ボイス コントロールが作動している。
オンライン モードでは、オンライン検索など、ボイス コントロール機能の全範囲にアクセスできます。
オンライン モードになっている場合、セントラル ディスプレイに シンボルが表示されます。
データ接続が不十分な場合、PCM は自動的にオフライン モードに切り替えます。 オフライン モードでは、一部のボイス コントロール機能を限られた範囲でのみ使用できます。

ボイス コントロールがオフライン モードになっている場合、セントラル ディスプレイに シンボルが表示されます。

# ホーム画面およびマイ スクリーン

## ホーム画面の設定

1. ▸ ▸ **並べ替えを変更する**
2. 希望するタイルを選択して、ドラッグ & ドロップで任意の場所に移動します。
3. **確定**をタッチします。

主なアプリ (**ナビゲーション**、**メディア**、**電話**、**設定**、および **Apple CarPlay**) は移動できません。

## 個人画面の設定

**図 147 : MyScreen の領域**

ホーム画面の 2 ページ目 (MyScreen) のさまざまな領域をカスタマイズできます。

1. ホーム画面 で左にスワイプします。
   MyScreen が表示されます。
2. ▸ **MyScreen の設定**
3. 希望するカテゴリーを選択し、ドラッグ & ドロップで任意の領域に移動します (**A**、**B**、**C** を参照)。
4. タイルは別のタイルと交換することで削除できます。

Porsche Communication Management (PCM) の操作に関する情報は、以下をご覧ください。

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（223ページ）を参照してください。

# ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

## 一般的な安全に関する指示

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▹ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

## 作動原理

PASM システムは、シャーシ ダイナミクスを能動的に調整します。 車両には、次のいずれかのバージョンが装備されている場合があります。

– スチール サスペンションを備えた PASM。
– 選択可能なエア サスペンションとレベリング システムを備えた PASM

アジャスタブル シャーシ システムは、路面状況などに基づき、各ホイールの減衰力を適切な力に調整します。

シャーシには 3 種類の設定があり、ボタン操作で切り替えることができます。

– **標準**：快適に走行できる設定
– **スポーツ**：スポーティーに走行できる設定
– **スポーツ プラス**：サーキットでの走行などに適した、非常にスポーティーなショック アブソーバー設定。

### 選択可能なエア サスペンションとレベリング システムを備えた PASM

エア サスペンションを備えたレベリング システムは、負荷変動を自動的に均等化し、一定の車高を保ちます。 次のシャーシ高を選択できます。

**標準**

– 「標準」および「スポーツ」シャーシ設定における標準の高さ
– 「スポーツ プラス」シャーシ設定の場合、高さを手動で選択可能

**リフト**

– 「標準」の高さと比べて地上高が約 20 mm 高い。
– 速度が約 30 km/h 以下の場合に選択可能で、この速度を超えると自動的に解除される。
– 障害物の上を走行する場合に使用。

**ロア**

– 「標準」の高さと比べて地上高が約 10 mm 低い。
– 手動で選択可能。

**低**

– 「標準」の高さと比べて地上高が約 22 mm 低い。
– スポーティーな走行に使用。
– 手動で選択可能。
– 「スポーツ プラス」シャーシ設定または RANGE 走行モードが有効な場合、自動的に選択される。

RANGE 走行モードが有効な場合、レンジ走行に最適なシャーシ設定が選択され、高さは「低」に設定されます。 RANGE 走行モードでは、シャーシ設定選択がロックされます。

## シャーシ設定の選択

### ボタンを使用したシャーシ設定の選択

**図 148 : PASM ボタン**

✓ 作動準備が整っています。
▸ ボタンを (繰り返し) 押します。

### セントラル ディスプレイでのシャーシ設定の選択

✓ 作動準備が整っています。

▸ ▸ 走行 ▸ シャーシ

最後に選択されたシャーシ設定がインストルメント クラスターに表示されます。車両の作動準備が整っていない状態でも有効のままです。

| 表示 | シャーシ設定 |
|---|---|
| なし | ノーマル |
| SPORT | スポーツ |
| SPORT PLUS | Sport Plus |

## シャーシ高の選択

✓ エア サスペンションおよびレベリング システム付きポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

### セントラル ディスプレイでのシャーシ高の選択

✓ 作動準備が整っています。

▸ ▸ 走行 ▸ シャーシ高

### ボタンを用いたシャーシ高「リフト」の選択

シャーシ高「リフト」は、インストルメント クラスターのボタンを用いて選択できる高さで、選択すると地上高を迅速に高くすることができます。

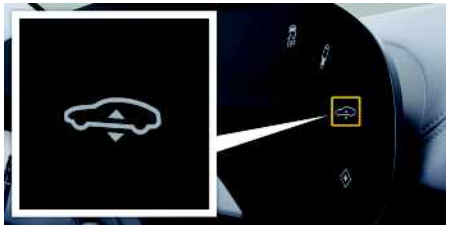


**図 149 : リフト ボタン**

✓ 作動準備が整っています。
▸ ボタンを押してください。

### 選択されたシャーシ設定がインストルメント クラスターに表示されます

最後に選択したシャーシ高がインストルメント クラスターに表示されます。これは、車両が OFF になった後も保持されます。

| 表示 | シャーシ高 |
|---|---|
| なし | 標準 |
| | リフト |
| | ロア |
| | 低 |

**インフォメーション**

ドアが開いた状態で車両が下降することはありません。ドアが閉じた後に、選択したレベルが設定されます。

**インフォメーション**

レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、レベリング システムが再び正常に機能するまでコンプレッサーを数分間冷やす必要があります。コンプレッサーの冷却が終わると、車両が、選択した高さまで自動的に調整します。

### レベリング システムの OFF への切り替え

**警告** 車両のリフトアップ

PASM または車両からの警告メッセージが表示されている状況で車両の高さを上げると、怪我や車両損傷の恐れがあります。

▸ 車両の高さを上げるのは冷却後にしてください。
▸ PASM からの警告メッセージが表示されている状況では、お客様ご自身でシャーシに関する作業を行わないでください。ポルシェ正規販売店にご連絡ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**警告** レベリング システムのコントロール作動

レベリング システムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

▸ 車両の高さを上げる際には、事前に車両の高さを「標準」に設定し、レベリング システムを OFF にします。

▹ 「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」の章（106ページ）を参照してください。

▸ ▸ 設定 ▸ 車両 ▸ 追加のシャーシ設定 ▸ ジャッキを使用する前にシャーシの調整を無効にします

**インフォメーション**

車速が約 7 km/h を超えると、レベリング システムは自動的に ON になります。

## 自動リフト機能

自動リフト機能により、車両の「リフト」レベルを場所ごとに調整できます。

✓ エア サスペンション装備車。

**知識**

このシステムがあるからといって無謀な運転はしないでください。 適切な速度で走行するなどの安全運転に努めるのはドライバーの責任です。 自動リフト機能はドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

車両の「リフト」レベルでも、走行速度が不適切な場合には障害物との接触を防ぐことができません。

保存された場所が認識されず、自動リフト機能が実施されない状況が発生する可能性があります。

エア サスペンション システムが故障している場合、自動リフト機能は実施できません。

▸ 登録された位置に近づく際、車両の「リフト」レベルが調整されていることを確認してください。
▸ 適切な速度で障害物を乗り越えてください。

### 機能の有効化と保存した場所の管理

自動リフト機能はセントラル ディスプレイで有効 / 無効を切り替えることができます。 保存した場所は名前を変更したり削除したりできます。

✓ 作動準備が確立されている。

▸ 設定 ▸ 車両 ▸ スマート リフト

### 自動リフト機能の登録

最初に障害物に近づく際は、車両の「リフト」レベルを手動で調整し、位置を保存する必要があります。

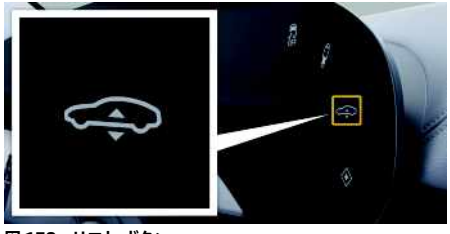


**図 150 : リフト ボタン**

✓ 作動準備が確立されている。
✓ 自動リフト機能が作動している。
✓ システム制限内の速度。

**インストルメント クラスター**

1. 「リフト」ボタンを押してください。

**セントラル ディスプレイ**

2. **保存**をタップします。
   保存プロセスを確認するメッセージがセントラル ディスプレイに表示されます。

**インフォメーション**

目的地まで / からの走行など、障害物へ接近する方法が複数ある場合、障害物にすべての方向から接近して位置を保存することが重要です。

### 自動リフト機能の実施

#### 車両の「リフト」レベルの自動調整

保存した位置に近づくと、車両の「リフト」レベルが自動的に調整されます。 セントラル ディスプレイにメッセージが表示されます。

✓ 作動準備が整っている。
✓ 自動リフト機能が作動している。
✓ 自動リフト機能の位置が登録されている。
✓ システム制限内の速度。

### 自動リフト機能の中断

自動リフト機能は、インストルメント クラスターのボタンで中断できます。

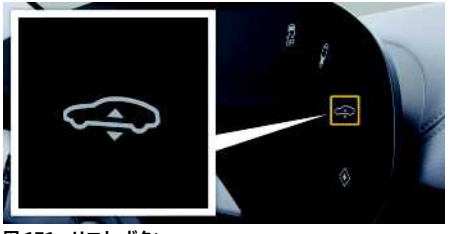


**図 151 : リフト ボタン**

✓ 作動準備が整っている。
✓ 自動リフト機能が作動している。
✓ 自動リフト機能の位置が登録されている。
✓ システム制限内の速度。
▸ ボタンを押してください。
  自動リフト機能が中断されました。

**インフォメーション**

現在の位置を削除するためのメッセージがセントラル ディスプレイに表示されます。

## 追加情報

### 車両を長期間使用していなかった場合の車高の低下

車両を数週間使用していなかった場合、車高が低くなる場合があります。 作動待機が確立されると、低くなった車高は自動的に補正されます。 このプロセスは、車両によっては数分かかります。 このとき、地上高が減少します。

✓ エア サスペンションおよびレベリング システム付きポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

### 車両駐車後のレベリング

車両を駐車すると、車両重量のバランスを保つため車高が自動的に調整されることがあります。

✓ エア サスペンションおよびレベリング システム付きポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

# ポルシェ コネクト

いろいろなオプションが利用できるため、ここに説明されている機能はすべてのモデル、国別仕様および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。

国によっては、内蔵 SIM カードまたは外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立することができます。 現在有効なデータ接続は、セントラル ディスプレイのステータス エリアおよびデバイス マネジャーに表示されます。

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（223ページ）を参照してください。

▷ 「デバイス マネージャー」の章（174ページ）を参照してください。

## 内蔵 SIM カード (一部の国で利用可能) によるデータ接続の確立中

✓ プライベート モードが無効になっています。

▷ 「プライベート モードの有効化 (一部の国で利用可能)」の章（221ページ）を参照してください。

データ接続は、作動待機が確立されると自動的に確立されます。

### インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検してください。

– プライベート モードが無効になっています。

– 車両はネットワーク受信が十分可能な場所にあります (電波の届かない場所ではありません)。

▸ 必要に応じて PCM を再起動してください。

## 外部 WiFi ホットスポットを介したデータ接続の確立 (ロシアのみで利用可能)

✓ 携帯電話 WiFi ホットスポットまたは公衆ホットスポットが利用可能。

1. または ステータス エリア (接続ステータスによって異なる) において、▸ ▸ **WiFi 設定** ▸ **外部WiFiホットスポット検索**の順に選択します。
   WiFi ネットワークが検索され、結果が表示されます。
2. WiFi ホットスポット (公衆ホットスポットまたは携帯電話の個人ホットスポットなど) を選択し、PCM に WiFi アクセス データを入力します。データ入力時は、大文字 / 小文字に注意してください。
   外部 WiFi ホットスポットへの接続が確立します。

## PCM WiFi ホットスポット (一部の国で利用可能) の作動

車両ホットスポットに接続できる WiFi デバイスは最大 8 台です。

✓ 内蔵 SIM カードによるデータ接続 (一部の国で利用可能) が正常に確立されている。

✓ www.porsche.com/connect で契約済みの、該当データ パッケージ。

1. または ステータス エリア (接続ステータスによって異なる) において、▸ ▸ **WiFi 設定を選択** ▸ **PCMホットスポットを設定**。
2. WiFi アクセス データへのアクセス PCM：▸ **設定** ▸ **接続マネージャー** ▸ **車両ホットスポットに接続**
   PCM デバイス名と WiFi パスワードがセントラル ディスプレイに表示されます。
3. デバイスの WiFi 設定に PCM WiFi アクセス データを入力するか、PCM に表示された QR コードをデバイスでスキャンします。
   PCM のワイヤレス インターネット アクセスへの接続が確立されます。

### データ量の表示

▸ ▸ **設定** ▸ **プライバシーおよび Porsche Connect 設定** ▸ **残りのデータ量の表示**
購入したデータ パッケージに関する国別の情報が表示されます。

データ パッケージを使い切ると、メッセージがセントラル ディスプレイに自動的に表示されます。

## ポルシェ コネクトの利用

ポルシェ コネクト サービスを利用するためにはデータ接続が必要です。

### インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細 (ヘルプ ビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、 www.porsche.com/connectをご覧ください。

### ポルシェ コネクト サービスの起動

ポルシェ コネクト サービスを初めてご利用になる場合、まず有効にする必要があります。

▸ ポルシェ コネクト サービスは www.porsche.com/connect で有効化します。

### ナビゲーション システムおよびボイス コントロール システムのサービスを使用する

- ナビゲーション目的地の入力およびポータル POI のロードのためのオンライン検索機能、ならびに My Porsche のその他の POI カテゴリー
- 追加の地図画面。
- リアルタイム交通情報では、インターネット経由で事故、工事作業、渋滞情報およびその他の事象に関する情報が提供されます。
- オンライン音声検索

### Porsche ID (Porsche Connect ID) でログイン

Porsche ID は認証済みのメール アドレスで、My Porsche、ポルシェ コネクト ストアおよびポルシェ コネクト アプリの Porsche Connect ユーザー名として使用されます。

✓ Porsche Connect ユーザー (Porsche ID) が My Porsche に登録されています。

✓ My Porsche で作成された、既知の Porsche ID セキュリティ コード。

一部の Porsche Connect サービスを使用するには、車両に Porsche ID でログインする必要があります。ログインすると、車両で個人の My Porsche の設定にアクセスできます。

1. ▸ **設定** ▸ **アカウント** ▸ **アカウントを設定**
2. Porsche ID および My Porsche のパスワードを入力し、**次** をタッチして確定します。
3. My Porsche の**セキュリティ コード**を入力します。
   ユーザーがログイン状態になり、シンボルがステータス エリアに表示されます。

### Porsche ID (Porsche Connect ユーザー) の管理

✓ Porsche ID (Porsche Connect ユーザー) がログインしています。

▸ ▸ **設定** ▸ **アカウント** ▸ アカウントを選択 ▸ ▸ アクションを完了：

- **セキュリティ コードを使用してログイン**：作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID を確定してセキュリティ コードを入力する必要があります。
- **セキュリティ コードなしでログイン**：作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID の確定のみが必要になります。
- **自動ログイン**：作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID の再確認を必要とせずに自動的にログインします。
- **アカウント削除**：Porsche ID が車両から削除されます。
- **アカウントの登録取り消し**：Porsche ID の登録が車両から取り消されます。ゲスト アカウントが有効になります。

## ポルシェ コネクト設定

### サービス概要の表示

▸ ▸ **設定** ▸ **プライバシーおよびポルシェ コネクト設定** ▸ **すべてのポルシェ コネクト サービスの概要を選択します。**
購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

### リモート アクセス権限の付与

✓ メイン ユーザーが少なくとも 1 回車両にログインしています。

車両内の My Porsche または Porsche Connect App (一部の国で利用可能) 内でサービス制御プログラムを使用するには、リモート アクセス認証が必要です。リモート アクセス認証は、メイン ユーザーが初めて車両にログインするとすぐに自動付与されます。

▸ ▸ **設定** ▸ **アカウント** の順に選択し、登録済みアカウントを確認します。

### プライベート モードの有効化 (一部の国で利用可能)

プライベート モードが有効な間は、車両と Porsche Connect App および My Porsche の通信が抑制されます。車両固有の情報は送信されません。このため、アプリまたは My Porsche の使用中には車両設定を実施できなくなります。

✓ リモート アクセス認証が付与されています。

▸ ▸ **設定** ▸ **プライバシーおよびポルシェ コネクト設定** ▸ **プライベート モード**
プライベート モードは、個々のサービスまたはサービス グループに対してグローバルに有効化または無効化できます。

▹ 「アプリ」の章（221ページ）を参照してください。

プライベート モードを作動していても、故障時または緊急電話をかけたとき、または盗難に遭遇したときなどに車両の位置情報が送信可能になります。

▸ すべての車両使用者に、通信できなくなる可能性があることを伝えてください。

## アプリ

国によって、さまざまなアプリが車両で利用可能です (Apple App Store または GOOGLE® Play Store からダウンロード)。

**⚠ 警告** 運転中のアプリ設定変更および操作

運転中にアプリの設定や操作を行うと、交通状況から注意がそらされる危険があります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

▸ アプリの操作および設定は、必ず車両を完全に停止してから行ってください。

## ポルシェ コネクト アプリ[1]

ポルシェ コネクト アプリは車両と携帯電話のネットワークを提供します。たとえば、以下の機能を利用できます。
個人的に設定した POI (施設情報)、アドレス帳から選んだ目的地、カレンダー入力を携帯電話から PCM に転送することができます。 国によっては、必要なアプリをインストールしてアカウントを作成すれば、音楽ストリーミング機能を使用して曲にアクセスできます。

### WiFi 経由でポルシェ コネクト アプリを PCM に接続し、セントラル ディスプレイ で起動する

✓ ポルシェ コネクト アプリが携帯電話にインストールされている (Apple App Store または GOOGLE® Play Store からダウンロード)。
✓ ポルシェ コネクト アプリが起動している。
✓ 携帯電話で WiFi が有効になっている。
✓ PCM で WiFi 機能を有効にしている。

1. ▸ **デバイス** ▸ ▸ **WiFi設定** ▸ **インターネット アクセスを有効にする**をタップします。
2. PCM WiFi アクセス データの呼び出し : ▸ **デバイス** ▸ **接続マネージャー** ▸ **PCM ホットスポットに接続します**。
   PCM デバイス名と WiFi パスワードがセントラル ディスプレイに表示されます。
3. 表示された PCM WiFi アクセス データを、デバイスの WiFi 設定に入力してください。
   PCM のワイヤレス インターネット アクセスへの接続が確立されます。

車両とポルシェ コネクト アプリ間の通信を無効にすることができます。
▷ 「ポルシェ コネクト設定」の章（221ページ）を参照してください。

1. 名前と機能の変更は保護されています

# ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)

## 概要 - PCM

この概要説明は、本項に記載された完全な説明に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

図 152 : ディスプレイ エリア

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| **PCM を ON にする** | ▶ 車両の電源を ON にしてください。 | – |
| **PCM をシャットダウンし、セントラル ディスプレイと助手席ディスプレイの OFF と ON を切り替えます** | ▶ センター コンソール コントロール パネルの をタップします。 | – |
| **フロント助手席ディスプレイをスタンバイ モードから開始する** | ▶ フロント助手席ディスプレイをタップします。 | ▷ p. 229 |
| **音量を調節する** | ▶ マルチファンクション ステアリング ホイールのボリューム スイッチ (ロータリー ノブ) を回します。<br>**– または –**<br>クイック アクセス バーの / をタッチします。<br>**– または –**<br>手書き文字パネルを 2 本の指で上下にスワイプします。 | ▷ p. 50 |

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| | ミュート：マルチファンクション ステアリング ホイールのボリューム スイッチ (ロータリー ノブ) を短く押すか、 を長押しします。 | |
| **セントラル ディスプレイのリモート操作** | ▸ ジェスチャーを使用して、セントラル ディスプレイで手書き文字パネルを操作します。 | ▷ p. 117 |
| **グローバル検索を使用する** | ▸ 検索エリア **A** に検索テキストを入力するか、音声入力を使用します。 | – |
| **時間、接続、ステータス シンボル、オプションを表示する** | ▸ ステータス エリア **B** を使用します。<br>ステータス シンボルを選択して、該当する設定 (イオナイザーなど) を直接呼び出すことができます。 | ▷ p. 227 |
| **アプリのカスタマイズ ビュー** | ✓ が選択されています。<br>▸ ステータスエリア **B** で、 ▸ **アプリビューをカスタマイズ** をタッチします。 | ▷ p. 216 |
| **MyScreen を開く** | ▸ ホーム画面 で左にスワイプします。<br>MyScreen が表示されます。 | ▷ p. 216 |
| **マイ スクリーン設定** | ✓ MyScreen が表示されます。<br>▸ ステータスエリア **B** で、 ▸ **マイ スクリーン設定** をタッチします。 | ▷ p. 216 |
| **メイン メニューおよびサブメニューの内容を使用する** | ▸ メイン メニュー **C** およびコンテンツとインタラクション エリア **E** を使用します。 | ▷ p. 227 |
| **メッセージを開く** | ▸ メッセージ エリア **D** のメッセージをタッチします。 | ▷ p. 283 |
| **コンテキスト依存の表示エリア** | ▸ 展開表示エリア **F** を使用する。 | – |
| **セット アップ ウィザードを呼び出す** | PCM の初回起動時には、**セットアップウィザード**が表示され、画面に表示される手順に従って重要な PCM 設定を行うことができます。 | – |

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| | セットアップ ウィザードを手動で呼び出すには :<br>▸ ▸ **設定** ▸ **セットアップウィザード** | |
| **プライベート モードを有効/無効にする (一部の国で利用可能)** | ▸ ▸ **設定** ▸ **Porsche Connect 設定** ▸ **プライベートモード**をタップします。 | ▷ p. 220 |
| **サービス間隔の表示** | ▸ ▸ **サービス** をタップします。<br>次回のサービス時期が表示されます。 | – |
| **システムおよび車両設定を変更する** | ▸ ▸ **設定** ▸ **システム** / **車両** をタッチします。 | ▷ p. 138 |
| **車両情報の表示** | ▸ (C を参照) ▸ **走行** をタッチします。 | – |
| **通知を表示する** | ▸ メイン メニュー **C** で をタッチします。 | ▷ p. 283 |

# セントラル ディスプレイ

**図 153 : セントラル ディスプレイのコントロール要素**

### A – ホーム画面およびマイ スクリーン

▹ 「ホーム画面およびマイ スクリーン」の章（216ページ）を参照してください。

### B – メイン メニュー (メイン操作エリア)

メイン メニューは次の 3 つのメイン エリアに分かれています。

– ホーム画面/マイ スクリーン
– 車両設定
– 通知

▹ 「メニューを開く」の章（227ページ）を参照してください。

### C – 高速フィルター検索/グローバル検索 (サブ操作エリア)

メニューの選択に応じて、このエリア (クイック フィルター バー) にメニュー項目が追加されたメニュー バーが表示されます。ホーム画面のここにグローバル検索が表示されます。

### D – 時間/温度

▹ 「時刻または温度ディスプレイの設定」の章（227ページ）を参照してください。

### E – フィルター バー

メニューの選択に応じたフィルター バーが表示されます。

### F – 接続およびステータス シンボル

▹ 「デバイス マネージャー」の章（174ページ）を参照してください。

### G – コンテンツおよびインタラクティブ エリア

### H – コンテンツとインタラクティブ エリアに応じたオプションおよび最も重要な設定

オプションを使用すると、各ディスプレイのコンテキストに応じた設定を画面ごとに行うことができます。

### I – 詳細エリア

詳細エリアには、コンテンツ エリアに関する追加情報が表示されます。

## 操作に関する重要なインフォメーション

Porsche Communication Management (PCM) はセントラル コントロール ユニットです。
安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

**⚠ 警告** 運転中のアプリの設定変更および操作

マルチファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの設定と操作は、交通状況に対する注意が逸らされる危険があります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合にのみコンポーネントを操作してください。
- 安全を確保できない場合は、車列を離れ車両を停車してから詳細な操作や設定を行ってください。

## セントラル ディスプレイとフロント助手席ディスプレイの使用

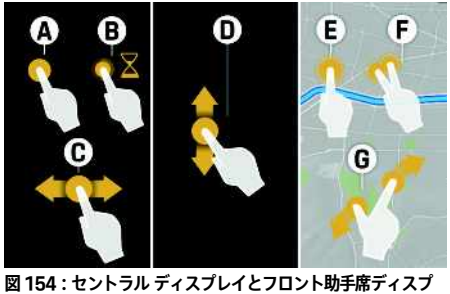



**図 154 : セントラル ディスプレイとフロント助手席ディスプレイの使用**

**A タッチ (選択)**
セントラル ディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイを 1 本の指で軽くタッチします。 例 : 機能をタップしたり、チェックボックスの ON/OFF を切り替えたりします。

**B 長押し**
セントラル ディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイを 1 本の指で長めにタッチします。 例 : 地図上の目的地を確認します (ナビゲーション)。

**C スワイプ**
セントラル ディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイを 1 本の指で左右にスワイプします。 例 : リストを横方向にスクロールします。

**D 上下にスワイプ (スクロールと切り替え)**
セントラル ディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイを 1 本の指で上下にスワイプします。 例 : コンテンツを縦方向にスクロールします。

**ズーム**

**E** セントラル ディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイを 2 回軽くタップすると、そのセクションが拡大されます。

**F** セントラル ディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイを 2 回軽くタップすると、そのセクションが縮小されます。

**G** セントラル ディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイに 2 本の指を触れたまま広げると、そのセクションが拡大されます。

## メニューを開く

**メイン メニューを開く**

- メイン操作エリアのメニュー (例 : ) をタップします。

**サブメニューの呼び出し**

- クイック フィルター バーのメニュー項目 (例 : **連絡先**) をタップします。

**各メニュー項目の設定を開く**

✓ 希望のメニューが選択されました。

- オプション をタップします。
  それぞれのコンテンツまたはインタラクティブ エリアの設定およびその他の機能が表示されます。

## 時刻または温度ディスプレイの設定

- ステータス エリアで、時間 または温度をタッチして、ディスプレイを調整できます。

セントラル ディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイを設定するには :

- ▸ **設定** ▸ **ディスプレイ設定**

## テキストおよび文字の入力

ナビゲーション目的地や検索語句の入力など、テキストや文字を入力する必要がある場合はすぐに、入力フィールドが表示されます。検索結果をタッチすると、検索結果リストが拡大表示されます。

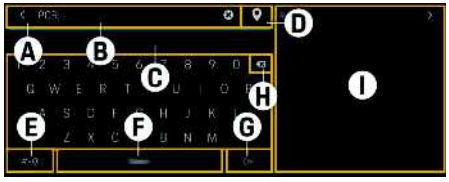



**図 155 : ディスプレイ キーボード**

A 戻る
B 現在のカーソル位置
C 自動訂正と提案された検索結果
D 検索エリア (国によってはご利用いただけない場合があります)
E 文字 / 数字と特殊文字の入力切り替え
F スペースの挿入
G 検索結果リストの拡大
H 入力データの削除
I 結果リスト

テキストや文字の入力には様々なオプションがあります :

### キーボードによる入力

1. 入力フィールドをタッチします。
   キーボードが表示されます。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。
3. アクセントやウムラウトなどを入力するには、希望の文字を長押ししてください。
   アクセントやウムラウトが表示されたウィンドウが開きます。

### 手書き文字パネルを使用した入力

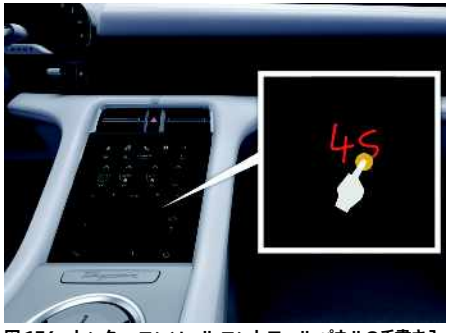



**図 156 : センター コンソール コントロール パネルの手書き入力**

センター コンソール コントロール パネルの手書き文字パネルには手書き文字認識機能があり、指で直接テキストや文字を書くことができます。

✓ キーボードまたは入力フィールドはセントラル ディスプレイに表示されます。

▶ テキストまたは文字を指で直接書きます (手書き文字認識)。

手動入力に関する情報 :
117ページの 「センター コンソール コントロール パネル」の章を参照してください。

### 音声入力による入力

ボイス コントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です (例 : 電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。

ボイス コントロールの使用に関する情報 :

▷ 「ボイス コントロール」の章 ( 212ページ) を参照してください。

## 手書き文字パネルによるセントラル ディスプレイの操作

センター コンソール コントロール パネルの手書き文字パネルでは、ジェスチャーでセントラル ディスプレイの画面を操作できます。

センター コンソール コントロール パネルの使用に関するインフォメーション :

▷ 「センター コンソール コントロール パネル」の章 ( 117ページ) を参照してください。

## セントラル ディスプレイで取扱説明書を開く

✓ 車両が停止している。

▶ ▶ 取扱説明書

# フロント助手席ディスプレイ

現在の走行データをフロント助手席ディスプレイに表示できます。
車両のハンドリングに影響する設定や、フロント助手席ディスプレイに影響しないシステム設定はできません。
フロント助手席ディスプレイでは、セントラル ディスプレイとは独立してコンテンツを表示および使用できます。

**図 157 : フロント助手席ディスプレイのコントロール**

### A - ホーム画面およびマイ スクリーン

▷ 「ホーム画面およびマイ スクリーン」の章（216ページ）を参照してください。

### B - クイック フィルター バー / グローバル検索 (サブ操作エリア)

メニューの選択に応じて、このエリア (クイック フィルター バー) にメニュー項目が追加されたメニュー バーが表示されます。 ホーム画面のここにグローバル検索が表示されます。

### C - コンテンツおよびインタラクティブ エリア

### D - 詳細エリア

詳細エリアには、コンテンツ エリアに関する追加情報が表示されます。

### E - 時間 / 温度

▷ 「時刻または温度ディスプレイの設定」の章（227ページ）を参照してください。

### F - 接続およびステータス シンボル

▷ 「デバイス マネージャー」の章（174ページ）を参照してください。

### G - フロント助手席ディスプレイの ON と OFF を切り替える

**フロント助手席ディスプレイを ON にする**

▸ センター コンソール コントロール パネルの ⏻ をタップします ▸ セントラル ディスプレイの**パッセンジャー ディスプレイ**を有効にします。

**フロント助手席ディスプレイを OFF にする**

▸ フロント助手席ディスプレイの ⏻ をタップします ▸ フロント助手席ディスプレイの**パッセンジャー ディスプレイ**を有効にします。

**フロント助手席ディスプレイのスタンバイ モードを ON にする**

▸ フロント助手席ディスプレイの ⏻ をタップします ▸ フロント助手席ディスプレイの**スタンバイのパッセンジャー ディスプレイ**を有効にします。

**フロント助手席ディスプレイのスタンバイ モードを OFF にする**

▸ フロント助手席ディスプレイをタップします。

### H - コンテンツとインタラクティブ エリアに応じたオプションおよび最も重要な設定

オプションで、各ディスプレイのコンテキストに応じた設定を画面ごとに行うことができます。

## フロント助手席ディスプレイの操作

フロント助手席ディスプレイの操作に関する情報 :

▷ 「セントラル ディスプレイとフロント助手席ディスプレイの使用」の章（227ページ）を参照してください。

## フロント助手席ディスプレイでのメニューの呼び出し

メニューの呼び出しに関する情報 :

▷ 「メニューを開く」の章（227ページ）を参照してください。

# フロント助手席ディスプレイの時刻または温度の設定

時刻または温度の設定に関する情報：

▹ 「フロント助手席ディスプレイの時刻または温度の設定」の章（230ページ）を参照してください。

# フロント助手席ディスプレイによるテキストおよび文字の入力

## キーボードによる入力

テキストおよび文字の入力に関する情報：

▹ 「キーボードによる入力」の章（228ページ）を参照してください。

## 手書き入力による入力 (国別仕様による)

手書き入力では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。

**図 158：フロント助手席ディスプレイでの手書き入力**

1. を選択して手書き入力を開きます。
2. 指で入力したい文字を書いてください。
3. スペースを挿入するには、左から右に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。
4. スペースを削除するには、右から左に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。

# ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 車両コントロールの喪失

PSM は、不適切な走行速度による事故の危険性を減少させるものではありません。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PSM が装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- PSM の有無にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

## 作動原理

ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) は、車両を安定させるための制御システムであり、走行準備が確立されると自動的に有効になります。PSM システムの主要構成部品は、オートマチック ブレーキ ディファレンシャル (ABD) システム、アンチ スリップ コントロール (ASR) システム、ドライブ ドラッグ トルク コントロール システム、およびアンチロック ブレーキ システム (ABS) です。

PSM の調整は、以下によって示されます。

- インストルメント クラスターの PSM 警告灯 が点滅します。
- 油圧作動音が聞こえることがあります
- 車両が減速し、ステアリング ホイール力が PSM のブレーキ コントロールに伴って変化します
- エンジン出力が低下します
- ブレーキ ペダルが振動し、ペダルの位置が変化します

### オートマチック ブレーキ ディファレンシャル

駆動中のアクスルの一方のホイールがスピンし始めると、そのホイールにブレーキがかかり、同一アクスルのもう一方のホイールが駆動できるようになります。

### アンチスリップ コントロール

アンチスリップ コントロール システムは、駆動力を調整することでホイールのスピンを防止し、確実なレーン維持性および走行安定性を実現します。

### ドライブ ドラッグ トルク コントロール

極度に滑りやすい状況で加速した際に、ドライブ ドラッグ トルク コントロールがすべての駆動輪の不時停止を防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

### アンチロック ブレーキ システム (ABS)

アンチロック ブレーキ システムは、フル ブレーキをかけた時にホイールがロックするのを防ぎます。

▷ 「ABS ブレーキ システム (アンチロック ブレーキ システム)」の章（232ページ）を参照してください。

### ステアリング トルク パルス

ステアリング トルク パルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかけた場合に運転者のステアリング アシストを行います。また、ターゲット パルスはカウンター ステアリング中にドライバーを支援します。

## PSM スポーツの作動

**⚠ 警告** PSM サポート制限

PSM スポーツ モードの場合、ABS 制御範囲外の過酷な走行状況では PSM サポートが制限されます。

- 「通常」走行では PSM スポーツ モードを必ず OFF にしてください。
- スペア ホイールを装着して走行する場合は、絶対に PSM スポーツ モードを有効にしないでください。

**図 159 : PSM OFF ボタン**

✓ スポーツ クロノ パッケージ装備車。

PSM スポーツ モードにすると、システムはスポーティなモードに切り替わります。

- PSM OFF ボタンを短く押します。
  ボタンが黄色に点灯し、インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

## PSMを OFF にする

**⚠ 警告** PSM サポートなし

PSM を OFF にすると、ABS 制御範囲外の過酷な走行状況で PSM サポートが行われません。

- 「通常」走行では、常に PSM スポーツを必ず OFF にしておいてください。
- スペア ホイールを装着して走行している場合は、絶対に PSM を OFF にしないでください。

- PSM OFF ボタンを 2 秒以上押します。
  ボタンが黄色に点灯し、インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

### インフォメーション

ABSコントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSMがOFFの状態でも車体は安定性を維持します。片方の駆動輪が空転すると、PSMをOFFにしていてもブレーキをかけて空転を抑制します。

以下の例外的な状況では、PSM を一時的に OFF にすることが有効な場合があります。

– ぬかるみ
– 深い雪道
– 「ぬかるみなどからの脱出」時

### インフォメーション

PSM スポーツ モードの作動中は、PSM が事前に作動していた場合にのみ PSM OFF モードに切り替えることができます。

## PSM を ON にする

- PSM OFF ボタンを押します。
  ボタンが白色に点灯します。

PSM SPORT または PSM OFF がインストルメント クラスターに表示されなくなります。

## ABS ブレーキ システム (アンチロック ブレーキ システム)

**⚠ 警告** 車両コントロールの喪失

アンチロック ブレーキ システムは、不適切な速度による事故のリスクを軽減することはできません。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。 アンチロック ブレーキ システムが装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- アンチロック ブレーキ システムの有無にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

### 作動原理

アンチロック ブレーキ システム (ABS) は、フル ブレーキをかけた時にホイールがロックするのを防ぎます。これにより、危険な状況での車両の走行安定性と操縦性が向上します。

ホイールが 1 本でもロックしそうな場合は、ABS が適切に制御し始めます。

このブレーキ コントロールは、非常に小刻みなポンピング ブレーキをかけるのと似た状態です。ブレーキ ペダルの脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整する警告の役目をします。

### ABS を使用してフル ブレーキをかける

フル ブレーキをかける必要があります。

- ブレーキをかける際、ブレーキ ペダルが小刻みに動いても、ブレーキ ペダルをいっぱいに踏み込みます。ブレーキ圧力が低下しないようにしてください。

## マルチコリジョン ブレーキング

事故の際、マルチコリジョン ブレーキングにより自動的にブレーキが作動し、ドライバーは横滑りや二次衝突の危険性を低減させることができます。

### 必要条件

マルチコリジョン ブレーキングが作動するのは、以下の場合のみです。

– 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時
– 事故の際に、エアバッグ コントロール ユニットが該当する作動しきい値を検出したとき
– 車速約 10 km/h 以上で走行しているときに事故に遭った場合

### インフォメーション

事故の時にPSMや電気系統に損傷がなく、作動可能な場合、PSMが自動的に油圧ブレーキを作動させ減速させます。

### 例外的な状況

事故時の自動ブレーキは、以下の場合に抑制されます：

– ドライバーがアクセル ペダルをはっきりと踏んだ場合。
– ドライバーがブレーキ ペダルを踏み込んだ際のブレーキ圧力が、システムによって加えられるブレーキ圧力よりも大きい場合。

# ボンネット

## ボンネットのロック解除および開閉操作

**知識**

ボンネットまたはフロント ウィンドウ ワイパーを損傷する恐れがあります。

- ボンネットを開くときは、ワイパーが起きていないことを確認してください。
- エンジン コンパートメント リッドを開く前に、必ずフロント ワイパーを OFF (ワイパー レバーを **0** の位置) にしてください。

### センター コンソール コントロール パネルまたはセントラル ディスプレイを使用してボンネットをロック解除する

センター コンソール コントロール パネルまたはセントラル ディスプレイのリッド スクリーンを使用して、ボンネットをロック解除することができます。

✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動しています。

**センター コンソール コントロール パネル**

- ▸ ▸
  ボンネットがロック解除されます。

**セントラル ディスプレイ**

✓ 作動準備が整っています。

- ▸ ▸ **設定** ▸ **車両** ▸ **フード/トランクリッド** ▸ **フードを開く**
  ボンネットがロック解除されます。

### キーによるボンネットのロック解除

**図 160 : キーでボンネットを開く**

- ▸ ボタンを押します。
  ボンネットと車両のドアがロック解除されます。

### コンフォート アクセスを使用したボンネットのロック解除 (キーレス)

**図 161 : コンフォート アクセスでボンネットを開く**

✓ コンフォート アクセス装備車。

✓ キーを車両の前部に持っていきます。

- ▸ ポルシェ クレストとナンバー プレートの間に手を置いてください。手を前後に動かしたり、スワイプしたりしてください。
  ボンネットがロック解除されます。

### ボンネットを開く

✓ ボンネットがロック解除されました。

図 162 : ボンネットのロック解除

1. ボンネットをわずかに持ち上げ、セーフティー ラッチ (**矢印**) を解除してください。
2. ボンネットを完全に開いてください。

## ボンネットを閉じる

**⚠ 注意** 重いボンネット

半分開いた状態のボンネットを閉じるとき、ボンネット自体の重さを利用してロックすることができます。

- 可動部品 (ヒンジ) の近くやボンネットの下に物を置いたり手足を近づけたりしないでください。

1. ボンネットを下げて、ロック部分が噛み合うようにします。 ロック部分を手のひらで押して、ボンネットを閉じます。
2. ボンネットが確実にロックされていることを確認してください。
   ボンネットが正しく閉じていない場合、車両が動いている間インストルメント クラスターに警告メッセージが表示されます。

## ボンネットの緊急ロック解除を実行します

12 V バッテリーが放電した場合、ボンネットは外部バッテリーを使用しないとロック解除できません。

▷ 「12 V バッテリー」の章（271ページ）を参照してください。

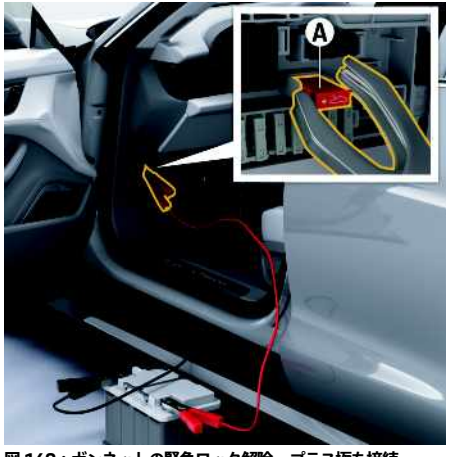



図 163 : ボンネットの緊急ロック解除 - プラス極を接続

1. エマージェンシー キーを使用して、ドア ロックを解除してください。 125ページの 「ドアの緊急ロック解除および緊急ロック」の章を参照してください。
2. 左側ヒューズ ボックスのプラスチック カバーを取り外してください。
3. ヒューズ ボックスのプラス端子 **A** (赤色) を引き出してください。
4. 赤いブースター ケーブルを使用して、外部バッテリーのプラス端子とヒューズ ボックスのプラス端子 **A** を接続します。

**インフォメーション**

車両がロックされていた場合、マイナス端子を接続したときに警報システムのホーンが鳴ります。

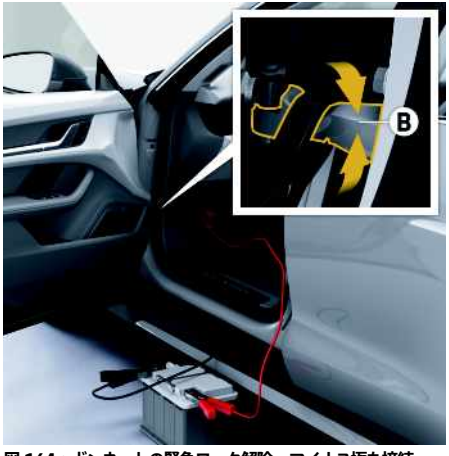



図 164 : ボンネットの緊急ロック解除 - マイナス極を接続

5. 黒色のブースター ケーブルを使用して、外部バッテリーのマイナス端子とドア ストッパーのジョイント **B** を接続してください。
6. キーの ボタンを約 2 秒間押してください。ボンネットがロック解除され、警報システムが無効になります。
7. マイナス ケーブルを先に外し、次にプラス ケーブルを外してください。
8. プラス端子 **A** をヒューズ ボックスに押し込み、ヒューズ ボックスのプラスチック カバーを取り付けてください。

## 歩行者保護

フロント バンパーのセンサーが歩行者または類似した物体との衝突を検出します。その後、ボンネットの後ろ側が開き、衝撃を低減します。

**⚠ 注意** 歩行者保護が起動しない

衝突後に歩行者保護が起動しない場合は、システムが故障している可能性があります。

- 起動しなかった場合、歩行者保護システムを点検する必要があります。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 歩行者保護が起動してからボンネットを閉じる

歩行者保護が起動した場合は、メッセージがインストルメント クラスターに表示されます。

作動した後に、ボンネットを再度押して閉じることはできません。 歩行者保護部品を取り替える必要があります。

1. 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
2. 歩行者保護システムをすぐに取り替えてください。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### 歩行者保護システム エラー

故障の場合には、警告メッセージがインストルメント クラスターに表示されます。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

# ミラー

## ドア ミラーの使用

**⚠ 警告** ドア ミラーに周囲がゆがんで映るため、交通状況を正しく評価できないことがあります

凸面のミラーには車両や物体が実際より小さく、また実際より遠くにあるように映ります。 走行状況および事故を正しく評価できない場合があります。

- 後方の車両との距離を推測する際や駐車する際、ミラーにはゆがんで映るということを考慮に入れてください。
- 距離を判断する際にはルーム ミラーも使用してください。

**⚠ 注意** 電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。 この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

**知識**

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

**知識**

自動洗車機で洗車する際にドア ミラーを損傷する危険があります。

- ドア ミラーを格納してから自動洗車機を使用してください。

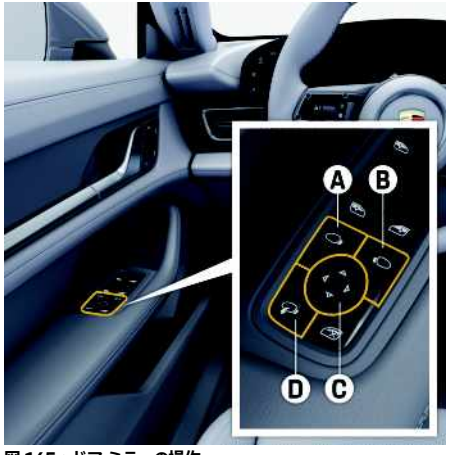



**図 165 : ドア ミラーの操作**

A 左側のドア ミラーの選択
B 右側のドア ミラーの選択
C ドア ミラーの調節
D ドア ミラーの格納および復帰 (装備により異なる)

## ドア ミラーの調節

**図 166 : ドア ミラーの調節**

✓ 作動準備が整っています。
– または –
車両を OFF にして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態 (最大 10 分以内)。

1. 左ドア ミラーはボタン A、右ドア ミラーはボタン B を押します。
選択したボタンの シンボルが赤色に点灯しているときは、該当するドア ミラー ガラスを調節できます。
2. 調節ボタン C を押して、ドア ミラーの角度を正しい位置に調節します。

**電動機能が故障した場合**

- ミラーの表面を押してミラーを調節します。

# ドア ミラーの格納および復帰

図 167 : ドア ミラーの格納および復帰

### ドア ミラーの手動格納

- ミラー ハウジングを手でいっぱいまで上方に回転させてください。

### ドア ミラーの手動復帰

- ミラー ハウジングを手でいっぱいまで下方に回転させてください。

### ドア ミラーの電動格納および復帰 (装備により異なる)

✓ 約 50 km/h (30 mph) の最高速度。

- ボタン **D** を押してください。
  両方のドア ミラーが格納または復帰します。

**電動格納機能が故障した場合**

- ドア ミラーを手で格納または復帰してください。

### 車外からのドア ミラーの格納および復帰

車両がロックされるときに、ドア ミラーを格納することが可能です。

- キーの 🔒 ボタンを1 秒以上押し続けてください。
  コンフォート アクセス 装備車両の場合 : 運転席側のドア ハンドルの近接センサーに 1 秒以上触れてください。
  ドア ミラーが格納します。

**ドア ミラーの自動復帰**

- 電源ボタンを押して、車両の電源を ON にします。
  ドア ミラーが自動的に復帰します。

### ドア ミラーの自動格納および復帰 (装備により異なる)

ドア ミラーの自動格納および復帰機能はセントラル ディスプレイで作動できます。

**機能を作動させる**

- 🚗 ▸ ⋯ ▸ **車両設定** ▸ **車両ロックシステム** ▸ **ロック時にドアミラーを格納する** ☑

**ドア ミラーの自動格納**

✓ 機能が作動しています。

▹ 「車両設定」の章 ( 138ページ) を参照してください。

- 車両をロックします。
  ドア ミラーが格納します。

**ドア ミラーの自動復帰**

✓ 機能が作動しています。

- ドアをロック解除します。
  ドア ミラーが復帰します。

### インフォメーション

**D** ボタンを押して手動でドア ミラーを格納した場合、イグニッションを ON にしてもドア ミラーは自動的には復帰しません。

## ドア ミラー設定の保存

メモリー パッケージ装備車では、個々のドア ミラーの設定を、そのとき使用しているキーや運転席ドアのメモリー ボタンに保存することができます。

▹ 「パーソナル設定」の章 ( 196ページ) を参照してください。

## ドア ミラーの自動防眩機能の ON / OFF

ルーム ミラーの自動防眩機能の切り替えに合わせて、ドア ミラーの防眩機能が作動します。

▹ 「ドア ミラーの自動防眩機能の ON / OFF」の章 ( 237ページ) を参照してください。

## パーキング エイドとしてのミラー ガラスの下向き切り替え

メモリー パッケージ装備車両においては、ギヤをリバース (後退) に入れると**助手席側**のミラーが少し下向きになり、縁石を視認しやすくなります。

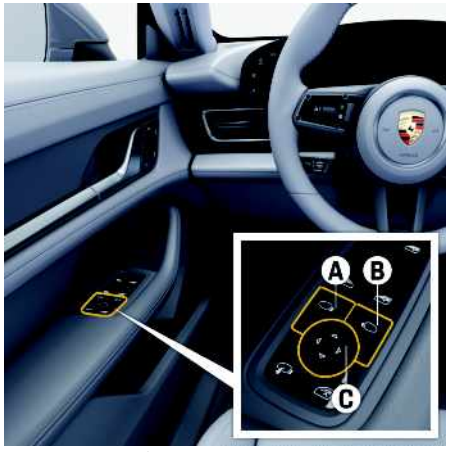



**図 168 : パーキング エイドとしてのミラー ガラスの下向き切り替え**

### ドア ミラーを自動で下向きにする

助手席側ミラー ガラスの下向き切り替えは、セントラル ディスプレイで有効にできます。

**機能を作動させる**

▸ ▸ ▸ **車両設定** ▸ **ライトと視界** ▸ **後退時オプション** ▸ **後退時のミラー ガラスの下向き切り替え**

✓ 車両が ON になっています。
✓ ギヤがリバース (後退) に入っています。
✓ 機能が作動しています。

### 手動でのミラー ガラスの下向き切り替え

メモリー パッケージ装備車両では、助手席側ミラー ガラスを下向きに切り替えることができます。

1. ギヤをリバース (後退) に入れてください。
   助手席側ドア ミラーの調整に関する シンボルが点灯します。
2. 右側のドア ミラーを調節するには、ボタン **B** を押します。(右ハンドル車ではボタン **A**)。
   助手席のドア ミラーが下向きになります。

**ドア ミラーの下向き角度の個別調整 :**

▸ 調節ボタン **C** を操作して、ドア ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

メモリー パッケージ装備車両では、運転席ドアまたはキーにあるメモリー ボタンを押すことでこの設定を保存できます。

車両設定の取り出しおよび保存に関するインフォメーション :

▹ 「パーソナル設定」の章 ( 196ページ) を参照してください。

### ミラー ガラスを通常位置に戻す

次の場合、ミラー ガラスが通常の位置に戻ります :

– リバース (後退) 以外のギヤが選択されてから一定時間が経過した場合、または
– 車両の速度が 15 km/h を超えた直後。

**助手席のミラー ガラスを手動で通常位置に戻す :**

▸ 運転席ドア ミラーのボタン **A** を押してください。

## ルーム ミラーの手動防眩

**図 169 : ルーム ミラーの手動防眩**

ミラーを調節するときは、防眩機能のレバー **A** を車内側に向けてください。

▸ 基本設定 - レバーを車内側に回してください。
▸ ロー ビーム位置 - レバーをフロント ウィンドウ側に回してください。

## 自動防眩機能の使用

明るい光がルーム ミラーに当たるとすぐに、ルーム ミラーおよびドア ミラーはそれぞれ自動的に暗い位置に変わります。

リバース ギヤに入れた場合またはインテリア ライトが点灯している場合は、ミラーの自動防眩機能は作動しません。

同様に、ルーム ミラーに、またはフロント ウィンドウを通ってフロント ライト センサーに照射される光をステッカー等で妨げないようにしてください。

- ルーム ミラーの前のフロントガラス、またはリヤ ウィンドウにはいかなるステッカーも添付しないでください。
- リヤ シェルフの上に荷物を置いて走行しないでください。

**⚠ 注意** 電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。 この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

**知識**

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

# メッセージ

## メッセージの表示および編集

テキスト メッセージや E メールを読んだり、メッセージを読み上げさせたり、メッセージに含まれている電話番号に電話をかけることができます。携帯電話がすべての機能をサポートしているわけではありません。この設定に関する詳しい情報は、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。
**メッセージ**機能は、携帯電話が接続されるとホーム画面に表示されます。

### インフォメーション

– 携帯電話がデバイスのメモリーに保存されている SMS しか表示できない場合、車両で受信した SMS は携帯電話メッセージ リストには表示されません。受信した SMS は SIM カードに保存されます。
– PCM はマルチメディア メッセージング サービス (MMS) に対応していません。

### テキスト メッセージ/Eメールの作成

1. ▸ **メッセージ** ▸ **テキストメッセージ/Eメール**
2. をタッチします。
3. (電話番号を入力または連絡先を選択することにより) 受信者を追加します。
4. 入力フィールドにテキストを入力し、[OK] で確定してください。
5. [**送信**] をタッチします。

### テキスト メッセージ / E メールの返信または転送

1. ▸ **メッセージ** ▸ **テキストメッセージ/Eメール**
2. 返信 / 転送したいテキスト メッセージまたは E メールを選択します。
3. ▸ **返信/転送**をタッチします。

### メッセージの編集

▸ ▸ **メッセージ** ▸ テキストメッセージ/Eメール フォルダー ▸ ▸ 希望の設定を選択します。

# メディア

## 概要説明 - メディア

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

Porsche Communication Management (PCM) の操作に関する情報は、以下をご覧ください。

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（223ページ）を参照してください。

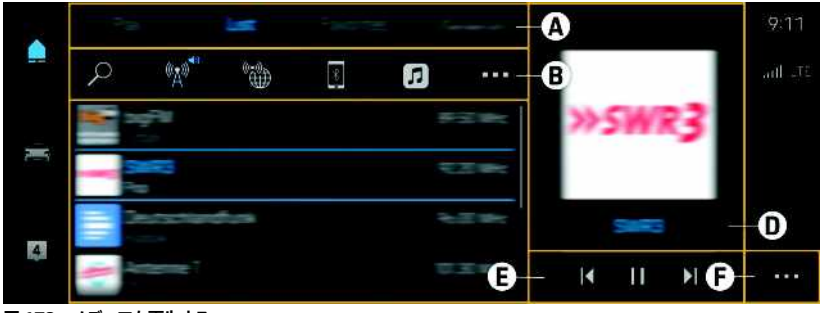



**図 170 : メディアを再生する**

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| **メディア ソースの接続** | – Bluetooth® を介して外部機器を接続します。<br>– USB を介して外部機器を接続します。 | ▷ p. 174 |
| **メディアを再生する** | ▸ クイック フィルター バーで希望のメニュー オプションを開きます (**A** を参照) ▸ 希望の放送局/トラックを選択します。 | – |
| **メディア ソースの選択** | ▸ フィルター バーで (**B**を参照)、▸ 希望のメディア ソースを選択します。 | – |
| **放送局/トラック/アルバムの検索 (利用可能なすべてのメディア ソースへの検索)** | ▸ ▸ **メディア** ▸ フィルター バーの (**B** を参照) ▸ 希望の放送局/トラックを入力します。 | – |
| **メディア ソース / 受信範囲を選択する** | ▸ ▸ **メディア** ▸ **再生** (**A** を参照) ▸ フィルター バー (**B** を参照) で希望のメディア ソースを選択します (例 : **ラジオ**)。 | – |

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| **メディア ソース/受信コンテンツの表示** | ▸ ▸ **メディア** ▸ **リスト** (**A** を参照) ▸ フィルター バー (**B** を参照) で希望のメディア ソースを選択します (例 : **ラジオ**)。 | – |
| **音楽を再生 / 一時停止する** | ▸ ▸ **メディア** ▸ **再生** (**A** を参照) ▸ または (**E** を参照) をタッチします。 | – |
| **次 / 前の放送局 / トラックを再生する** | ▸ ▸ **メディア** ▸ **再生** (**A** を参照) ▸ または (**E** を参照) をタッチします。 | – |
| **お気に入りの放送局を保存する** | ▸ 放送局を長押しします ▸ をタッチします。<br>– **または** –<br>▸ **メディア** ▸ **再生** (**A** を参照) ▸ をタッチします。 | ▷ p. 242 |
| **放送局 / トラックのリストを表示する** | ▸ ▸ **メディア** ▸ **リスト** (**A** を参照)<br>選択したメディア ソースに応じて、**プレイリスト**や**アーティスト**などのサブフォルダーを利用できます。 | – |
| **周波数帯または番号を入力して選局する** | ▸ ▸ **メディア** ▸ **ラジオ** ▸ または を選択します。 | |

## メディアの再生

### 利用できるラジオおよびメディア ソース

ラジオは、FM および AM 受信地域をサポートしています (国によって異なります)。

装備によっては、次のメディア ソースが利用できます : USB または Bluetooth® 経由の外部機器、オンライン メディア サービス。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカル データ :

▷ 「テクニカル データ」の章（306ページ）を参照してください。

### メディア再生中の他の機能

✓ ▸ **メディア** ▸ **再生**が選択されています。

概要説明の機能に加え、以下の機能が利用可能です。

– 現在の再生リストを表示する :

– ランダム再生を有効にする :

– トラックをリピートする :

## お気に入りの保存および編集

### お気に入りの保存

▸ ▸ **メディア** ▸ **リスト** ▸ 希望の放送局を長押しします ▸ をタッチします。

– **または** –

▸ **メディア** ▸ **再生** ▸ をタッチし、

### お気に入りの整理

1. ▸ メディア ▸ お気に入り ▸ ▸ お気に入りビューをカスタマイズ
2. 希望の放送局を長押しして、希望する位置に移動させます (ドラッグ & ドロップ)。

### お気に入りの削除

1. ▸ メディア ▸ お気に入り
2. 希望の放送局を長押しします。
   削除マークが表示されます。
3. 削除マークをタッチします。

## メディア設定の変更

▸ ▸ メディア ▸ ▸ 希望の設定を選択しました。

# ライト

## ライトの概要説明

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

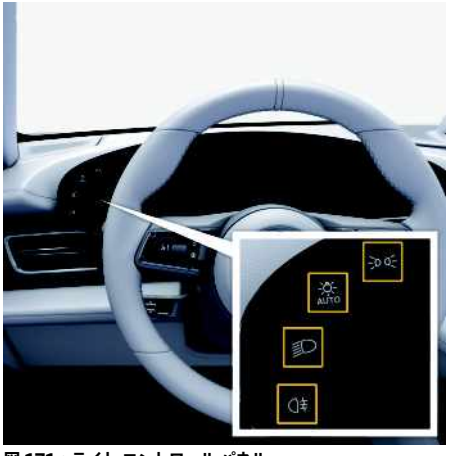


**図 171：ライト コントロール パネル**

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| **オートマチック ヘッドライトを ON にする** | ▸ AUTO ボタンを押します。<br>ボタンが緑色に点灯します。 インジケーター ライト が点灯します。<br>オートマチック ヘッドライトおよび Porsche Dynamic Light System Plus (PDLS Plus、装備による) が ON になります。 | ▷ p. 245 |
| **パーキング ライトを ON にする** | ▸ ボタンを押します。<br>ライセンス プレート ライト、インストルメント照明、および車幅灯が ON になります。 | – |
| **ロー ビームを手動で ON にする** | ✔ 作動待機が確立されました。<br>▸ ボタンを押します。<br>ボタンが緑色に点灯します。 インジケーター ライト が消灯します。<br>ロー ビームが ON になります。オートマチック ヘッドライト、デイタイム ドライビング ライト、および Porsche Dynamic Light System Plus (PDLS Plus、装備による) が OFF になります。 | – |

| 希望する操作 | 操作方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| リヤ フォグ ライトを ON にする | ▸ ボタンを押します。 | – |
| エクステリア ライトを完全に OFF にする | ▸ ボタンを約 2 秒間押します。<br>ボタンの緑色のライトが消灯します。 すべてのエクステリア ライトは、10 km/h 以下または 100 m 以下の走行のときには完全に消灯したままです。 | ▹ p. 245 |

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** ライトが点灯していない状態での走行

ライトが点灯していない状態で走行すると、視界が大幅に悪くなり、他の通行者からも車両が見えていない恐れがあります。

- ▸ オートマチック ヘッドライトを慎重に監視し、必要に応じてロー ビーム ヘッドライトを手動で ON にします。
- ▸ 特定の国では、ロー ビーム ヘッドライトを使用した走行に関する法律を遵守してください。

**⚠ 警告** ダイナミック ハイ ビームを作動させて運転している際の集中力低下

ダイナミック ハイ ビームを使用している場合でも、運転中にライトの状態、視界および交通状況などに応じて手動でハイ ビームを調整することはドライバーの責務です。このシステムはあくまでも補助的な機能のため、運転時には細心の注意を払ってください。以下の状況では、手動の操作が必要となります：

- – 雨、霧、雪、氷、多量の水しぶきなどの悪天候時
- – 高速道路など、対向車が確認しづらい道路
- – 自転車など、照明が暗い道路利用者がいる場合
- – 狭いカーブ、急な傾斜路の頂上や山道
- – 明かりが少ない村や町
- – 道路標識などの強い反射がある場合。
- – カメラ部分のフロント ウィンドウが曇っている、汚れている、凍結している、あるいはステッカーで塞がれている場合。
- ▸ 十分注意して運転してください。
- ▸ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▸ 必要に応じ、ハイビームをライト、視界、交通状況に手動で合わせてください。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▹ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

## オートマチック ヘッドライト / エクステリア ライトの ON/OFF の切り替え

### オートマチック ヘッドライトを ON にする

- ▸ ボタンを押します。

ボタンが緑色に点灯します。 インジケーター ライト が点灯します。

次のような状況では、ロー ビームは自動的に ON になります：

- – 夕暮れ時
- – 夜間
- – トンネル内走行時
- – 雨天時

ロー ビームが自動的に ON になると、 ボタンが緑色に点灯します。インジケーター ライト が点灯します。

### インフォメーション

オートマチック ヘッドライトは、霧を感知しません。

- ▸ 霧の場合には、前照灯と後部フォグライトのスイッチを手動で入れてください。

### エクステリア ライトを完全に OFF にする

- ▸ ボタンを約 2 秒間押してください。

ボタンの緑色のライトが消灯します。

次のような状況では、自動ライトは再度 ON になります[1]：

- – 10 km/h 以上の速度
- – エクステリア ライトを OFF にした後 100 m 以上走行した場合

1. 国によって異なります

**インフォメーション**

気温と湿度により、車両のエクステリア ライトが曇ることがあります。十分な距離を走行することで、この曇りは取れます。

## オートマチック カミング ホーム ライトの調整

✓ オートマチック ヘッドライトが ON になっています。

乗降時に車両のライトを ON にすることができます。
車両の最後のドアが閉じられる、または車両のロック解除後、以下のライトが ON になります：

– デイタイム ドライビング ライト
– 接近時のロー ビーム
– フロントおよびリヤの車幅灯
– ライセンス プレート ライト

作動待機が ON、またはオートマチック ヘッドライトが OFF になると、これらは再度 OFF になります。
遅延消灯の持続時間は、セントラル ディスプレイで設定できます。

▸ **▸ 設定 ▸ 車両 ▸ ライトと視界 ▸ エクステリアライト ▸ 遅延時間**

## LED ヘッドライト搭載のポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)

✓ オートマチック ヘッドライトが ON になっています。

### ダイナミック コーナリング ライト

速度が約 5 km/h を超えている場合、車両速度とステアリング ホイールの角度に応じて、ロー ビームまたはハイ ビーム ヘッドライトの向きが変わります。

### 状況に応じたライト配光

状況に応じたライト配光 (国別仕様) により、ロー ビームおよびハイ ビーム ヘッドライトの配光は、市街地、郊外道路、または高速道路の走行に適応します。

### 悪天候のライト

速度が約 60 km/h 未満でフォグ ライトが点灯している場合、ロー ビームの配光特性が変化します。このときドライビング ライトは、眩しさを抑えるように照射され、より広範囲が見えるように照射エリアが広がります。

### ダイナミック ハイ ビーム

**図 172 : フロント ウィンドウ カメラ**

ルーム ミラー付近に取り付けられたカメラ (A) は、他の道路利用者の光源 (ライト) を検出できます。
他の道路利用者が検出された場合、ドライビング ライトの明 / 暗境界線がロー ビーム ライトとハイ ビーム ライトの間に設けられたいくつかの段階に連続調整されます。 検出された他の車両がドライビング ライトの明 / 暗境界線を認識できるような段階に調整されます。
カメラが街路灯を検出した場合、ハイ ビームからロー ビームに切り替わります。
ダイナミック ハイ ビームは、車速 30 km/h から 60 km/h の間でナビゲーション データに応じて ON または OFF にされます。

ダイナミック ハイ ビームは、セントラル ディスプレイで操作することで作動または停止させることができます：

▸ **▸ 設定 ▸ 車両 ▸ ライトと視界 ▸ エクステリアライト ▸ ダイナミックハイビーム**

**インフォメーション**

検出挙動を妨害しないようにすること：

- ルーム ミラーのカメラの視界をステッカーなどで遮らないでください。
- カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。

## LED マトリックス ヘッドライト搭載のポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)

✓ オートマチック ヘッドライトが ON になっています。

PDLS Plus LED マトリックス ヘッドライトは PDLS Plus の機能も備えています。

### ダイナミック ハイ ビーム

**図 173 : フロント ウィンドウ カメラ**

カメラ (A) により、他の道路利用者の光源 (ライト) や街灯を検出することができます。 他の車両の位置、スピードおよび他の環境や交通状況に応じて、ハイ ビー

ム ヘッドライトの各 LED セグメントを有効または無効にすることができます。 車両の前方領域はロー ビームになり、残りは完全に点灯したままです。これにより、他の道路利用者を眩惑させることなく確実に周囲を照らすことができます。 カメラが街路灯を検出した場合、ハイ ビームからロー ビームに切り替わります。
ダイナミック ハイ ビームは、車速 30 km/h から 60 km/h の間でナビゲーション データに応じて ON または OFF にされます。
ダイナミック ハイ ビームは、次のようにセントラル ディスプレイで作動または停止することができます。

▸ **▸ 設定 ▸ 車両 ▸ ライトと視界 ▸ エクステリアライト ▸ 車両認識時のハイビーム調整**

### インフォメーション

検出挙動を妨害しないようにすること :

- ルーム ミラーのカメラの視界をステッカーなどで遮らないでください。
- カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。

### パッシング ライト

✓ 対向車なし。
✓ 前走車。

- 運転中に追い越す場合、方向指示灯を作動させてください。
  前方走行車両の隣の領域が明るく照らされます。
  方向指示器が解除された場合、または対向車が検出された場合、パッシング ライトは自動で消灯します。

### 検知ライト

✓ 前走車なし。
✓ ヘッドライトを点灯した対向車の検出。

走行中のレーンが明るく照らされるように、配光特性が素早く変わります。こうすることで、視線が走行中のレーンに向くようにします。対向車によるドライバーの眩惑を軽減します。

### 標識の眩しさの軽減

✓ ダイナミック ハイ ビームが ON になっている。

交通標識や道路標識からの眩しい反射光によって、ドライバーが眩惑する場合があります。
標識の眩しさ軽減機能は、素早く車両のローまたはハイ ビーム ヘッドライトの各 LED セグメントを適切に調整します。反射式の交通標識や他の標識による、ドライバーの眩惑を軽減します。

### オートマチック ヘッドライト較正

✓ 壁などの照射対象面に対して、可能な限り正対する位置に車両を配置します (壁から 5 m 以上離します)。
✓ 較正中にヘッドライトの影響を受ける可能性のある物体を視界範囲内から排除します。
✓ ロー ビーム ON。

ヘッドライトの較正は、適切な条件下 (周囲の照明と投影面の状態による) でロー ビームが作動すると自動的に開始されます。 較正中、ヘッドライトの LED セグメントは右から左の順に自動的に点灯と消灯を繰り返し、その状態をカメラ (A) が検出します。
較正はヘッドライト アライメントを確認するために使用され、ヘッドライトの手動調整に代わるものではありません。

## 方向指示灯およびハイ ビーム レバーの操作

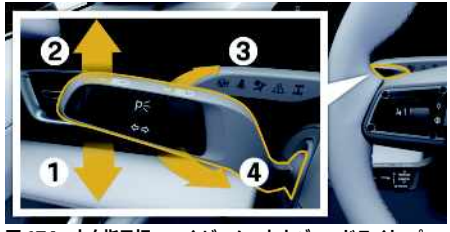



**図 174 : 方向指示灯、ハイ ビーム、およびヘッドライト パッシングの操作**

1 方向指示灯 / 左パーキング ライト
2 方向指示灯 / 右パーキング ライト
3 ハイ ビーム
4 ヘッドライト パッシング

### 方向指示灯の操作

- 抵抗を感じる位置 1 または 2 まで操作レバーを動かします。方向指示灯は、操作レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリング ホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。

#### コンフォート方向指示の有効化

- 抵抗を感じる位置 1 または 2 まで操作レバーを 1 度動かします。
  方向指示灯が 3 回点滅します。
- コンフォート方向指示を中断するには、反対方向に操作レバーを押します。

### ハイ ビームの ON および OFF の切り替え

✓ ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (-PDLS Plus) 非装備車。
– または –
ダイナミック ハイ ビームが停止しています。

**ON にする**

▸ レバーを 3 の位置に 1 度押します。
インジケーター ライト が点灯します。

**OFF にする**

▸ レバーを 4 の位置に 1 度引きます。
インジケーター ライト が消灯します。

### ダイナミック ハイ ビームの ON/OFF の切り替え

✓ ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (-PDLS Plus) 装備車。
✓ オートマチック ヘッドライトが ON になっています。
✓ ダイナミック ハイ ビームが作動しています。

**ON にする**

▸ レバーを 3 の位置に 1 度押します。
インジケーター ライト が点灯します。
ハイ ビーム ヘッドライトが作動している場合、インジケーター ライト が点灯します。

**OFF にする**

▸ レバーを 4 の位置に 1 度引きます。
ダイナミック ハイ ビームは、インジケーター ライト 点灯中に限り停止できます。

**手動で ON にする**

ダイナミック ハイ ビームを停止した場合、または作動条件が満たされなかった場合、手動でハイ ビームの点灯 / 消灯を切り替えることができます。

▸ レバーを 3 の位置に 2 度押します。
インジケーター ライト が点灯します。

**手動で OFF にする**

▸ レバーを 4 の位置に 1 度引きます。
インジケーター ライト が消灯します。

**ヘッドライト パッシングの操作**

▸ レバーを 4 の位置に短く 1 度引きます。
インジケーター ライト が短時間点灯します。

### パーキング ライトの ON/OFF の切り替え

✓ 作動待機が OFF になっています。
▸ 抵抗を感じる位置 2 または 1 まで操作レバーを押すと、右または左のパーキング ライトが点灯します。
パーキング ライト点灯中にドアを開けると、インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

## ハザード ライトの ON/OFF

**図 175 : ハザード ライトの ON/OFF**

### ハザード ライトの ON/OFF

▸ センター コンソールのボタンを押してください。
すべての方向指示器とボタンが点滅します。

### 緊急ブレーキ後のハザード ライトの解除

約 70 km/h 以上の速度で走行中、停車するために急ブレーキをかけるとハザード ライトが自動的に作動します。 ブレーキ中にブレーキ ライトが点滅します。

▸ センター コンソールのハザード ライト ボタンを押して、ハザード ライトを消灯してください。 車両が動き出すと、ハザード ライトは自動的に消灯します。

### 事故後のハザード ライト

エアバッグが作動する事故が起きた場合、ハザード ライトが自動的に作動します。

## 海外モードの作動

車両通行帯 (右側通行または左側通行) が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトの配光を調整する必要があります。
配光の適応は、通常、ナビゲーション データに基づいて自動的に行われます。
変更後は、作動準備が整うたびにインストルメント クラスターに通知が表示されます。
変更が自動的に行われない場合は、セントラル ディスプレイで手動で実行することもできます。

▸ ▸ 設定 ▸ 車両 ▸ ライトと視界 ▸ エクステリアライト ▸ ロービームの反転設定

## バルブの交換

車両のエクステリア ライトおよびインテリア ライトには LED が取り付けられています。 LED は個別に交換できません。
ランプの取り外しおよび取り付けには、大きな努力が求められます。

▸ 壊れたバルブとランプの交換または修理は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**知識**

摩耗と過剰な温度により、ヘッドライトが損傷する可能性があります。

▸ ヘッドライト エリアにカバー (ストーン ガードやフィルムなど) を装着しないでください。

### インフォメーション

LED マトリックス ヘッドライトを備えた車両では、ロー ビームの設定を確認するにはボンネットを開ける必要があります。

- ヘッドライトの調整は、専用の調整装置を使用しているポルシェ正規販売店のみで実施してください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

# ラゲッジ コンパートメント

## 荷物の積載

**⚠ 警告** 車両に荷物が載っている時の車両操縦性の変化

車両に載せた荷物に応じて、車両操縦性は変化します。

- ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

**⚠ 警告** 固定されていない、あるいは固定方法や固定位置が正しくない荷物

固定されていない、または不適切な位置に載せられた荷物は、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に、滑り出して乗員がケガをする恐れがあります。

- 固定していない荷物を輸送しないでください (事故、ブレーキ、コーナリング)。
- 荷物は常にラゲッジ コンパートメントで輸送して、車内 (座席の上または前など) には絶対に入れないでください。
- 可能であれば、シート バックレストで荷物を支えます。バックレストを常に固定します。
- バックレストが直立して固定されている場合にのみ重量物を輸送します。
- 可能な限り、空いている座席の後ろに荷物を置きます。
- 重量物はフロアからできるだけ遠くに置き、その後ろに軽量物を置きます。
- リヤ シェルフの上に物を置いたまま走行しないでください。
- リヤ シートが空いている場合、シート ベルトでバックレストをさらに固定することができます。それには、外側シートのシート ベルトを交差させて、反対側のそれぞれのベルト バックルにはめます。
- 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- 走行中はロック可能な小物入れカバーを必ず閉じます。

**⚠ 警告** 不適切なタイヤ空気圧

不適切なタイヤ空気圧は、走行安全性に悪影響を与える恐れがあります。

- 荷重に合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- タイヤ空気圧を変更した場合、タイヤ空気圧モニタリングの設定を更新してください。

ラゲッジ コンパートメントの最大許容荷重は 200 kg です。荷重はラゲッジ コンパートメント全体に均等に配分する必要があります。

### タイダウン ベルトによる荷物の固定

- 荷物を固定するためにゴム ベルトやストラップを使用しないでください。
- ベルトやストラップが尖った端部を通らないようにしてください。
- 荷物の上をベルトが横切るようにします。
- ベルトは必ず手動で締め付けてください。追加のテンション工具 (ラチェット) を使用しないでください。
- タイダウン ベルトに関する指示や情報に従ってください。

## ボンネットおよびリヤ リッドの開閉

▷ 「ボンネット」の章（233ページ）を参照してください。

▷ 「リヤ リッド」の章（255ページ）を参照してください。

# タイヤ シーラント (Tire Mobility System - TMS)、工具セット、軽修理用装備の取り外しおよび収納

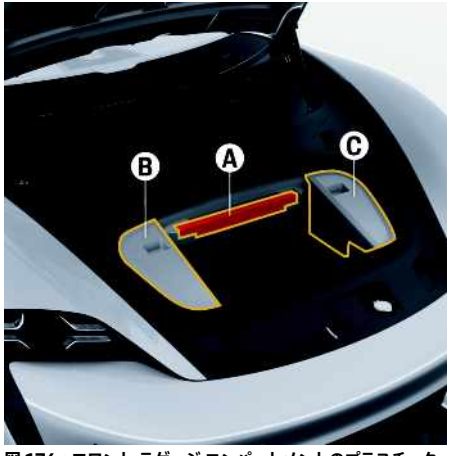



**図 176 : フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチック ボックス**

**A** 停止表示板 (国別仕様により異なる)
**B** タイヤ シーラント(Tire Mobility System - TMS)、けん引フック、応急処置セット用のプラスチック ボックス (国別仕様により異なる)
**C** 工具セットおよびタイヤ充填コンプレッサー用のプラスチック ボックス

## 停止表示板の取り外し (国別仕様により異なる)

停止表示板 **A** はラゲッジ コンパートメントの裏側に収納されています。

## タイヤ シーラント (Tire Mobility System - TMS)、けん引フック、応急処置セットの取り外し (国別仕様により異なる)

- プラスチック ボックス **B** のカバーを取り外し、目的の装備を取り出します。

## 工具セットおよびタイヤ充填コンプレッサーの取り外し

- プラスチック ボックス **C** のカバーを取り外し、目的の装備を取り出します。

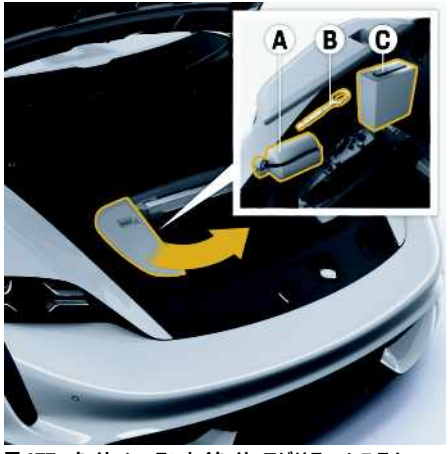



**図 177 : タイヤ シーラント (タイヤ モビリティ システム - TMS)、けん引フック、応急処置セット用のプラスチック ボックス (国別仕様により異なる)**

**A** タイヤ シーラント (Tire Mobility System - TMS)
**B** けん引フック
**C** 応急処置セット (国別仕様により異なる)

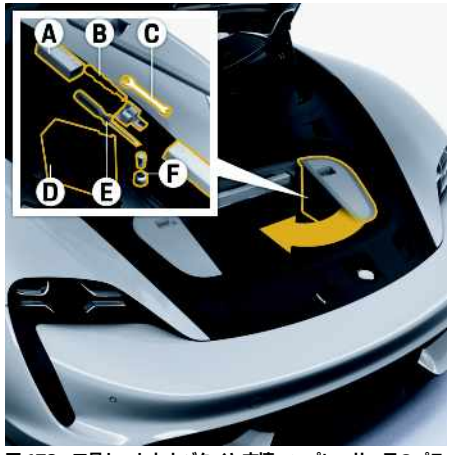



**図 178 : 工具セットおよびタイヤ充填コンプレッサー用のプラスチック ボックス**

**A** 車載工具
**B** 充電ポート リッド用の緊急解除ツール
**C** 両口スパナ
**D** タイヤ充填コンプレッサー
**E** ドライバー
**F** 盗難防止ホイール ボルト用ソケット レンチ

## フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチック カバーの取り付けと取り外し

### フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチック カバーの取り外し

図 179 : プラスチック カバーを持ち上げて外す

1. ラッチが外れるまで (外れる音が聞こえます)、プラスチック カバーを持ち上げます。
2. プラスチック カバーを少し前方に引き、前部を持ち上げてください。
3. プラスチック カバーを取り外します。

### フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチック カバーの取り付け

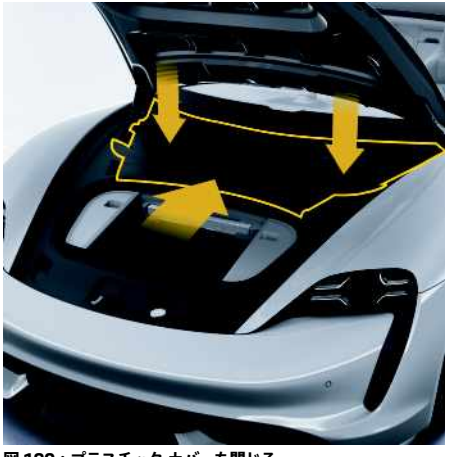


図 180 : プラスチック カバーを閉じる

1. プラスチック カバーの後端部をガイドに差し込み、ホルダー上に置きます。 プラスチック カバーの前部を押し下げます。
2. カバー下側のセンタリング ピンが各ガイドにはまっていることを確認してください。
   ラッチのはまる音が聞こえるまで、カバーの取っ手部分を下に押してください。

## ブーツ フロアの開閉

### ラゲッジ コンパートメント フロアを開く

図 181 : ブーツ フロアを開く

- タブでブーツ フロアを持ち上げます。

### ラゲッジ コンパートメント フロアを閉じる

- タブを使用してブーツ フロアを下ろします。

## スキー バッグの使用

車内を損傷することなくスキーまたはスノーボードを安全に運ぶことができます。

**知識**

荷物の鋭い端（スノー ボードなど）によってスキー バッグが損傷する恐れがあります。

- 荷物の鋭い端部を保護してください。

### スキー バッグにスノーボードやスキーを保存する

図 182 : スキー バッグの使用

スキー バッグはラゲッジ コンパートメント内の専用のギア バッグに収納します。

1. エッジ プロテクターをスノーボードまたはスキーに装着します。
2. スノーボードまたはスキーをスキー バッグに入れて、スキー バッグを閉じます。 スキーの先端をスキー バッグのフロント部に必ず置くようにします。 スキー バッグのファスナーは、車両の後方を向いている必要があります。
3. 締め付けストラップを使用してスキーを締め付けます。 スキー ビンディングはこのバンドより後方になければなりません。
4. リヤ シート間のパススルー カバーを折り曲げます。
5. タイダウン リングにテンション ストラップのスプリング フックを掛けます。
6. テンション ストラップを締め付けます。

## タイダウン リングの使用

図 183 : タイダウン リングの使用

タイダウン ストラップは、滑りを防止するためにブーツに荷物を固定するタイダウン リングに締結することができます。

- 荷物固定時に、すべてのリングに均等に負荷がかかっていることを確認します。

### インフォメーション

タイダウン リングは事故の際の大きな負荷に耐えるようには設計されていません重量物を支えることはできません。

# リヤ クロス トラフィック アラート

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 不注意な操作または発進

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。 発進の際に注意したり、障害物の有無を確認したりする責任は、依然としてドライバーにあります。 このシステムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

- ▸ 人や動物、障害物または車両が操作エリア内にいないことを確認してください。
- ▸ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンス システム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

その他のアシスタンス システムに関する情報 :

- ▹ 「パークアシスト」の章（192ページ）を参照してください。
- ▹ 「アクティブ パーキング サポート」の章（31ページ）を参照してください。

**⚠ 警告** 検出されない状況

システムの機能制限により、システムが反応しなかったり、誤った警報を発したりする場合があります。

- ▸ 十分注意して運転してください。
- ▸ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

## システム制限

次のような状況では、タイミングよく車両を検知できない場合があります。

– 車両が後方に突き出ている車両の隣に駐車している。
– ルートを横切る他の道路利用者が非常に速く接近している。
– リヤ バンパーが汚れている。

## 機能

リヤ クロス トラフィック アラートは、車両の後方を監視し、車両の発進中に車両の後ろを横切る通行者 (乗用車、オートバイ、自転車、歩行者など) についてドライバーに警告します。

**図 184 : リヤ クロス トラフィック アラート表示**

このシステムは以下の条件で利用できます。

– リヤ クロス トラフィック アラートが ON になっている。
– ポルシェ スタビリティ マネジメント (PSM) が ON になっている。
– トランスミッション レンジ **R** が選択されている。
– 車両速度が約 15 km/h 未満である。

後退時、セントラル ディスプレイに矢印が表示され、車両の経路を横切る他の道路利用者が近づいていることをドライバーに知らせます。 危険な状況が発生する可能性があることを視覚と音により警告します。 ドライバーが警告に反応しない場合、差し迫った衝突リスクについてドライバーに警告するために、システムが短い振動による警告を実行します。

## リヤ クロス トラフィック アラートの ON/OFF の切り替え

▸ ▸ アシスト ▸ リヤ クロス トラフィック アラート

車両の電源を OFF にした後、システム ステータスが選択したアカウントに保存され、使用しているキーと関連付けられます。

- ▹ 「パーソナル設定」の章（196ページ）を参照してください。

# リヤ リッド

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 自動リヤ リッドの不意な開閉

自動リヤ リッドが不意に開閉することにより、ケガをする危険があります。

- リヤ リッドの開閉は車両が停車中のときのみ行ってください。
- リヤ リッドの開閉は、可動範囲内に人や動物がいないときのみ行ってください。
- 危険があるときはいつでも作動を中断できるように、リヤ リッドの開閉作動から目を離さないでください。

**知識**

リヤ リッドが不意に開閉することにより、車両が損傷する恐れがあります。

- 車両の後方や上方に十分なスペースがあることを確認してください (ルーフ トランスポート システムやガレージの天井など)。
- 積み荷がラゲッジ コンパートメントから突き出したり、はみ出したりしないようにしてください。

### 緊急時の開閉作動の中断

次のいずれかのボタン操作で、すぐに開閉作動を中断します :

- キーの ボタン。
  **– または –**
  リヤ リッド トリム パネルの 2 つのボタンのうちの 1 つ。
  **– または –**
  外側のリヤ リッド (後部スカート) の下にあるリリース ボタン。
  **– または –**
  足の動きで操作します。
- ワンタッチ操作を再作動するには該当するボタンを押します。

## リヤ リッドを開く

### リリース ボタンを使用してリヤ リッドを開く

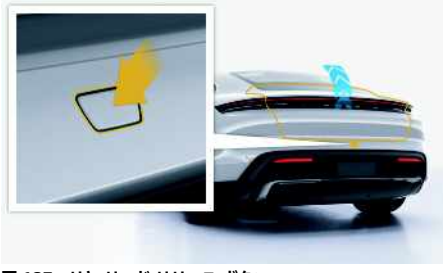


**図 185 : リヤ リッド リリース ボタン**

✓ 車両のロックが解除されています (コンフォート アクセス非装備車)。
**– または –**
✓ キーを携行しています (コンフォート アクセス装備車)。

- ボタンを押してください。
  車両のすべてのドアのロックが解除されます。
  リヤ リッドは、設定した高さまで開きます。

### センター コンソール コントロール パネルまたはセントラル ディスプレイを使用してリヤ リッドを開く

リヤ リッドは、センター コンソール コントロール パネルのフラップ スクリーンまたはセントラル ディスプレイを使用して閉じることができます。

✓ 作動準備が整っています。
✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動しています。

**センター コンソール コントロール パネル**

- ▸
  リヤ リッドは、設定した高さまで開きます。

**セントラル ディスプレイ**

- ▸ **設定** ▸ **車両** ▸ **ボンネット、リヤ リッド、充電ポート** ▸ **リヤリッドを開く**
  リヤ リッドは、設定した高さまで開きます。

### キーでリヤ リッドを開く

✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動しています。

- キーの ボタンを押してください。
  車両のすべてのドアのロックが解除されます。
  リヤ リッドは、設定した高さまで開きます。

### 足動作でリヤ リッドを開く

**図 186 : 足動作コントロール**

**⚠ 注意** リヤ リッドの不用意な作動

リヤ エンドのセンサーが人、動き、または物を検出し、有効なキーが車両後方にある場合、リヤ リッドが

自動的に開閉して、負傷または車両への損傷を引き起こす恐れがあります。

リヤ リッドの不用意な作動を防ぐには、以下を実行します。

- ▸ セントラル ディスプレイの機能を無効にします。
  **- または -**
- ▸ コンフォート アクセスを OFF にします。

---

✓ コンフォート アクセス装備車。
✓ 機能が作動しています。
✓ キーを携行します。

1. 車両の後方中央に立ってください。
2. 足を車両後方に向けて前後に 1 回の動作で動かします。
   リヤ リッドは、設定した高さまで開きます。

セントラル ディスプレイでこの機能の有効 / 無効を切り替えることができます。

▸ **▸ 設定 ▸ 車両 ▸ 車両ロック システム ▸ リヤ リッドのコンフォート アクセス**

### インフォメーション

次のような状況では、足動作機能は利用できないかもしれません :

– 悪天候 (雨、雪または凍結)。
– バンパーが汚れている場合。
– 車両キーの信号が電波干渉の影響を受けている場合。

---

### リヤ リッドを開く高さの設定

リヤ リッドを開く高さは個別に設定できます。

レベル コントロール装備車は、必ず車両が最も高い状態にあるときにリヤ リッドの高さを調整してください。

1. 車両の後方に立ってリヤ リッドを開いてください。
2. 開作動を中断するには、キーまたはリヤ リッド トリム パネル内の ボタンを押します。
3. リヤ リッドを設定したい高さまで動かします。
4. リヤ リッド トリム パネルのボタン **A** を約 3 秒間押します。
   設定された高さの確認が完了すると、確認音が鳴ります。

### リヤ リッドが不意に作動した場合の自動停止

リヤ リッドが降り積もった雪の重みなどで開いた後すぐに不意に下がると、パワー メカニズムのブレーキ機能が作動してリッドの動きを制止するとともに、リッドの動きが止まるまで警告音が鳴ります。

- ▸ リヤ リッドの動きを約 1 秒止めます。
  自動停止が無効になります。

## リヤ リッドを閉じる

### リヤ リッド トリム パネルのボタンを使用してリヤ リッドを閉じる

**図 187 : リヤ リッド トリム パネルのボタン**

A リヤ リッドを閉じる
B リヤ リッドを閉じて車両をロックする

---

- ▸ リヤ リッド トリム パネルのボタン **A** を押します。
  リヤ リッドが閉じます。

### リヤ リッド トリム パネルのボタンを使用してリヤ リッドを閉じ、ロックする

✓ コンフォート アクセス装備車。
✓ キーを携行します。

- ▸ リヤ リッド トリム パネルのボタン **B** を押します。
  リヤ リッドが閉じて車両がロックされます。

### インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。 何度か警告音が鳴り、車両は 4 回点滅します。 ドアまたはリヤ リッドを約 45 秒以内に開けなかった場合に限り、車両はロックされます。スペア キーを使用しないとロック解除できなくなります。

- ▸ 車両をロックするときは、キーが車内にないことを確認してください。

---

### センター コンソール コントロール パネルまたはセントラル ディスプレイを使用してリヤ リッドを閉じる

センター コンソール コントロール パネルのフラップ ビューまたはセントラル ディスプレイを使用して、リヤ リッドを閉じることができます。

✓ 作動準備が整っています。
✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動しています。

**センター コンソール コントロール パネル**

- ▸ ▸

- ▸ リヤ リッドが閉じるまでセントラル ディスプレイを押し続けます。
  警告シグナルが鳴り、リヤ リッドが閉じます。

**セントラル ディスプレイ**

▸ **▸ 設定 ▸ 車両 ▸ ボンネット、リヤ リッド、充電ポート リッド ▸ リヤ リッドを閉じる**

▸ リヤ リッドが閉じるまでセントラル ディスプレイを押し続けます。
警告シグナルが鳴り、リヤ リッドが閉じます。

## 足の動きでリヤ リッドを閉じる

**⚠ 注意** リヤ リッドの不用意な作動

リヤ エンドのセンサーが人、動き、または物を検出し、有効なキーが車両後方にある場合、リヤ リッドが自動的に開閉して、負傷または車両への損傷を引き起こす恐れがあります。

リヤ リッドの不用意な作動を防ぐには、以下を実行します。

▸ セントラル ディスプレイの機能を無効にします。
**- または -**
▸ コンフォート アクセスを OFF にします。

✓ コンフォート アクセス装備車。
✓ キーを携行します。
✓ 車両までの最大距離は約 75 cm とします。
1. 車両の後方中央に立ってください。
2. 足を車両後方に向けて前後に 1 回の動作で動かします。
リヤ リッドが閉じます。

## リヤ リッド閉作動中の障害物の検出

リヤ リッドの閉操作が障害物により妨げられると、作動は自動的に中断されます。
警告シグナルが鳴り、リヤ リッドが作動を停止します。

1. 障害物を取り除いてください。
2. リヤ リッドを自動で閉じるか、手でゆっくり閉じてください。

# ルーフ トランスポート システム

## ルーフに物を載せて運ぶ場合

**⚠ 警告** 固定されていない、または不適切に固定したルーフ トランスポート システムまたは積載器具

固定されていない、または不適切に固定したルーフ トランスポート システムは、走行中に車両から外れ、重大事故を起こす恐れがあります。

- スキー / スノーボード ホルダーやルーフ ボックスなどの積載アタッチメントは、サポートに対して可能な限り中央になるように取り付けてください。
- 毎回走行を開始する前に、ルーフ トランスポート システムや積載器具が正しく確実に固定されていることを必ず確認してください。長距離走行時は、途中で定期的に確認してください。
- すべてのファスニング スクリューを再度締め付けてください。

**⚠ 警告** 車両操縦性の変化

ルーフ トランスポート システムを装着して荷物を載せると、車両操縦性が変化します。

- 走行スタイルを積荷に合わせてください。
- ルーフ トランスポート システムに荷物を積載しているときは、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- 荷物を積載せずにルーフ トランスポート システムを装着するときは、180 km/h 以上の速度で走行しないでください。

**⚠ 警告** 荷物が固定されていない、または固定方法が正しくない場合

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくないと、走行中に荷物がルーフ トランスポート システムから外れ、重大な事故につながる恐れがあります。

- 荷物は走行中に動かないように適切な方法で固定してください。
- ルーフ トランスポート システムに荷物を積む際には、荷物がシステムから横にはみ出さないようにしてください。 荷物の幅が絶対に車両の幅を超えないようにしてください。
- ゴムのテンショナーは使用しないでください。
- ルーフ トランスポート システム上では、荷物の重心ができる限り低い位置になるようにし、荷重が積載エリア全体に均等に分散されるようにしてください。

**知識**

ルーフ トランスポート システムを装着したまま自動洗車機を使用したり、車高に注意を払わなかったり、許容最大荷重を超過すると、車両やルーフ トランスポート システムを損傷する恐れがあります。

- 自動洗車機を使用する前に、ルーフ トランスポート システムを完全に取り外してください。
- 立体駐車場など、高さが限られた場所に進入する前に、ルーフ トランスポート システムを含めた車両の全高を確認してください。
- 最大ルーフ積載荷重、最大総車両重量および最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。

**インフォメーション**

- ルーフ トランスポート システムを使用しない場合は、ルーフ トランスポート システムを完全に取り外すことで、電力消費が最適化され、ノイズも低減できます。

荷物を安全に確実に運ぶにはルーフ トランスポート システムや他の補助アタッチメント (スキー / スノーボード ホルダー、ルーフ ボックス、バイク ラックなど) を使用してください。

- ポルシェが試験および認定したルーフ トランスポート システムのみ使用してください。従来のルーフ ラック システムは車両に取り付けられません。

ルーフ トランスポート システムについて詳しくは、

- ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ルーフ トランスポート システムの取り付け

✓ パノラマ ソリッド ガラス ルーフ装備車両。

**図 188 : ルーフ トランスポート システムの構成部品**

A フロント キャリア バー (ロング)
B リヤ キャリア バー (ショート)
C カバー トリム
D トルク レンチ
E キー
F 組み立て保護具
G アダプター

初めて取り付ける場合 :

- フロントおよびリヤ キャリアを車両幅に合わせて調節します。

**知識**

キャリア フットで塗装面やガラスを損傷する恐れがあります。

- キャリアを組み立てている間、組み立て保護具をキャリア フットに固定します。

**図 189 : ルーフ トリムのフラップを開く**

1. ルーフ トリムのフラップ **J** を開きます。

**図 190 : カバー フラップのロックおよび折りたたみ**

2. カバー フラップ **H** をキー **E**でロック解除して、折りたたみます。

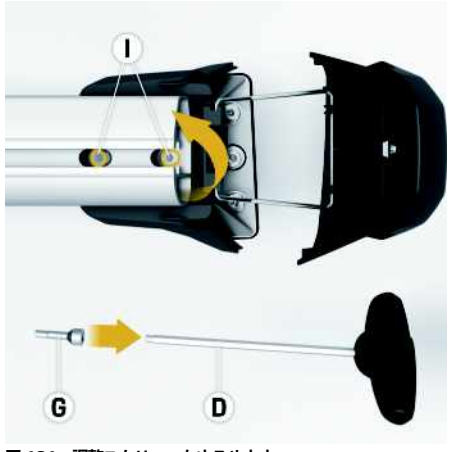



**図 191 : 調整スクリューをゆるめます。**

3. **初回組み立て :**
   a. アダプター **G** をトルク レンチ **D** 上に配置します。トルクレンチ **D** を使用して、各キャリアの 2 か所の上部側の調整スクリュー **I** をゆるめます。

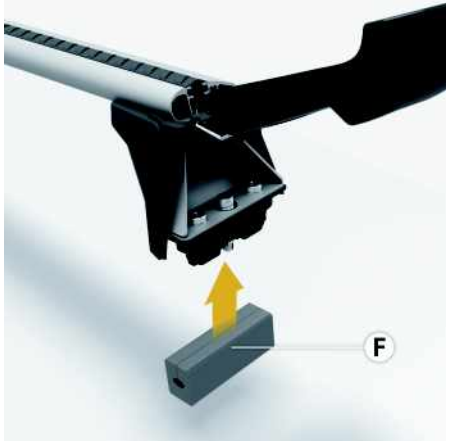



**図 192 : 組み立て保護具を貼り付ける**

b. 組み立て保護具 **F** を反対側のキャリア フットに固定します。

**図 193 : キャリアをルーフに取り付ける**

c. 長いキャリア **A** を車両のホルダー **K**のフロント部に、短いキャリア **B** をリヤ部に置き、同時に調整式キャリア フィートで車両の幅に合わせます。

キャリアの下側に貼ってあるステッカーに合わせて、キャリアが配置されているか確認します。

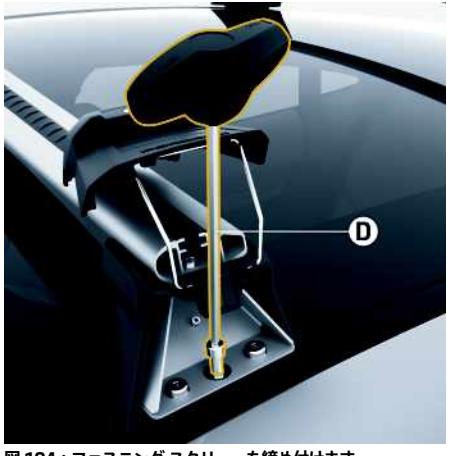



**図 194 : ファスニング スクリューを締め付けます。**

d. トルク レンチ **D** を使用して、キャリアの 4 つのファスニング スクリューすべてを表面と面一になるまでねじ込みますが、**まだ**完全には締め付けません。

**図 195 : 調整スクリューを締め付けます。**

e. 両側のキャリアの上部の調整スクリューを**わずかに**締め付けますが、**まだ**完全には締め付けません。次に、トルク レンチ **D** を使用して、上部の調整スクリュー を 8 Nm のトルクで締め付けます。これを行うには、「クラック音」がするまで、トルク レンチ **D** を回します。

**組み立て手順 4 に進みます。**

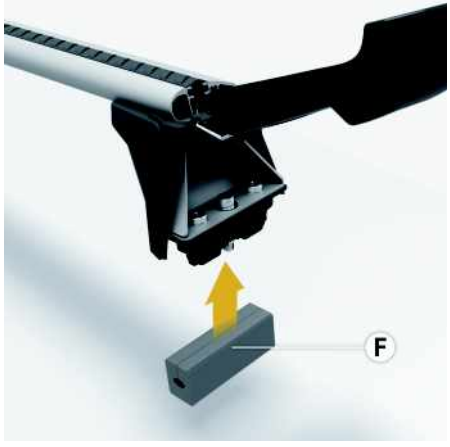



**図 196 : 組み立て保護具を貼り付ける**

3. **その後の組み立て：**
   a. 組み立て保護具 **F** を反対側のキャリア フットに固定します。

**図 197 : キャリアをルーフに取り付ける**

   b. 長いキャリア **A** をトリムのくぼみにある車両のホルダー **K** のフロント部に、短いキャリア **B** をリヤ部に配置します。

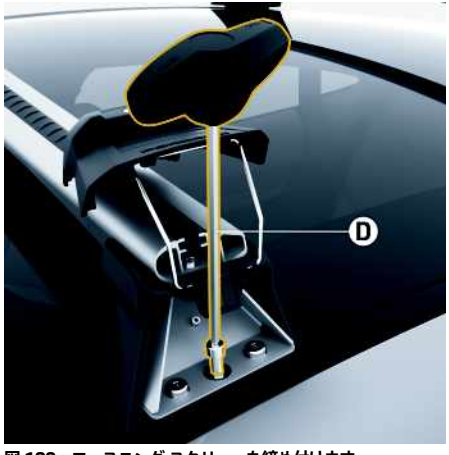



**図 198 : ファスニング スクリューを締め付けます。**

4. キャリアの 4 個のファスニング スクリューすべてをトルク レンチ **D** で表面と面一になるまでねじ込みます。次に、すべてのファスニング スクリューを 8 Nm のトルクで締め付けます。これを行うには、「クラック音」がするまで、トルク レンチ **D** を回します。

▸ キャリアをチェックして、車両に適切にしっかりと据え付けられていることを確認します

**図 199 : カバー フラップを折りたたんでロックする**

5. キャリアのカバー フラップ **H** を完全に下方に下げて、ご希望の積載器具 (ルーフ ボックス、バイク ラックなど) をキャリアに取り付けます。次に、カバー フラップを閉じ、キー **E** を使用してロックします。

**図 200 : プロファイル トリムをサイズに合わせて切り、取り付ける**

6. プロファイル トリム C をサイズに合わせて切り、横方向からスライドさせるか上から押してキャリアにはめ込みます。プロファイル トリムは湿気やほこりからキャリアを保護し、風切り音も防ぎます。

**インフォメーション**

50 km (30 mls) 走行後、キャリアおよび積載機器のすべてのスクリューを再度締め付けます。

## マウント部品の取り付け

**図 201 : マウント部品の取り付け**

1. カバー フラップをキーでロック解除して、折り返します。
2. 所定の T 溝にマウント部品を挿入します。
3. カバー フラップを閉じ、キーでロックします。
4. マウント部品の取り付けと固定については、必ず該当する取扱説明書をお読みください。

## プロファイル トリムの閉鎖

水分や汚れから保護し、風切り音を防止するため、ファスナーが使用されていないときはプロファイル トリムの T 溝を閉鎖します。

**図 202 : プロファイル トリムをサイズに合わせて切り、取り付ける**

1. 基本的なキャリアの長さにプロファイル トリムを切断します。
2. プロファイル トリムを T 溝に押し入れます。

# レーン キープ アシスト[1]

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 集中力の低下

システムは、その制限内で、車両が走行車線に留まるようにドライバーをサポートしますが、代わりに運転するわけではありません。ドライバーは、たとえレーン キープ アシストが作動中であっても、走行車線内に留まるようにするなど、常に安全運転に努めてください。このシステムはあくまでも補助的な機能のため、運転時には細心の注意を払ってください。

- 慎重に運転し、いつでもハンドル操作できるように常にステアリング ホイールを握っていてください。
- 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- インストルメント クラスターに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人がただちに車両のコントロールを行ってください。
- 道路状況と天候に応じて適したスピードで運転してください。
- ステアリング ホイールには物を取り付けないでください。

**⚠ 警告** ステアリング介入がない、またはほとんどない

急ブレーキ時には、ステアリング介入による補正が行われない場合があります。同様に、ドライバーが積極的にハンドル操作を行っている場合は、ステアリング介入による補正が低減されるか、または行われないことがあります。

- 慎重に運転し、いつでもハンドル操作できるように常にステアリング ホイールを握っていてください。
- 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- インストルメント クラスターに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人がただちに車両のコントロールを行ってください。

**⚠ 警告** ステアリング介入による補正が不十分

トラックのわだち、カーブの多い道、坂道、または横風がある場合など、ステアリング介入による補正だけでは車両を走行車線に保つには不十分な場合があります。

- そのような状況では、積極的なステアリング操作によりアシストしてください。
- 十分注意して運転してください。
- ステアリング ホイールは必ず両手で保持してください。

**ℹ インフォメーション**

- システムの故障またはレーン キープ アシストの機能不全がこの章の記載どおりに発生する場合、レーン キープ アシストを使用しないでください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## システム制限

**⚠ 警告** 物理的な限界とシステム制限

状況によっては、システムが車線を適切に検出できず、ステアリング介入による補正が不十分で車両を車線内に維持できなかったり、機能ステータスが作動中から停止中に突然変わったりすることがあります。事故を起こす恐れがあります! 以下のような状況が含まれます。

- 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合
- スポーツ走行中
- 悪天候 (霧、雪、または豪雨など)
- 道路状態が悪い状況 (路面状態、道路のくぼみ、汚れた路面を含む)
- 道路工事区間
- 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合
- 市街地での走行
- カーブの多い道および細い郊外の道での走行
- これらの状況ではシステムを使用しないでください。

**⚠ 警告** カメラの視界の低下

カメラの視界は、雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライト、損傷など様々な要因によって低下します。一定の条件下では、カメラが車線区分線を検出できない、または正しく検出できない場合があります。この場合、ステアリング介入が行われなかったり、予期しないステアリング介入が行われたりすることがあります。ステアリング介入は、車線区分線が検出された側に対してのみ発動します。その他の道路構造物や障害物なども、車線区分線と誤って認識される場合があります。これにより、ステアリング介入や警告音が予期せぬ形で発動、または発動しない場合があ

1. 利用可否は国によって異なります

ります。

- 十分注意して運転してください。
- 常に進行方向に気を配り、車線から目を離さないでください。
- カメラのレンズは定期的に洗浄し、雪や氷が付着したときは取り除いてください。
- カメラ レンズを覆わないでください。
- カメラ レンズ前面のフロント ウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

### システムの使用には制限があります

次の状況では、システムが停止状態になる場合があります。

– 車両がシステム動作速度である約 65 km/h 未満の速度で走行しています。
– 走行車線の車線区分線が検出されません。(雪、泥、路面の濡れ、対向車のヘッドライトまたは前走車が近いなどの場合)。
– 車線区分線の状態が良好ではないために、レーン キープ アシストが起動できません。
– カーブの半径が小さすぎます。
– 一番近い車線区分線までの距離が遠すぎます。
– 車線区分線が車両に近すぎます。
– 稼働中、一時的に極めて激しい運転が行われています。
– 方向指示灯が作動中です。
– システムにより、ドライバーがステアリング ホイールを握っていないことが検出されました。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

## 作動原理

**図 203：フロント ウィンドウ カメラ**

レーン キープ アシストは、ドライバーが車両を車線内に維持するのをアシストする機能です。 このため、システムはフロント カメラ A を使用し、白線に基づいて前方の道路のコースを検出します。さらに、車両が検出された白線に接近して車線を逸脱する危険がある場合、ステアリング補正介入を開始して車両を車線内に維持します。 ドライバーはいつでもステアリング介入を無効にできます。

方向指示器を使用せずに車両が白線を横切る場合、システムがドライバーに警告音を発するよう設定することができます。 このためには、セントラル ディスプレイで警告音を有効にする必要があります。 車線変更前にドライバーが方向指示器を使用すれば、システムは警告やステアリング補正を行いません。 こうした状況では、システムは車線変更が意図的なものであると解釈します。

このシステムは高速道路やよく整備された郊外道路での走行を想定して設計されており、約 65 km/h ～ 250 km/h の速度範囲で作動します。

### レーン チェンジ アシスト装備車

車両がレーン チェンジ アシストを装備している場合、危険な状況の可能性がある車線変更を行おうとすると、作動しているシステムがステアリング補正介入を行ってドライバーに警告します。 該当する方向に方向指示器を出す場合も、ステアリング介入が行われます。 ステアリング介入がドライバーにより無効にされた場合は、さらに警告音による警告が行われます (有効である場合)。

### ステアリングが操作されない場合の挙動

レーン キープ アシストが ON で有効になっている間、ドライバーのステアリング操作は監視されています。 ステアリングが操作されない場合 (ステアリング ホイールを握っていない、または軽く手を置いているなど)、インストルメント クラスターに警告メッセージが表示されます。 システムは、ステアリング操作を行うようドライバーに促します。 ドライバーがメッセージに応じて操作しない場合、システムは停止状態に切り替わります。

## 各操作部

**図 204：ドライバー アシスタンス システムのコントロール レバー**

**R** ドライバー アシスタンス システムの ON/OFF の切り替え
**S** ドライバー アシスタンス システムを選択

## ディスプレイの要素

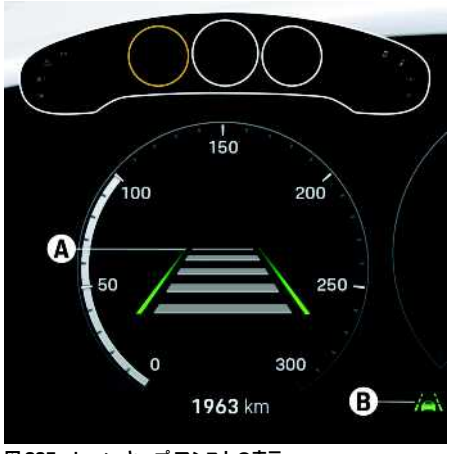



**図 205 : レーン キープ アシストの表示**

A　車線区分線表示 (アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) 装備車両のみ)
B　ステータス表示

### システム ステータス アイコン

| レーン キープ アシストの表示 | ステータス表示 | 意味 |
|---|---|---|
| | | レーン キープ アシストは ON で停止しています。 |
| | | レーン キープ アシストは両側とも ON で作動しています。 |
| | | 車線区分線は片側でも検出されます。 |
| | | レーン キープ アシストは、ステアリング介入による補正を実施します (右の例を参照)。 |

アクティブ レーン ガイダンスも作動している場合には、レーン キープ アシスト アイコンの代わりに両機能のインジケーターが合わせて表示されることがあります。

## レーン キープ アシストの ON および OFF の切り替え

1. クルーズ コントロール操作レバーのボタン **R** を押してください。
   ドライバー アシスタンス システムが ON になります。
2. コントロール レバーのボタン **S** を押してください。
   ドライバー アシスタンス システムの状況がインストルメント クラスターに表示されます。
3. ステアリング ホイールのロータリー プッシュ ボタンを使用して**レーン キープ アシスト**を選択し、ボタンを押して確定します。

## 警告音の設定

警告音は ON と OFF に切り替えることができます。警告音の音量も選択できます。

▸ ▸ **アシスト** ▸  ▸ **アシスタンス システム設定** ▸ **車線逸脱警告**

# レーン チェンジ アシスト (LCA)

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 集中力の低下

レーン チェンジ アシストおよびリヤ ターン アシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。 車線変更の際は、特に注意を払ってください。

- ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

**⚠ 警告** 車両が検出されない

次のような状況では、システムはタイミングよく車両を検知できない場合があります。

- レーダー センサーの視界は、悪天候時 (雨、雪、氷、多量の水しぶき)、急カーブ、頂上手前では低下する場合があります。
- レーン チェンジ アシストは、速度が約 15 km/h 以上の場合のみ、接近する車両または死角エリアの車両について警告します。
- 後方から高速で接近する車両や後方に遠ざかっていく車両。
- 曲がるときなど、車両が車線の方向を向いておらず、車線に対して斜めまたは直角になっている場合は、接近する車両をレーダー センサーで検出することはできません。
- リヤ ターン アシストでは、車両と動いている物体、または静止している物体との間の速度差が小さい場合には、固定物 (金属柱など) により警告が作動したり、速度の遅い車両が検出されなかったりすることがあります。
- リヤ ターン アシストは発進時に作動します。 そのため、既に動いている車両や発進している車両が検出されなかったり、遅れて検出されたりする可能性があります。 すぐ真横の車両も、センサーの検出範囲外であるために検出されないことがあります。
- リヤ衝突警告は、交差車両、投影面積が小さな車両、幅の狭い車両、および車両として認識されない物体には反応しません。

- ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

## システム制限

– 15 km/h 未満で使用できるのは、リヤ ターン アシストのみです。 そのため、発進時にドライバーをサポートするのは、方向指示器が作動した側の車両後方範囲の監視のみとなります。
– レーダー センサーが覆われていることをシステムが検出した場合には、レーン チェンジ アシストとリヤ ターン アシストは利用できません。
– レーン チェンジ アシストに不具合がある場合、リヤ衝突警告が OFF になることがあります。
– レーダー センサーは左右隣の車線を監視します。 他の車線は、レーダー センサーにより監視**されません**。
– レーダー センサーは、車両以外の他の障害物 (高いまたは隆起した中央分離帯など) を検出する場合があります。

### インフォメーション

例えば、レーダー センサーの位置が事故後に変わった場合などは、レーン チェンジ アシストの機能が損なわれる可能性があります。

▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### インフォメーション

レーン チェンジ アシストを適切に機能させるには :

▸ リヤ バンパーのレーダー センサー部をステッカーなどで覆わないでください。 この周囲から汚れや雪、氷も取り除いてください。
▸ ドア ミラーの警告インジケーターをステッカーなどで覆わないでください。
▸ バンパーにさらに上塗りすると、塗料の厚い層ができて、センサーの反応が悪くなる可能性があります。 その塗料の電気的な特性も、承認された塗料の特性とは異なる場合があります。

**図 206 : リヤ バンパーのレーダー センサー**

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▹ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

## 作動原理

レーン チェンジ アシスト (LCA) は、後方から接近する車両や死角エリアにある車両をドライバーに警告します。 これは他車を追い越すときにも、追い越されるときにも作動します。

レーン チェンジ アシストは、リヤ バンパー内に組み込まれたレーダー センサーを使用して、自車と検出した車両との距離および速度差を測定します。 レーダー センサーは後方 70 m までの範囲および死角エリアをカバーします。

車線変更が危険とみなされる場合に方向指示器が作動するとすぐに、左右のドア ミラーの警告インジケーターが明るく、短く数回点滅します。 このように、このシステムは車両の両側で個別にアシストを行います。

他車をゆっくり (速度差約 15 km/h 未満) と追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーン チェンジ アシストが検出すると、直ちに警告インジケーターが点灯します。 速度差がそれ以上の場合、ドア ミラーには表示されません。

リヤ ターン アシストは常に自動でレーン チェンジ アシストと一緒にスタンバイ状態に切り替わります。 発進後からレーン チェンジ アシストの速度範囲に到達するまで、ドライバーはリヤ ターン アシストによってサポートされます。

方向指示器が作動すると、リヤ ターン アシストは車両の側方および後方の物体を検出しますが、インジケーターが作動している側に対してのみ作動します。 危険の可能性を検知すると、ドア ミラーの各警告インジケーターが点灯します。 自車の計算された運転経路が、インジケーターが作動した車両側で検出された車両の経路を横切る場合、ドア ミラーの該当する警告インジケーターが明るく、短く数回点滅します。

### リヤ衝突警告

車両後方のレーダー センサーにより、後方を走行する車両が検出されると、システムが後方からの衝突の確率を計算します。

衝突の危険が検出されると、ハザード ライトが ON になり、後方を走行する車両のドライバーに差し迫った危険な状況を警告します。
この場合ハザード ライトは、手動で ON にした通常時より速く点滅することがあります。

## エレメントを表示する

レーン チェンジ アシストは、方向指示器が設定されているかどうかに応じて有効になる、情報レベルと警告レベルの 2 つのインジケーター レベルで情報を提供します。

### インフォメーション ステージ

方向指示器が設定されていない場合、レーン チェンジ アシストは車線変更によって危険となる検出車両についての情報を提供します。 該当するミラーの警告インジケーターが**薄暗く**点灯します。

### 警告ステージ

方向指示器が ON で、レーン チェンジ アシストが危険とみなされる側で車両を検出した場合、検出した側のドア ミラーの警告インジケーターが数回**明るく**短く点滅します。 ドア ミラーを見たり、肩越しに確認したりして、再度周囲の交通状況を確認してください。

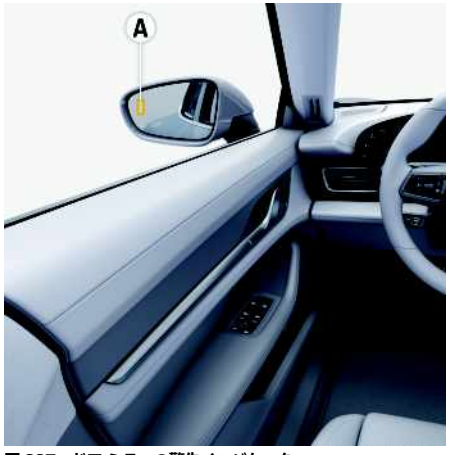



**図 207 : ドア ミラーの警告インジケーター**

## レーン チェンジ アシストの ON/OFF の切り替え

レーン チェンジ アシストは、セントラル ディスプレイで ON/OFF を切り替えることができます。

▸ ▸ アシスト ▸ レーンチェンジアシスト

レーン チェンジ アシストの作動中は、シンボルがインストルメント クラスターに表示されます。

## レーン チェンジ アシストの画面の明るさの設定

ドア ミラーの表示の明るさは、周囲の明るさに応じて自動的に調節されます。基本的な明るさも調節できます。

▸ ▸ アシスト ▸ ▸ アシスタンスシステム設定 ▸ レーンチェンジアシスト ▸ LEDの明るさ

## 追加情報

### 運転状況

起こりうるケースとそれに関連するレーン チェンジ アシストおよびリヤ ターン アシストの警告インジケーターを、運転状況に応じて以下に説明します。

### 車両が急速に接近する

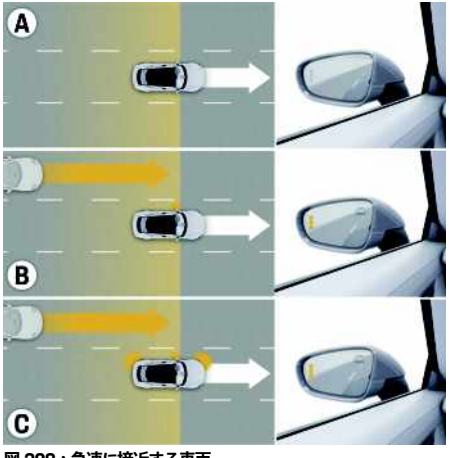



**図 208 : 急速に接近する車両**

**A – ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しない**
センサーは車両を検出していません。 ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しません。

**B – 警告インジケーターは情報ステージを点灯する**
高速で接近する車両を検出しました (図の例は左車線を示しています)。 車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、すでに車速変更を行うには危険であると判断されます。 ドア ミラーの警告インジケーターが点灯します。

**C – 警告インジケーターは警告ステージで点滅する**
運転状況 **B**でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅し

ます。 レーン チェンジ アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

### 車両がゆっくりと接近する

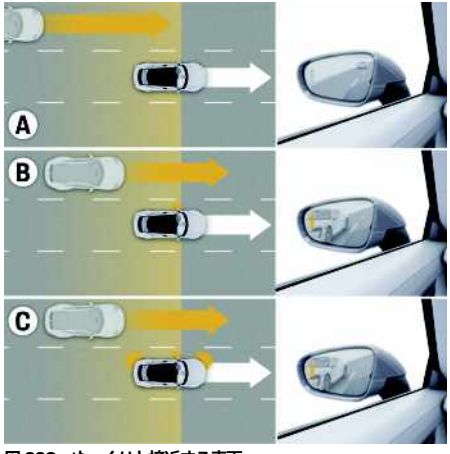



**図 209 : ゆっくりと接近する車両**

**A – ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しない**
ゆっくりと接近する車両を検出しました (図の例は左車線を示しています)。 速度差が小さくて車間距離が大きいため、ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しません。

**B – 警告インジケーターは情報ステージを点灯する**
車両がゆっくりと接近してきています。 ドア ミラーの警告インジケーターが点灯します。 レーン チェンジ アシストが速度差および距離から車線変更は危険と判断する場合のみ、ドア ミラーの警告インジケーターが点灯します。 レーン チェンジ アシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも死角エリアに入るまでにドライバーに警告されます。

**C – 警告インジケーターは警告ステージで点滅する**
運転状況 Bでドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。 レーン チェンジ アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

### 車両がゆっくりと後ろに遠ざかる

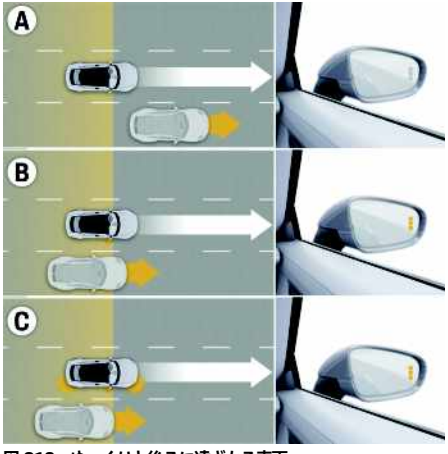



**図 210 : ゆっくりと後ろに遠ざかる車両**

**A – ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しない**
追い越される車両はまだ検出されていません。 ドア ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

**B – 警告インジケーターは情報ステージを点灯する**
ゆっくりと後方へ遠ざかる右側の車両 (速度差約 15 km/h 未満、例では右側車線) を検出しました。 ドア ミラーの警告インジケーターが点灯します。

**C – 警告インジケーターは警告ステージで点滅する**
運転状況 Bでドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。 レーン チェンジ アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

### 車両が急速に後ろに遠ざかる

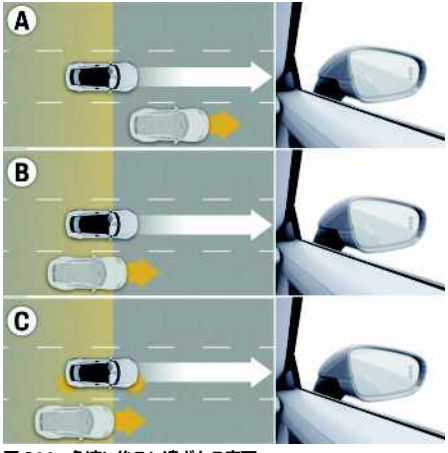



**図 211 : 急速に後ろに遠ざかる車両**

**A – ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しない**
追い越される車両はまだ検出されていません。 ドア ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

**B – ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しない**
急速に後方に遠ざかる右側の車両 (速度差約 15 km/h 以上、例では右側車線) を検出しましたが、急速に後ろに遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。 ドア ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

**C – ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しない**
運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作しても、ドア ミラーの警告インジケーターは作動しません。

## 車両が脇道へ走行する

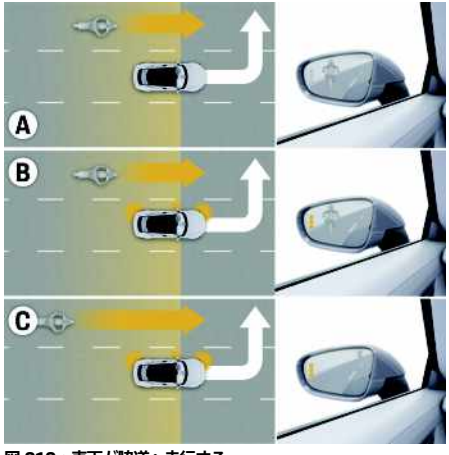



**図 212 : 車両が脇道へ走行する**

**A – ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しない**
方向指示器灯は作動していません。 車両発進後、リヤ ターン アシストは無効であり、死角にいるバイクは検出されません。 高速で接近する車両も検出できない可能性があります。 ドア ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

**B – 警告インジケーターは情報ステージを点灯する**
運転状況 A で該当する方向指示灯のスイッチを ON にした場合、ドア ミラーの警告インジケーターは点灯します。 ターン アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

**C – 警告インジケーターは警告ステージで点滅する**
運転状況 B の場合、ドライバーが該当する側へステアリング操作を行うことにより、検出された車両の計算された運転経路を横切ることになるため、ドア ミラーの警告インジケーターが短く数回点滅した後、点灯します。 これにより、見落とされた可能性のある車両との衝突の可能性をドライバーに警告します。

## カーブの走行

カーブを走行する場合、レーン チェンジ アシストは 1 つ離れたレーンを走行する車両に反応し、ドア ミラーの警告インジケーターを点灯することがあります。
レーン チェンジ アシストは急カーブでは車両を検出できません。

- カーブを曲がるときは特に注意してください。

## 車線幅

狭い車線を走行する場合、検出エリアにはより多くの車線が含まれます (特に車線の端を走行している場合)。 このような状況では 2 つ離れたレーンを走行する車両が検出されることがあり、レーン チェンジ アシストがインフォメーションまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。
同様に、とても幅広い車線を走行している場合、隣接車線の車両が検出エリア外にあるために検出されないことがあります。

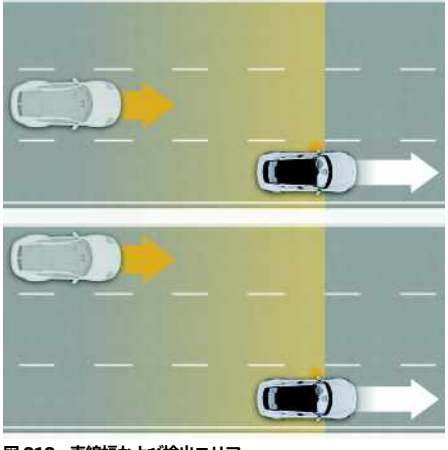


**図 213 : 車線幅および検出エリア**

# 12 V バッテリー

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 感電、ショート、火災または爆発

車両の通電部品に触れると感電する恐れがあります。車両エレクトリカル システムへの作業が原因で、ショートする恐れがあります。回路の短絡が原因で火災が発生する恐れがあります。

- バッテリーの脱着または、バッテリーに対する作業は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**⚠ 警告** 電解液および有毒ガスの流出

12 V リチウム バッテリーの損傷や間違った取り扱いによる例外的な状況では、電解液および有害ガスが漏れる恐れがあります。

- 蒸発ガスを吸い込んだり、電解液に触れたりしないようにしてください。
- 人を周囲に近付けないようにし、かつ人が常に風上にいるようにしてください。
- 12 V リチウム バッテリーは、換気の良い場所でのみ充電してください。

**⚠ 警告** 不適切なジャンパー ケーブルおよび誤った手順

不適切なジャンパー ケーブルを使用したり、誤った手順に従って外部電源を供給すると、回路の短絡が発生する恐れがあります。回路の短絡が原因で火災が発生する恐れがあります。

- 十分な太さがあり、ターミナル クランプが完全に絶縁されている標準的なジャンパー ケーブルのみを使用してください。ジャンパー ケーブル メーカーの注意事項を遵守します。
- 車両には決して触れないようにしてください。そうしないと、プラス端子を接続した途端、電流が流れる可能性があります。
- 導電性のアクセサリー (指輪、チェーン、時計ストラップなど) が車両の通電部品に接触しないようにしてください。
- ジャンパー ケーブルは絶対に 12 V リチウム バッテリーまたは他の電気部品に直接接続しないでください。ジャンパー ケーブルを接続するのはジャンパー ケーブル始動端子のみにしてください。

**⚠ 警告** 凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパー ケーブルによるエンジンの始動

凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパー ケーブルによるエンジンの始動は、爆発および化学熱傷を引き起こす危険があります。

- 凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパー ケーブルによるエンジンの始動は、実施**しない**でください。

**⚠ 注意** 損傷のあるバッテリーが引き起こす刺激性ガスの流出

ブースターまたは認定されていない充電器を使うと、充電対象バッテリーでの充電電圧や充電電流が過度に高くなる場合があります。 この場合、バッテリーが損傷し刺激性のガスが流出する恐れがあります。 また、車両が相当の損傷を受けたり、火災が起きたりする恐れがあります。

- ブースターを使用しないでください。
- 内蔵型電子保護回路付きの $LiFePO_4$ バッテリーには、メーカーにより承認された充電器のみを使用してください。
- 以下の最大値を絶対に超えないでください。
  - 最大充電電圧：14.8 V (バッテリーが切り離された状態で故障している場合であっても、電圧ピーク不可)
  - 最大充電電流：90 A
- ご不明な点がある場合は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

**知識** 完全に放電した 12 V リチウム バッテリー

完全に放電した 12 V リチウム バッテリーに外部電源を供給すると、損傷する危険があります。

- 12 V リチウム バッテリーに完全放電の疑いがある場合は、外部電源から電力を供給しないでください。

**知識**

ショート、火災、エレクトリック コントロール ユニットや構成部品を損傷する危険性があります。

- バッテリーの脱着は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- エレクトリカル システムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。

12 V リチウム バッテリーはフロント ラゲッジ コンパートメント内のプラスチック カバーの下にあります。

▹ 「フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチック カバーの取り付けと取り外し」の章（252ページ）を参照してください。

12 V リチウム バッテリーの接続は、バッテリーの充電レベルが低い場合、車両エレクトリカル システムから自動的に切り離されます。 12 V リチウム電池が放電すると、車両を作動できなくなります。 エレクトリカル システムは一時的に停止します。

▸ 警告メッセージを遵守してください。

12 V リチウム バッテリーを充電するには：

▸ 作動待機を確立します。

▹ 「車両の始動、運転、停止」の章（134ページ）を参照してください。

– または –

▸ **充電器を使用して 12 V バッテリーを充電します。**

– または –

▸ **少なくとも 5 分間、別の車両から外部電源を供給します。**
**次に、作動待機を確立するか、充電器を使用して 12 V バッテリーを充電します。**

作動待機を確立した後、充電器で 12 V リチウム バッテリーを (少なくとも 10 分間) 充電した後、または車両が外部電源に接続されると、エレクトリカル システムは自動的に再起動します。 12 V リチウム バッテリーは車両エレクトリカル システムに自動的に再接続されます。

ジャンパー ケーブルを使用して、他の車両のバッテリーを外部電源として使用できます。 両方のバッテリーの公称電圧が 12 V でなければなりません。 支援車側のバッテリーの容量 (Ah) が、上がったバッテリーの容量に比べて小さすぎないようにする必要があります。 上がった 12 V リチウム バッテリーを車両エレクトリカル システムに正しく接続する必要があります。

通常の作動条件下で、電源から繰り返し電力を供給したり、12 V リチウム バッテリーを繰り返し充電したりしなければならない場合、12 V リチウム バッテリーが損傷している可能性があります。

## 12 V リチウム バッテリーの安全シンボル

**指示をお読みください**

**保護眼鏡を着用してください**

**爆発の危険があります**

**火気、スパーク、裸火、喫煙は禁止されています**
電気配線や電気機器を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。

**腐食性やけどの危険があります**
電解液には極めて強い腐食性があります。保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
**応急処置**
電解液が目にかかった場合、直ちに水で数分間洗い流し、 すぐに医師の診察を受けてください。電解液が皮膚、衣服にかかった場合、直ちに石鹸水で中和し、多量の水で洗い流してください。万一電解液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医者の診察を受けてください。

**子どもたちを近づけないでください**

**廃棄**
古いバッテリーは、バッテリー回収場所に持ち込んでください。

絶対に古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

**メンテナンス作業は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください**
ご自身では絶対に 12 V リチウム バッテリーを交換しないでください。この車両の 12 V リチウム バッテリーの交換には、ポルシェ社指定の 12 V リチウム バッテリーのみを使用する必要があります。他の 12 V リチウム バッテリーまたは鉛バッテリーの使用は、エレクトリカル システムの全面的な故障を含め、著しい不具合の原因になります。
必ずポルシェ正規販売店で 12 V リチウム バッテリーの交換を行ってください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 12 V リチウム バッテリー

| 希望する操作 | 操作方法 |
|---|---|
| バッテリー上がりを避ける | ▸ 短距離走行時には、不要な電装品のスイッチを OFF にしてください。 |
| 冬季走行の準備をする | ▸ 冬季になる前に 12 V リチウム バッテリーを点検してください。 |
| 12 V リチウム バッテリーの充電 | ▸ 損傷した 12 V リチウム バッテリーを絶対に充電しないでください。 |
| 車両を保管する | ▸ 車両を使用せず、車庫や修理工場に長期間保管する場合は、車両のドアやリッド類を確実に閉じてください。<br>▸ 車両を OFF にします。 |

## 充電器を使用して 12 V バッテリーを充電する

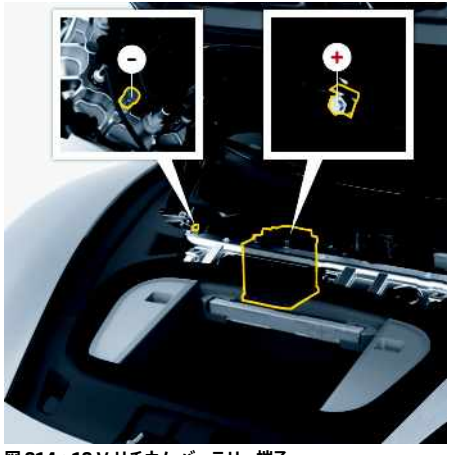


図 214 : 12 V リチウム バッテリー端子

- 充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
- 12 V リチウム バッテリーの充電時は、必ず十分に換気してください。

1. ボンネットを開きます。
   - ▹ 「ボンネットおよびリヤ リッドの開閉」の章（250ページ）を参照してください。
2. プラスチック カバーを取り外します。
   - ▹ 「フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチック カバーの取り付けと取り外し」の章（252ページ）を参照してください。
3. ジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子のキャップを開いてください。
4. 充電器の赤色の**プラス ケーブル**を、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 (+) に接続してください。
5. 充電器の黒色の**マイナス ケーブル**をアース箇所 – に接続してください。
6. 充電器のスイッチを ON にしてください。
7. バッテリーの充電後、充電器のスイッチをオフにし切り離します。
8. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + のキャップを閉じます。
9. プラスチック カバーを取り付けます。
   - ▹ 「フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチック カバーの取り付けと取り外し」の章（252ページ）を参照してください。

適切な充電器に関する情報は、

- ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## 別の車両から外部電源を供給する

1. ボンネットを開きます。
   - ▹ 「ボンネットの緊急ロック解除を実行します」の章（234ページ）を参照してください。
2. プラスチック カバーを取り外します。
   - ▹ 「フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチック カバーの取り付けと取り外し」の章（252ページ）を参照してください。

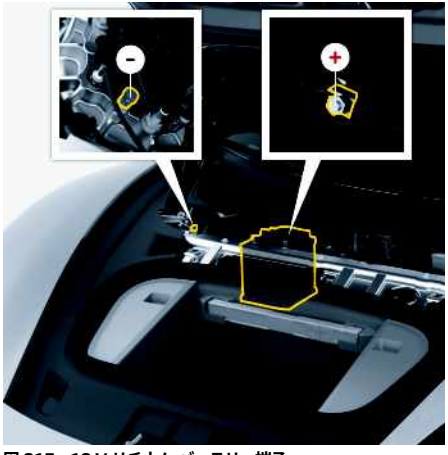


図 215 : 12 V リチウム バッテリー端子

3. ジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子のキャップを開いてください。
4. 赤色の**プラス ケーブル**をジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + に接続します。
5. 赤色の**プラス ケーブル**を支援車のバッテリーのプラス端子に接続します。
6. 黒色の**マイナス ケーブル**を支援車のバッテリーのマイナス端子に接続します。
7. 黒色の**マイナス ケーブル**をアース箇所 – に接続します。
8. 支援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を高めにします。
9. 外部電源から 12 V リチウム バッテリーを充電します (最低 5 分間)。
   エレクトリカル システムは自動的に再起動します。
10. 作動待機が確立されました。
    まず、黒色の**マイナス ケーブル**をアース箇所 – から外し、次に支援車のバッテリーのマイナス端子からケーブルを外します。
11. 作動待機が確立されました。

まず、赤色の**プラス ケーブル**を支援車のバッテリーのプラス端子から外し、次にジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + から外します。

12. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + のキャップを閉じます。
13. プラスチック カバーを取り付けます。
    ▷ 「フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチック カバーの取り付けと取り外し」の章（252ページ）を参照してください。
14. 12 V リチウム バッテリーの充電を続行するには：充電器を使用して 12 V リチウム バッテリーを充電します。
    ▷ 「充電器を使用して 12 V バッテリーを充電する」の章（273ページ）を参照してください。

**– または –**

作動待機を確立します。

▷ 「車両の始動、運転、停止」の章（134ページ）を参照してください。

### 別の車両のジャンパー ケーブルによるエンジンの始動の実施

✓ 作動準備が確立されている。

1. ボンネットを開きます。
   ▷ 「ボンネットの緊急ロック解除を実行します」の章（234ページ）を参照してください。
2. プラスチック カバーを取り外します。
   ▷ 「フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチック カバーの取り付けと取り外し」の章（252ページ）を参照してください。

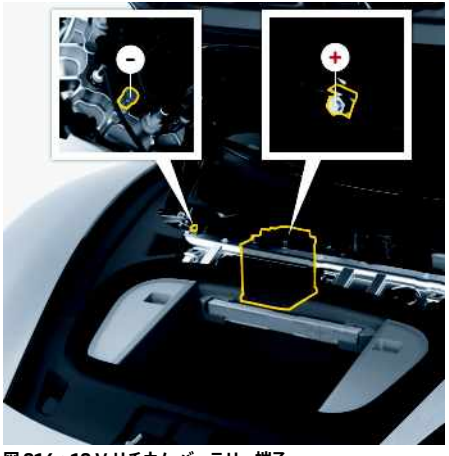


**図 216 : 12 V リチウム バッテリー端子**

3. ジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子のキャップを開いてください。
4. 赤色の**プラス ケーブル**をジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + に接続します。
5. 赤色の**プラス ケーブル**を送信先のバッテリーのプラス端子に接続します。
6. 黒色の**マイナス ケーブル**を送信先のバッテリーのマイナス端子に接続します。
7. 黒色の**マイナス ケーブル**をアース箇所 – に接続します。
8. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動を実施します。
   別の車両の取扱説明書を遵守してください。
9. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + のキャップを閉じます。
10. プラスチック カバーを取り付けます。
    ▷ 「フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチック カバーの取り付けと取り外し」の章（252ページ）を参照してください。

### 12 V リチウム バッテリーの交換

**⚠ 警告** 不適合な 12 V リチウム バッテリーによる火災の恐れ

車両エレクトリカル システムの著しい作動不良に加えて、不適合な 12 V リチウム バッテリーの使用または誤った取り付けは特別な状況下で火災の原因になる恐れがあります (充電中など)。

- ご自身では絶対に 12 V リチウム バッテリーを交換しないでください。この車両の 12 V リチウム バッテリーの交換には、ポルシェ社指定の 12 V リチウム バッテリーのみを使用してください。他のリチウム バッテリーまたは鉛バッテリーの使用は、電気系統の全面的な故障を含め著しい不具合の原因になります。
- 必ずポルシェ正規販売店に 12 V リチウム バッテリーの交換を依頼してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- リチウム バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。

### サービス ステータス

サービス ステータスに関する詳細情報 (国別仕様による) :

▷ 「スマート サービス」の章（115ページ）を参照してください。

### 電源遮断

一時的な電源遮断の後、一部の機器では再初期化が必要です。

1. パワー ウィンドウの停止位置を保存します。

▷ 「ウィンドウ」の章（57ページ）を参照してください。

2. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) にホイールおよびタイヤを登録する。
   ▷ 「タイヤおよびホイール」の章（156ページ）を参照してください。

# Apple CarPlay

## Apple CarPlay を開く

**図 217 : アームレスト内のインターフェイス**

**インフォメーション**

接続の確立および終了は、車両が停止している状態で行います。

✓ iPhone 7 以降、iOS 13.5 以上。
✓ 使用する iPhone の設定で Siri および Apple CarPlay が有効になっている。
✓ USB アダプターなしの、損傷のない Apple 純正ケーブルを使用している。トラブルなく使用するためです。

1. iPhone をアームレスト内の USB インターフェース (タイプ C) **A** に接続します。
2. Apple CarPlay を選択します。
3. Apple CarPlay を使用していることを確認します。利用可能なアプリが表示されます。
   Apple CarPlay が開きます。

▸ 他のメニュー項目から Apple CarPlay に切り替えるには、 ▸ **Apple CarPlay** を選択します。

**インフォメーション**

– 最新バージョンの iOS をインストールすることをお勧めします。
– Apple CarPlay に対応している iPhone のアプリのみが表示されます。対応アプリに関するインフォメーションは、 www.apple.com/ios/carplay を参照してください。
– この機能は、Apple が対応している国でのみ提供されます。 対応している国に関する情報は、以下をご覧ください。www.apple.com/ios/feature-availability/#apple-carplay beachten
– Apple CarPlay 機能の表示コンテンツおよび機能は、接続している iPhone からのみ提供されます。
– Apple CarPlay の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (テレフォニー、メディア再生またはニュースのためのものなど) はすべて自動的に解除されます。
– 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。お使いの携帯電話の料金体系に応じ、また特に海外で使用する場合、追加費用が発生する場合があります。定額データ プランのご利用をお勧めします。

Porsche Communication Management (PCM) の操作に関する情報は、以下をご覧ください。

▹ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（ 223ページ）を参照してください。

## Apple CarPlay の操作

利用可能なアプリはすべて、センター ディスプレイを使用して操作できます。

▸ **Apple CarPlay** でメイン メニューを開くには、センター ディスプレイのホーム ボタン を押します。

▸ PCM のメイン機能に切り替えるには、**Apple CarPlay** ▸ **Porsche** を選択します。
**– または –**
いずれかの機能 (**車両** など) を選択します。

## Siri 音声認識機能を使用する Apple CarPlay の操作

### Siri の起動

✓ 使用している iPhone の設定でSiri が有効になっている。
✓ 通話中ではない。
✓ パークアシストが作動していない。
✓ ボイス コントロールは無効です。

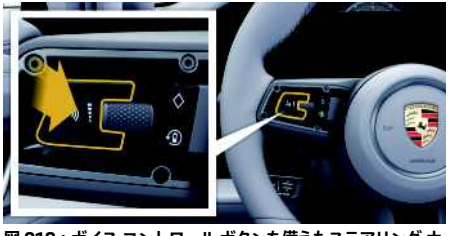


**図 218 : ボイス コントロール ボタンを備えたステアリング ホイール**

1. ステアリング ホイールの ボタンを長押しします。
2. 希望のボイス コマンドを発話します。

### Siri の終了

✓ Siri が有効で、ボイス コマンドを待機しています。
▸ ステアリング ホイールの ボタンを押します。
終了音が鳴ります。

ボイス コントロールに関する情報 :

▷ 「ボイス コントロール」の章（212ページ）を参照してください。

## Apple CarPlay と、iPod として使用する iPhone を切り替える

iPhone が USB 経由で接続されている場合、デバイス マネージャーを使用して、iPhone を iPod として使用するか、または Apple CarPlay を使用するかを切り替えることができます。

1. デバイス マネージャーを呼び出すには、接続ステータスに応じて、ステータス エリアの または のいずれかを選択します。
   – **または** –
   ▸ **デバイス** を選択します。
2. 使用している iPhone の **Apple CarPlay** アイコンを選択します。
   – **または** –
   使用している iPhone の **iPod** アイコンを選択します。
   ▷ 「デバイス マネージャー」の章（174ページ）を参照してください。
   現在アクティブな iPhone アプリケーションのアイコンが色で強調表示され、現在の接続 (**Apple CarPlay** または **iPod** のいずれか) が表示されます。

## ワイヤレス Apple CarPlay を呼び出します (装備および国別仕様による)。

**ワイヤレス CarPlay** により、ケーブルなしで Apple CarPlay を使用できます。 ワイヤレス CarPlay は、一度に 1 つの有効な携帯電話にのみ対応します。

✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能が作動していて、他のデバイスから探索可能な状態になっている。
✓ 携帯電話で WiFi が有効になっている。
✓ **ワイヤレス CarPlay** が携帯電話で有効になっている。

1. または ステータス エリア (接続ステータスによる) および接続マネージャー メニューで、▸ **Apple CarPlay**、**検索**を選択します。
   – **または** –
   **デバイス** ▸ **Apple CarPlay**
   – **または** –
▸ 検索が始まるまで、ステアリング ホイールの ボタンを長押します。
2. リストからデバイスを選択してください。
3. Apple CarPlay を使用していることを確認します。
   Apple CarPlay が開きます。 利用可能なアプリが表示されます。

iPhone を一度接続すると、車両に入るたびに Apple CarPlay が自動的に作動します。 これにより、携帯電話をバッグやポケットなどに入れたままにしておくことができます (Bluetooth® および WiFi 機能が有効になっている必要があります)。
または、次の方法でもワイヤレス CarPlay を再接続できます。

1. ▸ **デバイス**
2. 使用している iPhone の アイコンを選択します。

.

**他のメニュー項目から Apple CarPlay に切り替えるには :**

▸ ▸ **Apple CarPlay** を選択します
– **または** –
ステータス エリアで **Apple CarPlay** を選択します。

## 保存した iPhone をデバイス リストから削除する

1. ▸ **デバイス** を選択します。
2. 削除するデバイスの行を右から左にスワイプします。
   デバイスはデバイス リストから削除されます。

## ワイヤレス CarPlay の終了

1. ▸ **デバイス** を選択します。
2. 使用している iPhone の アイコンを選択します。
   ワイヤレス CarPlay が終了します。

# HOLD 機能

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 車両コントロールの喪失

HOLD 機能に関わらず、勾配での停止および始動の責任はドライバーにあります。滑りやすい路面 (凍結している、またはぬかるんでいる路面など) での停止および始動時には、HOLD 機能によるアシストは保証されません。車両が不意に動き出す恐れがあります。

- ▶ 常に走行スタイルを路面状態および車両荷重に合わせて調整してください。必要な場合はフット ブレーキを使用します。
  HOLD 機能が作動しない場合、ドライバーは坂道での発進時にアシストを受けられなくなります。
- ▶ フット ブレーキで車両の停車状態を維持します。

**⚠ 警告** 上り坂での僅かな後退

ドライバーがブレーキ ペダルを作動させずに急な勾配で車両が停止すると、HOLD 機能が止めるまで車両が後退することがあります。この場合、ブレーキ ペダルを踏むことで後退を少なくすることができます。

- ▶ 停止をサポートするために、フット ブレーキでさらに制動力を上げます。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（84ページ）を参照してください。

## 作動原理

HOLD 機能は、上り坂での停車時や発進時にドライバーをアシストします。 この機能により、車両が進行方向に対して後退するのを自動的に防ぎます。
HOLD 機能が作動すると、インストルメント クラスターのインジケーター ライト HOLD が点灯します。
アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) が正常に機能している場合、HOLD 機能は自動ブレーキ後に車両を停車状態に維持します。
HOLD 機能の作動中にドライバーがシート ベルトを外し、運転席ドアを開いた場合、パーキング ロックとパーキング ブレーキが自動的に作動します。
車両が上り坂で保持されている場合は、通常の運転操作で発車できます。

## HOLD 機能を作動する

✓ D または R のシフト ポジションが選択されました。

- ▶ 車両が停止するまでブレーキ ペダルを踏みます。

HOLD 機能が作動しています。 ブレーキ ペダルを踏まなくても、車両は停止状態を保ちます。

**インフォメーション**

また、車両が停止中にブレーキ ペダルを素早くいっぱいまで踏み込むと、勾配に関係なく HOLD 機能を作動させることができます。 この場合、シフト ポジションを変更しても HOLD 機能は停止しません。

**インフォメーション**

HOLD機能が作動したときは、ドライバーはブレーキペダルの感触に変化を感じたり、油圧作動音が聞こえたりすることがあります。
これはシステムの正常な作動です。 故障ではありません。

# 緊急電話システム

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な緊急電話システムが使用される場合があります。 緊急状況または危険な状況で、緊急電話システムを介してヘルプを要求することができます。

プライベート モードを作動していても、故障時または緊急電話をかけたとき、または盗難に遭遇したときなどに車両の位置情報が送信可能になります。

## 故障時電話

故障または事故が発生した場合、故障時電話を介してヘルプを求めることができます (国別仕様および装備による)。

**インフォメーション**

ポルシェ コネクトに関する詳細 (ヘルプ ビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、 www.porsche.com/connectをご覧ください。

✓ 携帯電話ネットワークを利用可能。
✓ 故障時電話システムの作動準備が整っています (車両 ON から約 20 秒後)。
✓ プライベート モードが無効になっています。
▹ 「ポルシェ コネクト」の章（ 220ページ）を参照してください。

**インフォメーション**

故障発信システムは、自らの携帯電話モジュールを持つため、車内で登録した携帯電話を必要と**しません**。

ポルシェが制御できる範囲を超える技術的または組織的な制限 (ローミングまたは有効なデータ接続がないなど) により、ポルシェ アシスタンスに故障時電話を確立することができない場合があります。

### データ通信

故障時電話が発生した場合、必要な措置を決定するためのデータ (利用可能な場合) をポルシェ アシスタンスに送信することができます。これには以下が含まれる場合があります。

– 現在の車両位置
– 車両識別番号
– 車両タイプ
– 故障個所を特定するための故障コードとその他のデータ

### 故障時電話の作動

故障時電話を行う前に、故障診断用ソケットに外部デバイスが接続されていないことを確認してください。

✓ ▸ **電話** ▸ **キーパッド**が選択されています。

1. **故障通報** スイッチを押します。
を選択して、テスト緊急電話を終了します。
2. 状況が許す場合は、ポルシェ アシスタンスへの接続が確立されるまで、車内でお待ちください。

故障時電話は、Porsche Connect App を使用して作動することもできます (国別仕様による)。

### 車両へのアクセス

✓ 車両が安全に停車された。
✓ 故障時電話が作動しました。
✓ 車両データがポルシェ アシスタンスに正常に転送されました。
✓ オンライン対策が利用可能。

ポルシェ アシスタンスは必要に応じて車両にアクセスできます。 ポルシェは、車両の個々のコントロール ユニットのソフトウェアを調整できます。

### 車両へのアクセスを許可する

1. セントラル ディスプレイの指示を確認し、**はい**でアクセスを許可します。
2. セントラル ディスプレイの指示に従ってください。
オンライン対策が実行されます。

**知識**

書き込みアクセス中の使用制限。

オンライン対策の実行中は、運転準備が制限される場合があります。 ディスプレイおよび車両機能 (コンフォート機能、ドライバー アシスタンス システム、緊急機能など) が一時的に無効になる場合があります。

▸ 車両を安全に駐車します。
▸ セントラル ディスプレイのプロンプトに従います。
▸ オンライン対策が実行されている間は、車両を使用**しない**でください。

### オンライン対策の中断

悪条件下では、オンライン対策の実施を保証できません。 ポルシェが制御できる範囲外の技術的または組織的な制限 (インターネットに接続できないなど) により、オンライン対策を開始または終了できない場合があります。

▸ 車両の作動準備が整っている場合：道路状況に合わせた運転を心がけてください。
▸ 車両の運転準備が整っていない場合：ロードサイド アシスタンス サービスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。
▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

# 降車警告

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告** 降車の際の不注意

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。 車両の乗員は、降車の際に障害物に十分な注意を払う責任があります。 このシステムは、車両の乗員の注意力に代わるものではありません。

- ▶ 常に車両の周囲に気を配ってください。
- ▶ 降車の際には、後ろから他の道路利用者が近づいていないことを確認してください。

その他のアシスタンス システムの情報 :

- ▷ 「パークアシスト」の章（ 192ページ）を参照してください。
- ▷ 「アクティブ パーキング サポート」の章（ 31ページ）を参照してください。

## システム制限

次のような状況では、他の道路利用者を検知できない、またはタイミングよく検知できない場合があります。

- – 他の道路利用者が非常にゆっくりと、または非常に速く接近している。
- – 近くに駐車している車両によってセンサーが制限されている。
- – リヤ バンパーの汚れによってセンサーが制限されている。

## 機能

降車警告は、車両が停止しているときに後方から近づいてくる他の道路利用者 (自動車、バイク、自転車など) に注意を喚起します。

## ディスプレイの要素

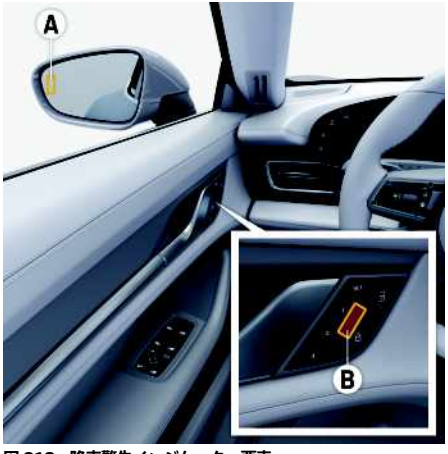



**図 219 : 降車警告インジケーター要素**

**A** ドア ミラーの警告インジケーター
**B** ドア パネルのインジケーター

ドアを開くとき、またはドアが既に開いているときは、車両の関連する側のドア ミラーとドア パネルのインジケーターが点灯し、道路利用者が近づいていることを示します。

他の道路利用者による危険が検出されているときに車両の乗員がドアを開こうとすると、ドアは一時的に開かなくなります。 ドア ミラーのインジケーター **A** とドア パネルのインジケーター **B** が短時間点灯します。

ドアが既に開いているときに他の道路利用者による危険が検出された場合、インジケーター **A** および **B** は危険がなくなるまで点灯します。

## 降車警告の作動および停止

▶ ▶ **アシスト** ▶ **退出警告**

車両の電源を OFF にした後、システム ステータスは選択したアカウントに保存され、使用しているキーと関連付けられます。

- ▷ 「パーソナル設定」の章（ 196ページ）を参照してください。

システムの電源は、車両が OFF になった後、約 3 分でシャットダウンします。 ドア パネルのインジケーター **B** が短時間点灯します。 他の警告は出ません。

# 走行モード

車両には、さまざまな要件と走行状況に合わせた走行モードが用意されています。

**RANGE**
このコントロール システムは、効率的かつ最適な燃費で走行できるように設計されています。

**NORMAL**
このコントロール システムは、快適性を重視した日常での走行向けに設計されています。

**SPORT**
日常での走行中、コントロール システムがより高いパフォーマンスとダイナミズムを重視して調整されます。

**SPORT PLUS**
レース サーキットのような運転で最高のパフォーマンスを発揮します。

**INDIVIDUAL**
個別調整のための走行モード。

## ドライブ モードの選択

**インフォメーション**

作動準備が整うと、ノーマル走行モードが自動的に有効になります。

### セントラル ディスプレイで走行モードを選択する

▸ ▸ ドライブ ▸ 走行モード

### センター コンソール コントロールからスポーツ走行モードを選択する

✓ スポーツ クロノ パッケージ非装備車。

**図 220 : スポーツ走行モードのボタン**

**スポーツ走行モードの有効化 :**

▸ SPORT ボタンを押してください。
スポーツ走行モードが有効になりました。
対応するボタンが青く点灯します。

**スポーツ走行モードの無効化 :**

▸ スポーツ走行モードが有効の状態で、SPORT ボタンをもう一度押します。
スポーツ走行モードが無効になり、ノーマル走行モードが有効になります。

### モード スイッチでの走行モード選択

✓ スポーツ クロノ パッケージ装備車。

**図 221 : ステアリング ホイールの走行モード**

▸ モード スイッチを左または右に回して、希望の走行モードを選択します。
インストルメント クラスターに選択した走行モードが表示されます。

## INDIVIDUAL 走行モードの設定

INDIVIDUAL 走行モードでは、既存の走行モードに基づいてシャーシ システムと E サウンドの設定を組み合わせることができます。保存した組み合わせは、モード スイッチを INDIVIDUAL に切り替えるか、セントラル ディスプレイから再び呼び出すことができます。

### INDIVIDUAL での設定の選択と保存

▸ ▸ ドライブ ▸ ▸ 走行モードIndividualの設定

## RANGE 走行モードの設定

RANGE 走行モードでは、次の設定を変更できます。

### エアコン

エアコン モードの設定 : ECO または ECO PLUS。

▹ 「エアコン システム Advanced Climate Control (2-/4- ゾーン エアコン)」の章（60ページ）を参照してください。

### 速度制限

速度制限は 90 km/h～140 km/h の間の値に設定でき、インストルメント クラスターに表示されます。 速度制限はキックダウンによって一時的に無効にできます。 インストルメント クラスターのディスプレイがグレーに変わります。 車両速度が設定値を下回ると、速度制限がもう一度作動します。

### ルートに基づいた適応

ルート案内およびポルシェ インテリジェント レンジ マネージャー (PIRM) が作動している場合、エアコンと速度制限は現在のルートに応じて調整されます。 変更は、現在のルートに対してのみ行われます。 以前に RANGE 走行モードで選択した設定は引き続き保存されます。

PIRM が作動している場合、速度制限はメッセージ「Auto (自動)」と一緒にインストルメント クラスターに表示されます。
PIRM に関する詳細については以下をご覧ください。
▷ 「Charging Planner (一部の国で利用可能)」の章（ 186ページ）を参照してください。

## 選択した走行モードの車両設定の概要

以下の表は、関連する走行モードで利用可能な走行設定の一部のみを示しています。
▶ 個々の車両機能に関して詳しくは、該当するセクションを参照してください。

| 走行モード | RANGE | NORMAL | SPORT | SPORT PLUS |
|---|---|---|---|---|
| ローンチ コントロール | 作動不可 | 作動不可 | 作動できる | 作動できる |
| ブースト回生の基本設定 | OFF | OFF | ON | ON |
| シャーシ高 | 低 | 標準<br>走行速度による | 標準<br>走行速度による | 低 |
| E-Sport Sound | ノーマル | ノーマル | ノーマル | スポーツ |
| エアコン | Eco または Eco Plus | ノーマル | ノーマル | ノーマル |

## 追加情報

### 走行可能距離

走行可能距離は、運転の仕方、天候、大量のエネルギーを消費する負荷の使用、および走行モードなどの選択された車両設定によって異なります。 電力消費量に配慮した運転を心掛け、大量のエネルギーを消費する負荷の使用を控えると、走行可能距離が延びます。

### RANGE における設定の選択と保存

▶ ▶ ドライブ ▶ ▶ 走行モードRangeの設定

選択した設定が保存されました。

### インフォメーション

RANGE 走行モードが作動している場合、シャーシは調整できず、PSM SPORT および PSM OFF の設定は使用できません。

## 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。
▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（ 84ページ）を参照してください。

# 通知

## 概要 - 通知

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

Porsche Communication Management (PCM) の操作に関する情報は、以下をご覧ください。

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（223ページ）を参照してください。

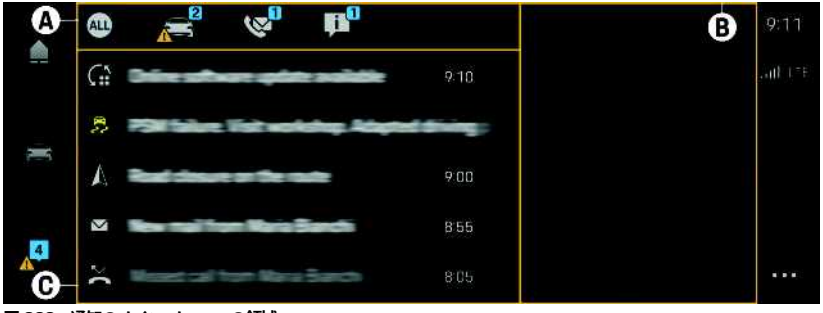



**図 222 : 通知のメイン メニューの領域**

| 希望する操作 | 操作方法 |
|---|---|
| **通知を表示する** | ▸ メイン メニューで をタッチする。 |
| **通知をフィルタリングする** | ▸ メイン メニューで をタッチする。 ▸ 例 : クイック フィルター バーの**車両** (**A** を参照) |
| **通知を開く** | ▸ メイン メニューで を選択する。 ▸ 例 : **すべて** (**A** を参照) ▸ 通知 (**C** を参照)<br>通知は詳細エリアに表示されます (**B** を参照)。 |
| **コンテンツの表示方法を設定する** | ▸ メイン メニューの ▸ |

## 通知を開く

▸ メイン メニューで をタッチする。

### 通知のフィルタリング

通知は、クイック フィルター バーでフィルタリングできます (**A** を参照)。コンテンツは次の領域に分かれています。

- 既存のすべての通知の表示。
- 車両の通知の表示。
- 接続されている携帯電話の通知の表示。
- 情報の通知の表示。

## 通知設定の変更

▸ ▸ **設定** ▸ **通知設定** ▸ 希望の設定を選択します。

# テクニカル・データ

以下のページでは、お使いの車両の技術データ (メーカー参考値) を表示します。

# ソフトウェア ライセンス

## インストルメント クラスターに関するオープン ソース ソフトウェアの宣言 - OSS コンポーネントのリスト

インストルメント クラスターにはオープン ソース ソフトウェアとしてライセンスを受けたコンポーネントが含まれます。 該当するコンポーネントおよび関連するライセンス条件は下記のとおりです。 使用権者は著作権保有者からオープン ソース ソフトウェアに対して関連する有効なライセンス条件に備える条件の下で使用上の非独占的権利を受けます。 オープン ソース ライセンスの保証提供は該当する著作権保有者に関連してのみ有効です。 このオープン ソース プログラム コードのリストは、リスト作成の時点でサービスに組み込まれていた第三者ソフトウェアに関連して編集されました。

| オープン ソース | ライセンス | 著作権 |
|---|---|---|
| AArch64 UEFI ブートストラップ | 3 条項 BSD | Copyright (c) 2011-2013 ARM Limited |
| aarongifford-sha2 1.1 | 3 条項 BSD | Copyright (c) 2000-2001, Aaron D. Gifford |
| Boost 1.64.0 | BSL-1.0 | Copyright (c) 2003-2017 Christopher M. Kohlhoff.<br>Copyright (c) 2013-2017 Louis Dionne.<br>Copyright (c) 2001-2011 Joel de Guzman. |
| colorama 0.3.3 | 3 条項 BSD | Copyright (c) 2010 Jonathan Hartley. |
| Crypto++ | BSL-1.0 | Copyright (c) 1995-2013 by Wei Dai. |
| CVTUTF | Unicode-TOU | Copyright 2001-2004 Unicode, Inc. |
| DejaVu フォント | DejaVu フォント ライセンス | |
| Dinkum C++ 11 ライブラリ | MIT-like ライセンス (Dinkum C ++ 11 ライブラリ) | Dinkum C++ ライブラリは P.J. Plauger によって開発されました。<br>Dinkum C++ ライブラリ リファレンスは P.J. Plauger によって開発されました。 |
| dtc-libfdt | 2 条項 BSD | Copyright (C) 2006 David Gibson, IBM Corporation. |
| edk2 | 2 条項 BSD | Copyright (c) 2004 - 2016, Intel Corporation.<br>Copyright (c) 2008 - 2010, Apple Inc. |

| オープン ソース | ライセンス | 著作権 |
| --- | --- | --- |
| | | Copyright (c) 2011 - 2015, ARM Limited.<br>Copyright (c) 2014 - 2015, Linaro Limited.<br>Copyright (c) 2013 - 2015, Red Hat, Inc. |
| edk2-FatPkg | BSD-like ライセンス (EFI/UEFI) | Copyright (c) 2006, Intel Corporation. |
| Freetype 2.6 | FTL | Copyright (c) 2006-2015 by David Turner, Robert Wilhelm and Werner Lemberg. |
| HarfBuzz 0.9.35 | MIT-like ライセンス (HarfBuzz) | Copyright (c) 2010, 2011, 2012, Google, Inc.<br>Copyright (c) 2012, Mozilla Foundation.<br>Copyright (c) 2011, Codethink Limited.<br>Copyright (c) 2008, 2010, Nokia Corporation and/or its subsidiary/subsidiaries.<br>Copyright (c) 2009, Keith Stribley.<br>Copyright (c) 2009, Martin Hosken and SIL International.<br>Copyright (c) 2007, Chris Wilson.<br>Copyright (c) 2006, Behdad Esfahbod.<br>Copyright (c) 2005, David Turner.<br>Copyright (c) 2004, 2007, 2008, 2009, 2010, Red Hat, Inc.<br>Copyright (c) 1998-2004, David Turner and Werner Lemberg. |
| icu 52.1 | ICU | Copyright (c) 1995-2010 International Business Machines Corporation and others |
| jpeg 9a | IJG | Copyright (c) 1991-1994, Thomas G. Lane.<br>Copyright (c) 1989, 2000 Aladdin Enterprises. |
| Json.NET | MIT | Copyright (c) 2007 James Newton-King. |
| libGD | MIT-like ライセンス (libgd) | |
| libpng 1.6.21 | Libpng | Copyright (c) 1998-2002, 2004, 2006-2016 Glenn Randers-Pehrson. |

| オープン ソース | ライセンス | 著作権 |
|---|---|---|
| libpng 1.6.12 | Libpng | Copyright (c) 2004, 2006-2009 Glenn Randers-Pehrson. |
| libunibreak 4.0 | Zlib | Copyright (c) 2008-2016 Wu Yongwei.<br>Copyright (c) 2012-2016 Tom Hacohen.<br>Copyright (c) 2013 Petr Filipsky.<br>Copyright (c) 2016 Andreas Röver. |
| LK | MIT | Copyright (c) 2008-2015 Travis Geiselbrecht. |
| musl-libc 1.1.5 | 2 条項 BSD<br>BSD-like ライセンス (musl) | Copyright (c) 2005-2014 Rich Felker, et al.<br>Copyright (c) 2005 Bruce D. Evans and Steven G. Kargl.<br>Copyright (c) 2001-2009 Ville Laurikari.<br>Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. |
| OpenGL | MIT | Copyright (c) 2013-2017 The Khronos Group Inc. |
| OpenGL-ES 2.0 | MIT<br>SGI-B-2.0 | Copyright (c) 2013-2017 The Khronos Group Inc. |
| OpenMAX IL 1.1.2 | MIT | |
| OpenSSL | OpenSSL | Copyright (c) 1998-2017 The OpenSSL Project.<br>Copyright (C) 1995-1998 Eric Young. |
| PCCTS 1.33 | MIT-like ライセンス (PCCTS) | |
| QNX BSP | Apache-2.0 | Copyright (c) 2007, QNX Software Systems. |
| RFC 1321 | RSA-MD | Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. |
| SCons 2.0.0. | MIT | Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010 The SCons Foundation. |

| オープン ソース | ライセンス | 著作権 |
|---|---|---|
| Synopsys DWC ETHER QOS ソフトウェア ドライバー | MIT-like ライセンス (Synopsys DWC ETHER QOS ソフトウェア ドライバー) | |
| Uthash | BSD-like ライセンス (Uthash) | Copyright (c) 2005-2016, Troy D. Hanson http://troydhanson.github.com/uthash/ |
| v8 3.28.35 | 3 条項 BSD | Copyright (c) 2006-2011, the V8 project authors. |
| xmltodict | MIT | Copyright (c) 2012 Martin Blech and individual contributors. |
| zlib 1.2.8 | Zlib | Copyright (c) 1995-2013 Jean-loup Gailly and Mark Adler. |
| — | 3 条項 BSD | Copyright (c) 2012-2015, The Linux Foundation. |

FAT 32 File System Driver과 관련해서
인텔의 EFI Specification과 UEFI Forum의 UEFI Specification의 implementation을 emulate 하는 경우, firmware, application, utility, driver 작성 등에서만 사용할 수 있음

The code is conditioned upon the FAT 32 File System Driver and only as necessary to emulate an implementation of the UEFI Specifications; and to create firmware, applications, utilities and/or drivers.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/).

## Apache-2.0

Copyright [yyyy] [著作権所有者の名前]
Apache Licence バージョン 2.0 (以下「ライセンス」) に基づきライセンスされています。ライセンスに準拠していない限り、このファイルを使用することはできません。 ライセンスのコピーは、http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0 より入手できます。 適用法で要求されているか書面での合意がない限り、ライセンスに基づいて配布されるソフトウェアは、明示または黙示を問わず、いかなる保証または条件もなしに「現状のまま」で配布されます。 ライセンスに基づく許可と制約を規定した文言については、ライセンスを参照してください。

## 2 条項 BSD

ソース形式およびバイナリ形式での再配布および使用は、変更の有無に関わらず、次の条件を満たす限りにおいて許可されます。

1. ソース コードの再配布では、上記の著作権表示、本条件一覧、および以下の免責事項を含めなければなりません。
2. バイナリ形式での再配布では、上記の著作権表示、本条件一覧、および以下の免責事項を、配布物に付属のドキュメントやその他の資料に含めなければなりません。

このソフトウェアは著作権保有者およびコントリビューターによって「現状のまま」提供されるものとし、明示または黙示を問わず、商品性および特定の目的への適合性に関する暗黙の保証を含め、いかなる保証も提供されません。 いかなる状況においても、著作権保有者またはそのコントリビューターは、いかなる理由であれ、また責任の根拠が契約なのか、厳格責任なのか、不法行為 (過失またはその他を含む) なのかを問わず、たとえそのような損失の可能性を示唆されていたとしても、このソフトウェアの使用により生じた直接的、間接的、偶発的、特別、懲罰的、または結果的な損害 (代替品またはサービスの提供、使用機会やデータまたは利益の損失、または事業の中断を含む) の責任を負わないものとします。

## 3 条項 BSD

ソース形式およびバイナリ形式での再配布および使用は、変更の有無に関わらず、次の条件を満たす限りにおいて許可されます。

1. ソース コードの再配布では、上記の著作権表示、本条件一覧、および以下の免責事項を含めなければなりません。

2. バイナリ形式での再配布では、上記の著作権表示、本条件一覧、および以下の免責事項を、配布物に付属のドキュメントやその他の資料に含めなければなりません。
3. 著作権保有者またはコントリビューターの名前を、書面による事前の特別な許可なしに、このソフトウェアから派生した製品を推奨または宣伝するために使用することはできません。
このソフトウェアは著作権保有者およびコントリビューターによって「現状のまま」提供されるものとし、明示または黙示を問わず、商品性および特定の目的への適合性に関する暗黙の保証を含め、いかなる保証も提供されません。 いかなる状況においても、著作権保有者またはそのコントリビューターは、いかなる理由であれ、また責任の根拠が契約なのか、厳格責任なのか、不法行為 (過失またはその他を含む) なのかを問わず、たとえそのような損失の可能性を示唆されていたとしても、このソフトウェアの使用により生じた直接的、間接的、偶発的、特別、懲罰的、または結果的な損害 (代替品またはサービスの提供、使用機会やデータまたは利益の損失、または事業の中断を含む) の責任を負わないものとします。

### BSD-like ライセンス (Uthash)

ソース形式およびバイナリ形式での再配布および使用は、変更の有無に関わらず、次の条件を満たす限りにおいて許可されます。
* ソース コードの再配布では、上記の著作権表示、本条件一覧、および以下の免責事項を含めなければなりません。
このソフトウェアは著作権保有者およびコントリビューターによって「現状のまま」提供されるものとし、明示または黙示を問わず、商品性および特定の目的への適合性に関する暗黙の保証を含め、いかなる保証も提供されません。 いかなる状況においても、著作権保有者またはそのコントリビューターは、いかなる理由であれ、また責任の根拠が契約なのか、厳格責任なのか、不法行為 (過失またはその他を含む) なのかを問わず、たとえそのような損失の可能性を示唆されていたとしても、このソフトウェアの使用により生じた直接的、間接的、偶発的、特別、懲罰的、または結果的な損害 (代替品またはサービスの提供、使用機会やデータまたは利益の損失、または事業の中断を含む) の責任を負わないものとします。

### BSD-like ライセンス (musl)

Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.
Sun Microsystems, Inc. の事業である SunPro で開発されました。 この通知が含まれている限りにおいて、このソフトウェアを自由に使用、複製、改変、および配布することが許可されます。

### BSD-like ライセンス (EFI/UEFI)

ソース形式およびバイナリ形式での再配布および使用は、変更の有無に関わらず、次の条件を満たす限りにおいて許可されます。
. ソース コードの再配布では、上記の著作権表示、本条件一覧、および以下の免責事項を含めなければなりません。
. バイナリ形式での再配布では、上記の著作権表示、本条件一覧、および以下の免責事項を、配布物に付属のドキュメントやその他の資料に含めなければなりません。
. バイナリ形式での再配布では、上記の著作権表示、本条件一覧、および以下の免責事項を、配布物に付属のドキュメントやその他の資料に含めなければなりません。
このソフトウェアは著作権保有者およびコントリビューターによって「現状のまま」提供されるものとし、明示または黙示を問わず、商品性および特定の目的への適合性に関する暗黙の保証を含め、いかなる保証も提供されません。 いかなる状況においても、著作権保有者またはそのコントリビューターは、いかなる理由であれ、また責任の根拠が契約なのか、厳格責任なのか、不法行為 (過失またはその他を含む) なのかを問わず、たとえそのような損失の可能性を示唆されていたとしても、このソフトウェアの使用により生じた直接的、間接的、偶発的、特別、懲罰的、または結果的な損害 (代替品またはサービスの提供、使用機会やデータまたは利益の損失、または事業の中断を含む) の責任を負わないものとします。
追加条件：上文に加えて、コードの再配布と使用は、FAT 32 ファイル システム ドライバーとすべての派生物が、Intel の Extensible Firmware Initiative (EFI) 仕様バージョン 1.0 以降または Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) フォーラムの UEFI 仕様バージョン 2.0 以降 (ともに、以下「UEFI 仕様」) により直接管理されるファイル システム用に使用され、そのようなファイル システムの読み取りまたは書き込み (UEFI 仕様の実装をエミュレートする必要がある場合に限る) およびファームウェア、アプリケーション、ユーティリティ、ドライバーの作成のためにのみ設計されることを条件としています。

### BSL-1.0

Boost ソフトウェア ライセンス - バージョン1.0 - 2003 年 8 月 17 日
以下の条件に従って、本ライセンスの対象となるソフトウェアおよびそれに付随するドキュメント (以下「ソフトウェア」) のコピーを取得した個人または組織は、本ソフトウェアを使用、複製、表示、配布、実行、および送信すること、ソフトウェアの派生物を作成すること、およびソフトウェアの提供先である第三者に対し同様の権利を与えることが無償で許可されます。
ソフトウェア内の著作権通知、および上記のライセンス許可、本制約、および以下の免責事項を含むこの条文全体を、ソフトウェアの全体あるいは一部のコピーすべて、およびソフトウェアのすべての派生物に含めなければなりません。ただし、そのようなコピーあるいは派生物が、ソース言語のプロセッサによって生成された、マシンで実行可能なオブジェクト コード形式でのみ提供される場合は除きます。 本ソフトウェアは、商品性、特定の目的への適合性、権原、および権利の非侵害の保証も含め、明示または黙示を問わず、いかなる保証もなしに「現状のまま」で提供されます。いかなる状況においても、著作権保有者または本ソフ

トウェアを配布するいかなる者も、契約、不法行為、その他に関わらず、ソフトウェアやその使用、またはその他の扱いに関連して生じる損害やその他の法的責任について一切の責任を負わないものとします。

## DejaVu フォント ライセンス

フォントは © Bitstream の著作物です (以下を参照)。DejaVu の変更は、パブリック ドメインにあります。著作権の説明は、Bitstream Vera フォントの Gnome のページにあります。 Arev フォントからインポートされたグリフは © Tavmjung Bah の著作物です (以下を参照)。

Bitstream Vera フォントの著作権

Copyright (c) 2003 by Bitstream, Inc. All Rights Reserved. Bitstream Vera は、Bitstream, Inc. の商標です。

以下の条件に従って、本ライセンスに付随するフォントのコピー (以下「フォント」) および関連するドキュメント ファイル (以下「フォント ソフトウェア」) を取得するすべての人は、フォント ソフトウェアのコピーを自由に使用、複製、マージ、公開、配布、または販売すること、および同様の権利を提携先に認めることを含め、フォント ソフトウェアを複製し、配布することが無償で許可されます。

上記の著作権および商標の表示ならびに本許可通知が、1 つまたは複数のフォント ソフトウェアの書体のすべてのコピーに含まれるものとします。

フォント ソフトウェアは変更、改変、または補足することができ、特にフォントのグリフまたは文字のデザインを変更したり、フォントにグリフや文字を追加したりすることができますが、その場合、フォントに「Bitstream」または「Vera」を含まない別の名前を付けるものとします。

変更されたうえで「Bitstream Vera」の名前で配布されるフォントまたはフォント ソフトウェアについては、適用される範囲において本ライセンスは無効となります。

フォント ソフトウェアは、より大きなソフトウェア パッケージの一部として販売することができますが、1 つまたは複数のフォント ソフトウェアの書体のコピーを単体で販売することはできません。

フォント ソフトウェアは、商品性、特定の目的への適合性、および著作権、特許権、商標権またはその他の権利の非侵害の保証も含め、明示または黙示を問わず、いかなる保証もなしに「現状のまま」で提供されます。 いかなる状況においても、Bitstream または Gnome Foundation は、契約、不法行為、その他に関わらず、フォント ソフトウェアの使用または使用不能、あるいはフォント ソフトウェアのその他の取り扱いに関連して生じた一般的、特別、間接的、偶発的、または結果的な損害を含む請求、損害、またはその他の法的責任について、一切の責任を負わないものとします。

この通知に記載のない限り、Gnome Foundation または Bitstream Inc. のそれぞれからの書面による事前の許可なしに、Gnome、Gnome Foundation および Bitstream Inc. の名称を、このフォント ソフトウェアに関連する広告または販売、使用、その他の促進のために使用することはできません。 詳細については、fonts@gnome.org にお問い合わせください。

Arev フォントの著作権

原文

Copyright (c) 2006 by Tavmjong Bah. All Rights Reserved.

以下の条件に従って、本ライセンスに付随するフォントのコピー (以下「フォント」) および関連するドキュメント ファイル (以下「フォント ソフトウェア」) を取得するすべての人は、フォント ソフトウェアのコピーを自由に使用、複製、マージ、公開、配布、または販売すること、および同様の権利を提携先に認めることを含め、Bitstream Vera フォント ソフトウェアへの変更を複製し、配布することが無償で許可されます。

上記の著作権および商標の表示ならびに本許可通知が、1 つまたは複数のフォント ソフトウェアの書体のすべてのコピーに含まれるものとします。

フォント ソフトウェアは変更、改変、または補足することができ、特にフォントのグリフまたは文字のデザインを変更したり、フォントにグリフや文字を追加したりすることができますが、その場合、フォントに「Tavmjong Bah」または「Arev」を含まない別の名前を付けるものとします。

変更されたうえで「Tavmjong Bah Arev」の名前で配布されるフォントまたはフォント ソフトウェアについては、適用される範囲において本ライセンスは無効となります。

フォント ソフトウェアは、より大きなソフトウェア パッケージの一部として販売することができますが、1 つまたは複数のフォント ソフトウェアの書体のコピーを単体で販売することはできません。

フォント ソフトウェアは、商品性、特定の目的への適合性、および著作権、特許権、商標権またはその他の権利の非侵害の保証も含め、明示または黙示を問わず、いかなる保証もなしに「現状のまま」で提供されます。 いかなる状況においても、Tavmjong Bah は、契約、不法行為、その他に関わらず、フォント ソフトウェアの使用または使用不能、あるいはフォント ソフトウェアのその他の取り扱いに関連して生じた一般的、特別、間接的、偶発的、または結果的な損害を含む請求、損害、またはその他の法的責任について、一切の責任を負わないものとします。

この通知に記載のない限り、Tavmjong Bah からの書面による事前の許可なしに、Tavmjong Bah の名称を、このフォント ソフトウェアに関連する広告または販売、使用、その他の促進のために使用することはできません。 詳細については、tavmjong@free.fr までお問い合わせください。

## FTL

FreeType プロジェクト ライセンス

2006 年 1 月 27 日

Copyright 1996-2002, 2006 by David Turner, Robert Wilhelm and Werner Lemberg

はじめに

FreeType プロジェクトは、いくつかのアーカイブ パッケージで配布されています。それらには、FreeType フォント エンジンに加えて、FreeType プロジェクトに依存または関連するさまざまなツールおよ

びコントリビューションが含まれているものがあります。

本ライセンスは、そのようなパッケージに含まれるファイルのうち独自の明示的ライセンスに基づかないすべてのファイルに適用されます。 したがって、本ライセンスは少なくとも、FreeType フォント エンジン、そのテスト プログラム、ドキュメント、およびメイクファイルに影響を与えます。

本ライセンスは、BSD、Artistic、および IJG (Independent JPEG Group) のライセンスから発想を得ていますが、そのいずれも商用製品とフリーウェア製品にそれぞれフリー ソフトウェアを含めて使用することを奨励しています。 結果として、その主なポイントは次のとおりです。

o このソフトウェアが機能するかどうかは約束できません。 ただし、あらゆる種類のバグ レポートに関心を持っています。 (「現状のまま」で配布)

o このソフトウェアの一部またはすべてを無償で自由に使用できます。 (「ロイヤリティ フリー」での使用)

o このソフトウェアの著作者であると主張することはできません。 プログラムでソフトウェアまたはその一部を使用する場合は、FreeType コードを使用したことをドキュメントのどこかに明記しなければなりません。 (「クレジット」)

変更の有無に関わらず、商用製品にこのソフトウェアを含めることを明確に許可および奨励します。

FreeType プロジェクトに対する一切の保証を行わず、FreeType プロジェクトに関連する責任を負いません。

最後に、このライセンスに従って使用するクレジットおよび免責事項の好ましい形式について、多くの問い合わせがありました。 そこで、次の文面を使用することをお勧めします。

「このソフトウェアの一部の著作権は、copyright © 年 The FreeType Project (www.freetype.org) にあります。 無断複写 転載を禁じます。」

年は、実際に使用する FreeType のバージョンの年に置き換えてください。

法的条項

0. 定義

本ライセンスを通じ、「パッケージ」、「FreeType プロジェクト」、「FreeType アーカイブ」という用語は、著作者 (David Turner、Robert Wilhelm、Werner Lemberg) が元々「FreeType プロジェクト」として配布し、アルファ、ベータ、または最終リリースと名付けた一連のファイルを指しています。

「あなた」とは、このプロジェクトを使用するライセンシーまたは個人を指します。「使用」とは、プロジェクトのソース コードのコンパイルならびにそれを「プログラム」または「実行可能」形式にするためのリンクを含む一般的な用語です。 このプログラムは、「FreeType エンジンを使用するプログラム」と呼ばれます。

このライセンスは、元のアーカイブで配布された元の未変更の形でのファイルに特に明記されていない限り、すべてのソース コード、バイナリ、ドキュメントを含む、元の FreeType プロジェクトで配布されたすべてのファイルに適用されます。 特定のファイルがこのライセンスの対象であるかどうか不明な場合は、弊社に連絡して確認する必要があります。

FreeType プロジェクトの著作権は、copyright (C) 1996-2000、David Turner、Robert Wilhelm、Werner Lemberg にあります。 以下に記載のない限り、すべての権利は保護されています。

1. 非保証

FreeType プロジェクトは、商品性および特定の目的への適合性を含め、明示または黙示を問わず、いかなる保証もなしに「現状のまま」で提供されます。 いかなる状況においても、著作者または著作権保有者は、FreeType プロジェクトの使用または使用不能により生じる損害について一切の責任を負いません。

2. 再配布

このライセンスは、以下の条件に従って、FreeType プロジェクト (ソース コードとオブジェクト コードの両形式) およびあらゆる目的のための派生物を使用、実行、実施、コンパイル、表示、複製、派生物の作成、配布、サブライセンスすること、ならびにそれらの一部またはすべての権利を第三者に認めることを許可する、世界規模で、ロイヤリティ フリー、かつ永久的で取消不能の権利とライセンスを付与します 。

o ソースコードを再配布する場合、このライセンス ファイル (「FTL.TXT」) は改変してはなりません。元のファイルへの追加、削除、または変更については、付属のドキュメントに明記しなければなりません。 変更されていない元のファイルの著作権表示を、ソース ファイルのすべてのコピーに含めなければなりません。

o バイナリ形式での再配布では、ソフトウェアが FreeType チームの著作物に一部基づいていることを明記した免責事項を配布ドキュメントに含めなければなりません。 また、ドキュメントに FreeType のウェブページの URL を含めることをお勧めしますが、これは必須ではありません。

これらの条件は、未変更のファイルのみならず、FreeType プロジェクトから派生した、またはそれに基づいたすべてのソフトウェアに適用されます。 私たちの著作物を使用する場合、謝辞を入れなければなりません。 ただし、費用は一切かかりません。

3. 広告

FreeType の著作者、コントリビューター、あなたのいずれも、書面による事前の特別な許可なしに、商用、広告、またはプロモーションの目的で他の当事者の名前を使用してはなりません。

ドキュメントまたは広告資料でこのソフトウェアを参照する際には、「FreeType プロジェクト」、「FreeType エンジン」、「FreeType ライブラリ」、または「FreeType 配布」のいずれか 1 つまたは複数のフレーズを使用することをお勧めしますが、これは必須ではありません。

あなたはこのライセンスに署名していないため、同意する必要はありません。 ただし、FreeType プロジェクトは著作権で保護された素材であるため、それを使用、配布、および変更する権利を付与するのは、このライセンス、または著作者が契約した別のライセンスのみです。 したがって、FreeType プロジェクトを使用、配布、または変更することにより、このライセンスのすべての条件を理解して同意したことになります。

4. 連絡先

FreeType に関連する次の 2 つのメーリング リストがあります。

o freetype@nongnu.org
FreeType の一般的な使用と適用、ならびに今後計画されているライブラリと配布への追加について説明しています。 サポートが必要な場合、ドキュメントに情報が見当たらないようであれば、このリストから始めてください。

o freetype-devel@nongnu.org
バグのほか、エンジンの内部構造、設計上の問題、特定のライセンス、移植などについて説明しています。

以下のホーム ページをご覧ください。

http://www.freetype.org
— FTL.TXT の終わり—

## ICU

上記の著作権表示とこの許可通知をソフトウェアのすべてのコピーに表示し、かつ上記の著作権表示とこの許可通知の両方をサポート資料に表示することを条件として、このソフトウェアおよび関連するドキュメント ファイル (以下「ソフトウェア」) のコピーを取得するすべての人に、ソフトウェアを無制限に扱うことを無償で許可します。これには、ソフトウェアのコピーを使用、複製、変更、マージ、公開、配布、または販売すること、および同様の権利を提携先に許可することが含まれます。 本ソフトウェアは、商品性、特定の目的への適合性、および第三者による権利の非侵害の保証も含め、明示または黙示を問わず、いかなる保証もなしに「現状のまま」で提供されます。 いかなる状況においても、この通知に含まれている著作権保有者は、契約、過失、その他不法行為に関わらず、このソフトウェアの使用または実行に関連して生じた請求あるいは特定の間接的、結果的損害、または使用機会、データ、または利益の喪失による損害の責任を一切負わないものとします。

この通知に記載のない限り、著作権保有者からの書面による事前の許可なしに、著作権保有者の名称を、このソフトウェアに関連する広告または販売、使用、その他の促進のために使用することはできません。

## IJG

Independent JPEG Group ライセンス

法的問題

平易な英語 :

1. このソフトウェアが機能するかどうかは約束できません。 (ただし、バグを見つけた場合はお知らせください ! )

2. このソフトウェアは、自由にご使用ください。 費用はかかりません。

3. このソフトウェアの著作者であると主張することはできません。 プログラムで使用する場合は、ドキュメントのどこかに IJG コードを使用したことを明示する必要があります。

法律用語 :

著作者は、本ソフトウェアに関し、その品質、正確性、商品性、または特定の目的への適合性に関して、明示または黙示を問わず、一切の保証や表明を行いません。 このソフトウェアは「現状のまま」提供されるものであり、ユーザーであるあなたがその品質と正確性に関するすべての責任を負います。

このソフトウェアの著作権は、copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane にあります。 以下に記載のない限り、すべての権利は保護されています。

以下の条件に従って、このソフトウェア (またはその一部) を自由に使用、複製、改変、および配布することが無償で許可されます。

(1) このソフトウェアのソース コードが一部でも配布される場合、この著作権および非保証通知を変更することなく挿入した README ファイルを含めなければなりません。また、元のファイルへの追加、削除、または変更について、付属のドキュメントに明記しなければなりません。

(2) 実行可能コードのみが配布される場合、付属のドキュメントに「このソフトウェアは Independent JPEG Group の著作物に一部基づいている」ことを記載しなければなりません。

(3) このソフトウェアの使用許可は、ユーザーが望ましくない結果に対しても全責任を負うことを認める場合にのみ許可されます。著作者は、いかなる損害についても一切の責任を負いかねます。

これらの条件は、未変更のライブラリのみならず、IJG コードから派生した、またはそれに基づいたすべてのソフトウェアに適用されます。 私たちの著作物を使用する場合、謝辞を入れなければなりません。

IJG 著作者の名前または企業名を、このソフトウェアまたはその派生製品に関連する広告または宣伝に使用することは許可されていません。 このソフトウェアは、「Independent JPEG グループのソフトウェア」とのみ呼ぶことができます。

製品ベンダーがすべての保証または賠償請求を引き受けることを条件に、この製品を商用製品の基礎として使用することを許可および奨励します。

ansi2knr.c は、著作権保有者であるカリフォルニア州メンロ パークの Aladdin Enterprises の個人事業主 L. Peter Deutschの許可により、この配布物に含まれています。ansi2knr.c は上記の著作権および条件の対象ではなく、Free Software Foundation の通常の配布条件の対象です。主に、再配布する場合はソース コードを含める必要があります。 (詳細については、ansi2knr.c のファイルを参照してください。) ただし、ansi2knr.c は IJG コードから生成されたプログラムの一部としては必要ないため、前述の項よりも多くの制約はありません。

Unix 構成スクリプト「configure」は、GNU Autoconf で作成されました。 著作権は Free Software Foundation にありますが、自由に配布できます。 これはサポート スクリプト (config.guess、config.sub、ltconfig、ltmain.sh) にも同様にあてはまります。 別のサポート スクリプトである install-sh の著作権は MIT にありますが、これも自由に配布することができます。

JPEG 仕様の算術符号オプションは、IBM、AT、および三菱が所有する特許によって保護されているようです。 したがって、算術符号は、1 つまたは複数のライセンスを取得しないと合法的に使用できません。 このため、算術符号のサポートは無料の JPEG ソフトウェアから削除されました。 (算術符号は、特許が取得され

ていないハフマン符号に比べてわずかな利益しか提供しないため、実装でサポートされることは多くありません。) 私たちが知る限り、残りの符号に関する特許の制約はありません。

IJG の配布では、以前は GIF ファイルを読み書きする符号が含まれていました。 Unisys LZW 特許との絡み合いを避けるため、GIF 読み取りサポートは完全に削除され、GIF ライターは「非圧縮 GIF」を生成するよう簡素化されました。 この手法では、LZW アルゴリズムを使用しません。結果的に GIF ファイルは通常より大きくなりましたが、すべての標準 GIF デコーダーで読み取り可能です。

私たちは、以下を記述することが求められています。「The Graphics Interchange Format (c) は CompuServe Incorporated の著作権で保護された財産です。 GIF(sm) は CompuServe Incorporated のサービス マーク所有物です。」

## Libpng

この libpng の通知のコピーは、便宜上提供されています。 このコピーと libpng の配布に含まれている libpng ファイルの通知との間に矛盾がある場合は、後者が優先されます。

著作権表示、免責条項、およびライセンス :

libpng を変更する場合、この文の直後に追加の通知を挿入することができます。

このコードは、libpng ライセンスに基づいてリリースされています。

2004 年 8 月 15 日の libpng バージョン 1.2.6 から 2010 年 12 月 9 日の 1.4.5 までの著作権は (c) 2004, 2006-2010 Glenn Randers-Pehrson にあり、次の個人を共同著作者リストに追加したうえで libpng-1.2.5 と同じ免責事項およびライセンスに従って配布されています。

Cosmin Truta

2000 年 7 月 1 日の libpng バージョン1.0.7 から 2002 年 10 月 3 日 の 1.2.5 までの著作権は (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson にあり、次の個人を共同著作者リストに追加したうえで libpng-1.0.6 と同じ免責事項およびライセンスに従って配布されています。

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

また、免責事項に以下が追加されています。

ライブラリを楽しむことへの妨害や侵害に対する保証はありません。 私たちの労力またはライブラリは、特定の目的またはニーズを満たすことを保証するものではありません。 このライブラリはすべてのエラーとともに提供され、満足のいく品質、パフォーマンス、正確性、労力のすべてのリスクはユーザーが負います。

1998 年 1 月 の libpng バージョン 0.97 から 2000 年 3 月 20 日 の 1.0.6 までの著作権は (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson にあり、次の個人を共同著作者リストに追加したうえで libpng-0.96 と同じ免責事項およびライセンスに従って配布されています。

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

1996 年 6 月の libpng バージョン 0.89 から 1997 年 5 月の 0.96 までの著作権は (c) 1996, 1997 Andreas Digger Distributed にあり、次の個人を共同著作者リストに追加したうえで libpng-0.88 と同じ免責事項およびライセンスに従って配布されています。

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

1995 年 5 月の libpng バージョン 0.5 から 1996 年 1 月の 0.88 までの著作権は (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc. にあります。

この著作権およびライセンスの目的において、「共同著作者」は次の一連の個人として定義されています。

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

PNG リファレンス ライブラリは「現状のまま」で提供されます。 共同著作者および Group 42, Inc. は、明示または黙示を問わず、商品性およびあらゆる目的への適合性の保証を含め、一切の保証を行いません。 共同著作者および Group 42, Inc. は、PNG リファレンス ライブラリの使用により生じた直接的、間接的、偶発的、特別、例外的、または結果的損害について、たとえそのような損害の可能性を知らされていたとしても、一切の責任を負いません。

以下の制約に従って、このソース コードまたはその一部を自由に使用、複製、改変、および配布することが無償で許可されます。

1. このソース コードの出所を偽って表示してはなりません。

2. 改変されたバージョンは、そのように明確に表示されていなければならず、元のソースと偽って表示してはなりません。

3. 本著作権表示は、ソースまたは改変されたソースの配布から削除したり、変更したりすることはできません。

共同著作者および Group 42, Inc. は、このソース コードを商用製品で PNG ファイル形式をサポートするためのコンポーネントとして使用することを無償で許可し、奨励しています。 製品でこのソース コードを使用する場合、謝辞は必須ではありませんが、入れていただければ幸いです。

## MIT

以下の条件に従って、このソフトウェアおよび関連するドキュメント ファイル (以下「ソフトウェア」) のコピーを取得するすべての人に、ソフトウェアを自由に使用、複製、改変、マージ、公開、配布、サブライセンス、または販売すること、およびソフトウェアの提供先にそれらを許可することが無償で許可されます。

上記の著作権表示およびこの許可通知を、ソフトウェアのすべてのコピーまたは重要な部分に含めなければなりません。

本ソフトウェアは、商品性、特定の目的への適合性、および権利の非侵害の保証も含め、明示または黙示を問わず、いかなる保証もなしに「現状のまま」で提供されます。 いかなる状況においても、著作者または著作権保有者は、契約、不法行為、その他に関わらず、このソフトウェアの使用またはその他の扱いに関連して生じる請求、損害、またはその他の法的責任について一切の責任を負わないものとします。

## MIT-like ライセンス (Dinkum C ++ 11 ライブラリ)

機械可読形式または印刷形式の Dinkum C++ ライブラリ (以下「Dinkum ライブラリ」) および機械可読形式または印刷形式の Dinkum C++ ライブラリ リファレンス (以下「Dinkum リファレンス」) (以下、その全体または一部を「製品」と呼ぶ) の著作権は ©1989-2001 P.J. Plauger にあります。 ALL RIGHTS RESERVED. 本製品の一部は、P.J. Plauger が著作権を所有する書籍 ©1992-1995 から派生しています。

Dinkumware, Ltd. および P.J. Plauger (以下「ライセンサー」) は、本製品の独占的所有権を保持しています。この通知に具体的に記載されている条件に従って、あなた (以下「ライセンシー」) に使用が許可されます。 第三者から、または Dinkumware, Ltd. からの特別なライセンスに基づいて本製品を入手した場合、追加の制約が適用される場合があります。 それ以外の場合、書籍または録音物などの他の著作物と同じように本製品を扱う必要があります。 また、著作権に基づいてコンピューター ソフトウェアに対する特定の権利を行使することもできます。 特に、以下を言います。

本製品のライブラリ部分 (もしあれば) を使用して、C/C++ コードをコンパイルおよびリンクし、実行可能ファイルを生成することができます。
このような実行可能ファイルは、ライセンサーに追加のライセンス料を支払うことなく、自由に配布できます。
アーカイブの目的で、本製品の 1 つまたは複数のバックアップ コピーを作成することができます。
所有している本製品のすべての複製を譲渡または破棄する場合にのみ、この通知に記載されている条件に同意した他の当事者に対して、本製品の所有権を永続的に譲渡することができます。
この通知およびすべての著作権表示は、本製品のあらゆる複製に含まれなければなりません。
本製品を貸与、レンタル、またはサブライセンスすることはできません。
この通知で特に許可されていない目的のために、いかなる形式においても、本製品のどの部分も複製または配布することはできません。
本製品のコピーは、本製品のパッケージの一部として指定されている限られた人数の開発者が使用するためにライセンスされます。
たとえば、最大 10 ユーザーのライセンスでは、合理的な範囲で本製品を使用できる開発者の数が任意の時点で 10 人に制限されます。
したがって、10 人とは、同時に使用する実際のユーザーの数ではなく、同時に使用可能なユーザーの最大人数になります。
シングル ユーザー ライセンスは、1 人の開発者のみが使用するためのものです。
このソフトウェアにアクセスするすべての人は、第三者による違法コピーの支援や扇動を行わない道徳的責任を負います。
ライセンサーは、本製品の機械可読形式により、マルチ ユーザー システム内およびネットワーク間での共有が特に促進されると認識しています。
このような使用は、ライセンシーが同時に使用可能なユーザー数を超えない限り、不正な複製およびパブリック アクセスから本製品を保護するために合理的な予防措置をとる場合にのみ許可されます。
特に、このコピーにアクセスできるということが、このコピーの使用または複製を許可するものではないことに注意してください。
また、ライセンサーが本製品の製作にかなりの専門的な労力を費やしており、最新の状態を維持するために尽力し続けていることに留意してください。
ライセンサーは、出荷された本製品が文書化された目的に従って実質的に機能すること、および本製品が提供される媒体に材料上および製造上の欠陥がないことを保証します。 法律で認められている範囲内で、本製品に関する黙示的な保証は 90 日間に制限されます。
この保証に基づくライセンサーの全責任は、ライセンサーの選択により、ライセンシーが支払ったライセンス料の返金または製品が提供される媒体の交換のいずれかになります。 これは、ライセンシーの唯一の救済手段でもあります。 この救済手段の資格を得るには、ライセンシーが十分な購入証明をライセンサーに提示し、本製品を合理的に良好な状態でライセンサーに返品しなければなりません。 ライセンサーはそれ以外に、明示または黙示を問わず、商品性、特定の目的への適合性、または非侵害の黙示的な保証を含め、本製品の適合性に関する表明または保証を行いません。 ライセンサーは、本製品を使用した結果としてライセンシーが被ったいかなる損害についても、たとえそのような損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負わないものとします。 法律で認められる範囲内で、ライセンサーは結果的または偶発的な損害に対して責任を負わないものとします。
本製品を使用することにより、知的財産法および米国のその他すべての適用法、および上記の条件に従うことに同意するものとします。 この通知の条件に従わなかったことにより生じた、または助長された侵害に対して、法的責任を問われる場合があります。
限定的権利：政府による使用、複製、または開示は、DFARS 52.227-7013 および FAR 52.227-19 の「テクニカル データおよびコンピューター ソフトウェアの権利」の条項の (c) (1) (ii) 項に規定されている制限の対象となります。 未公開の権利は、米国著作権法に基づいて留保されています。 請負業者/製造業者は、398 Main Street, Concord, MA 01742 の DINKUMWARE, LTD. です。
この通知の条件は、マサチューセッツ州法に準拠するものとします。 各当事者の権利と義務は、国連の 国際物品売買契約の規定 (1980 年) に準拠しないものとします。
この著作権およびライセンス通知は、ここに記載された事項に関する当事者の完全な合意であり、それに関連するその他の口頭または書面による合意またはやり

取りに優先して、単独で拘束力を持ちます。 発注書、見積書、またはいずれかの当事者が作成したその他のフォームに記載されている条項は適用されません。

Dinkumware および Dinkumは、Dinkumware, Ltd. の登録商標です。

### MIT-like ライセンス (HarfBuzz)

HarfBuzz は、いわゆる「旧 MIT」ライセンスに基づいてライセンスされています。 詳細は次のとおりです。 複数の異なるライセンスにより許可されている HarfBuzz の部分については、該当するサブディレクトリ内の COPYING という名前の各ファイルを参照してください。

Copyright (c) 2010, 2011, 2012 Google, Inc.
Copyright (c) 2012 Mozilla Foundation.
Copyright (c) 2011 Codethink Limited
Copyright (c) 2008, 2010 Nokia Corporation and/or its subsidiary/subsidiaries
Copyright (c) 2009 Keith Stribley
Copyright (c) 2009 Martin Hosken and SIL International
Copyright (c) 2007 Chris Wilson
Copyright (c) 2006 Behdad Esfahbod
Copyright (c) 2005 David Turner
Copyright (c) 2004, 2007, 2008, 2009, 2010 Red Hat, Inc.
Copyright (c) 1998-2004 David Turner and Werner Lemberg

完全な著作権表示については、パッケージ内の個々のファイルを参照してください。

上記の著作権表示および以下の 2 つの条項がこのソフトウェアのすべてのコピーに表示されている限りにおいて、書面による同意なしに、またライセンス料やロイヤリティを支払うことなく、このソフトウェアとそのドキュメントを自由に使用、複製、改変、配布することが許可されます。

いかなる状況においても、著作権保有者は、本ソフトウェアおよびそのドキュメントの使用により生じる直接的、間接的、特別、偶発的または結果的な損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていたとしても、一切の責任を負わないものとします。

著作権保有者は、商品性および特定の目的への適合性の暗黙の保証を含み、一切の保証を行いません。 以下のソフトウェアは「現状のまま」提供されるものであり、著作権保有者は保守、サポート、更新、拡張、または変更を提供する義務を負いません。

### MIT-like ライセンス (PCCTS)

ソフトウェアの権利

当社は Purdue Compiler Construction Tool Set (PCCTS) に対する法的権利を留保していません。 PCCTS はパブリック ドメインです。 個人または企業は、PCCTS とともに配布されたソース コードまたは PCCTS によって生成されたコードを自由に使用することができます (PCCTS またはその出力の商用ソフトウェアへの組み込みを含む)。

ユーザーに対し、PCCTS を使用してソフトウェアを開発することを奨励します。 ただし、PCCTS を開発したことに対して、クレジットが与えられるようお願いします。「クレジット」とは、いずれかのプログラム (商用製品、研究プロジェクトなど) に当社のソース コードを組み込む場合、文書や研究レポートなどのどこかでこの事実を認めることを示すことを意味します。PCCTS を気に入り、そのアウトプットにより便利なツールを開発した場合には、PCCTS を使用して開発したことに言及してください。 さらに、このヘッダーはソース コードにそのまま残しておくようお願いします。 これらのガイドラインが守られている限り、このシステムを引き続き強化し、完成した他のツールを利用できるようにする予定です。

ANTLR 1.33
Terence Parr
Parr Research Corporation
Purdue University および AHPCRC, University of Minnesota
1989-1995

### MIT-like ライセンス (Synopsys DWC ETHER QOS ソフトウェア ドライバー)

Synopsys DWC ETHER QOS ソフトウェア ドライバーおよびドキュメント (以下「ソフトウェア」) は、Synopsys との間で書面による明示的な同意がない限り、Synopsys, Inc. のサポート対象外の著作物です。本ソフトウェアは、エンド ユーザー ソフトウェア ライセンス契約、Synopsys とのライセンス製品の契約、またはその補足条項に基づいたライセンス ソフトウェアまたはライセンス製品のアイテムではありません。 次の条件に従って、このライセンスとソフトウェアが注釈として示されたこのソフトウェアのコピーを取得するすべての人に、ソフトウェアを自由に使用、複製、改変、マージ、公開、配布、サブライセンス、または販売すること、およびソフトウェアの提供先にそれらを許可することが無償で許可されます。

上記の著作権表示およびこの許可通知を、ソフトウェアのすべてのコピーまたは重要な部分に含めなければなりません。

このソフトウェアは、Synopsys によって「現状のまま」でのみ配布されるものとし、商品性および特定の目的への適合性の黙示的保証を含み、明示的または黙示的な保証は一切放棄されます。 いかなる状況においても、Synopsys は、いかなる理由であれ、また責任の根拠が契約なのか、厳格責任なのか、不法行為 (過失またはその他を含む) なのかを問わず、たとえそのような損失の可能性を示唆されていたとしても、このソフトウェアの使用により生じた直接的、間接的、偶発的、特別、懲罰的、または結果的な損害 (代替品またはサービスの提供、使用機会やデータまたは利益の損失、または事業の中断を含む) の責任を負わないものとします。

### MIT-like ライセンス (libgd)

gd の著作者に関するあらゆる混乱を解決するために、以下の著作権の表明は、そのような表明を要求したすべての著作者を対象としています。 この著作権表示の漏れに気づいた場合は、Pierre-A. Joye までご連絡いただけば、速やかに修正いたします。

* 1994、1995、1996、1997、1998、1999、2000、2001、2002、2003、2004 年に Cold Spring Harbor Laboratory により著作権で保護された部分。 国立衛生研究所による助成金 P41-RR02188 の資金提供。
* 1996、1997、1998、1999、2000、2001、2002、2003、2004 年に Boutell.Com, Inc. により著作権で保護された部分。
* 1999、2000、2001、2002、2003、2004 年に Philip Warner により著作権で保護された GD2 形式に関する部分。
* 1999、2000、2001、2002、2003、2004 年に Greg Roelofs により著作権で保護された PNG に関連する部分。
* 1999、2000、2001、2002、2003、2004 年に John Ellson (ellson@graphviz.org) により著作権で保護された gdttf.c に関連する部分。
* 2001、2002、2003、2004 年に John Ellson (ellson@graphviz.org) により著作権で保護された gdft.c に関連する部分。
* 2000、2001、2002、2003、2004、2005、2006、2007 年に Pierre-Alain Joye (pierre@libgd.org) により著作権で保護された部分。
* 2000、2001、2002、2003、2004 年に Doug Becker により、また 1994、1995、1996、1997、1998、1999、2000、2001、2002、2003、2004 年に Thomas G. Lane により著作権で保護された JPEG および色の量子化に関する部分。 このソフトウェアは、Independent JPEG Group の著作物に一部基づいています。 詳細については、README-JPEG.TXT ファイルを参照してください。
* 1989 年に Jef Poskanzer および David Rowley により著作権で保護され、Thomas Boutell がスレッド セーフに関して修正を行った GIF 圧縮に関連する部分。
* 1990、1991、1993 年に David Koblas により著作権で保護され、Thomas Boutell がスレッド セーフに関して修正を行った GIF の解凍に関連する部分。
* 2000、2001、2002、2003、2004 年に Maurice Szmurlo および Johan Van den Brande により著作権で保護された WBMPに関連する部分。
* 2004 年に Jaakko Hyvätti (jaakko.hyvatti@iki.fi) により著作権で保護された GIF アニメーションに関連する部分。

この通知がユーザーがアクセス可能なサポート ドキュメントに含まれている限り、商用アプリケーションを含め、gd を無償で自由に複製、配布、および変更することを許可します。
これは派生物自体の所有権には影響せず、その意図は、gd の生産的な使用を妨げることなく、gd の著作者の適切な著作権表示を保証することにあります。 ご質問がありましたら、お気軽にお尋ねください。「派生物」には、ライブラリを利用するすべてのプログラムが含まれます。 クレジットをユーザーがアクセスできるドキュメントに記載する必要があります。
このソフトウェアは「現状のまま」で提供されます。 著作権保有者は、このコードおよび付属文書に関する商品性および特定の目的への適合性に関する暗黙の保証を含め、明示または黙示を問わず、一切の保証を行いません。
それらのコードは現在のリリースには含まれていませんが、著作者は、以前の貢献に対して David Koblas、David Rowley、および Hutchison Avenue Software Corporation に感謝しています。

## OpenSSL

OpenSSL ライセンス
Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.
ソース形式およびバイナリ形式での再配布および使用は、変更の有無に関わらず、次の条件を満たす限りにおいて許可されます。
1. ソース コードの再配布では、上記の著作権表示、本条件一覧、および以下の免責事項を含めなければなりません。
2. バイナリ形式での再配布では、上記の著作権表示、本条件一覧、および以下の免責事項を、配布物に付属のドキュメントやその他の資料に含めなければなりません。
3. このソフトウェアの機能または使用について言及するすべての広告資料には、次の謝辞を表示する必要があります。「この製品には、OpenSSL Toolkit で使用するために OpenSSL Project が開発したソフトウェアが含まれます。 (http://www.openssl.org/)」
4.「OpenSSL Toolkit」および「OpenSSL Project」という名前は、事前の書面による許可なしに、このソフトウェアから派生した製品を推奨または宣伝するために使用してはなりません。 書面による許可については、openssl-core@openssl.org にお問い合わせください。
5. このソフトウェアから派生した製品は、OpenSSL プロジェクトの事前の書面による許可なしに、「OpenSSL」と呼んだり、名前に「OpenSSL」を含めたりすることはできません。
6. いかなる形式の再配布でも、「この製品には、OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/) で使用するために OpenSSL Project が開発したソフトウェアが含まれます」という謝辞を含めなければなりません。
このソフトウェアは OpenSSL プロジェクトによって「現状のまま」提供されるものとし、明示または黙示を問わず、商品性および特定の目的への適合性に関する暗黙の保証を含め、いかなる保証も提供されません。 いかなる状況においても、OpenSSL プロジェクトまたはそのコントリビューターは、いかなる理由であれ、また責任の根拠が契約なのか、厳格責任なのか、不法行為 (過失またはその他を含む) なのかを問わず、たとえそのような損失の可能性を示唆されていたとしても、このソフトウェアの使用により生じた直接的、間接的、偶発的、特別、懲罰的、または結果的な損害 (代替品またはサービスの提供、使用機会やデータまたは利益の損失、または事業の中断を含む) の責任を負わないものとします。
この製品には、Eric Young (eay@cryptsoft.com) によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。 この製品には、Tim Hudson (tjh@cryptsoft.

com) によって作成されたソフトウェアが含まれています。
元の SSLeay ライセンス
Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.
このパッケージは、Eric Young (eay@cryptsoft.com) によって作成された SSL 実装です。 実装は、Netscapes SSL に準拠するように作成されました。
このライブラリは、次の条件が満たされている限りにおいて、商用および非商用での使用は無料です。 以下の条件は、SSL コードのみに適用されるわけではなく、RC4、RSA、lhash、DES などのコードであるかどうかに関わらず、この配布に含まれるすべてのコードに適用されます。 この配布に含まれる SSL のドキュメントは、所有者が Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) であることを除いて、同じ著作権規定で保護されています。
著作権は Eric Young にあるため、コード内の著作権表示を削除してはなりません。 このパッケージが製品で使用されている場合、使用されているライブラリの一部の著作者として Eric Young にクレジットを与える必要があります。 クレジットは、プログラム起動時のテキスト メッセージの形式でも、パッケージに付属のドキュメント (オンラインまたはテキスト) に記載してもかまいません。
ソース形式およびバイナリ形式での再配布および使用は、変更の有無に関わらず、次の条件を満たす限りにおいて許可されます。
1. ソース コードの再配布では、著作権表示、本条件一覧、および以下の免責事項を含めなければなりません。
2. バイナリ形式での再配布では、上記の著作権表示、本条件一覧、および以下の免責事項を、配布物に付属のドキュメントやその他の資料に含めなければなりません。
3. このソフトウェアの機能または使用について言及するすべての広告資料には、「この製品には Eric Young (eay@cryptsoft.com) によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています」という謝辞を表示しなければなりません。 ライブラリから使用されるルーチンが暗号化されていない場合、「暗号化」という語は省略できます :-)。
4. apps ディレクトリ (アプリケーション コード) から Windows 固有のコード (またはその派生物) を含める場合には、「この製品には Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれます」という謝辞を入れなければなりません。
このソフトウェアは ERIC YOUNG によって「現状のまま」提供されるものとし、明示または黙示を問わず、商品性および特定の目的への適合性に関する暗黙の保証を含め、いかなる保証も提供されません。 いかなる状況においても、著作者またはそのコントリビューターは、いかなる理由であれ、また責任の根拠が契約なのか、厳格責任なのか、不法行為 (過失またはその他を含む) なのかを問わず、たとえそのような損失の可能性を示唆されていたとしても、このソフトウェアの使用により生じた直接的、間接的、偶発的、特別、懲罰的、または結果的な損害 (代替品またはサービスの提供、使用機会やデータまたは利益の損失、または事業の中断を含む) の責任を負わないものとします。
このコードの公に利用可能なバージョンまたは派生物について、たとえばこのコードを単にコピーして別の配布ライセンス (GNU Public Licence を含む) 下に置くことなど、ライセンスおよび配布の条件を変更することはできません。

## RSA-MD

Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.
このソフトウェアまたはこの機能について言及または参照するすべての資料で「RSA Data Security, Inc. の MD5 メッセージ ダイジェスト アルゴリズム」として識別されている限りにおいて、このソフトウェアを複製して使用するライセンスが付与されます。
また、派生物について言及または参照するすべての資料で「RSA Data Security, Inc. の MD5 メッセージ ダイジェスト アルゴリズム」として識別されている限りにおいて、派生著作物を作成して使用するライセンスも付与されます。
RSA Data Security, Inc. は、このソフトウェアの商品性または特定の目的に対する適合性に関する表明を行いません。 いかなる明示的または暗示的な保証もなしに「現状のまま」提供されます。
これらの通知は、このドキュメントまたはソフトウェアのいずれの部分の複製にも必ず含めなければなりません。

## SGI-B-2.0

SGI フリー ソフトウェア ライセンス B (バージョン 2.0、2008 年 9 月 18 日)
Copyright (C) [最初の発行日] Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.
以下の条件に従って、このソフトウェアおよび関連するドキュメント ファイル (以下「ソフトウェア」) のコピーを取得するすべての人に、ソフトウェアを自由に使用、複製、改変、マージ、公開、配布、サブライセンス、または販売すること、およびソフトウェアの提供先にそれらを許可することが無償で許可されます。
最初の発行日およびこの許可通知または http://oss.sgi.com/projects/FreeB/ への参照を含む上記の著作権表示が、ソフトウェアのすべてのコピーまたは重要な部分に含まれるものとします。
本ソフトウェアは、商品性、特定の目的への適合性、および権利の非侵害の保証も含め、明示または黙示を問わず、いかなる保証もなしに「現状のまま」で提供されます。 いかなる状況においても、Silicon Graphics, Inc. は、契約、不法行為、その他に関わらず、このソフトウェアの使用またはその他の扱いに関連して生じる請求、損害、またはその他の法的責任について一切の責任を負わないものとします。
この通知に記載のない限り、Silicon Graphics, Inc. からの書面による事前の許可なしに、Silicon Graphics, Inc. の名称を、このソフトウェアに関連する広告または販売、使用、その他の促進のために使用することはできません。

## Unicode-TOU

Unicode 利用規約
このサイトへのアクセスを管理する一般的なプライバシー ポリシーについては、Unicode プライバシー ポリシーをご覧ください。 商標の使用については、Unicode® Consortium の名称と商標の使用に関するポリシーを参照してください。

A. Unicode の著作権。

1. Copyright © 1991-2014 Unicode, Inc. All rights reserved.

2. このウェブサイトの特定のドキュメントおよびファイルには、「変更が許可されている」ことを示す凡例が含まれています。 すべての人は、ここに記載されている利用規約に従って、Unicode® 規格に準拠した派生物を作成するためにこのような文書およびファイルを変更することが無償で許可されています。

3. すべての人は、ここに記載されている利用規約に従って、Unicode 規格をサポートする製品を作成する際の情報提供のみを目的として、すべての文書およびファイルを閲覧、使用、複製、および配布することが無償で許可されています。

4.「Unicode 文字データベース」と呼ばれる特定のデータ ファイル セットの使用に関する権利と制限の詳細な規定については、別紙 1 を参照してください。

5. Unicode 規格の各バージョンには、権利および使用制限に関する追加の規定があります。 書籍版 (-Unicode 5.0 以前) の場合、これらはタイトル ページの裏面にあります。 オンライン コード チャートには特定の制限があります。 Unicode 6.0 以降のコア仕様のオンライン ドキュメントを含む他のすべてのファイルは、これらの一般利用規約の対象です。 6.

6.「ミラー」サイトへのアクセスに料金が発生する Unicode のウェブサイトを「ミラー」するライセンスは付与されません。

7. このドキュメントに関して変更は許可されていません。 この文書のすべてのコピーは逐語的でなければなりません。

B. 制限付き権利の説明。 本契約に基づいてアメリカ合衆国、その部局、または機関にライセンス供与されるテクニカル データまたはソフトウェアは、FAR 2.101 または DFARS 252.227-7014 (1995 年 6 月) で定義されている、私費でのみ開発された商用テクニカル データまたは商用コンピューター ソフトウェアです。 テクニカル データについては、政府による使用、複製、または開示は、DFARS 202.227-7015 商用アイテムのテクニカル データ (1995 年 11 月) および本契約に規定されている制限の対象となります。 ソフトウェアについては、FAR 12-212 または DFARS 227-7202 のいずれか (該当する場合) に従い、政府による使用、複製、または開示は本契約に規定されている制限の対象となります。

C. 保証および免責事項。

1. この出版物またはウェブサイトには、テクニカル エラー、誤植、またはその他の誤りが含まれている場合があります。 本書の情報には定期的に変更が追加されます。これらの変更は、出版物やウェブサイトの新版に取り入れられます。 Unicode は、この出版物やウェブサイトに記載されている製品やプログラムをいつでも改良または変更することができます。

2. このファイルを磁気または光学メディアで Unicode, Inc. から購入した場合、請求に対する唯一かつ排他的な救済策は、最初の購入から 90 日以内に欠陥のあるメディアを交換することになります。

3. セクション C.2 で規定されている場合を除き、この出版物またはソフトウェアは、商品性、特定の目的への適合性、および権利の非侵害の保証も含め、明示または黙示を問わず、いかなる保証もなしに「現状のまま」で提供されます。 Unicode およびそのライセンサーは、この出版物やソフトウェア、またはこの出版物あるいは Unicode のウェブサイトによって参照またはそれらにリンクされているその他の文書における誤りまたは脱落について責任を負いません。

D. 損害賠償の放棄。 いかなる状況においても、Unicode またはそのライセンサーは、Unicode が損害の可能性について知らされていたかどうかに関わらず、あらゆる特別、偶発的、間接的、または結果的な損害、またはその他の損害に対して一切の責任を負いません。それには、この情報またはその派生物の使用、変更、配布に関連する使用、データ、または利益の損失を含みます。

E. 商標およびロゴ。

1. Unicode ワード マークおよび Unicode ロゴは、Unicode, Inc. の商標です。「Unicode Consortium」および「Unicode, Inc.」は Unicode, Inc. の商号です。このウェブサイトにある情報および資料の使用は、Unicode ワード マーク、Unicode ロゴ、および Unicode の商号における Unicode, Inc. の排他的な世界的権利を承認していることを示します。

2. Unicode Consortium の名称および商標使用ポリシー (以下「商標ポリシー」) は参照として本書に組み込まれ、あなたは、Unicode, Inc. の独自の裁量により随時変更される可能性のある商標ポリシーの規定に従うことに同意するものとします。

3. ここで参照されているすべての第三者の商標は、それぞれの所有者の財産です。

F. その他。

1. 管轄権および裁判地。 このサーバーは、アメリカ合衆国カリフォルニア州の所在地で運営されています。Unicode は、素材がその他の場所での使用に適していることを表明しません。 他の場所からこのサーバーにアクセスする場合には、現地の法律に準拠する責任があります。 本契約、このサイトのあらゆる使用、およびこのサイトの使用に起因する請求および損害は、異なる管轄の法律を適用する原則に関わらず、カリフォルニア州法のみに準拠するものとします。 ユーザーは、このサイトに関する紛争がカリフォルニア州サンタ クララ郡の裁判所でのみ解決されることに同意するものとします。 ユーザーは、上記の裁判所が対人管轄権を有すること、および紛争を他の裁判所に移転する権利を放棄することに同意するものとします。

2. Unicode による変更 Unicodeは、このサイトに投稿することにより、いつでも本契約を変更する権利を有します。 ユーザーは、Unicode の事前の書面による同意なしに、本契約の一部を譲渡することはできません。

3. 税金。 ユーザーは、Unicode の純利益に基づくものを除き、このウェブサイトへのアクセスまたはそこで

の情報の使用により生じる税金を支払うことに同意します。
4. 可分性。 本契約のいずれかの規定が無効または執行不能と宣告された場合でも、本契約の残りの規定は引き続き有効です。
5. 完全合意。 本契約は、当事者間の完全な合意を構成します。

## Zlib

zlib ライセンス
このソフトウェアは、いかなる明示的または暗示的な保証もなしに「現状のまま」提供されます。 いかなる状況においても、著作者はこのソフトウェアの使用により生じる損害について一切の責任を負いません。
以下の制約に従って、商用アプリケーションを含むあらゆる目的でこのソフトウェアを使用し、自由に変更および再配布することを許可します。
1. このソフトウェアの出所を誤って伝えてはなりません。また、元のソフトウェアの作成者であると主張することはできません。 このソフトウェアを製品で使用する場合には、製品のドキュメントに謝辞を入れていただければ幸いですが、必須ではありません。
2. 変更されたソースのバージョンについては、明確にそのように表示しなければならず、元のソフトウェアであると偽って表示してはなりません。
3. この通知は、ソース配布物から削除または変更することはできません。
この製品には、QNX Software Systems Limited (以下「QNX」) が提供する第三者ソフトウェアが含まれています。
使用されている QNX オープン ソースの情報については、LGE オープン ソース配布サイトにアクセスしてください。 (http://opensource.lge.com)

# 無線装置 (EU の地域外)

## 検査マークおよび適合宣言

**Albania, Bahrain, Bosnia and Herzegovina, French Guyana, Georgia, Gibraltar, Guadeloupe, Iceland, Israel, Ivory Coast, Kuwait, Macedonia, Martinique, Monaco, Montenegro, New Caledonia, Norway, Réunion, Sri Lanka, St. Lucia, Switzerland, Trinidad & Tobago, Turkey.**

CE

**Argentina**

CNC COMISIÓN NACIONAL DE COMUNICACIONES

CNC ID: H-21037
CNC ID: C-18053

**Australia**

**Belarus**

TP BY

**Brazil**

ANATEL

Modelo BCMevo5: 02393–19–05364
Modelo PK3: 00971–18–02930
2294-15-3616
00716-15-03745
05674-16-06830
00598-18-05298
05031-16-06324
09087-19-07978

"Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados. Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos requisitos técnicos aplicados.
Para maiores informações, consulte o site da ANATEL www.anatel.gov.br

**Brunei**

DTA-002281

**Canada**

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may Not cause harmful interference, and
2. This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

Cet appareil est conforme à la Partie 15 des règlementations de la FCC et avec la norme RSS-210 de l'Industrie Canadienne. Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes:

1. Cet appareil ne doit pas causer d'interférences nuisibles et
2. Cet appareil doit accepter toute interférence reçue, y compris les interférences pouvant entraîner un fonctionnement.

**Customs Union (including Armenia, Belarus, Kazakhstan, Russia)**

EAC

Модель: LTE-MBC-EU2
Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH
Сделано в Германии
Электропитание: 12 V=, 400 mA

**Costa Rica**

SUTEL 00770-2018

**Ghana**

NCA APPROVED: 1R3-1M-7E0-14B
NCA APPROVED: 6X6-4H-7E0-0F3

**Hong Kong**

HKCA 1035: Automotive radar: radio equipment exempted from licensing.

**インド**

ETA – 1736/18-RLO(NE)

**Indonesia**

55538/SDPPI/2018
2208

53856/SDPPI/2017
47817/SDPPI/2016
63118/SDPPI/2019
2692

55747/SDPPI/2018

### Israel

Model Name: TSSRE4Dg
Manufacturer: Huf Electronics Bretten
Model Name: LRR4
Manufacturer: Bosch

### Japan

204-560001
202-LSC054
202-JN0638
202-SMF114

Japanese Radio Law Compliance. This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

### Jamaica

This product has been Type Approved by Jamaica: SMA - PK3.
This product has been Type Approved by Jamaica: SMA - BCMevo5.

### Jordan

TRC/LPD/2014/212
TRC/LPD/2017/615
TRC/LPD/2016/584
TRC/LPD/2018/66

### Malaysia

CIDF15000490
CIDF19000029
CIDF17000143
CIDF18000015

### Mexico

IFETEL: RLVPOPK17-1947
IFETEL: RLVBOLR14-1873
IFETEL : IFT-008-2015
IFETEL: RLVDER316-2005
La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
2. Este equipo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

IFT: RCPKATR18-0034
Marca: KATHREIN AUTOMOTIVE
Modelo (s): TRANSCVRP01
La operación de este equipo está sujeta a las siguientes doscondiciones:

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
2. Este equipo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

### Moldova

MD OC TIP 024 A6116-18

### Mongolia

### Morocco

AGREE PAR L'ANRT MAROC
Numéro d´agrément :
MR 17800 ANRT 2018
Date d´agrément : 24/10/2018
Numéro d´agrément :
MR 15019 ANRT 2017
Date d´agrément : 26/10/2017
Numéro d´agrément :

MR 9668 ANRT 2014
Date d´agrément : 30/09/2014
Numéro d´agrément :
MR 12623 ANRT 2016
Date d´agrément : 11/10/2016
Numéro d´agrément :
MR 15845 ANRT 2018
Date d´agrément : 19/02/2018
Numéro d'agrément :
MR 13255 ANRT 2017
Date d'agrément : 09/02/2017
Numéro d'agrément: MR 19520 ANRT 2019
Date d'agrément: 13/04/2019

### Nigeria

Model R3TR - Connection and use of this communications equipment is permitted by the Nigerian Communications Commission.

### Oman

オマーン - TRA
D172249
TA056891
オマーン - TRA
TA044715
D100428
オマーン - TRA/TA-R/4813/17
D100428
オマーン - TRA/TA-R/2609/15
D080134
オマーン - TRA/TA-R/2160/14
オマーン - TRA/R/3848/17
D080134
オマーン - TRA/R/8056/19
D090024
オマーン - TRA/R/3621/16
D080134

### Pakistan

### Paraguay

NR: 2017-12-I-0000410

### Philippines

UA RF: 1BOSC0003

### Qatar

Approval Ref.: CRA/SA/2015/R-4714
Approval Ref.: CRA/SA/2014/R-4315

### Russia

Модель: LTE-MBC-EU
Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH
Сделано в Германии
Электропитание : 12 V=, 400 mA
Модель: WCH-193
Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH
Сделано в Германии
Электропитание : 12 V=, 400 mA

### Serbia

34540-1313/16-3
34540-1020/17-3

### Singapore

Complies with IDMA Standard DA 103787.
Complies with IDMA Standards N0644-18.
Complies with IDMA Standards DB 106879.
Registration Number N3078-18
Complies with IDMA Standards N2853–18.

### South Africa

TA-2014/2597
認証済

TA-2014/1784
認証済

TA-2017/2491
認証済

TA-2016/2759
認証済

TA-2017/3465
認証済

TA-2016/3539
認証済

TA-2017/209
認証済

TA-2019/5064
認証済

TA-2016/2568
認証済

TA-2019/5116
認証済

### South Korea

MSIP-REM-HEB-TSSSG4G5
MSIP-CRM-HEB-TSSRE4DG
MSIP-CMM-BO2-LRR4
R-CRM-DDG-R3TR
R-C-MQU-PK3
송신기 주파수 21.85 kHz
B급 기기 (가정용 방송통신기자재)
이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며,
모든 지역에서 사용할 수 있습니다.
해당 무선 설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음
송신기 주파수 433.92 MHz
B급 기기 (가정용 방송통신기자재)
이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며,
모든 지역에서 사용할 수 있습니다.
해당 무선 설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음
인증 받은 자의 상호 Molex CVS Dabendorf GmbH /
제조자/제조국가 Germany /
기자재의 명칭/ 모델명 LTE-MBC-CN /
기자재의 명칭/ 모델명 MSIP-RMM-N7V-LTE-MBC-CN
인증 받은 자의 상호 Molex CVS Dabendorf GmbH /
제조자/제조국가 Germany /
기자재의 명칭/ 모델명 WCH-193 /
기자재의 명칭/ 모델명 R-CMM-N7V-WCH-193

### Taiwan

CCAK15LP0801T1
CCAE15LP0190T0
CCAF16LP2450T2
CCAE18LP0110T0
해당 무선 설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음
低功率電波輻射性電機管理辦法
第十二條: 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原 設計之特性及功能。
第十四條: 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干 擾時方得繼續使用。
前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電信。
低功率射頻電機需忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。
低功率電波輻射性電機管理辦法
第十二條經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

本器材須經專業工程人員安裝及設定，始得設置使用，且不得直接販售給一般消費者

電磁波警語標示：「減少電磁波影響，請妥適使用

輸入電源需使用所附的5A保險絲於產品前端做保護

### Thailand

This telecommunication equipment conforms to NTC technical requirements.

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้ มีความสอดคล้องตามมาตรฐานหรือข้อกำหนดทางเทคนิคของ กสทช. เครื่องวิทยุคมนาคมนี้มีระดับการแผ่คลื่นแม่เหล็กไฟฟ้าสอดคล้องตามมาตรฐานความปลอดภัยต่อสุขภาพของมนุษย์จากการใช้เครื่องวิทยุคมนาคมที่คณะกรรมการกิจการโทรคมนาคมแห่งชาติประกาศกำหนด.

### Ukraine

Your vehicle features a variety of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that it complies with the specifications for its use pursuant to the Technical Regulation on Radio Equipment of Ukraine (Decree 355/2017). This information contains details of the manufacturers and the transmission characteristics of the radio equipment from April 2019. The full text of the relevant Declarations of Conformity is available at the following website:

**https://porsche.ua/accessoresandservice/**

**porscheservice/**

### United Arab Emirates

TRA REGISTERED No: ER58762/17, DEALER No: 0018994/09

TRA REGISTERED No: ER66073/18, DEALER No: 0018994/09

TRA REGISTERED No: ER38964/15, DEALER: HUF ELECTRONICS GmbH

TRA REGISTERED No: ER36213/14, DEALER No: DA36785/14

TRA REGISTERED No: ER497919/16, DEALER No: DA0062437/11

TRA REGISTERED No: ER61595/18, DEALER No: DA65993/17

TRA REGISTERED No: ER54754/17, DEALER No: 0043253/10

TRA REGISTERED No: ER71148/19 DEALER No: DA0043253/10

TRA REGISTERED No: ER54754/17,DEALER No: DA0043253/10

TRA REGISTERED No: ERXXXXX/XX, DEALER No: 0043253/10

### United States of America

**NOTICE:**

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and

(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications made to this equipment not expressly approved by the manufacturer may void the FCC authorization to operate this equipment.

Radiofrequency radiation exposure Information: The radiated output power of the device is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized.

**Vietnam**


MARQUARDT GMBH
C028813121 8AF04A2
ICT


MARQUARDT GMBH
C019527111 7AF04A2
ICT

# テクニカル データ

この取扱説明書に含まれる情報は、装備品または国別で車両固有データと異なる場合があります。 個別に指定されている場合を除き、すべてのボディの種類に適用されます。 車両固有データに関しては、車両の公式登録書類およびインフォメーション プレートを参照してください。

車両の公式登録書類の情報は常にこのマニュアルの情報よりも優先されます。

## 車両識別番号

**図 223 : 車両識別番号の記載箇所**

車両識別番号はフロント ウィンドウ枠の左下と助手席シートの下にあります。

- スペア パーツを注文する場合、必ず車両識別番号を記載してください。

## タイヤ空気圧プレート

**図 224 : タイヤ空気圧プレート固定ポイント**

タイヤ空気圧プレートは、運転席ドアのドア シル部に取り付けられています。

## 車両データ バンク

車両の大切な情報が記載されている車両データ バンクは、「整備手帳」の中に添付されています。 このデータ バンクは、紛失したり破損したりしても再注文することはできません。

## 寸法

| | |
|---|---|
| **全長 (装備仕様により異なる)** | 4,963 mm |
| **全幅 (装備仕様により異なる)** | 1,966 mm |
| ドア ミラーを含む全幅 | 2,144 mm |
| **DIN 規定の空車重量での車高**<br>シャーシ バージョンによる | 1,368 mm～1,401 mm |
| **DIN 規定の空車重量での地上高**<br>シャーシ バージョンによる | 116 mm～148 mm |

## 充填容量

| | |
|---|---|
| **規定の / 使用可能なバッテリー電力容量** | 約 93.4/83.7 kWh (大型バッテリー)<br>約 79.2/71.0 kWh (小型バッテリー) |
| **ウォッシャー液** | 約 2.5 L (ナイト ビュー アシスト装備車 : 約 5.5 L) |

## 重量

- 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。 追加アクセサリーが取り付けられている場合、最大許容荷重が小さくなります。
- ルーフ トランスポート システムは、ポルシェ テクイップメント製品ラインのもの、またはポルシェが試験し、認定したもののみ使用してください。
- ルーフ トランスポート システムと追加部品の個々の重量を考慮してください。
- ルーフ トランスポート システムに荷物を載せている場合、130 km/h を超える速度で走行しないでください。

| | Taycan 4S |
|---|---|
| **空車重量 (装備仕様により異なる)** | |
| DIN 70020 規格 | 2,140 kg～2,465 kg |
| EC 規格 1230/2012 に基づく | 2,215 kg～2,540 kg |
| **最大軸荷重、フロント** | 1,395 kg |

| | Taycan 4S |
|---|---|
| **最大軸荷重、リヤ** | 1,540 kg |
| **最大総重量** | 2,880 kg |
| **最大ルーフ積載荷重** | 75 kg |
| | **Taycan Turbo** |
| **空車重量 (装備仕様により異なる)** | |
| DIN 70020 規格 | 2,305 kg~2,495 kg |
| EC 規格 1230/2012 に基づく | 2,380 kg~2,570 kg |
| **最大軸荷重、フロント** | 1,385 kg |
| **最大軸荷重、リヤ** | 1,545 kg |
| **最大総重量** | 2,880 kg |
| **最大ルーフ積載荷重** | 75 kg |
| | **Taycan Turbo S** |
| **空車重量 (装備仕様により異なる)** | |
| DIN 70020 規格 | 2,295 kg~2,475 kg |
| EC 規格 1230/2012 に基づく | 2,370 kg~2,550 kg |
| **最大軸荷重、フロント** | 1,390 kg |
| **最大軸荷重、リヤ** | 1,540 kg |

| | Taycan Turbo S |
|---|---|
| **最大総重量** | 2,870 kg |
| **最大ルーフ積載荷重** | 75 kg |

## タイヤおよびホイール

### ホイールおよびタイヤのサイズ

荷重指数 (「105」など) と許容最高速度を示す記号 (「Y」など) は、いずれも最低要件です。 新しいタイヤを装着するとき、またはタイヤの交換を行う場合 :

▷ 「タイヤおよびホイール」の章 ( 156ページ) を参照してください。

- スノー チェーンは、適切なマークが付いたホイールおよびタイヤ サイズにのみ装着します。スノー チェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ポルシェが承認したスノー チェーンのみ使用します。
- 交換するホイールおよびタイヤが EU 規格に適合しているか確認してください。必要であれば、ホイール / タイヤの組み合わせがこの車両に適合するか参照してください。詳細情報については、ポルシェ正規販売店までお問い合わせください。

| タイヤ | タイヤ サイズ | ホイール サイズ | スノー チェーンの装着 |
|---|---|---|---|
| **サマー タイヤ** | FA : 225/55 R 19 103Y XL<br>RA : 275/45 R 19 108Y XL | FA : 8.0J x 19 RO 50<br>RA : 10.0J x 19 RO 47 | 無 |
| | FA : 245/45 R 20 103Y XL<br>RA : 285/40 R 20 108Y XL | FA : 9.0J x 20 RO 54<br>RA : 11.0J x 20 RO 60 | 無 |
| | FA : 265/35 ZR 21 (101Y) XL<br>RA : 305/30 ZR 21 (104Y) XL | FA : 9.5J x 21 RO 60<br>RA : 11.5J x 21 RO 66 | 無 |
| **オール シーズン タイヤ** | FA : 225/55 R19 103H XL M+S<br>RA : 275/45 R19 108H XL M+S | FA : 8.0J x 19 RO 50<br>RA : 10.0J x 19 RO 47 | 無 |
| | FA : 245/45 R 20 103H XL M+S<br>RA : 285/40 R 20 108H XL M+S | FA : 9.0J x 20 RO 54<br>RA : 11.0J x 20 RO 60 | 無 |
| | FA : 265/35 R 21 101H XL M+S<br>RA : 305/30 R 21 104H XL M+S | FA : 9.5J x 21 RO 60<br>RA : 11.5J x 21 RO 66 | 無 |

| タイヤ | タイヤ サイズ | ホイール サイズ | スノー チェーンの装着 |
|---|---|---|---|
| ウィンター タイヤ | FA : 225/55 R19 103V XL M+S<br>RA : 275/45 R19 108V XL M+S | FA : 8.0J x 19 RO 50<br>RA : 10.0J x 19 RO 47 | リヤ アクスルのみ |
| | FA : 245/45 R 20 103V XL M+S<br>RA : 285/40 R 20 108V XL M+S | FA : 9.0J x 20 RO 54<br>RA : 11.0J x 20 RO 60 | リヤ アクスルのみ |

19 インチ ホイールは、ポルシェ サーフェス コーテッド ブレーキ (PSCB) またはポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) 装備車両に適していません。
FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル、RO = リム オフセット

### タイヤ空気圧

タイヤ空気圧はいずれも、ポルシェが認定したメーカーおよび仕様のタイヤの冷間時 (20 °C) にのみ適用されるものです。
工場取り付けタイヤの正しいタイヤ空気圧は、タイヤ空気圧プレートで確認できます。選択できるその他すべてのタイヤの指定タイヤ空気圧は、セントラル ディスプレイのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) 表示で確認できます。

- タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムで、車両のタイヤ、タイヤのサイズおよび積載荷重を設定します。
  - ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」の章（ 156ページ）を参照してください。
- タイヤ空気圧プレートと、セントラル ディスプレイのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) 表示を参照します。
  - – **設定** ▸ **車両設定** ▸ **タイヤ空気圧モニタリング** ▸ **空気圧偏差**
- タイヤ空気圧を仕様に合わせます。

## スペア ホイール

▷ 「スペア ホイールの使用」の章（ 190ページ）を参照してください。

### ホイールおよびタイヤのサイズ

| タイヤ サイズ | ホイール サイズ | スノー チェーンの装着 |
|---|---|---|
| T 155/70 R20 115M | 4.5B x 20 RO 7 | 無 |

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル、RO = リム オフセット

### タイヤ空気圧

タイヤ空気圧はいずれも、ポルシェが認定したメーカーおよび仕様のタイヤの冷間時 (20 °C) にのみ適用されるものです。

| FA | RA |
|---|---|
| 4.2 bar/420 kPa/61 psi | 4.2 bar/420 kPa/61 psi |

# ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)

| テクニカル データ : オーディオおよびビデオ ファイル | |
|---|---|
| **対応するメディア** | **SD カード** 128 GB まで<br>**ポータブル プレーヤー** MTP プレーヤー、「USB デバイス サブクラス 1 および 6」の USB 2.0 デバイス (USB スティック、特別なドライバー ソフトウェアを含まない USB MP3 プレーヤー、外部 USB フラッシュ メモリー、およびハード ドライブなど) |
| **ファイル システム** | **SD/SDHC/SDXC/MMC** メモリー カード<br>**USB マス ストレージ** exFAT、FAT または FAT32、NTFS ファイル システム (最大 4 パーティション) |
| **フォーマット** | MPEG 1/2 Layer 3、Windows Media Audio 9 および 10、MPEG 2/4、FLAC、MPEG 1/2、ISO-MPEG4、DivX 3、4、5、Xvid、ISO-MPEG4 H.264 (MPEG4 AVC)、Windows Media Video 9 |
| **ファイル拡張子** | .mp3、.wma、.asf、.m4a、.m4b、.aac、.flac、.mpg、.mpeg、.avi、.mp4、.m4v、.mov、.wmv |
| **再生リスト** | .M3U、.PLS、.WPL、.M3U8、.ASX |
| **特性** | 最大 320 kbit/s および 48 kHz サンプリング周波数、最大 2,000 kbit/s および 720x576 ピクセル (最大 25 fps) |
| **ファイル数** | **USB マス ストレージ**および**メモリー カード** 1 メディアにつき最大 10,000 ファイル、1 ディレクトリ / 1 再生リストにつき最大 1,000 ファイル |
| **メタデータ** | アルバム ジャケット最大 800 x 800 ピクセル。GIF、JPG、および PNG フォーマット、または Gracenote データベース経由 |
| **テクニカル データ : 接続** | |
| **モバイル ネットワーク** | GSM/GPRS/EDGE : デュアル バンド、900 MHz/1,800 MHz<br>UMTS/HSPA+ : トリプル バンド、900 MHz (バンド VIII)/1800 MHz (バンド III)/2100 MHz (バンド I)<br>LTE : クワッド バンド、800 MHz (バンド 20)/900 MHz (バンド 8)/1800 MHz (バンド 3)/2600 MHz (バンド 7) |
| **WiFi** | IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz) |
| **Bluetooth®** | Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス 2、到達範囲約 10 m |

| テクニカル データ : ラジオ | |
|---|---|
| **周波数範囲 / 規格** | UKW (FM) : 87.5 ～ 108 MHz (100 kHz 単位の手動調節)<br>MW (AM) : 537 ～ 1602 kHz (国別仕様による、9 kHz 単位の手動調整) |
| **放送局の自動検索による選局グリッド** | UKW (FM) : 100 kHz<br>MW (AM) : 9 kHz (国別仕様による) |

| ライセンス通知 | | |
|---|---|---|
| **Bluetooth®** | Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アイシン エィ ダブリュ (株) はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレード ネームは、それぞれの所有者に帰属します。 | |
| **Dolby Digital** | ドルビー ラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビー ラボラトリーズの商標です。 | |
| **DTS Digital Surround** | dts Digital Surround | DTS 特許については、http://patents.dts.com を参照してください。 DTS Licensing Limited のライセンスの下で製作。DTS、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital Surround は DTS, Inc. の登録商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved. |
| **Gracenote** | powered by gracenote | Gracenote および Gracenote ロゴとロゴ タイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。 |

## エンド ユーザー使用許諾契約書

**Gracenote®**

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。 お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。 お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。 Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。+B19 無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。 Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。 Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© 2000 to present Gracenote, Inc.

# リサイクル

**耐用年数経過後の車両の返却**

**欧州連合加盟国の車両のみ：**

耐用年数に達したポルシェ車両は、Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG が、無料で、環境負荷の小さい方法で廃棄します。 使用済みの車両を返却して関連する解体証明書を取得するには、

- ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

### エアバッグおよびシート ベルト テンショナー ユニット

非点火ガス発生装置またはエアバッグおよびシート ベルト テンショナー ユニット装備車両の全体もしくは一部分を、絶対に「通常の」解体品または廃棄物として処分したり、他の形態の廃棄物の中に混ぜて処分したりしないでください。
適切な廃棄処分の詳細については、

- ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

### 電気 / 電子機器および古いバッテリー

ゴミ箱に x 印のマークが付いた電気 / 電子機器および古いバッテリーは、決して家庭ゴミと一緒に捨てないでください。必ず適切に廃棄処分してください。

- 廃棄処分する際は、国ごとの法規を遵守してください。
- 古いバッテリーおよび電気 / 電子機器は、回収場所に持ち込んでください。
- 12 V リチウム バッテリーは危険物です。 このバッテリーに手を加えたり、決してご自身で廃棄したりしないでください。
- 高電圧バッテリーは危険物です。 このバッテリーに手を加えたり、決してご自身で廃棄したりしないでください。

適切な廃棄処分の詳細については、

- ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

# 索引

## 記号


12 V リチウム バッテリー
ジャンパー ケーブルによる始動 273
外部電源 273
2 段階ロック 123
キーによる解除 124
ドア ハンドルの近接センサーによる解除 124
4WD
4 輪駆動ディスプレイ 52
トルク配分の表示 52
グローブ ボックス
ETC (道路通行料自動収受システム) 188
収納スペース 146
ジェスチャー 119
ジャッキ
エア サスペンション装備車のリフトアップに関する情報 218
車両のリフトアップ 106
ジャンパー ケーブルによる始動 273
外部電源 273
ダイナミック ハイ ビーム
作動 140
データ接続
デバイス マネージャー 174
外部 WiFi ホットスポット 220
確立中 (内蔵 SIM カード) 220
車両 WiFi ホットスポットの使用 220
ディスプレイ
お手入れの諸注意 133
デコラティブ フィルム 131
お手入れの諸注意 131
デジタル取扱説明書
アプリ 3
オンボード 3
デバイス マネージャー 174
ドア
キーによるロック 124
コンフォート アクセスによるロック 124
緊急ロック 125
緊急ロック解除 125
車内からの開閉操作とロック 125
ドア ミラー
パーキング エイドとしての調整 237
格納 / 復帰 237
設定 236
設定の保存 (メモリー) 237
ドア ミラー ヒーターの ON/OFF を切り替える 69
ドアの緊急ロック 125
ドアの緊急ロック解除 125
パーキング エイド
ミラー ガラスの下向き切り替え 237
パークアシスト 192
アクティブ パーキング サポート 31
サラウンド ビュー (RTV) 194
リバース カメラ 193
リヤ クロス トラフィック アラート 254
操作アシスト 33
パーソナル設定の呼び出し 196
バッテリー 273
ジャンパー ケーブルによる始動 273
バッテリーに関する警告 (リチウム バッテリー) 271
リチウム バッテリー 271, 273
外部電源 273
交換 (リチウム バッテリー) 271, 273
車両エレクトリカル システムの警告 (リチウム バッテリー) 271, 273
取り付け位置 (リチウム バッテリー) 271
取扱説明書 (リチウム バッテリー) 271
充電 (リチウム バッテリー) 271, 273
接続後の作業 (リチウム バッテリー) 271, 273
バッテリー温度
表示 46
バッテリー充電レベル
表示 46
バニティー ミラー 97
バルブ
タイヤ 160
パワー ウィンドウ
キーによるサイド ウィンドウの開閉 (リモート コントロール) 58
サイド ウィンドウの開閉 57
ドア ハンドルの近接センサーでサイド ウィンドウを閉じる (コンフォート アクセス装備車) 58
停止位置の保存 58
パワー ウィンドウの停止位置の保存 58
パワー メーター 46
ビデオ
対応するデータ形式 311
プライバシー モード
設定の調整 142
プライベート モード 221
プラグ & 充電 153
プラグ ソケット (12 V) 127
ブレーキ
ブレーキ パッドとブレーキ ディスク 205
ブレーキ パッドの警告メッセージ 206
ポルシェ サーフェス コーテッド ブレーキ (PSCB) 205
ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) 205
一般的な安全に関する指示 205
慣らしおよび清掃 205
緊急ブレーキ機能 206
ブレーキ アシスト 92
ブレーキ フルード 207
ブレーキ フルード レベルの点検 207
ブレーキ フルードの交換 207
プレイリストを開く 241
プロファイル トリムの閉鎖 262
プロファイル機能 151
ベビー キャリア 170
ベビー シート 170
助手席エアバッグの ON / OFF 170
ベルト
インストルメント クラスターの警告灯 103
お手入れの諸注意 133
シート ベルト バックルを解除してシート ベルトを外す 105
シート ベルト プリテンショナー 103
警告メッセージ 103
着用 104
注意 103
ボイス コマンドの発話 213
ボイス コントロール 212
Siri 276
コマンドの例 214
ボイス コマンドの発話 213
ボイス コントロールの使用 212
自然な音声コマンドを発話する 213
設定 140, 214
ボイス コントロールによるリストの使用 214
ボイス コントロールのヘルプ 214
ボイス コントロールの使用 212
ボイス コントロール設定 214
ボイスメールを聞く 176
ボトル ホルダー 75
ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) 217
シャーシ高の選択 217
レベリング システムを OFF にする (車両ジャッキ モード) 218
ポルシェ コネクト 220
サービスの利用 220

データ接続を確立中 ... 220
データ保護通知の表示 ... 142
プライベート モード ... 221
設定 ... 221
設定の調整 ... 142
法的通知の表示 ... 142
ポルシェ コネクト アプリ ... 221
WiFi 経由で PCM に接続する ... 222
ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) ... 223
操作 ... 223
ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM)
セントラル ディスプレイ ... 226
車内でマニュアルを開く ... 228
ポルシェ サーフェス コーテッド ブレーキ (PSCB) ... 205
ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) ... 231
PSM スポーツの作動 ... 231
作動原理 ... 231
ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) ... 205
ボンネット
開操作 ... 233
緊急ロック解除 ... 234
閉じる ... 234
運転席
オドメーター (積算距離計) ... 52
トリップ メーター ... 52
パワー メーター ... 46
ライト調節 ... 55
警告灯およびインジケーター ライト ... 46
車両&情報表示 ... 46
速度&アシスト機能表示 ... 45
運転席メモリー パッケージ ... 196
応急処置セット ... 251
横加速度
表示 ... 46
横方向の加速度
表示 ... 52
音楽
USB を介した外部機器の接続 ... 175
アームレスト内のインターフェイス ... 174
お気に入りの保存 / 編集 ... 242
再生 ... 241
対応するデータ形式 ... 311
荷物
ルーフ上 ... 258
回生 ... 135
回生ボタン ... 51
海外モード
ライト ... 248
灰皿
開操作 ... 116
空にする ... 116
開閉操作とロック ... 120
サイド ウィンドウ ... 57
パーソナル設定の保存と呼び出し ... 196
車両 ... 120
外部 WiFi ホットスポット ... 220
外部電源 ... 273
革製品
お手入れの諸注意 ... 131
距離警告 ... 92
ON/OFF の切り替え ... 93
警告時間の設定 ... 93
緊急ブレーキ機能
作動 ... 206
緊急ロック解除
フロント リッド ... 234
緊急警告 (振動による警告) ... 92
緊急操作
車両プラグ ... 155
充電ポート リッド ... 154
緊急電話 ... 279
携帯電話
Bluetooth® 経由で接続する (Windows® および iOS オペレーティング システム) ... 178
Bluetooth® 経由で接続する (既知の携帯電話) ... 178
Bluetooth® 経由で接続する (新しい携帯電話) ... 177
Bluetooth® 経由で接続する (別の携帯電話) ... 178
ワイヤレス充電 ... 179
携帯電話を接続する ... 177
収納 ... 179
携帯電話のワイヤレス充電 ... 179
携帯電話の収納 ... 179
経由地を入力する (ナビゲーション) ... 185
警告およびブレーキ アシスト ... 91
システム制限 ... 91
ステアリング回避アシスト ... 92
ステアリング回避アシストの ON/OFF の切り替え ... 93
ターン アシスト ... 92
ターン アシストの ON/OFF の切り替え ... 93
ブレーキ アシスト ... 92
一般的な安全に関する指示 ... 91
距離警告 ... 92
距離警告の警告時間の設定 ... 93
距離警告の作動と停止 ... 93
緊急警告 (振動による警告) ... 92
警告およびブレーキ アシストの ON/OFF を切り替える ... 93
警告メッセージ ... 91
作動原理 ... 91
衝突警告 ... 92
衝突警告の ON/OFF の切り替え ... 93
衝突警告のタイミングの設定 ... 93
設定機能 ... 93
予防的乗員保護機能 ... 93
警告および情報メッセージ ... 84
警告灯 ... 46
警報システム
ON/OFF の切り替え ... 94
機能説明 ... 94
機能表示 ... 94
室内モニタリング システムおよび傾斜センサーを停止する ... 94
軽修理
パンクしたとき ... 189
車両が動き出さないように車両を固定する ... 189
車両のけん引 ... 82
減速
表示 ... 46
言語
設定 ... 139
故障
キーの電池 ... 78
サイド ウィンドウの停止位置の保存 ... 58
パワー ウィンドウ ... 58
故障時電話 ... 279
オンライン対策 ... 279
データ通信 ... 279
作動 ... 279
車両アクセス ... 279
故障診断用ソケット ... 8
交差点アシスト ... 95
ON/OFF の切り替え ... 96
システム制限 ... 95
一般的な安全に関する指示 ... 95
警告メッセージ ... 95
作動原理 ... 95
工具 ... 251
工場設定
車両設定のリセット ... 139
降車警告 ... 280
高圧洗浄機
取扱説明書 ... 128
高電圧バッテリー ... 147
高電圧バッテリーのお手入れ ... 128
合金製ホイール
お手入れの諸注意 ... 131

作動準備の確立 134
自動リフト機能 218
自動減光機能
ミラー 238
自動内気循環モードの設定
エアコン システム 67
識別番号 306
車載工具
取り外しおよび収納 251
車台番号 306
車内で取扱説明書を開く 228
車幅灯 244
車両
キーによるロック 124
キーによるロック解除 122
コンフォート アクセスによるロック 124
コンフォート アクセスによるロック解除 122
緊急ロック 125
緊急ロック解除 125
降車 136
始動 134
車内からのロック 125
走行 134
停止 136
発進 134
車両データ バンク 306
車両ドア
車内からのロック解除 123
車内からの開閉操作とロック 125
車両に近づいたときのロック解除 140
車両のお手入れ 128
アンダーコーティング 131
ウィンドウ 130
エアバッグ 132
シート ベルト 133
シール 131
ディナミカ 132
デコラティブ フィルム 131
ファブリック ライニング 132
プラスチック部品 131
ヘッドライト 131
ホイール ボルト 162
リヤ スポイラー 112
革製品 131
警告 128
高圧洗浄機の使用 128
合金製ホイール 131
車両の保管 133
洗車 129
塗装 130
車両の長期保管 129
車両の保管 133
車両プラグ (緊急操作) 155
車両プラグの挿入および充電プロセスの開始 149
車両ホットスポット 220
車両識別番号 306
車両充電ポートの高電圧バッテリー充電およびロック ステータス 150
車両充電ポートの高電圧バッテリー充電表示およびロック ステータス表示 150
車両設定
E-Sound の設定 143
INDIVIDUAL 走行モードの設定 143
PCM 表示の変更 139
RANGE 走行モードの設定 143
アシスタンス システムを ON にする 143
インストルメント クラスター表示の変更 139
キーボード設定のコンフィギュレーション 139
シャーシ高の設定 143
シャーシ設定 143
ステアリング ホイールのクイック アクセス ボタンのコンフィギュレーション 140
タイヤ インフレーション情報 157
タイヤの種類とサイズの設定 158
タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 157
タッチ ディスプレイ設定の変更 139
ドア ロック オプションの設定 140
トリップ データのリセット 144
トリップ データの表示 144
ナビゲーション案内音量の調整 139
パークアシストの表示 143
パーソナル ボタンへの保存 196
ボイス コントロール システムの設定 140
ロックおよびロック解除オプションの設定 140
ロック解除オプションの設定 140
圧力差を表示する 158
回生の設定 143
警告音およびパークアシスト音量の調整 139
言語の設定 139
工場設定にリセット 139
静電容量ボタンのコンフィギュレーション 140
設定 138
走行モードの設定 143
単位の設定 139
日付と時刻の設定 139
手書き入力 119
手書き文字パネル 119
収納オプション 146
グローブ ボックス 146
フロント アームレストの小物入れ 146
充填容量 307
ウォッシャー液 307
充電
残可走距離 46
充電 (高電圧バッテリー)
タイマー機能 151
プロファイル機能 151
安全に関する指示 147
車両プラグの緊急操作 155
車両プラグの挿入および充電プロセスの開始 149
車両充電ポートの高電圧バッテリー充電表示およびロック ステータス表示 150
充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し 150
充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し 150
充電ポート リッド
緊急操作 154
充電ポート リッドを開く 148
縦加速度
表示 46
縦方向の加速度
表示 52
助手席シート
運転席からの調整 145
助手席ミラー
パーキング エイドとしての調整 237
格納 / 復帰 237
設定 236
小物入れ
フロント アームレストを開く 146
収納オプション 146
衝突警告 92
ON/OFF の切り替え 93
警告時間の設定 93
情報エリア
設定 46
静電容量ボタンのコンフィギュレーション 140
接続
データ接続を確立中 220
ポルシェ コネクト サービスの利用 220
接続ステータス 178
接続ステータス 178
接続する 220
ポルシェ コネクト サービスの利用 220
接続マネージャー 174

設定
パーソナル設定の保存と呼び出し ..... 196
車両 ..... 138
洗車 ..... 129
全負荷
設定 ..... 158
操作アシスト ..... 33
走行モード ..... 281
INDIVIDUAL ..... 281
INDIVIDUAL の設定 ..... 281
NORMAL ..... 281
RANGE の設定 ..... 281
SPORT ..... 281
SPORT PLUS ..... 281
警告メッセージ ..... 282
車両設定 ..... 282
選択 ..... 281
走行可能距離 ..... 281-282
走行時間と走行距離
表示 ..... 46
送風
設定 ..... 65
足元の温度
設定 ..... 65
惰性走行モード ..... 136
地図 (ナビゲーション)
呼び出し ..... 183
設定 ..... 185
遅延消灯の設定 ..... 246
着信に応答する / 拒否する ..... 176
駐車
パークアシスト ..... 192
リバース カメラ ..... 193
駐車場
アクティブ パーキング サポート ..... 31
サラウンド ビュー (RTV) ..... 194
通行料デバイス ..... 188
通知 ..... 283
フィルタリング ..... 283
開操作 ..... 283
通知センター ..... 283
停止表示板 ..... 251
締め付けトルク
ホイール ボルト ..... 162
電池の交換
キー ..... 78
電話 ..... 176
Bluetooth® 経由で接続する ..... 177
Bluetooth® 経由で接続する (Windows® および iOS オペレーティング システム) ..... 178
Bluetooth® 経由で接続する (既知の携帯電話) ..... 178
Bluetooth® 経由で接続する (新しい携帯電話) ..... 177
Bluetooth® 経由で接続する (別の携帯電話) ..... 178
インストルメント クラスター内の電話情報 ..... 179
お気に入りの保存 / 編集 ..... 178
デバイス マネージャー ..... 174
ワイヤレス充電 ..... 179
緊急電話 ..... 279
収納 ..... 179
接続ステータス ..... 178
設定方法 ..... 180
通話中の各種機能 ..... 179
番号をダイヤルする ..... 176
連絡先の管理 ..... 180
塗装 ..... 130
お手入れ ..... 130
お手入れの諸注意 ..... 130
つや出し (ポリッシュ) ..... 130
マークを取り除く ..... 130
傷の補修 ..... 130
保護する ..... 130
盗難防止機能 ..... 94
到着
表示 ..... 46
読書灯 ..... 55
内気循環モード
ON/OFF の切り替え ..... 68
内蔵 SIM カード
データ接続を確立中 ..... 220
日付
表示 ..... 46
日付と時刻
設定 ..... 139
表示
車両＆情報 ..... 46
速度＆アシスト機能 ..... 45
不凍液
ウォッシャー液の割合 ..... 59
クーラント内 ..... 79
部分積載
設定 ..... 158
風量を設定する ..... 66
文字の入力 ..... 119
保存中
パーソナル設定 ..... 196
放送局 / トラック
表示 ..... 46
放送局を選局 / 保存 ..... 241
方向指示灯 ..... 247
コンフォート方向指示 ..... 247
作動する ..... 247
目的地の入力 / 検索 ..... 183
輸送 (鉄道、船舶など)
車両の固定 ..... 83
予防的乗員保護機能 ..... 93
連絡先 (電話) ..... 176

## A

ABS (アンチロック ブレーキ システム) ..... 232
Advanced Climate Control ..... 64
Apple CarPlay
Siri ..... 276
Apple CarPlay ..... 276
IPod と Apple CarPlay の切り替え ..... 277

## B

Bluetooth®
デバイス マネージャー ..... 174
携帯電話を接続する ..... 177

## C

Charging Planner ..... 186

## E

E メールの表示および編集 ..... 240
ETC (道路通行料自動収受システム)
ETC (道路通行料自動収受システム) の使用 ..... 188

## F

FM
周波数帯の設定 ..... 241

## G

G-Force ディスプレイ ..... 52
GPS 高度
表示 ..... 46

## H

HOLD 機能 ..... 278
一般的な安全に関する指示 ..... 278
警告メッセージ ..... 278
作動 ..... 278
作動原理 ..... 278

HUD (ヘッドアップ ディスプレイ) ..... 211

## I

I-Size システム
- I サイズ システム付きチャイルド シートの取り付け ..... 172
- トップ テザー ..... 172

ISOFIX システム ..... 167
- ISOFIX システム付きチャイルド シートの取り付け ..... 172
- トップ テザー ..... 172

## L

LED ヘッドライト搭載のポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) ..... 246
LED マトリックス ヘッドライト搭載のポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) ..... 246
LIM (スピード リミッター) ..... 109

## P

PASM (ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント) ..... 217
PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケーター ..... 72
PCM ..... 221, 223
- Apple CarPlay ..... 276
- PCM WiFi ホットスポットの使用 ..... 220
- お手入れの諸注意 ..... 133
- スタート メニュー ..... 216
- セントラル ディスプレイ ..... 226
- マイ スクリーン ..... 216
- 外部 WiFi ホットスポットの使用 ..... 220
- 警告および情報メッセージ ..... 84
- 表示の変更 ..... 139

PCM セットアップ ウィザード
- 呼び出し ..... 142

PCM に
- キーボード ..... 227
- テキストおよび文字の入力 ..... 227
- ホームページの構成 ..... 216
- ホーム画面の設定 ..... 216
- メニューを開く ..... 227
- 個人画面の設定 ..... 216
- 時刻または温度ディスプレイの設定 ..... 227
- 通知 ..... 283

PCM ホットスポット ..... 220
Porsche Active Suspension Management (PASM)
- シャーシ設定の選択 ..... 217

Porsche Connect
- ユーザー (Porsche ID) の管理 ..... 221
- ユーザー (Porsche ID) をログインする ..... 221

Porsche Intelligent Range Manager (PIRM) ..... 187
PSM (ポルシェ スタビリティ マネージメント) ..... 231

## R

Race-Tex
- お手入れの諸注意 ..... 132

## S

SIM カード
- 電話の使用 ..... 176

Siri ..... 276

## T

TPM (タイヤ空気圧モニタリング) ..... 156

## U

USB を介した外部機器の接続 ..... 175
USB 接続 ..... 174-175

## W

WiFi
- PCM WiFi ホットスポットの使用 ..... 220
- デバイス マネージャー ..... 174
- 外部 WiFi ホットスポットの使用 ..... 220

## あ

アイス カバー ..... 209
アームレスト
- フロント小物入れ ..... 146

アームレスト内のインターフェイス
- USB ..... 174

アームレスト内のインターフェース ..... 175
アカウント ..... 196
アクティブ パーキング サポート ..... 31
アクティブ レーン キープ ..... 35
- ON/OFF の切り替え ..... 37

アシスタンス システム
- 設定調整 ..... 141

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC
- コントロールの中断と再開 ..... 43
- 作動モード ..... 42
- 制御を無効にする ..... 43
- 目標速度の変更 ..... 42

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC)
- ON/OFF の切り替え ..... 42
- ディスプレイの要素 ..... 41
- ブレーキによる車両停止と再発進 ..... 44
- 各操作部 ..... 41
- 作動原理 ..... 41
- 設定車間距離の変更 ..... 43

アッパー換気パネル ..... 65
アップデート
- インストール ..... 73
- ダウンロード ..... 73
- 失敗 ..... 73

アプリ ..... 221
- ポルシェ コネクト アプリ ..... 221

アルミニウム リム
- お手入れの諸注意 ..... 131

アンダーコーティング ..... 131
- お手入れの諸注意 ..... 131

アンチロック ブレーキ システム (ABS) ..... 232
アンビエント ライト ..... 55
- カラーの設定 ..... 144
- 明るさの調節 ..... 144

## い

イージー エントリー機能
- ON にする ..... 145

イオナイザー
- ON/OFF の切り替え ..... 67

イモビライザー ..... 94
インジケーター ライト ..... 46
インストルメント クラスター ..... 45
- オドメーター (積算距離計) ..... 52
- オプションの選択および機能の有効化 ..... 51
- スポーツ クロノ ストップウォッチ ..... 113
- タイヤ空気圧モニタリング ..... 156
- トリップ メーター ..... 52
- パワー メーター ..... 46
- メニュー概要 ..... 52
- ライト調節 ..... 55
- 概要 ..... 45
- 警告および情報メッセージ ..... 84
- 警告灯およびインジケーター ライト ..... 46
- 車両&情報表示 ..... 46
- 静電容量ボタンのコンフィギュレーション ..... 140
- 操作 ..... 50
- 速度&アシスト機能表示 ..... 45
- 表示の変更 ..... 139

インストルメント パネル
- パワー メーター ..... 46
- ライト調節 ..... 55
- 概要 ..... 45
- 警告灯およびインジケーター ライト ..... 46
- 車両&情報表示 ..... 46

速度＆アシスト機能表示 . . . . . 45
インストルメント照明
明るさの調節 . . . . . 55
インターセクション アシスト
エレメントを表示する . . . . . 95
インターネット
データ接続を確立中 . . . . . 220
インテリア ライト
ON/OFF の切り替え . . . . . 55
アンビエント ライト . . . . . 55
ライト遅延時間および明るさの設定 . . . . . 140
防眩 . . . . . 55
インテリジェント充電機能 . . . . . 153

## う

ウィンター タイヤ
一般情報 . . . . . 160
ウィンドウ
お手入れの諸注意 . . . . . 130
フロント ウィンドウ デフロスター . . . . . 68
リヤ ウィンドウ ヒーターの ON/OFF を切り替える . . . . . 69
ウォッシャー液
充填容量 . . . . . 307
不凍液 . . . . . 59
補充 . . . . . 59

## え

エア サスペンション (PASM) . . . . . 217
エアコン システム
A/C MAX モードを ON/OFF にする . . . . . 65
Eco モードの ON/OFF の切り替え . . . . . 67
ON/OFF の切り替え . . . . . 64
アッパー換気パネル . . . . . 65
イオナイザーの ON / OFF の切り替え . . . . . 67
オート エアコン コントロールを ON にする . . . . . 64
パーソナル設定の保存と呼び出し . . . . . 196
フロント ウィンドウ デフロスター . . . . . 68
温度の設定 . . . . . 66
最大冷房出力を ON/OFF にする . . . . . 65
自動内気循環モードの設定 . . . . . 67
送風口の調節 . . . . . 65
足元の温度の設定 . . . . . 65
内気循環モードを ON/OFF にする . . . . . 68
風量を設定する . . . . . 66
冷房機能を ON/OFF にする . . . . . 65
エアバッグ
お手入れの諸注意 . . . . . 132
警告灯 . . . . . 71
助手席エアバッグの ON / OFF . . . . . 170
エクステリア ライト
ライト遅延時間の設定 . . . . . 140
エマージェンシー キー . . . . . 77
エレクトリカル システム電圧
表示 . . . . . 46
エレクトリック パーキング ブレーキ
作動する . . . . . 140

## お

オートマチック カミング ホーム ライト . . . . . 246
オートマチック ヘッドライト
設定 . . . . . 244
オーバーラン回生 . . . . . 136
オドメーター (積算距離計) の表示とリセット . . . . . 52
オンボード コンピューター
タイヤ空気圧モニタリング . . . . . 156
メニュー概要 . . . . . 52
オンライン サービス
データ接続を確立中 . . . . . 220
オンライン ソフトウェア アップデート
インストール . . . . . 73
ダウンロード . . . . . 73
失敗 . . . . . 73
オンライン ナビゲーション . . . . . 183
お気に入りの保存 / 編集
メディア . . . . . 242
電話 . . . . . 178
お手入れ
高電圧バッテリー . . . . . 128
車両を長期間使用しない場合の注意点 . . . . . 129
お手入れの諸注意 . . . . . 128
PCM . . . . . 133
Race-Tex . . . . . 132
アンダーコーティング . . . . . 131
ウィンドウ . . . . . 130
エアバッグ . . . . . 132
カーペット . . . . . 132
シート ベルト . . . . . 133
シール . . . . . 131
スクリーン . . . . . 133
タッチ ディスプレイ . . . . . 133
ディスプレイ . . . . . 133
デコラティブ フィルム . . . . . 131
ファブリック ライニング . . . . . 132
フロア マット . . . . . 132
ホイール ボルト . . . . . 162
革製品 . . . . . 131
合金製ホイール . . . . . 131
車両の保管 . . . . . 133
洗車 . . . . . 129
塗装 . . . . . 130

## か

カーペット . . . . . 132
お手入れの諸注意 . . . . . 132
カップホルダー . . . . . 75
カメラ
概要 . . . . . 20

## き

キー . . . . . 77
エマージェンシー キーの取り外し . . . . . 77
ドアをロックする . . . . . 124
パーソナル設定の保存と呼び出し . . . . . 196
車両のロック . . . . . 124
車両のロック解除 . . . . . 122
電池の交換 . . . . . 78
キー (リモート コントロール)
サイド ウィンドウの開閉 (コンフォート アクセス非装備車) . . . . . 58
キーボード . . . . . 227
設定 . . . . . 139
キャリアの取り付け . . . . . 258

## く

クーラント (冷却水) . . . . . 79
クイック アクセス バー
クイック フィルター . . . . . 117
クルーズ コントロール
クルーズ コントロール (CC) . . . . . 80
各操作部 . . . . . 80
クルーズ コントロール (CC) . . . . . 80
ON/OFF の切り替え . . . . . 80
ディスプレイの要素 . . . . . 80
一般的な安全に関する指示 . . . . . 80
警告メッセージ . . . . . 80
作動 . . . . . 81
作動原理 . . . . . 80
制御の再開 . . . . . 81
制御を中断する . . . . . 81
目標速度の変更 . . . . . 81

## け

けん引 . . . . . 82
けん引フック . . . . . 82
けん引ロープまたはけん引バーの使用 . . . . . 82

一般情報 . . . . . 82
けん引フック
工具セット内 . . . . . 251

## こ

コマンドの例 . . . . . 214
コンパス
表示 . . . . . 46
コンフォート アクセス
ドアをロックする . . . . . 124
作動原理 . . . . . 121
車両のロック解除 . . . . . 122
コンフォート メモリー パッケージ . . . . . 196

## さ

サイド ウィンドウ
キーによる開閉 (リモート コントロール) . . . . . 58
開閉 . . . . . 57
停止位置の保存 . . . . . 58
サービス ポジション . . . . . 209
サウンド設定
トレブルおよびバスの設定 . . . . . 140
バランス / フェーダー . . . . . 140
サマー タイヤ
収納スペース . . . . . 161
サラウンド ビュー (RTV) . . . . . 194
サン カバー . . . . . 209
サンバイザー . . . . . 97

## し

シート
シート位置の調節 . . . . . 98
シート位置の保存と呼び出し . . . . . 196
フロント シートの調節 . . . . . 98
ベビー キャリア . . . . . 170
リヤ シート バックレストを前方または後方へ倒す . . . . . 101
シート ヒーター バランス
設定 . . . . . 144
シート ヒーターを ON/OFF にする . . . . . 99
シート ベルト
インストルメント クラスターの警告灯 . . . . . 103
お手入れの諸注意 . . . . . 133
シート ベルト バックルを解除してシート ベルトを外す . . . . . 105
シート ベルト プリテンショナー . . . . . 103
警告メッセージ . . . . . 103
着用 . . . . . 104
注意 . . . . . 103
シート ベンチレーター バランス
設定 . . . . . 144
シート ベンチレーターを ON/OFF にする . . . . . 99
シート メモリー . . . . . 196
シート位置の調節 . . . . . 98
シーラント / シール セット
損傷したタイヤ用 . . . . . 189
シール
お手入れの諸注意 . . . . . 131
シフト ポジション . . . . . 134
シャーシ高の選択 . . . . . 217
シャーシ設定の選択 . . . . . 217

## す

スキー バッグ
スキー / スノー ボードの収納 . . . . . 252
スクリーン
お手入れの諸注意 . . . . . 133
スタート メニュー . . . . . 216
ステアリング ホイール
クイック アクセス ボタンのコンフィギュレーション . . . . 140
ヒーターの ON/OFF を切り替える . . . . . 107
設定 . . . . . 107
ステアリング ホイール ヒーターを ON/OFF にする . . . . . 107
ステアリング ホイールのクイック アクセス ボタンのコンフィギュレーション . . . . . 140
ステアリング回避アシスト . . . . . 92
ON/OFF の切り替え . . . . . 93
ストップウォッチ . . . . . 113
スノーチェーン
一般情報 . . . . . 161
スピード リミッター (LIM) . . . . . 109
ON/OFF の切り替え . . . . . 110
アダプティブ スピード リミッター . . . . . 111
エレメントを表示する . . . . . 110
システム制限 . . . . . 109
一時的に無効にする . . . . . 111
一般的な安全に関する指示 . . . . . 109
各操作部 . . . . . 109
最高速度の設定 . . . . . 111
最高速度の変更 . . . . . 110
作動 . . . . . 110
作動原理 . . . . . 109
中断および再開 . . . . . 111
スペア ホイール . . . . . 190
スポイラー . . . . . 112
リヤ スポイラー . . . . . 112
一般的な安全に関する指示 . . . . . 112
警告メッセージ . . . . . 112
作動原理 . . . . . 112
手動クリーニング位置の設定 . . . . . 140
清掃位置 . . . . . 112
スポーツ クロノ ストップウォッチ . . . . . 113
スポーツ クロノ モード スイッチ . . . . . 281
スマート サービス . . . . . 115
スマートフォン
Bluetooth® 経由で接続する . . . . . 177
ワイヤレス充電 . . . . . 179
収納 . . . . . 179
スモーカーズ パケージ . . . . . 116

## せ

センサー
概要 . . . . . 20
センター アームレスト
フロント小物入れ . . . . . 146
センター コンソール コントロール パネル
クイック フィルター . . . . . 117
リモート コントロール . . . . . 117
手書き入力 . . . . . 228
操作 . . . . . 119
セントラル ディスプレイ . . . . . 226
スタート メニュー . . . . . 216
スマート サービス . . . . . 115
ホームページの構成 . . . . . 216
ホーム画面の設定 . . . . . 216
マイ スクリーン . . . . . 216
警告および情報メッセージ . . . . . 84
個人画面の設定 . . . . . 216
通知 . . . . . 283
セントラル ディスプレイで取扱説明書を開く . . . . . 228
セントラル ロック . . . . . 120
キーによる車両のロック . . . . . 124
キーによる車両のロック解除 . . . . . 122
コンフォート アクセスによる車両のロック . . . . . 124
コンフォート アクセスによる車両のロック解除 . . . . . 122
パーソナル設定の保存と呼び出し . . . . . 196
車内からの開閉操作とロック . . . . . 125

## そ

ソース (メディア) の選択 . . . . . 241
ソフトウェア情報
ソフトウェア構成部品の表示 . . . . . 142
バージョン情報の表示 . . . . . 142

## た


ターン アシスト ..... 92
　ON/OFF の切り替え ..... 93
タイダウン リング
　使用 ..... 253
タイマー機能 ..... 151
タイヤ ..... 156
　ウィンター タイヤ (一般情報) ..... 160
　シーラント ..... 189
　スノーチェーン (一般情報) ..... 161
　タイヤの種類とサイズの設定 ..... 158
　タイヤ空気圧の点検 ..... 156
　タイヤ空気圧プレート ..... 306
　タイヤ交換 (一般的なインフォメーション) ..... 160
　タイヤ表記 ..... 159
　トレッドの深さ ..... 161
　バルブ ..... 160
　パンク修理 ..... 189
　圧力差を表示する ..... 158
　収納スペース ..... 161
　新しいタイヤをタイヤ空気圧モニタリング (TPM) に登録する ..... 158
　全負荷または部分積載の設定 ..... 158
タイヤ シーラント
　取り外しおよび収納 ..... 251
タイヤ シーラント / シール セット
　損傷したタイヤ用 ..... 189
タイヤ モビリティ システム - TMS
　取り外しおよび収納 ..... 251
タイヤ空気圧
　インストルメント クラスターの表示 ..... 156
　システムは登録中 ..... 158
　点検 ..... 156
タイヤ空気圧プレート ..... 306
タイヤ空気圧モニタリング (TPM) ..... 156
　登録 ..... 158
　表示 ..... 157
タイヤ空気圧警告灯 ..... 46
タイヤ空気圧表 ..... 309
タイヤ選択 ..... 140
タッチ ディスプレイ
　お手入れの諸注意 ..... 133
　表示の変更 ..... 139


## ち


チャイルド シート
　I サイズ システム付きの取り付け ..... 172
　ISOFIX チャイルド シートの取り付け ..... 172
　トップ テザー ..... 172
　取り付け ..... 170
　助手席エアバッグの ON / OFF ..... 170
　正しい取り付け位置の徹底 ..... 167
　正しく使用する ..... 165
　適切な体重およびサイズ グループの使用 ..... 166
チャイルド プロテクション
　リヤでの操作を無効にする ..... 58
チャイルド ロック ..... 125
　リヤ シート ..... 58


## つ


ツアーを計画する (ナビゲーション) ..... 185


## て


テキスト メッセージの表示および編集 ..... 240
テクニカル データ
　タイヤ / ホイール サイズ ..... 309
　タイヤ空気圧表 ..... 309
　充填容量 ..... 307
テザー
　ISOFIX テザー付きチャイルド シートの取り付け ..... 172


## と


トップ テザー
　トップ テザー付きチャイルド シートの取り付け ..... 172
トリップ メーターの表示とリセット ..... 52
トルク
　ホイール ボルトの締め付けトルク ..... 162
トレイ (電話) ..... 179
トレッドの深さ
　タイヤ ..... 161


## な


ナイト ビュー アシスト ..... 181
　ON/OFF の切り替え ..... 182
　カメラの清掃 ..... 182
　システム制限 ..... 181
　ディスプレイの要素 ..... 181
　一般的な安全に関する指示 ..... 181
　画像の明暗の設定 ..... 182
　警告メッセージ ..... 181
　警告時間の設定 ..... 182
　作動原理 ..... 181
　動物警告 ..... 181
　歩行者警告 ..... 181
ナビゲーション ..... 183
　Charging Planner ..... 186
　ETC (道路通行料自動収受システム) ..... 188
　GPS 座標の入力 ..... 183
　Porsche Intelligent Range Manager (PIRM) ..... 187
　インストルメント クラスターのマップ ビューとナビゲーション情報 ..... 187
　ツアーを計画する ..... 185
　トリップ概要 ..... 186
　経由地を入力する ..... 185
　設定 ..... 187
　地図コンテンツの設定 ..... 185
　地図画面の表示 / 設定 ..... 187
　目的地の入力 / 検索 ..... 183


## は


ハイ ビーム
　ハイ ビーム レバー ..... 247
ハザード ライトの ON/OFF ..... 248


## ひ


ヒューズ ..... 198
　ヒューズ ボックス ..... 198
　ヒューズの割り当て ..... 198
　ヒューズの交換 ..... 198
　右ダッシュボードのヒューズ割り当て ..... 199
　右フットウェルのヒューズ割り当て ..... 201
　左ダッシュボードのヒューズ割り当て ..... 199
　左フットウェルのヒューズ割り当て ..... 200


## ふ


ファブリック ライニング (お手入れ) ..... 132
ファンクション オンデマンド (FoD)
　アクティベーション ..... 203
　アクティベーションの失敗 ..... 204
　ダウンロード ..... 203
　購入 ..... 203
　無効化 ..... 203
ファンの設定
　エアコン システム ..... 66
フルードおよび燃料 ..... 307
　ウォッシャー液 ..... 307
フロア マット
　お手入れの諸注意 ..... 132
フロント ウィンドウ
　デフロスター ..... 68
フロント ウィンドウ ウォッシャー システム
　ウォッシャー液の追加 ..... 59
　充填容量 ..... 307
　不凍液 ..... 59

フロント シート
設定 98
フロント ワイパー
お手入れの諸注意 130
レイン センサーの感度を設定する 208
レイン センサーを ON にする 208
ワンタッチ機能 208
フロントウィンドウ ワイパー 208
アイス カバーおよびサン カバー 209
お手入れの諸注意 130
スプレーおよびワイパー作動 209
リバース カメラの清掃 209
ワイパー ブレードの交換 209
ワイパーのワンタッチ機能 209
ワイパーの連続作動を ON にする 208
各操作部 208
フロント助手席ディスプレイ 229
手書き入力 230
操作 229

## へ

ヘッドアップ ディスプレイ (HUD) 211
ヘッドライト 248
お手入れの諸注意 131
バルブの交換 248
海外モード 248
設定 248

## ほ

ホイール 156
ウィンター タイヤ (一般情報) 160
スノーチェーン (一般情報) 161
タイヤ シーラント 189
タイヤ モビリティ システム - TMS 189
タイヤ空気圧プレート 306
タイヤ交換 (一般的なインフォメーション) 160
タイヤ表記 159
バルブ 160
パンク修理 189
ホイール ボルト (お手入れの諸注意) 162
交換 161
収納スペース 161
締め付けトルク 162
盗難防止ホイール ボルト (ソケット レンチ) 162
ホイール ボルト 162
ホイールおよびタイヤのサイズ 309
ホイールのお手入れ 131
ホットスポット
PCM WiFi ホットスポットの使用 220
外部 WiFi ホットスポットの使用 220

## ま

マイ スクリーン 216
マウント部品の取り付け 262
マッサージ プログラム
設定 144
マッサージの強さ
設定 144
マルチコリジョン ブレーキング 232
マルチファンクション ステアリング ホイール
ボタン 50
回生ボタン 51
マルチファンクション ステアリング ホイールのファンクション ボタン 50
マルチファンクション ステアリング ホイールのボタン 50

## み

ミラー
ドア ミラー ヒーター 69
ドア ミラーの格納 / 復帰 237
ドア ミラーの調節 236
ドア ミラー設定の保存 (メモリー) 237
パーキング エイドとしてのドア ミラー調整 237
バニティー ミラー 97
自動減光機能 238
ミラーの折り畳み 140

## め

メッセージ 240
メッセージ (テキスト メッセージ / E メール) の表示および編集 240
メディア 241
USB を介した外部機器の接続 175
アームレスト内のインターフェイス 174
お気に入りの保存 / 編集 242
ソースの選択 241
閲覧 241
再生 241
設定方法 243
対応するメディアおよびデータ形式 311
放送局を選局 / 保存 241
メディアの再生 242
メモリー パッケージ 196
メンテナンス作業
ウォッシャー液の追加 59

## も

モード スイッチ 281
モバイル データ (接続性) 220

## ら

ライト
LED ヘッドライト搭載の PDLS Plus 246
LED マトリックス ヘッドライト搭載の PDLS Plus 246
OFF にする 245
アンビエント ライト 55
インテリア ライト 55
エクステリア ライト 244
エントリー機能 / イグジット機能 246
オートマチック カミング ホーム ライト 246
オートマチック ヘッドライト 244
オートマチック ヘッドライト較正 246
お手入れの諸注意 131
ダイナミック コーナリング ライト 246
ダイナミック ハイ ビーム 246
ダイナミック ハイ ビームの ON/OFF の切り替え 247
トラベル モードの設定 140
ハイ ビームの ON および OFF の切り替え 247
パーキング ライトの ON/OFF の切り替え 247
ハザード ライト 248
パッシング ライト 246
バルブの交換 248
ヘッドライト パッシング 247
リヤ フォグ ライト 244
ロー ビーム 244
悪天候のライト 246
一般的な安全に関する指示 245
海外モード 248
概要説明 244
警告メッセージ 245
検知ライト 246
高速道路ライト 246
車幅灯 244
状況に応じたライト配光 246
遅延消灯の設定 246
道路標識の眩しさの軽減 246
方向指示灯 247
霧機能 246
ライト バルブ 248
ラゲッジ コンパートメント 250
開操作 233, 255
緊急ロック解除 234
閉じる 234
ラジオ 241
お気に入りの保存 / 編集 242
周波数帯の設定 241

放送局を選局 / 保存 ..... 241

## り

リバース カメラ ..... 193
リモート コントロール ..... 77
ドアをロックする ..... 124
車両のロック解除 ..... 122
リヤ ウィンドウ
ヒーターの ON/OFF を切り替える ..... 69
リヤ クロス トラフィック アラート ..... 254
リヤ シート
チャイルド ロック ..... 58
リヤ シート バックレストを前方に倒す ..... 101
リヤ シート収納スペース ..... 101
リヤ スポイラー ..... 112
作動原理 ..... 112
清掃位置へ動かす ..... 112
リヤ ターン アシスト ..... 266
リヤ フォグ ライト ..... 244
配光の適応 ..... 246
リヤ リッド
開く高さの調整 ..... 256
開操作 ..... 255

## る

ルーフ トランスポート システム
キャリアの取り付け ..... 258
プロファイル トリムの閉鎖 ..... 262
マウント部品の取り付け ..... 262
ルーフに荷物を載せて運ぶ場合 ..... 258
ルーム ミラー
設定 ..... 238
防眩 ..... 238

## れ

レーン キープ ON
ディスプレイの要素 ..... 37
一般的な安全に関する指示 ..... 35
レーン キープ アシスト ..... 263
ON/OFF の切り替え ..... 265
作動原理 ..... 264
レーン チェンジ アシスト (LCA) ..... 266
ON/OFF の切り替え ..... 268
エレメントを表示する ..... 268
システム制限 ..... 267
リヤ ターン アシスト ..... 266
リヤ衝突警告 ..... 267
一般的な安全に関する指示 ..... 266
運転状況 ..... 268
画面の明るさの設定 ..... 268
警告メッセージ ..... 267
作動原理 ..... 267
情報および警告ステージ ..... 268

## ろ

ロー ビーム ..... 244
ローンチ コントロール ..... 135
ロック
2 段階ロック ..... 123
キーによる車両のロック ..... 124
コンフォート アクセスによる車両のロック ..... 124
車内からの車両のロック ..... 125
車両の緊急ロック ..... 125
ロック オプション
設定 ..... 140
ロック解除
キーによる車両のロック解除 ..... 122
コンフォート アクセスによる車両のロック解除 ..... 122
テールゲートのロック解除および開操作 ..... 255
ボンネットのロック解除および開閉操作 ..... 233
車内からの車両のロック解除 ..... 123
車両の緊急ロック解除 ..... 125
ロック解除オプション
設定 ..... 140

## わ

ワイヤレス インターネット アクセス ..... 220

- 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

**ポルシェ・カスタマーケアセンター**

フリーダイヤル：0120-846-911

車両受領証
（販売店で保管）

VIN：車両識別ナンバー

エンジンナンバー

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

販売店スタンプ

日時　　お客様の署名